

MEJ 4144

児童・生徒の語い力の調査

準備調査（昭和32年度）

〔第1分冊〕

国語シリーズ 41

文 部 省

児童・生徒の語い力の調査

準備調査（昭和 32 年度）

〔第 1 分冊〕

昭和 34 年 10 月

文 部 省

刊 行 の 趣 旨

国語シリーズは、国語の改善と国語教育の振興に関する施策を普及徹底するために編集するものです。

このシリーズは、国語問題編・国語教育編・国語生活編・国語教養編および資料編に分け、問題編は主として国語審議会の発表した事がらを、教育編は国語学習指導の方法などを、生活編は国民の言語生活に関する事がらを解説するものであり、教養編は一般の国語教養を高めることを、資料編は国語改善と国語教育に関する基礎資料を集録することを目的としたものです。

すでに教育編は14冊、問題編は11冊、教養編は6冊、生活編は5冊および資料編は4冊を刊行しましたが、各編にわたって今後ともひきつづき刊行する予定です。

この本は、資料編の5冊目として、調査局国語課で編集したものです。

昭和34年10月

文部省調査局国語課長

白 石 大 二

ま え が き

この「児童・生徒の語い力の調査」は、本文にも述べてあるように、義務教育において、各教科を通じて学習上取り扱うのがふさわしい基準的なことばを選定し、学年に応じた段階づけをおこない、学習上のよりどころとすべき語いの表を作ろうとするものであって、これによって、選出された語は、いわゆる「基本語」とか「基礎語」とかいわれるものとは、おのずから違ったものである。

すなわち、選出されるべき語は、「基本語」「基礎語」に対して、いわば学習指導上における基準語ともいうべきもので、個々の語を児童・生徒の理解度の面から取り扱っていかうとするものである。こういうわけで、この基準語のなかには、基本語とか基礎語とかいえないような語も含まれてくるが、また、その反面、基本語や基礎語のなかに含めるべきだと考えられる語であっても、義務教育の課程において、学習上わざわざ取り扱うに及ばないようなことばや、取り扱うことがふさわしくないと思われるようなことばは省いてある。

この調査は、4か年継続予定の調査であり、ここにまとめたものは、その第1年度（昭和32年度）の準備調査の結果である。

最終的な結論を得るには、調査の終了後、なお、若干の日時を要するが、いずれにしろ、結論は、年々の調査の積み重ねによっ

て得られるものである。しかし、この第1年度の調査の結果からだけでも、個々のことばについては、小学校第6学年児童の理解度のおおよそをうかがうことができよう。

以上のように、この報告は、準備調査の結果を、その経過とともに、いわば、中間報告的なものとしてまとめたものである。

この調査の実施にさきだって、文部省内に学習語調査協議会を設け、調査の方法、語いの選定などについて、慎重な調査・研究をおこない、また、東京都区内の小学校に依頼して、小規模ながら予備的な調査をおこなった。

なお、調査の直前には、ほぼ各県ごとに打ち合わせ会を開き、各調査校の主任担当者の参集を求めて、調査の実施方法、集計・整理の方法などについて詳細な説明をおこなった。

この調査の実施にあたって御協力をいただいた委員・調査校職員・関係教育委員会のかたがたに厚くお礼を申し上げるしだいである。

(この本は、ページ数の関係上、第1分冊・
第2分冊の2冊に分けた。)

目 次

〔第 1 分冊〕

まえがき

【第 1 部】

§ 1	この調査の目的	1
§ 2	基準の設定について	2
§ 3	基本語と基礎語	3
§ 4	使用語いと理解語い	8
§ 5	理解しているとはどういうことか	10
§ 6	調査の実施に至るまで	15
§ 7	調査の方法について	16
§ 8	事前の調査について	23
§ 9	内省法による調査について	63
§ 10	調査語の選定	71
§ 11	調査の年次計画	84
§ 12	調査地点の決定	86
§ 13	調査校の選定	91
§ 14	調査を実施した学校（名簿）	97
§ 15	調査の実施	100
§ 16	調査の実施回数と 1 回あたりの枚数	120
§ 17	集計・整理	121

【第2部】

調査語(問題).....	128 ~ 413
--------------	-----------

〔第2分冊〕

【第3部】

50音順整理表.....	1 ~ 220
--------------	---------

付表1	90%以上の理解度を示した語の例.....	221
-----	-----------------------	-----

付表2	地域別に理解度がきわめて高かった 語の例.....	223
-----	------------------------------	-----

付表3	理解度が低かった語の例.....	225
-----	------------------	-----

【第4部】

児童・生徒の語い力の調査についての

協議会における議事の要約.....	245
-------------------	-----

付録

学習語調査協議会委員名簿.....	267
-------------------	-----

第 1 部

§ 1 この調査の目的

語いに関する各種の調査は、これまでに、しばしば個人・団体によって試みられ、その成果の発表もかなりの数に上っている。

これらのものの多くは、いずれも、ある資料に提出されている多くの語いのなかから、なんらかの方法によって、あらかじめ設定された条件に適合する語いを選び出し、それを体系づけて、基本語とか学習基本語いとかを設定したもので、それぞれに高い価値が認められている。また、このほかに、いわゆる基礎語についての調査・研究の結果も公刊されている。

今回、文部省が実施するこの調査は、単に語いを、使用度数とか、出現回数とかの多少によって、あるいは、学習上必要と認められると判断されるものを、主観的に資料から選び出すだけでなく、さらに、個々の語いについての児童・生徒の理解度——そのことばを知っているかどうか、知っているにしても、どの程度に知っているか——の面から、かなり大規模に、組織的に調査し、義務教育において、各教科を通じて、学習上取り扱うのがふさわしいことばの基準（特に、教科書面に提出されることば。）を選定し、学年に応じた段階づけをおこない、学習指導上の参考に

しようとするものである。

しかしながら、基準といっても、児童・生徒向きのあらゆる読み物・放送、あるいは、現行のすべての教科書に提出されているすべての語いについて調査したものではなく、また、調査の終了後に作成されるべき表に掲げられる語いのすべてを、その学年で提出し、取り扱わなければならないとするものでもなく、したがって、それ以外の語いを提出することが望ましくないとか、学習上で取り扱うことは不適當であるとかいう意味をもつものではない。

つまり、学習指導に際して、提出されている語い、あるいは、取り扱おうとする語いに対する児童・生徒の理解度を知ることによって、語い指導上の参考に供しようとするものである。

§ 2 基準の設定について

文字の面については、「当用漢字表」「当用漢字別表（いわゆる教育漢字）」「当用漢字音訓表」「当用漢字字体表」および「現代かなづかい」など一連の施策の実施によって、日常の社会生活における文字使用の範囲・方法の基準が定められ、これは、また、国語教育における学習指導上のよりどころともなっている。

また、学年に即応して学習指導すべき「教育漢字の学年配当」の調査の成果が、このたびの「学習指導要領」の改定にあたって採り入れられ、教育上における漢字学習の基準が確立することとなった。

この文字の面における施策とあいまって、ことばの面における

同様な趣旨の施策をたてる資料を得るために、この調査を実施し、その基礎資料に基づいて、小学校の中学年・高学年、および、中学校において、学習上取り扱うのがふさわしいと認められる語いの基準を設定しようとするものである。

すなわち、この調査の結果によって得られるものは、学習基本語とか、基礎語とかいうべき性質のものではなく、学習指導上取り扱うのがふさわしいことばの基準を示すものであり、いわば、学習基準語というべきものである。

したがって、この調査において、資料から選び出される調査すべき語、および、調査の結果から選び出されるべき語のなかには、国語——日本語——としての、いわゆる基本語・基礎語を含んでいることは当然であるが、たとえば、基本語・基礎語としては認められる語であっても、学習上取り扱うのがふさわしくない語や、わざわざ取り扱うまでもないような語は、基準語の表からは省かれることになる。しかし、その反対に、基本語とか、基礎語とかは いえないような語でも、基準語として取り扱われるような語もありうる。

§ 3 基本語と基礎語

基本語、あるいは、基本語いというのは、人が正常な状態で、日常普通の社会生活を営むうえにおいて、各人が共通的に使用するその国語（外来語も含む。）の語いのうち、特に必要度が高いと考えられる語（の集まり）をいう。

これは、アメリカのソーンダイク (E. L. Thorndike : 1874~1949) が、英語について、1918年におこなった語い調査の結果、約3,000語を選び出して、これだけ知っていれば、日常生活の85%はまにあうといったものが始まりであるといわれている。それ以来、各国語についてこの試みがおこなわれた。

基本語を得るための語い調査、語い選定の方法には、大きく分けて二つの方法がある。

一つは、客観的な方法で、教科書、新聞、雑誌、図書、広告、掲示、放送などのうちから、一定の範囲のものを資料として採り、その資料のなかに使われている異なり語と、それぞれの語の使用度・分布度を調べ、所要の処理を経て、必要と思われる語いを決定するのである。ここにいう、語の使用度とは、それぞれの語が、採用した諸資料の全体を通じて使用されている度数のことであり、分布度とは、それぞれの語が、採用した諸資料のうち、いくつの資料に使用されているかということ、すなわち、資料の数についていうのである。たとえば、ある一つの語「 x 」が、10種の資料を通じて、合計50回使われており、かつ、その語は10種の資料のうち5種の資料にだけ使われていたとすれば、「 x 」の使用度は50であり、分布度は5であるという。

他の一つは、主観的な方法で、主として辞書を資料として用い、何人かの実際家・学識経験者などの主観的判断によって、必要と思われる語を選び出し、所要の処理を経て、決定するのであるが、近ごろでは、以上の両者を併用するのがよいとされている。

基本語は上記のような方法によって、選出され、決定されるのであるから、選出されるべき語の数に制限はないし、(といっても、おのずから、限度は生じてくる。) また、むずかしいと思われることばでも、資料における使用度・分布度が高ければ、基本語として取り扱われることになる。したがって、基本語を選出するものになる資料の選定、および、選出した語いの処理にはじゅうぶんな考慮が必要とされる。

ある国語についての基本語とは、上述のようなものであるが、これが、義務教育における学習基本語となると、単なる語い調査の結果からは決定されない。というのは、使われていることばと、学習することが望ましいことばとは、必ずしも全部が全部は一致しないからである。

語い調査の結果得られる語いは、社会で現実に使われている語であり、これは、学習基本語を決定するための重要な基礎資料となるものであり、また、それらのことばを学習し、知るようになることは望ましいことではあるが、これが学習基本語の第一義であるとはいいがたい。なぜならば、教育は未来を目がけ、価値を目がけるものだからである。学習基本語として必要で、重要な条件の一つは、その語の有効性ということであり、決定にあたっては、ぜひともこのことを考慮しなければならない。

これに対して、基礎語とか、基礎語いというのは、現実の社会生活における語の使用度よりも、限定されたいくつかの語だけで、言語生活を営んでいこうという目的から考え出されたもの

で、語数はできるだけ少ないのが望ましく、それらの語の組み合わせによって、あらゆる概念を言い表わそうとするものであり、いわゆる、語い経済の立場から考え出されたものである。つまり数限りもなくある語のなかから、なるべく応用の範囲の広い語を採り、意味の重なった語を捨て、同じ内容を言い表わすのに数種もある言い回しのうちから、1種の言い回しだけを採るというようにしたもので、微妙な表現はむりであるが、実用に便利で、普通の事がらをはっきりと言い表わすことを目的としている。

これを、ごくわかりやすくいうと、たとえば、「人間のからだ」に関する語については、「かしら」「け(毛)」「め(目)」「はな(鼻)」「みみ(耳)」「あご」「かお(顔)」……「うで(腕)」「て(手)」……「はら(腹)」……「かわ(皮)」「にく(肉)」……など、いくつかの語は、どうしても知らなくてはならない必要な語——つまり、基礎語——とするが、「かみのけ」「ひげ」「まゆ」「ひたい」「ほお」などは、これらの語を知らなくても、それぞれ次のように、

かみのけ → かしらの毛

ひげ → あごの(長い)毛

まゆ → 目のうえの毛

ひたい → 顔のうえのほう

ほお → 顔の横の部分

などと言い表わすことができるとして、「かみのけ」……「ほお」などの語は知らなくてもすむ(つまり、基礎語からはずす。)

というのである。

この基礎語というのは、1930年に、イギリスのオグデン(C. K. Oguden : 1889～)らの研究の結果、ベーシック・イングリッシュ (Basic English) という名で、一種の国際補助語として発表されたもので、それまでに発表された国際語が、いずれも、いわゆる人造語であることが、国際語としての普及の妨げになっているということにかんがみ、現実には全世界で最も広く使われている英語を採り、人間がおこなう言語的表現内容を心理学的に研究した結果、根幹となる 850 語で、日常普通の用をたすことができるとしたものである。

わが国では、昭和 8 年ごろに、土居光知氏が日本語について、これを試み、最初に、1,000 語（後に改定して 1,100 語）を選んで、基礎日本語としたものがある。

基本語と基礎語との関係を見ると、基本語は、現実の使用度・分布度を重視して決定されるので、たとえむずかしいことばでも使用度・分布度が高く、有効性があると認められれば、その語は基本語として取り扱われるのに対し、基礎語では、現実の使用度・分布度が高くても、その語が、他の語なり、言い回しなりによって言いかえることができるならば、その語は基礎語からは省かれるのである。

このようなわけで、基礎語の大部分のものは、基本語のなかに含まれると考えられるが、文の構成上、重要な役割を占めている助詞・助動詞・接続詞などは、基本語の内容としては、当然に含

まれているにもかかわらず、操作上は省いてしまうのが普通であるが、基礎語としては、このような形式的なことばも、他の名詞・動詞・形容詞などと同様に、必要欠くべからざるものとして取り扱われている。

§ 4 使用語いと理解語い

「使用語い」は、また、「表現語い」「発表語い」「発動語い」「活用語い」ともいい、「理解語い」は、また、「了解語い」「受動語い」ともいわれる。

ある個人がもっている語いのなかには、その個人が言ったり、書いたりする場合に、みずから使う語と、自分では使わないが、他人が言うのを聞いたり、文を読んだりした場合に理解することができる語とがある。すなわち、使用語(い)と、理解語(い)とがある。自分みずからは使わない(むしろ、使えないというべきであろう。)ことばはいうまでもないが、他人がその語を使っているのを聞いてもわからなかったり、読んでも理解することができなかったりするような語は、その個人にとっては、使用語でもなく、また、理解語でもない。すなわち、その個人がもっている語いのなかにはないということができよう。

このように、個人がみずから使う語を「使用語」といい、そのような語の総体を「使用語い」という。また、相手・他人が使った場合に理解することができる語を「理解語」といい、そのような語の総体を「理解語い」という。

個人のもつ使用語いは、その理解語いよりも少ないのが普通であるが、幼児や低学年の児童にあっては、一般に、理解語をそのまますぐに自己の表現に活用しようとする傾向があるので、この時期においては、使用語いと理解語いとの差が成人ほどは大きくないということである。そして小学校の中学年ごろから上になると、この傾向はしだいに薄れていくので、このころの児童・生徒を対象にしておこなう理解語いの調査から使用語いを推定することとはむずかしいといわれている。

以上の関係は、ちょうど書くことができる漢字と、読むこと（読んで、その意味を理解すること）ができる漢字との関係に比べることができるのではあるまいか。すなわち、小学校の低学年で漢字を学習しはじめたころは、書くことができる漢字と、読むことができる漢字とは、だいたい一致している傾向にあるが、学年が進むにつれて（数多くの漢字を習得するにつれて）、読むことはできても、書くことができない漢字が増していくのが普通であるのとよく似ている。

この使用語いと理解語いとは、ともに各個人の精神発達の段階や状態、また、その個人をめぐるいろいろの環境によって、かなり大きなかたよりと差があるので、ある特定の個人や、同じような環境にある者数人について調査をしても、それだけで全体の平均を推定することはできないが、多くの個人について調査してみると、共通な語が浮かび上がってくるわけである。

なお、この調査は使用語についての調査ではなく、理解語につ

いての調査である。

§ 5 理解しているとはどういうことか

ある語を理解しているというのは、その語を聞き、もしくは、読んだ場合に、聞き手・読み手が、その語に対する正しい反応をおこすことである。たとえば、「立て。」と言われて、立ち上がれば、その人は、その語を理解しているものと考えられる。もっとも、反応をおこすとは、必ずしも動作を伴うとはかぎらない。自分の経験・知識を通じて、内的にはあくすることができればよいのである。

ところが、その語を聞いて正しい反応をおこせばよいとはいっても、正しい反応とはどういうことであるか、つまり、「理解している。」とはどういうことであるかということになると、人によって、語によって、また、時と場合などによって、いちがいにはいえず、なかなかむずかしいのである。

すなわち、すべての人が、すべてのことばについて、「完全に理解している。」あるいは、「全く理解できない。」——ことばを変えていえば、「はっきりと知っている。」あるいは、「全然わからない。」——のどちらかにふりわけることができるならば、ことは簡単であるが、なかなかそうはいかない。

「完全に理解している。」と「全く理解できない。」との中間には、たとえば、「ほとんど完全に理解している。」「はっきりとはしないが、だいたいわかっている。」「おぼろげながらわかってい

る。」「ぼんやりとしかわからない。」「何となくわかるような気もするが、まあ知らない。」など、その他、いくつもの段階がある。しかも、この段階そのものも、そうはっきりと決められるものではなく、ある程度決めても、自分の知っている程度がどの段階に属するかの判断は人によって違う場合も多い。

たとえば、「民主主義」という語の意味を、低学年の児童に説明させた場合、「たいへんによいこと。」とか、「おおぜいですること。」とか、「選挙してすること。」などという程度のことは答える者もいるであろう。これらの答えは決して誤りとはいえないし、また、その語の意味を全く理解していないといとすることもできないであろう。さりとて、以上の答えでは、じゅうぶんに理解しているとはいいいがたい。そして、調査に際しては、被調査者に、この語の意味を知っているかどうか、と聞いた場合、被調査者がこの「民主主義」という語の意味を上記の程度に理解していたとして、その理解の程度を被調査者自身が、自分は、「よく知っているのだ。」と判断すれば、「よく知っている。」と答えるであろうし、「だいたいわかっているけれども、なんとなくはっきりしない。」と思えば、そのように答えるだろうし、「この程度のことは知っているが、これでは知っているとはいえないから、知らないものとしておこう。」と判断したり、あるいは、「ぼんやりとはわかっているが、聞かれても説明できないから、わからないのと同じようなものだ。」と判断すれば、おそらく「知らない。」（あるいは、それに近いもの。）と答えるであろう。筆答によって、知

っているか、知らないか、また知っている程度をその段階に応じた符号によって記入させれば、そのような符号をつけるであろう。

また、別の面から考えれば、たとえば、「ながばのもうせんごけ」という語についていうと、全く何のことか見当もつかないというのであれば、「知らない。」といえるが、これを「植物」とか、「植物の名」とかの程度なら知っているという場合は、「知らない。」とはいえないし、「知っている。」というにはちょっと気がひけるように思うかもしれない。さらにすすんで、「食虫植物(の名)」とまで知っているとしても、単に知識としてその名称を知っているのと、写真・標本などを見て知っているのと、さらに、はえている実物を見て知っているのとでは、知っている程度が違いうし、さらに、分類学上に占める位置や、原産地・生育地、特徴などに至るまで知り尽くしているのとでは、知っている程度が大いに違っているはずである。この場合に、どの程度まで知っていれば、「よく知っている。」といってよいのか、これをはっきりと決めることはきわめてむずかしい。

次に、たとえば、「黒ダイヤ」という語についていえば、これをかりに、「黒色のダイヤモンド」と理解していようと、「石炭(の美称)」と理解していようと、ともに「知っている。」といえよう。よしんば、その「黒色のダイヤモンド」というものが、実際にあるかないか、また、あったとしても、被調査者が、その実物を見たことがあるかないかは別問題として、「くろ」という色が

どんな色だか、「ダイヤモンド」というものが、どんなものであるか、たとえ観念的にでも知っていれば、「黒色のダイヤモンド」は知っているといつてさしつかえないであろう。語の意味を聞いたり、選択枝法とか作文法とか組み合わせ法とかによらず、単にその語の意味を知っているか、知らないかを聞くだけの調査としては、これ以上のことをせんさくすることは不要ではあるが、もう少したちいって考えてみると、「黒ダイヤ」の場合には、さいわいそういうものがあるから、それでよいが、もしも、ダイヤモンドには黒色のものが絶対に存在しないということであつたら、問題は簡単にはかたづかないことになる。しかし、これは調査の結果にはあらわれてこないし、表面上は別に問題とはならない。

〔注：削岩機などの先端につける「カルボナード」のことを「黒ダイヤ」とも、「黒金剛石」ともいう。〕

「黒ダイヤ」の場合と同様に「赤字」を「赤い文字」とか「赤色の文字」と理解していようと、「校正の字」とか「欠損、支出超過」の意に解していようと、いずれも知らなくもなく、また、誤りでもない。

しかし、「青大将」を、たとえば、「おそれのために、（あるいは、脳貧血をおこして、）顔色が青くなっている大将（の階級にある武人）。」と解していたとしたら、どうであろうか。〔この場合には、その解釈は明らかに誤りであるといつてさしつかえないであろう。〕しかも、こう解した本人（被調査者）が、「知っている。」か、「知らない。」かをみずから内省して、「知っている。」と

判断した場合、調査の結果は、当然知っている語として取り扱われることになる。そして、調査者としては、被調査者が、上記のように解したとはとらず、正しく理解していたものとみなすわけである。

このようなことが表面上は問題にならないにしても、[むしろ、問題にならないのでかえってつごうがわるい。]なるべく、こういうことがおこらないほうが望ましいわけである。つまり、「知っている。」とか「理解している。」ということは、「誤って」ではなく、「正しく」であることが望ましいわけである。

そこで、このようなことを防ぐために、調査にあたって、調査語に漢字をあてるとか、用例を添えるとかいうことが考えられるが、いくらこのようなことをしても、被調査者が、その漢字なり、用例なりによって、その語を正当に解してくれなければ、それまでである。[添えてある漢字や用例をみて、調査語の意味を的確に判断する能力がない場合もあるろうし、漢字・用例があろうとなかろうと、おかまいなしに、適当に解釈する場合もあるろうし、いろいろであるが。]

たとえば、

させん（左遷される）

としておいても、この「させん」を「……させない」という意味に解して「知っている。」と答える場合もあるろう。

また、

きんかんしょく（金環食）

とあっても、この「金環」という漢字にはおかまいなしに、「きんかん」という音から、くだものの「きんかん」と思い、「しょく(食)」を「食べること」とか「食事」とかの意に解して、「きんかんを食べること。」という意味にとって、「知っている。」とすることも考えられる。

このようにみてくると、単に「知っているかどうか。」「どの程度に知っているのか。」などと聞いただけでは、被調査者が、その語を知っているのか、知らないのか、知っているとしても、よく知っているのか、ぼんやりとしかわからないのか、という程度のことだけはわかるにしても、はたして正しく知っているのかどうか、理解していることに誤りがあるかないか、ということまでは、調査者ないし、第三者には確かめようがないわけである。けっきょく、被調査者のみずからの判断を、そのまま受け取るよりほかはないわけである。

そうすると、このような調査の結果はあやふやで信頼できないものではないかということにもなりかねないし、また、調査法を変えるべきだという考え方も出てこようが、これについて詳しくは、「§9 内省法による調査について」の項で述べる。

§ 6 調査の実施に至るまで

この調査を計画してから、それを実施に移すまでには、調査方法、調査語の選び出し方、問題用紙の形式、児童・生徒に対する説明のしかた、調査地点・人員、実施の時期、集計・整理のしか

たなどについて、具体化するために、「学習基準語調査懇談会」をおき、学識経験者の参集を求めて、懇談的に具体策について話を進め、準備を整えた。

その後、小学校第6学年の児童に対して、内省法による調査の実施が可能であるかどうかをみきわめるために、東京都区内の小学校において、実際に調査をおこなった。(昭和32.9.5, 語数は200語)。その結果として、内省によって、知っているかどうかの判断のしかた、記入法などについて、じゅうぶんな説明をすれば、実施できることがみきわめられた。

ついで、実際的な作業にはいり、学習語調査協議会(巻末の名簿参照。)をおき、昭和32年9月25日にその第1回を開き、以後数回にわたって協議し、必要な事柄について、一つ一つ具体的に決定していった。

§ 7 調査の方法について

一般に調査の方法としては、発問・解答の手段によって、口頭によるものと、筆答によるものとに分けることができる。

幼児に対する語い調査では、対象者に読み書き能力がない(あるいは、ほとんどない。)のが普通であるから、筆答による調査は、まず不可能であって、どうしても口頭によるほかはない。

この口頭による調査では、質問の数が少なく、対象の人数も少ない場合にはともかく、多くの人数に対しておこなうことは、たとえば、質問者がひとりであっても、すべての被調査者に対して、

平等におこなうことが著しく困難となる。まして、このたびの調査のように、広い地域にわたって、多くの学校・学級で調査をする場合には、質問者がひとりで全部を受け持つことはできない。質問者の数がふえればふえるほど、ますます被調査者に対する質問の平等性が失われていく。さらに、質問数（この場合は調査語数）が1万5000に近いこの調査では、口頭による調査はまず不可能といってよい。テープ録音機の利用ということも考えられるが、これとても吹き込み、発音（アクセントを含む。）、語および用例を読み上げる時間、また、その間隔の点において、著しい困難があり、さらに、調査後の集計・整理も著しく困難であって、とうてい実施はできないと思われる。

そこで、この調査は、筆答によっておこなうこととした。筆答による調査は、その形式によって、選択(枝)法、完成法、組み合わせ法、作文法などが、普通におこなわれている方法であるが、これらのいずれの方法によるにしても、なにぶん語の数がぼう大なので、適正な問題の作成、印刷、問題用紙の配布・取り扱いなど、すべてにわたってきわめて困難であることが予想され、かつ、児童がそれを読んで、解答するのに多くの時間と労力を必要とするので、技術的にも経済的にも、また、児童の負担の点からみても、まず、実施不可能である。

そこで、この調査では、いわゆる内省法と呼ばれる方法によっておこなうことにした。内省法とは、与えられた質問（この場合は、それぞれの語）を、与えられた者（この場合は児童）が、理

解しているかどうかを、あるいは理解の度合いを、定められた基準によって、みずから判断して決定し、定められた符号、あるいは、欄に記入するものであって、きわめて多くの質問を、多くの人数に対して、できるだけ平等な条件で、しかも、なるべく少ない時間で実施するには、現在のところ、これ以外の調査方法はまず考えられない。

この内省法による調査の具体的な実施方法については、「調査の手びき」(本書 106 ページ参照。)にゆずるとして、理解の程度を何段階に分けたか、また、その理解の度合いの基準をどのようにしたかについて以下に説明する。

最も簡単な段階の分け方は、「知っている。」と「知らない。」との2段階とするものである。次には、この両者の間に、中間的な段階(たとえば、「あいまい。」だとか、「よくわからない。」など。)を入れて、3段階とする。その次には、この中間的な段階を、あいまいな点はあるが、どちらかといえば知っているほうに傾いているようなものと、どちらかといえば知らないほうに近いものとに分けて、全体を4段階とすることも考えられる。さらに、5段階とか6段階とか、もしくは、それ以上多くの段階に分けることも、もちろん可能であるが、段階をいくら細かく分けてみても、その段階として示されている基準の説明を受け取り、一つ一つの語について、どの段階に該当するかを、内省によって判断するのは、ひとりひとりの児童なのであるから、細かくした結果はかえって混乱をおこしたり、受け取り方が違うために、全体

としては、細かくしないのと同様なことになりかねない。

そこで、この段階をいくつの段階に分けるかについては、2段階にするか、3段階にするか、あるいは、4段階にするかを問題として採り上げることにした。

これについて、「義務教育終了者に対する語彙調査の試み」（昭和25年度 国立国語研究所年報 所収）には、次のように述べてある。（用字・用語は原文のまま。）

記入法

(1) 知っているか、いないかについて次の符号をつける。

○ よく知っていていつも使っていると思う語

▽ 聞け
読め } ば意味が分ると思う語

△ 聞いた
読んだ } ことはあるが意味のはっきりしない語

× ぜんぜん分らない語

(2) 問題の語に、関係のある語を書き入れる。すなわち、意味、言い換え、反対語、同類語その他連想などによって思いついた語を書き入れる。

例 1) ○ カワ（川・河） 山 水 小川

例 2) ▽ ケンビ（兼備） 名 才色

例 3) △ カワウソ（川獺）

例 4) × ケンカ（鹼化）

（この記入法も印刷して被調査者に配布し、更に口頭で説明を加えて、調査の主旨、記入の態度、および記入法をのみこませた。）

理解の有無という点から言えば、符号は○と×だけでよいわけで

あるが、被調査者が、内省によって、理解しているか否かを自ら判断する場合、理解ということの性質から言って二者択一ではなかなか印がつけにくいことを考慮して、中間的な V と △ の符号を加えた。

次に、検査語彙^(い)に関連語を記入することを要求したのは、第 1 に理解が正しいか否かを検するため、第 2 に誤って印をつけることを防ぐため、第 3 に検査の単調を破り興味をつなぐため、第 4 に竹原の辞書（注：この調査では、竹原スタンダード和英辞典所載の見出し語を調査語とした。）にのっていない語を導く手掛りを得るため、の四つの理由による。

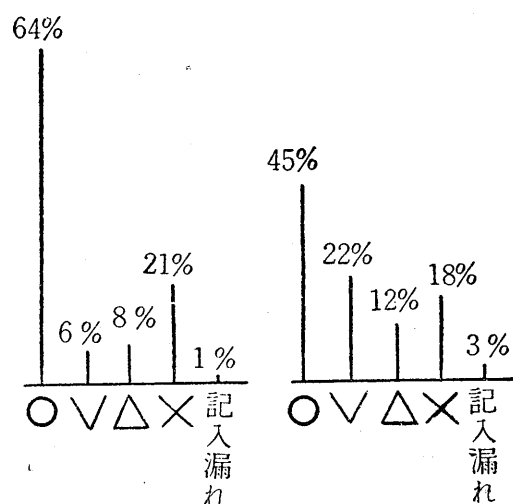
〔後 略〕

準備調査

〔前 略〕

○ V △ × の符号は 17 名とも使用したが、この使い方は右の通りである。

被調査者 A と B は、符号のつけ方に対する個性の相違をよく示している例である。○ V △ × という符号は一応理解の程度を段階別に表わしてはいるが、内省によってこれらの符号を被調査者自らがつけ



る場合、これらは客観的な理解の程度を必ずしも示すとは限らず、むしろ被調査者の性格によって、つけ方に相違が生ずるのであると思

われる。すなわち、被調査者Aは、理解の有無を内省する場合、ちゅうちょなく○×をつけ、√△は単なる補助符号という色彩が強い。Aの場合には、√△は無ければ無いでもそれほど支障をきたさないであろう。これに対して被調査者Bは、√△が○×と対等の資格で有用であり、これに依存することが大きい。つまり√と△とは理解の質を示すために必要なのではなく、被調査者の性格によって、印をつける際の便宜上ぜひ必要なのである。

〔以下省略〕

この国語研究所でおこなった調査は、義務教育終了者とあるように高等学校に新たに入学した者に対し、準備調査を6月に、本調査を7月～11月におこなったものである。ところで、われわれがおこなおうとしている調査は、小学校の第6学年の児童に対してであるので、はたして、児童が内省により4段階に分けて判断し、記入できるかどうかということが問題である。国語研究所の調査では、○√△×の各段階は、それぞれ理解の質、すなわち、程度の差を示すものとして説明し、それに従って該当する符号をつけることを要求しているが、あとの説明においては、「√と△とは理解の質を示すために必要なのではなく、被調査者の性格によって、印をつける際の便宜上ぜひ必要なのである。」と述べている。

これらの点について、懇談会において、じゅうぶんに検討した結果、一応、各段階は理解の質、すなわち程度の差を示すものであることをはっきりとさせて、4段階に分けて記入させることに

し、それに対応するような説明をして、前述のように昭和32年9月に東京都区内の小学校で事前の調査を実施してみた。その際、各段階について理解の度合いについて説明し、いろいろの角度から児童に対して質問してみたところ、個人個人によっていくぶんの違いはあるにしても、第1、第2、第3、第4の各段階に応ずる理解の程度を区別して判断することができるであろうということが推察された。もっとも、第2段階と第3段階とは、どちらにしてよいか、はっきりしないという者もあったが、第1と第2、および、第3と第4のそれぞれの段階間の区別は、はっきりとついていたように思われる。

以上のことについて、学習語調査協議会において慎重に検討した結果、懇談会の方針どおり、この調査では、段階は4段階に分け、かつ、第2・第3の段階を補助的なものとか、便宜的なものとか考えず、それぞれに、第1・第4の段階と対等の資格をもった段階として取り扱うことにした。

そして、理解の程度を示す度合いの基準としては、次のように説明することにした。

- | | |
|------|------------|
| 第1段階 | よく知っていることば |
| 第2段階 | だいたいわかることば |
| 第3段階 | ぼんやりわかることば |
| 第4段階 | 知らないことば |

以上のように決め、それぞれに、そのようなことばとはどんなことばであるかを説明した。（詳しくは、「調査の手びき」を参

照のこと。)

注 以上によって、昭和32年度の調査をしたのであるが、この説明には、いくぶんまぎらわしい点があるということであったので、昭和33年度の調査では、表現を少し改めた。(本書の第4部「児童・生徒の語い力の調査についての協議会における議事の要約」を参照。

§ 8 事前の調査について


内省法による調査が、はたして、小学校第6学年の児童に対しておこなうことができるかどうか、すなわち、理解の有無・程度を内省によってみずから判断し、それを所定の方法によって記入することができるかどうかを試み、また、その結果は信頼できるものであるかどうかを調べるために、前項で述べたように、昭和32年9月に、東京都区内の小学校で、次のような形式によって調査をおこなった。

	よく知っている。	だいたいわかる。	ぼんやりわかる。	知らない。
1	あばた(——づら)			
2	あなた(山の——に)			
3	あやふや(——な考え)			
22	いつくしむ			
23	じゃ(蛇)			
24	じそん(自尊)			
25	じゅうじゅん(従順)			

(B4判の用紙を横長に用い、1枚の紙の左側、右側にそれぞれ25語ずつ、計50語を配列した。総語数は200語、用紙は4枚である。)

すべての調査語を、ひらがな（もちろん現代かなづかいによる。）で示し、（ただし、外来語はカタカナで示した。）必要に応じてそのあとに（ ）に包んで、その語を漢字で示し、もしくは、その語を用いた短文・語句などを示した。

符号は、理解の程度によって、○▽△×を使い分けることは、児童にとってはまだむりであるように思われるし、また、使いまがいが生じやすいと思われるので、各段階に相当する四つの空欄を設け、いちりつに○印を該当欄へ記入するようにした。

信頼度をみるためには、国語研究所でおこなった調査のように、各語について、関連語を書かせるようにすることは効果的であると思われるが、調査に要する時間が多くなることや、児童の負担が大きくなるおそれがあるので、やむをえず割愛し、200語のうち、8語について、その語の意味なり、同義語なり、短文なりを書かせるようにした。（実際には、○印をつける欄の右側の欄に〔 〕としたが、ここでは、語頭に*印をつけて示した。）また、200語のうち、別の12語については、選択枝法による調査を、内省法の調査実施直後に、同一児童に対して実施した。

この事前の調査で提出した200語、および、選択枝法による調査の12語は次のとおりである。なお、この200語は国語研究所でおこなった「義務教育終了者に対する語彙調査の試み」（昭和25年実施）の問題（調査語）のなかから、適宜の枚数をとばして、問題用紙をはぐって出たページの最初に提出されている語を、所要の数だけ抜き出したものであり、小学校第6学年の児童に対する

調査語として精選されたものではない。各ページの最初の語が、動植物名や学習上取り扱うのがよくないと思われるような語であった場合には、2番めの語を採った。

事前の調査に提出した語

(語頭につけた*印はその語について、
意味・短文などを書かせたもの。)

1 あばた(——づら)	20 いちだい(一代)
2 あなた(山の——に)	21 いな(否)
3 あやふや(——な考え)	22 *いつくしむ
4 べっして(別して)	23 じゃ(蛇)
5 ぶいん(部員)	24 じぞん(自尊)
6 ちかめ(近目)	25 じゅうじゅん(従順)
7 ちょうらい(朝来)	26 かいだく(快諾)
8 だく(抱く)	27 かきくれる
9 どうき(同期)	28 かんじる(感じる)
10 えんぼう(遠望)	29 かりて(借り手)
11 ふうき(風紀の取締)	30 けいえい(警衛)
12 ふさん(不参)	31 けし(消し)
13 がん(胃——)	32 きんげん(謹厳)
14 ぎぎょうだい(義兄弟)	33 きぞく(貴族)
15 ぐっすり(——と眠る)	34 こんじ(今次)
16 はく(掃く)	35 くっぷく(屈服)
17 はした(——を切り捨てる)	36 まどう(魔道)
18 ひどう(非道)	37 みぬふり(見ぬふりをする)
19 ひっさげる	38 なだい(名代)

39	にんぷ (人夫)	65	ぐうすう (偶数)
40	おむつ (あかんぼうに——を)	66	はくあい (博愛)
41	ぱちくり (目を——する)	67	はしたない (——おこない)
42	ぱくぱく (——する)	68	ひどい
43	るふ (流布)	69	ひっさん (筆算)
44	さんしょう (参照)	70	いちだいじ (一大事)
45	せんだい (船台)	71	いな (異なことをうけたまわる)
46	しきり (仕切り)	72	いつわり (偽り)
47	しゅうがく (修学)	73	じゃ (邪)
48	たいぼく (大木)	74	じそんしん (自尊心)
49	とうけん (刀剣)	75	じゅうか (銃火)
50	やじ (——をとばす)	76	かいだめ (買いだめ)
51	あばれる	77	かきくわえる (書き加える)
52	あなた (——の本)	78	かんじょう (感状)
53	あやまち (——をする)	79	かりとじ (仮りとじの本)
54	べっしつ (別室)	80	けいえい (経営)
55	*ぶいん (無音)	81	けしいん (消印)
56	ちかみち (近道)	82	きんぎん (金銀)
57	ちょうれい (朝礼)	83	きぞめ (着ぞめ)
58	だくする (諾する)	84	こんじき (金色)
59	どうき (動機)	85	くら (倉)
60	えんぶ (演舞)	86	まどい (惑い)
61	ふうき (富貴)	87	みぬく (見抜く)
62	ふさんか (不参加)	88	なだかい (名高い)
63	がん (願をかける)	89	にんしき (認識)
64	ぎぎょく (戯曲)	90	おん (恩)

- | | | | |
|-----|---------------|-----|---------------|
| 91 | *パイ (——を食べる) | 117 | はしわたし (橋渡し) |
| 92 | パーマネント (ウェーブ) | 118 | ひどけい (日時計) |
| 93 | るい (類) | 119 | ひっせい (筆勢) |
| 94 | さんしょう (三唱) | 120 | いちだんと (一段と) |
| 95 | せんだって | 121 | いなびかり |
| 96 | しきりに | 122 | いつわる (偽る) |
| 97 | しゅうがく (就学) | 123 | じゃばら (写真機の——) |
| 98 | たいぶ (大部) | 124 | じっさい (実際) |
| 99 | とける (溶ける) | 125 | じゅうかん (重患) |
| 100 | やじる | 126 | かいだん (会談) |
| 101 | あばらほね (あばら骨) | 127 | かきまわす |
| 102 | あなうめ (穴埋め) | 128 | かんじょう (感情) |
| 103 | あやまり (誤り) | 129 | かりとる (刈り取る) |
| 104 | べっそう (別荘) | 130 | けいえん (敬遠) |
| 105 | ぶじ (無事) | 131 | けしかける |
| 106 | ちから (力) | 132 | きんごう (近郷) |
| 107 | ちょうり (調理) | 133 | きず (傷) |
| 108 | だくおん (濁音) | 134 | こんじょう (紺青) |
| 109 | どうき (銅器) | 135 | くら (馬に——を置く) |
| 110 | えんぶん (塩分) | 136 | まどかざり (窓飾り) |
| 111 | ふきあげる (吹き上げる) | 137 | みんよう (民謡) |
| 112 | ふさんせい (不賛成) | 138 | なだめる |
| 113 | がんばる | 139 | にんしょう (認証) |
| 114 | ぎまい (義妹) | 140 | おん (雄) |
| 115 | ぐうする (遇する) | 141 | *パイプ |
| 116 | はくぼ (薄暮) | 142 | パン (——を食べる) |

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 143 るい (墨) | 169 ひっせき (筆跡) |
| 144 さんしゅう (参集) | 170 いちどう (一同) |
| 145 せんでん (宣伝) | 171 いなだ (稲田) |
| 146 しきさい (色彩) | 172 いつぞや (——のことは…) |
| 147 しゅがん (主眼) | 173 *じゃぐち (水道の——) |
| 148 たいぶんすう (帯分数) | 174 じっせい (実勢) |
| 149 とける (問題が解ける) | 175 じゅうけい (重刑) |
| 150 やじん (野人) | 176 かいだん (怪談) |
| 151 あびる (浴びる) | 177 かきまぜる (かき混ぜる) |
| 152 アナウンサー | 178 かんじょう (勘定) |
| 153 *あやまる (誤る) | 179 かりゅうど |
| 154 *ベース | 180 けいふ (継父) |
| 155 ぶじん (武人) | 181 けしからぬ (——おこない) |
| 156 ちかう (誓う) | 182 きんごく (近国) |
| 157 ちょうりつ (調律) | 183 きづち (木づち) |
| 158 だくだく (汗が——出る) | 184 こんじょう (根性) |
| 159 どうき (心臓の——) | 185 くらばらい (蔵払い) |
| 160 えんちょう (延長) | 186 まどり (間取り) |
| 161 ふきぶり (吹降り) | 187 みんゆう (民有) |
| 162 ふうさつ (封殺) | 188 なだらか (——な坂) |
| 163 がんぼう (願望) | 189 にんしょう (人称) |
| 164 ぎめい (偽名) | 190 おん (音) |
| 165 ぐたいてき (具体的) | 191 *パジャマ |
| 166 はくぼく (白墨) | 192 パナマぼう (パナマ帽) |
| 167 はしょうふう (破傷風) | 193 るいかん (涙管) |
| 168 ひどり (日取) | 194 さんしゅつ (産出) |

195 せんど（先途）	198 たいぶつレンズ（対物レンズ）
196 しきしゃ（識者）	199 とける（結んだひもが——）
197 しゅうげき（襲撃）	200 やじゅう（野獣）

この事前の調査の結果は次のとおりである。

（a） 内省法による調査について。

- 調査人員 84名（2学級）
- 調査語数 200語
- 段階別の語数の集計は、すべて児童が記入した○印による。

第1段階を ①
 第2段階を ②
 第3段階を ③
 第4段階を ④

として示す。

- 集計は各段階ごとにしたが、理解度別の表には、①+②を理解している語とした。

（第1表）

段階	理 解 の 程 度	語数（延べ語数は 16,800語）	百 分 率
①	よく知っている語	8,398語	50.0%
②	だいたいわかる語	2,321語	13.8%
③	ぼんやりわかる語	2,733語	16.3%
④	知らない語	3,280語	19.5%
	記入もれの語	68語	0.4%

(第2表)

① よく知っている語	}	10,719語	63.8%
② だいたいわかる語			
② だいたいわかる語	}	5,054語	30.1%
③ ぼんやりわかる語			
③ ぼんやりわかる語	}	6,013語	35.8%
④ 知らない語			

(第3表)

理解している語が (①+②)	最高の者	190語
	最低の者	51語
	平均	127.6語

(第4表)

平均(1名あたり)

① よく知っている語	100.0語 (50.0%)
② だいたいわかる語	27.6語 (13.8%)
③ ぼんやりわかる語	32.5語 (16.3%)
④ 知らない語	39.0語 (19.5%)
記入もれの語	0.8語 (0.4%)

(第5表)

理 解 度	語 数	百 分 率
100 %	3 語	1.5 %
90 % 台	38 語	19.0 %

80 % 台	31 語	15.5 %
70 % 台	30 語	15.0 %
60 % 台	18 語	9.0 %
50 % 台	13 語	6.5 %
40 % 台	20 語	10.0 %
30 % 台	15 語	7.5 %
20 % 台	18 語	9.0 %
10 % 台	13 語	6.5 %
10 % 未満	1 語	0.5 %

説明：理解度が 100 % の語とは、その語について、84 名がそろって、第 1 段階、もしくは、第 2 段階に○印をつけている語である。理解度が 90 % 台の語とは、その語について、第 1 段階、もしくは、第 2 段階に○印をつけた者が、84 名中 75 名から 83 名あった語であり、以下同様にして、理解度が 10 % 未満の語とは、それが 84 名中 8 名以内であることを示している。

すなわち、たとえば、84 名がそろって第 1 段階、もしくは、第 2 段階に○印をつけた語は、200 語のうち 3 語あったことを示している。

このようにすれば、理解度が高い語は、たいていの者が知っている語、まずだれにでもわかる語であり、理解度が中程度の語は、おおぜいのなかには知っている者もあり、知らない者もある語であり、理解度が低い語は、知らない者が多い

語、たいていの者にはわからない語、換言すれば、わずかの者が偶然に知っている語であるといえることができる。

(第6表)

理 解 度	累 計 語 数	百 分 率
90 % 以上	41 語	20.5 %
80 % 以上	72 語	36.0 %
70 % 以上	102 語	51.0 %
60 % 以上	120 語	60.0 %
50 % 以上	133 語	66.5 %
40 % 以上	153 語	76.5 %
30 % 以上	168 語	84.0 %
20 % 以上	186 語	93.0 %
10 % 以上	199 語	99.5 %
10 % 未満	1 語	0.5 %

(第7表)

理 解 度 別 語 い 表

(理解度ごとに50音順に整理してある。)

100%の語 (3語)	90%台の語 (38語)	あばれる
アナウンサー		浴びる
感じる	あなた〔第2人称〕	一大事
近 道	あばら骨	一 同
		おむつ

恩

書き加える

かきまわす

借り手

がんばる

傷

貴族

金銀

ぐっすり

倉〔くら〕

実際

修学

宣伝

帯分数

大木〔たいぼく〕

だくだく〔汗が——
出る〕

力〔ちから〕

朝礼

名高い

人夫

パイプ

パジャマ

ぱちくり

パン

ひどい

日時計

不賛成

無事

見ぬふり

民謡

類〔るい〕

80%台の語
(31語)

穴埋め

あやふや

あやまち

誤り

一代

いつぞや

いなびかり

延長

塩分

音〔おん〕

買いだめ

会談

怪談

かりゅうど

感情

偶数

消し

けしからぬ

仕切り

しきりに

じゃ口

対物レンズ

近目〔ちかめ〕

とける〔ひもが——〕

解ける

パーマメント

白墨

部員

吹き上げる

別室

別荘

70%台の語
(30語)

誤る

一段と

遠望

かき混ぜる

刈り取る

がん〔胃——〕

感状

義兄弟

木づち

近国

くら〔馬の——〕

経営

けしかける

金色〔こんじき〕

産出

三唱

色彩

せんだって

大部〔たいぶ〕

誓う

調理

動機

刀剣

名代〔なだい〕

掃く

ぱくぱく

橋渡し

不参加

ベース

窓飾り

60%台の語

(18語)

あなた〔山の——〕

偽り

消印

根性

じゃ〔蛇〕

襲撃

船台

抱く

同期

銅器

溶ける

なだめる

なだらか

日取

筆算

間取り

見抜く

野獣

50%台の語

(13語)

稲田

着ぞめ

警衛

識者

重刑

濁音

どうき〔心臓の——〕

パイ

破傷風

別して

魔道

やじ〔をとばす〕

野人

40%台の語

(20語)

偽る

演舞

仮りとじ

願〔がん〕

勘定

願望

具体的

紺青

参集

参照

従順

朝来

パナマ帽

ひっさげる

筆跡

吹降り

武人

民有

やじる

罌

30%台の語
(15語)

あばた

かきくれる

義妹

自尊

自尊心

実勢

銃火

主眼

せんど〔先途〕

調律

はした

はしたない

非道

無音〔ぶいん〕

不参

20%台の語
(18語)

異な

おん〔雄〕

偽名

近郷

蔵払い

敬遠

今次

じゃ腹

就学

重患

認識

認証

博愛

筆勢

富貴〔ふうき〕

封殺

惑い

涙管

10%台の語
(13語)

否〔いな〕

快諾

戯曲

謹厳

遇する

屈服

継父〔けいふ〕

邪

諾する

人称

薄暮

風紀

流布〔るふ〕

10%未満の語
(1語)

いつくしむ

この語は印刷上の誤植で、「いつくしむ」となっていたので、はっきりしたことはわからない。

(第8表)

50音順の話しごとの理解度の表

(10~90はいずれも、それぞれ)
(10%台~90%台を示す。)

穴埋め	80	稲田	50	がん(胃——)	70
アナウンサー	100%	いなびかり	80	願(がん)	40
あなた(第2人称)	90	延長	80	感情	80
あなた(山の——)	60	演舞	40	感状	70
あばた	30	塩分	80	勘定	40
あばら骨	90	遠望	70	感じる	100%
あばれる	90	おむつ	90	がんばる	90
浴びる	90	恩	90	願望	40
あやふや	80	音(おん)	80	義兄弟	70
あやまち	80	おん(雄)	20	戯曲	10
誤り	80	快諾	10	傷	90
誤る	70	買いだめ	80	貴族	90
一代	80	会談	80	着ぞめ	50
一大事	90	怪談	80	木づち	70
一段と	70	かきくれる	30	義妹	30
一同	90	書き加える	90	偽名	20
いつくしむ	10%未満	かき混ぜる	70	金銀	90
いつぞや	80	かきまわす	90	謹厳	10
偽り	60	借り手	90	近郷	20
偽る	40	仮りとじ	40	近国	70
異な	20	刈り取る	70	偶数	80
否(いな)	10	かりゅうど	80	遇する	10

具体的	40	自尊	30	諾する	10
ぐっすり	90	自尊心	30	だくたく(汗が ——出る)	90
屈服	10	実際	90	誓う	70
倉	90	実勢	30	近道	100%
くら(馬の——)	70	じゃ(蛇)	60	近目	80
蔵払い	20	邪	10	力(ちから)	90
経営	70	じゃ口	80	朝来(ちょうらい)	40
警衛	50	じゃ腹	20	調理	70
敬遠	20	銃火	30	調律	30
継父(けいふ)	10	修学	90	朝礼	90
消し	80	就学	20	動機	70
消印	60	重患	20	同期	60
けしかける	70	重刑	50	銅器	60
けしからぬ	80	襲撃	60	どうき(心臓の——)	50
今次	20	従順	40	刀剣	70
金色(こんじき)	70	主眼	30	解ける	80
根性	60	船台	60	とける(ひもが——)	80
紺青	40	せんだって	70	溶ける	60
参集	40	宣伝	90	名代(なだい)	70
産出	70	先途(せんど)	30	名高い	90
三唱	70	大部(たいぶ)	70	なだめる	60
参照	40	対物レンズ	80	なだらか	60
色彩	70	帯分数	90	認識	20
識者	50	大木(たいぼく)	90	認証	20
仕切り	80	抱く	60	人称	10
しきりに	80	濁音	50	人夫	90

パーマネット	80	筆跡	40	別して	50
パイ	50	ひどい	90	別荘	80
パイプ	90	非道	30	惑い	20
掃く	70	日時計	90	魔道	50
博愛	20	日取	60	窓飾り	70
ぱくぱく	70	部員	80	間取り	60
薄暮	10	無音(ぶいん)	30	見抜く	60
白墨	80	富貴(ふうき)	20	見ぬふり	90
はした	30	風紀	10	民有	40
はしたない	30	封殺	20	民謡	90
パジャマ	90	吹き上げる	80	やじ(をとばす)	50
破傷風	50	吹降り	40	野獣	60
橋渡し	70	不参	30	やじる	40
ぱちくり	90	不参加	70	野人	50
パナマ帽	40	不賛成	90	類	90
パン	90	無事	90	墨	40
ひっさげる	40	武人	40	涙管	20
筆算	60	ベース	70	流布(るふ)	10
筆勢	20	別室	80		

(b) 内省法による調査に伴って、記入させた「わけ」などについて。

事前の調査に提出した 200 語中、「いつくしむ、無音(ぶいん)、パイ、パイプ、誤る、ベース、じゃ口、パジャマの 8 語については、その語の意味なり、その語を用いた短文・語句などを記入させた。もっとも、その語を知らない者に、これを書かせることは

できないので、第1段階か、第2段階へ○印をつけた者に限って記入させた。

記入された意味・短文などを整理してみると次のようになる。

いっくしむ

第1・第2段階に○印を記入したもの……7名(8.3%)

- | | |
|---|-----------------------------|
| { | 正答とみなすことができるもの……0 |
| | 誤答とみなすことができるもの……5名 例：・いつもなく |
| | ・くるしみ ・したしむ ・きちんとする ・いくつも |
| | 記入もれ……2名 |

注：この語は問題用紙で、「いっくしむ」と印刷されていたので、はっきりしたことはいえないが、このような、日常の話しことばに使われることが少ない和語系統の語は、一般に理解度が低いのではないかと思われる。これなども、「よく知っている」、「だいたいわかる」の欄へ印をつけた者はわずかに7名である。そして、少なくとも、その意味がだいたいわかっているはずなのに、実際は上に掲げたような意味に受け取っている。記入もれの2名も、はたして正しく理解しているかどうかわからない。

ぶいん(無音)

第1・第2段階に○印を記入したもの……31名(36.9%)

- | | |
|---|------------------------------|
| { | 正答とみなすことができるもの……0 |
| | 誤答とみなすことができるもの……27名 例：・音がしない |
| | ・音が出ない ・なっていない音 ・なにもいわない音 |

・へんな音 ・いらない音 ・きこえない音 ・音階に
ない音 ・むだな音 ・防音装置をして無音をなくす
記入もれ…… 4名

注：この語は話しことばとしても、書きことばとしても、普通には使われない。まず手紙文などに「……御無音に打ち過ぎ……」などと使われるのがせいぜいであろう。漢語であり、文語系統のものであって、理解度が低いのが当然と思われるのに、「よく知っている」、「だいたいわかる」の欄へ印をつけた者が31名もある。ところが、その意味についてみれば、正解と思われるものは1名もなく、全部が誤って理解をしていることがわかる。

これはどうしてであろうか。（ ）内の漢字に「無音」とある。この「無」も「音」も文字としては、いわゆる教育漢字であり、たいていの教科書では第5学年までに提出されている文字である。（教育漢字の学年配当では、「無」は第5学年に、「音」は第2学年に配当されている。）すなわち、児童は、「無」は「ない」という意味、「音」は「おと」という意味であることを知っている。ので、「ぶいん」ということばについて知っているかどうかを内省した場合に、「無」、「音」という、それぞれの漢字の意味を組み合わせて、「無音」という語の意味を作りあげたものではなかろうか。単に「無音」と書いてあれば、「ムオン」と読むこともでき、「ムオン」といえば、児童の書いた意味のなかにも正しいものもいくつかある。

パイ（ —— を食べる）

第1・2段階に○印を記入したもの……50名 (59.5%)

正答とみなすことができるもの……27名 例：・紙のようなものを重ねたおかし ・パンのようなものでパリパリしている ・フランスのおかしでケーキのようなもの
・おかし ・おかしの名前 ・ケーキの類 ・これはおいしいパイだ ・アップルパイはうまい ・リンゴが入ったもの ・パイナップルのおかし

誤答とみなすことができるもの……9名 例：・くだもの
・たべる ・のむもの ・パイナップルのこと ・果実の一種 ・なんパイたべる

正誤を判定しがたいもの……8名 例：・たべたことがある
・たべもの ・フランスのたべもの ・本などにつくり方がのっている

記入もれ……6名

注：外来語 —— というよりも、むしろ、まだ外国語というべきかもしれない。 —— であり、それほど一般的な語であるとも思えないが、前の2語に正答とみとめられるのが一つもなかったのに対し、「よく知っている」、「だいたいわかる」の欄へ印をつけた者も、全員の60%に近く、かつ、そのうち、正答とみとめられるものが半数を越えている。

これは、この調査をした学校が東京都区部の、旧市内近くの繁華街付近にある学校で、いわゆる恵まれた家庭の児童が多いためではあるまいか。

このような語はあとの、「パジャマ」とともに、生活環境の影響を強く受ける語であり、地域によって理解度に大幅な差が出るのではあるまいか。

パイプ

第1・第2段階に○印を記入したもの……78名 (92.9%)

正答とみなすことができるもの……67名 例：・たばこを
すうもの ・たばこをすうときつかうどうぐ ・きせる
・たばこをくずにしてすうもの ・きせるのようなもの
でたばこをすうもの ・たばこさし ・外国人がパイプ
をくわえている ・お父さんがパイプをくわえている
(ママ)
・中がからになった金属のかん ・鉄などのくだのよう
なもの

誤答とみなすことができるもの……2名 例：・たばこの
原料

正誤を判定しがたいもの……2名 ・えんとつ ・しんせ
きの人がもっている

記入もれ……7名

注：外来語としてのパイプには、(1)くだ(管)の意と、(2)たばこを
吸う西洋ふうのきせるのような道具、という二つの意味がある。

このどちらの意味に解しても、ともに正答とした。もっとも、(2)
の場合は、巻きたばこを吸うときに使う小型のものをさしている、
と解せられる答えもある。これは正しくはパイプとはいわず、シ

ガレットホルダーというべきであるとの説もあるが、世間一般には、いわゆる、シガレットホルダーをも含めてパイプといい、し
いて区別する場合には、本来のパイプのほうをマドロスパイプと
いっているのが普通であるので、ここでもそのように取り扱った。
また、単に、「きせる」というと、いわゆる「刻み」を吸う火ざ
らの小さいものをさすのが普通であるが、正答とみなしてもさし
つかえないと思う。

正誤を判定しがたいものの1例に、「しんせきの人がもってい
る。」とした者がある。これは、あるいは本人が確かに、その物を
知っており、こう書いたのかもしれないが、正答とみなすことは
多少むりではあるまいか。

あやまる(誤る)

第1・第2段階に○印を記入したもの……67名 (79.8%)

正答とみなすことができるもの……14名 例：・まちがう

・まちがえる ・失敗する ・まちがい ・ましがえる
(ママ)

誤答とみなすことができるもの……42名 例：・わびる

・ごめんという ・ごめんね ・ごめんなさい ・すみ

ません ・すまなかった ・ガラスをわって誤っている

正誤を判定しがたいもの……2名 例：・あやまちをとく

こと

記入もれ……9名

注：「あやまる」ということには大きく分けて、(1)まちがう、やり
そこなうという意の語と、(2)わびるという意の語との二つがあ

る。すなわち、同音異義語である。問題では、() 内に「誤る」と漢字で示してあるから、この場合の「あやまる」は、いうまでもなく、(1)の意である。「よく知っている」、「だいたいわかる」とした者は80%に近いが、そのなかで63%近くの者は、(2)の意味に受け取っているのである。

これは、日常の口ことばで、「あやまる」といえば、(2)の意味に使われるほうが多いのと、「誤」という漢字は、だいたい第6学年の教科書に提出されていることが多いのと（なお、学年配当でも第6学年に配当されている。）、この調査を実施した時が第2学期の初めであったのとで、完全に習得していないか、あるいは、まだ学習していなかったためではなかろうか。なお、() 内において、単に漢字を示すだけでだけでなく、短文を示したならば、結果はかなり違ったであろうと思われる。

ベース

第1・第2段階に○印を記入したもの……67名 (79.8%)

正答とみなすことができるもの……59名 例：・野球の時
走者がつくところ ・野球の塁 ・やきゅうのどうぐ
・やきゅうのしあいにつかう ・野球の1, 2, 3の塁
においてあるもの ・1塁 ・ランナーはベースをまわ
った ・楽器の仲間 ・おんがくのがっき ・ギターを
たてにしてもっとおおきいの

誤答とみなすことができるもの……2名 ・かけた
・運動会

し記入もれ…… 6 名

注：外来語であり，いくつかの意味に使われるが，児童にとって最も親しみ深いのは，やはり野球用語としてであろう。また，弦楽器の一種の名（ダブルベース，あるいは，コントラベースの略語。）として理解していた者もあるが，これは音楽の教科書で取り扱われたものであらうと思われる。土台とか，基礎とか，根拠地とかの意に解した者はひとりもなかった。

じゃぐち（水道の —— ）

第1・第2段階に○印を記入したもの……74名（88.1%）

正答とみなすことができるもの……60名 例：・水の出るところ
・水道の出るところ ・みずを出すせん ・出るくち
・水を出したりとめたりするもの ・ひねるところ
・じゃぐちをまわすと水が出る ・じゃぐちがこわれた
・じゃ口をひねると水が出る

誤答とみなすことができるもの…… 1 名

正誤を判定しがたいもの…… 4 名 例：・口 ・出口
・家にある

記入もれ…… 9 名

注：理解度が高く，まただいたいにおいて正しく理解している。正誤を判定しがたいとしたものも，あるいは，正しくその物を頭に思い浮かべていたのかもしれない。これも，もしも水道がなく，流水や井戸を利用しているような地方だったら，理解度はもっと低

いかもしれない。

パジャマ

第1・第2段階に○印をつけたもの……82名 (97.6%)

正答とみなすことができるもの……75名 例：・外国風の
ねまき ・外国のねまき ・ねまき ・ねるとききる洋
服 ・ねまきのようなものでそこにはいるとききる
・いっしゅのねまき ・ねるとききるもの ・上着とズ
ボンにわかれていたねまき ・あの人はパジャマをきて
いる

誤答とみなすことができるもの……0

正誤を判定しがたいもの……2名 ・きもの ・自分がき
ている

記入もれ……5名

注：意外なぐらい理解度が高く、かつ、正答率も高い。誤答とみなされるようなものはなく、正誤を判定しがたい2例にしても、おそらく、表現がふじゅうぶんなだけで、正しくその物を知っているのではないかと思われるほどである。しかしこれも東京都区部の比較的生活水準の高い家庭の児童が多い学校での調査の結果であって、地域によっては大幅な差がみられるのではあるまいか。

(c) 選択枝法の調査について。

選択枝法による問題は、内省法で実施した200語のなかから、

「はした」「従順」「ぱちくり」「諾する」「異な」「書き加える」「せんだって」「しきりに」「溶ける」「義妹」「不参加」「流布」の12語について、各四つずつの選択枝をつけた。なお、正答がわからない場合に、あて推量で、いいかげんな解答をするのを避けるための処置を講じた。この問題は次に示すとおりである。

この12語のなかには、小学校の第6学年としては、ほとんどだれも知らないであろうと思われるような語、ややむずかしいかもしれないと思われる語、だれにでもわかっていると思われるような語などを取りまぜてある。

選択枝法による調査語	その語の内省法による理解度	選択枝法による調査語	その語の内省法による理解度
は　し　た	30％台	せんだって	70％台
従　　　順	40％台	し　き　り　に	80％台
ぱ　ち　く　り	90％台	溶　け　る	60％台
諾　す　る	10％台	義　　　妹	30％台
異　　　　な	20％台	不　参　加	70％台
書き加える	90％台	流　　　　布	10％台

選択枝法による問題

四つならんでいるなかで、いちばん^{おも}あっていると思うものを一つえらんで、その^{ばんごう}番号を○でかこみなさい。わからないものは右^{みぎ}がわの□^{なか}の中に×をかきなさい。（☒ のように。）

1 は し た = $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ はんぶん} \\ \text{半分。} \\ 2 \text{ はるか} \text{ した} \\ \text{下のほう。} \\ 3 \text{ はんぱ。} \\ 4 \text{ はんたい} \\ \text{反対。} \end{array} \right\}$

2 従 順 = $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ すなお} \\ \text{なこと。} \\ 2 \text{ じゅんじょ} \\ \text{順序よく。} \\ 3 \text{ きそく} \\ \text{規則にしたがうこと。} \\ 4 \text{ すばしこい。} \end{array} \right\}$

3 ぱ ち く り = $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ くち} \\ \text{口をあいたりむすんだりするよ} \\ \text{うす。} \\ 2 \text{ いそ} \\ \text{急いであけようとするようす。} \\ 3 \text{ いきおい} \\ \text{よくもえるようす。} \\ 4 \text{ め} \\ \text{目をあいたりふさいだりするよ} \\ \text{うす。} \end{array} \right\}$

4 だく 諾 す る = $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ けつしん} \\ \text{決心する。} \\ 2 \text{ しょうち} \\ \text{承知する。} \\ 3 \text{ いらい} \\ \text{依頼する。} \\ 4 \text{ ほうこく} \\ \text{報告する。} \end{array} \right\}$

5 異 な = $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ ふたしか} \\ \text{な。} \\ 2 \text{ ゆかい} \\ \text{な。} \\ 3 \text{ へん} \\ \text{な。} \\ 4 \text{ あいまい} \\ \text{な。} \end{array} \right\}$

6 ^か書き^{くわ}加える = $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 書きそえる。} \\ 2 \text{ 書きちらす。} \\ 3 \text{ 書きなおす。} \\ 4 \text{ 書きかえる。} \end{array} \right\}$ ☐

7 せんだって = $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ さきにたって。} \\ 2 \text{ あした。} \\ 3 \text{ きのう。} \\ 4 \text{ このあいだ。} \end{array} \right\}$ ☐

8 しきりに = $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ なんでも。} \\ 2 \text{ なんべんも。} \\ 3 \text{ なんとなく。} \\ 4 \text{ なんだか。} \end{array} \right\}$ ☐

9 ^と溶^けける = $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ かたくなる。} \\ 2 \text{ つめたくなる。} \\ 3 \text{ ^{みず}水^{なか}の中にまじりこむ。} \\ 4 \text{ けんかをする。} \end{array} \right\}$ ☐

10 ^ぎ義^{まい}妹 = $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ ^{せいぎ}正義^{こころ}の心^{つよ}の強いもうと。} \\ 2 \text{ 正義の心の強いねえさん。} \\ 3 \text{ ^ぎ義理のいもうと。} \\ 4 \text{ 義理のねえさん。} \end{array} \right\}$ ☐

11 ふ 参 か 加 = { 1 なかまはずれになること。
2 ^{くわ}加わらないこと。
3 ^{かいぎ}会議など^でに出ること。
4 なかがわるくなること。 } ☐

12 ^る流 ふ 布 = { 1 ^{なが}ぬのが流れること。
2 ハンケチ。
3 ^{せ けん}世間にひろまること。
4 きものを^{あら}洗うこと。 } ☐

以上の選択枝法による調査の結果を、内省法による調査の該当する語の結果と関係づけながら、まとめると、次のようになる。

以下の表において、

①は内省法における第1段階を、

②は内省法における第2段階を、

③は内省法における第3段階を、

④は内省法における第4段階を、

それぞれ示すものとする。

また、(△)は内省法において、○印の記入もれを示す。

A表 各語別の内省法と選択枝法との関係

〔A1〕 4段階の場合

〔調査人員84名，以下同じ。〕

調査語	内省法	選 択 枝 法			調査語	内省法	選 択 枝 法		
	段階	正答	誤答	×をつけた者		段階	正答	誤答	×をつけた者
は し た	①	13	1		せ ん だ っ て	①	52	1	
	②	9	6	1		②	13		
	③	7	11	5		③	10	2	1
	④	10	10	10		④	4	1	
	(△)	1							
従 順	①	2	13		し き り に	①	49	5	2
	②		16	3		②	13	2	
	③	5	19	5		③	5	2	
	④		17	3		④	5	1	
	(△)		1						
ば ち く り	①	73	2	1	溶 け る	①	33		5
	②	2				②	15		
	③	3				③	9		2
	④	2	1			④	18		1
	(△)					(△)	1		
諾 す る	①	1	2	2	義 妹	①	16	1	2
	②	2	2	4		②	9	2	1
	③	9	6	5		③	23	4	2
	④	10	16	24		④	12	6	5
	(△)	1				(△)	1		
異 な	①	5	9	1	不 参 加	①	40	3	
	②	4	1	2		②	14	1	
	③	13	9	12		③	12	3	2
	④	8	8	12		④	6	3	
書 き 加 え る	①	65	6		流 布	①		2	1
	②	8				②	4	4	1
	③	3				③	7	11	2
	④	1	1			④	18	21	11
						(△)		2	

〔A2〕 2段階の場合

調査語	内省法	選 択 枝 法			調査語	内省法	選 択 枝 法		
	段階	正答	誤答	×をつけた者		段階	正答	誤答	×をつけた者
は し た	①+②	22	7	1	せ ん だ っ て	①+②	65	1	
	③+④	17	21	15					
	(△)	1				③+④	14	3	1
従 順	①+②	2	29	3	し き り に	①+②	62	7	2
	③+④	5	36	8					
	(△)		1			③+④	10	3	
ぱ ち く り	①+②	75	2	1	溶 け る	①+②	48		5
						③+④	27		3
	③+④	5	1			(△)	1		
諾 す る	①+②	3	4	6	義 妹	①+②	25	3	3
	③+④	19	22	29		③+④	35	10	7
	(△)	1				(△)	1		
異 な	①+②	9	10	3	不 参 加	①+②	54	4	
	③+④	21	17	24		③+④	18	6	2
書 き 加 え る	①+②	73	6		流 布	①+②	4	6	2
						③+④	25	32	13
	③+④	4	1			(△)		2	

〔A 3〕 3段階の場合

調査語	内省法	選 択 枝 法			調査語	内省法	選 択 枝 法		
	段階	正答	誤答	×をつけた者		段階	正答	誤答	×をつけた者
は し た	①	13	1		せ ん だ っ て	①	52	1	
	②+③	16	17	6		②+③	23	2	1
	④	10	10	10		④	4	1	
	(△)	1							
従 順	①	2	13		し き り に	①	49	5	2
	②+③	5	35	8		②+③	18	4	
	④		17	3		④	5	1	
	(△)		1						
ぱ ち く り	①	73	2	1	溶 け る	①	33		5
	②+③	5				②+③	24		2
	④	2	1			④	18		1
	(△)					(△)	1		
諾 す る	①	1	2	2	義 妹	①	16	1	2
	②+③	11	8	9		②+③	32	6	3
	④	10	16	24		④	12	6	5
	(△)	1				(△)	1		
異 な	①	5	9	1	不 参 加	①	40	3	
	②+③	17	10	14		②+③	26	4	2
	④	8	8	12		④	6	3	
書 き 加 え る	①	65	6		流 布	①		2	1
	②+③	11				②+③	11	15	3
	④	1	1			④	18	21	11
	(△)					(△)		2	

〔A4〕 2段階の場合

調査語	内省法	選択枝法			調査語	内省法	選択枝法		
	段階	正答	誤答	×をつけた者		段階	正答	誤答	×をつけた者
は し た	①+② +③	29	18	6	せ ん だ っ て	①+② +③	75	3	1
	④	10	10	10					
	(△)	1				④	4	1	
従 順	①+② +③	7	48	8	し き り に	①+② +③	67	9	2
	④		17	3					
	(△)		1			④	5	1	
ぱ ち く り	①+② +③	78	2	1	溶 け る	①+② +③	57		7
	④	2	1			④	18		1
						(△)	1		
諾 す る	①+② +③	12	10	11	義 妹	①+② +③	48	7	5
	④	10	16	24		④	12	6	5
	(△)	1				(△)	1		
異 な	①+② +③	22	19	15	不 参 加	①+② +③	66	7	2
	④	8	8	12		(△)	6	3	
書 き 加 え る	①+② +③	76	6		流 布	①+② +③	11	17	4
	④	1	1			④	18	21	11
						(△)		2	

B表 選択枝法および内省法による成績順位

84名中正答人数

順位は〔B2〕を基準とする。

〔B0〕 選 択 枝 法			〔B2〕 (2段階) ①, ②に ○をつけたもの。		
順位	調 査 語	正答者数	順位	調 査 語	正答者数
1	ぱ ち く り	80	1	ぱ ち く り	75
3	せ ん だ っ て	79	2	書 き 加 え る	73
2	書 き 加 え る	77	3	せ ん だ っ て	65
6	溶 け る	76	4	し き り に	62
4	し き り に	72	5	不 参 加	54
5	不 参 加	72	6	溶 け る	48
7	義 妹	61	7	義 妹	25
8	は し た	40	8	は し た	22
9	異 な	30	9	異 な	9
10	流 布	29	10	流 布	4
11	諾 す る	23	11	諾 す る	3
12	従 順	7	12	従 順	2
〔B1・B3〕 (4段階・3段階) ①に○をつけたもの。			〔B4〕 (2段階) ①, ②, ③に ○をつけたもの。		
順位	調 査 語	正答者数	順位	調 査 語	正答者数
1	ぱ ち く り	73	1	ぱ ち く り	78
2	書 き 加 え る	65	2	書 き 加 え る	76
3	せ ん だ っ て	52	3	せ ん だ っ て	75
4	し き り に	49	4	し き り に	67
5	不 参 加	40	5	不 参 加	66
6	溶 け る	33	6	溶 け る	57
7	義 妹	16	7	義 妹	48
8	は し た	13	8	は し た	29
9	異 な	5	9	異 な	22
12	従 順	2	11	諾 す る	12
11	諾 す る	1	10	流 布	11
10	流 布	0	12	従 順	7

C表 12語をまとめたものの内省法と選択枝法との関係

[C 1]

		選 択 枝 法				正答 %
		正答	誤答	×をつ けた者	計	
内 省 法	①	349	45	14	408	85.5
	②	93	34	12	139	66.9
	③	106	67	36	209	50.3
	④	94	85	66	245	38.4
	△	4	3	0	7	
	計	646	234	128	1,008	

正答 % $\begin{cases} \text{①} & 54.0 \\ \text{②} & 14.4 \\ \text{③} & 16.4 \\ \text{④} & 14.7 \end{cases}$

[C 3]

		選 択 枝 法				正答 %
		正答	誤答	×をつ けた者	計	
内 省 法	①	349	45	14	408	85.5
	② +	199	101	48	348	57.2
	③					
	④	94	85	66	245	38.4
	△	4	3	0	7	
	計	646	234	128	1,008	

正答 % $\begin{cases} \text{①} & 54.0 \\ \text{②} + \text{③} & 30.8 \\ \text{④} & 14.7 \end{cases}$

[C 2]

		選 択 枝 法				正答 %
		正答	誤答	×をつ けた者	計	
内 省 法	① +	442	79	26	547	80.8
	②					
	③ +	200	152	102	454	44.1
	④					
	△	4	3	0	7	
	計	646	234	128	1,008	

正答 % $\begin{cases} \text{①} + \text{②} & 68.5 \\ \text{③} + \text{④} & 31.1 \end{cases}$

[C 4]

		選 択 枝 法				正答 %
		正答	誤答	×をつ けた者	計	
内 省 法	① +	548	146	62	756	72.5
	② +					
	③ +	94	85	66	245	38.4
	④					
	△	4	3	0	7	
	計	646	234	128	1,008	

正答 % $\begin{cases} \text{①} + \text{②} + \text{③} & 84.8 \\ \text{④} & 14.7 \end{cases}$

説明

A表は、12語のおのおのについて、内省法において、各段階別の○印の数と、選択枝法における正答・誤答の数との関係をみたもので、四つの表に分かれている。

〔A1〕は、縦に内省法における4段階をとり、横に選択枝法の正答、誤答、×をつけた者の三つをとり、該当欄にそれぞれの人数を記入したものである。

内省法における集計・整理にあたっては、1語について、○印を2欄（もしくは、それ以上）に記入したものは、記入もれとして取り扱った。

この表によって、たとえば、「はした」という語についていえば、内省法では、第1段階（すなわち「よく知っている」の欄）に○をつけていて、選択枝法でも、正答をしている者は13名、誤答をしている者は1名ある、ということがわかる。

〔A2〕は、内省法における第1段階・第2段階、および、第3段階・第4段階をそれぞれまとめ、全体を二つの段階にまとめて選択枝法との関係をみたものである。

〔A3〕は、内省法における第2段階・第3段階をまとめて一つの段階とし、第1段階および第4段階とともに、全体を三つの段階として、選択枝法との関係をみたものである。

〔A4〕は、内省法における第1段階・第2段階・第3段階をまとめて一つの段階とし、第4段階とともに、全体を二つの段階として、選択枝法との関係をみたものである。

B表は12語を調査法、および、まとめ方（内省法における。）による成績の順位によって並べたものである。

〔B 0〕は、12語を選択枝法における成績の順位によって並べたものである。

〔B 1・3〕は、〔A 1〕および〔A 3〕に対応するもので、内省法において、第1～第4の各段階別、すなわち、各段階ごとにまとめたもの、および、第2・第3段階をいっしょにして、全体を三つの段階にした場合の第1段階（両方とも同一である。）に○印をつけた者で、しかも選択枝法で正答であったもの、（つまり、第1段階に○印をつけていても、選択枝法で誤答であった者を除いたものである。）を成績順に並べたものである。

〔B 2〕は、〔A 2〕に対応するもので、内省法において、第1・第2段階、および、第3・第4段階をそれぞれいっしょにして集計した場合の、第1段階、もしくは、第2段階に○印をつけたもので、しかも、選択枝法で正答であったものを、成績順に並べたものである。

〔B 4〕は、〔A 4〕に対応するもので、内省法において、第1段階・第2段階、および、第3段階のうち、いずれかの段階に○印をつけたもので、しかも、選択枝法で正答であったものを、成績順に並べたものである。

〔B 0〕～〔B 4〕の成績を示す順位は、〔B 2〕の順位を基準として、1番から12番までの順位を付けてある。

すなわち、〔B 2〕においてみるように、「ぱちくり」という語

に対し、「よく知っている（第1段階）」と答えた者と、「だいたいわかる（第2段階）」と答えた者の合計は、84名中75名あって、12語中第1位である。この「ぱちくり」という語は、内省法において、第1段階だけについてみても、第1・第2・第3の各段階を合計してまとめても、常に第1位を占めている。（〔B1・3〕および、〔B4〕を参照。）

また、選択枝法においても、正答は84名中80名で第1位である。次に、〔B2〕においてわかるように、「従順」という語は、「よく知っている」ものと、「だいたいわかる」ものとを合わせても、わずかに2名で、12語中の最下位である。この語は内省法における第1・第2・第3段階をまとめたものにおいても同じく最下位であるが、（〔B4〕参照。）第1段階だけについてみると、少し順位が上がって第10位となっている。しかし、選択枝法においては、やはり最下位である。

この〔B0〕～〔B4〕の各表を通じて、次のようなことがわかる。

- (a) 選択枝法によっても、内省法によっても、一つ一つの語についてみれば、その順位にいくぶんの違いが生ずるが、全体としてはたいした変わりはない。

つまり、至極当然のことながら、調査法や、まとめ方のいかんにかかわらず、やさしそうなことばは、やはり知っている者が多く、むずかしそうなことばは、知らない者が多い、という結果が出る。

(b) 内省法による第1・第2・第3・第4の四つの段階について、各段階ごとに集計しても、二つ、あるいは三つの段階をひとまとめにして集計しても、各語についての成績順位は、ほとんど変わらない。

(c) [B0], すなわち、選択枝法で、「書き加える」が第3位になっているのは、選択枝法のなかに「書きなおす。」というのがあり、これに○をつけたものがかなり多かったためである。しかも、この「書きなおす。」というのは、全然誤りであるとは言いきれないと思われる。また、「溶ける」の順位が上がっているのは、「かたくなる」「つめたくなる」「けんかをする」という他の三つの選択枝に比べて、「水の中にまじりこむ。」という選択枝が比較的容易に選択できたためではなかろうかと思われる。つまり、その語の意味をはっきりと知らなくても、選択枝をみれば、「これが正しいのだ。」ということが、おぼろげながらわかるような問題であったように思われる。

C表は、12語を語別でなしに、ひとまとめにして考え、内省法と選択枝法との関係をみたものである。

[C1], [C2], [C3], [C4] は、それぞれ, [A1], [A2], [A3], [A4] と対応するもので、すなわち、[C1]は、内省法において、①, ②, ③, ④の4段階別に、[C2]は、①+②, および、②+④の2段階に、[C3]は、①, ②+③, および、④の3段階に、[C4]は、①+②+③, および、④の2段階

に、それぞれまとめて集計したものである。

この表の見方は次のとおりである。([C 1] について説明する。)

- 選択枝法で、正答であった646名のうち、内省法では、①が349名、②が93名、③が106名、④が94名、記入もれが4名である。
- 内省法で、①に印をつけた408名のうち、選択枝法で正答者は349名、誤答者は45名、×印をつけた者（つまり、わからない者）は、14名である。
- そこで、内省法で、第1段階に○印をつけた408名に対する選択枝法での正答者の割合は85.5%であり、第4段階に○印をつけた者に対する選択枝法での誤答、および、×印をつけた者との割合は61.6%となる。
- 以上によって、ごくおおざっぱに言えば、内省法よりも選択枝法によるほうが、（もちろん、語によって差はあるにしても、）多少よい成績を示すのではあるまいか。これは、内省法で第4段階に○印をつけているにもかかわらず、（つまり、その語を「知らない」にもかかわらず。）選択枝法では正答となっているものが94もあることによってわかる。もっとも、逆に、内省法で第1段階に○印をつけているにもかかわらず、（つまり「よく知っている」にもかかわらず。）選択法では、誤答であったり、×印をつけていたり（つまり「わからない」。）するものが59もあるので、いずれにしても、はっきりと断定をくだ

すわけにはいかない。

。〔C 2〕～〔C 4〕についても同様である。

そこで、次に〔C 1〕を基準として、内省法と選択枝法の相関をみると次のようである。

前述したように、選択枝法が調査法として、どの程度信頼してよいかに問題があるとしても、今回の内省法とどのくらいの相関があるかをみることによって、その相対的な関係を知ることができるのではないか。このような観点から、まず、12語のそれぞれについて内省法の第1段階（よく知っている）に○印をつけた人数と、選択枝法で正答であった人数との相関をみた。

（被調査者84名）

	平 均	標準偏差	相関係数
内 省 法	34.0	24.5	0.856
選択枝法	53.5	25.1	

次に、各語について内省法の第4段階（知らない）に○印をつけた人数と、選択枝法で誤答の人数、および、×印（知らない）をつけた人数の合計との相関をみた。

	平 均	標準偏差	相関係数
内 省 法	20.4	16.1	0.758
選択枝法	29.9	24.8	

この結果によると、この12語については、内省法と選択枝法では、その成績に高い相関があると認められる。しかし、この結果から、直ちに、全体の200語、あるいは、年末に関東・東北で実

施した14,241語についても、この程度の相関があるとみることは避けなければならない。すなわち、時間的・技術的制約のため、小規模な事前調査をおこなうにとどまったので、この結果から、ただちに内省法と選択枝法との関係を論ずることは危険であるからである。けれども、成績のよい語（第1段階に○印が多かった語。）と、成績のわるい語（第4段階に○印が多かった語。）については、ある程度信頼してもよいのではないか。したがって、多人数に対して、大量の調査をして、その結果から、やさしい語とむずかしい語を、おおまかにとり出すような場合には、一つのめやすとして、第1段階と第4段階の成績を手がかりにすることもできるのではないかと考えられる。

§9 内省法による調査について

この調査では、前述のように、調査の方法として、いわゆる内省法を用いた。これは、このような大量の語い調査を多人数に対しておこなう場合には、これ以外の方法では技術的に不可能である。——つまり、実行できない。——というわけである。

この内省法による調査は、ちょっと考えると、どうも結果があやふやであり、信頼度がうすいように考えられがちであるが、はたしてどうであろうか。

このことについては、内省法以外の調査法、すなわち、選択枝法、組み合わせ法、作文法、完成法などによる調査の結果は絶対に確実であり、内省法による調査の結果だけが不確実だという前

提にたってはならないと思う。なぜなら、内省法以外の調査法、すなわち、選択枝法などによる調査の結果は、絶対に確実であり、信頼性が高いものであるという証明が、これまでにおこなわれていないからである。というのは、たとえば、選択枝法にしても、選択枝が二つならば、被調査者が、その内容を全く理解せず、いいかげんに選択したとしても、 $\frac{1}{2}$ はまぐれあたりになるということも考えられ、この調査（事前の調査）のように、四つある場合でも、 $\frac{1}{4}$ はまぐれあたりということも考えられる。すなわち、選択枝の数によって、結果は違ってくるわけである。また、どのような選択枝をつけるかということによって、結果はかなり違ったものになる。すなわち、ただ一つの正しいもの以外のすべての選択枝を全く見当違いのものにしておく場合は、かなり成績がよくなるものと思われ、正しいものにきわめてよく似たものや、迷いやすいものをつけておく場合はその成績は下がるであろう、ということは容易に推察されることである。

たとえば、次の、(A)と(B)とは、どちらの結果が成績がよくなるであろうか、容易に想像がつくであろう。

(A)	(B)
諾する { <ul style="list-style-type: none"> 1 決心する。 2 承知する。 3 依頼する。 4 報告する。 	諾する { <ul style="list-style-type: none"> 1 自転車に乗る人。 2 承知する。 3 いっしょうけんめいに勉強する。 4 重い荷物をもつ。

書き加える	1	書きそえる。	書き加える	1	書きそえる。
	2	書きちらす。		2	寄せ算をする。
	3	書きなおす。		3	消しゴムで消す。
	4	書きかえる。		4	本を読む。

この、(A)と(B)とは極端な例であるから、実際にはこのようなことはないであろうが、ともかく、選択枝法による調査であっても、その結果は、絶対的なものとはいえないのである。

そこで、いずれの調査法による調査であっても、その調査が、方法として無理なものでなく、問題自身に重大な欠陥を含んでいなければ、その結果は、その調査法による結果として、また、その問題による調査の結果として信頼すべきであり、内省法による調査もこの例にもれるものではない。

ただし、この内省法による調査は、これまでに小学校の児童に対して、世論調査のようなものを除いて、——世論調査の場合は「好きですか、きらいですか。」とか、「いいと思いますか、いけないと思いますか。」という発問が多い。——あまり実施されることがないので、内省法による調査に対して、児童が自分の理解度をみずから内省し、「よく知っている」「だいたいわかる」「ぼんやりわかる」「知らない」の4段階に分けて判断し、それぞれ該当する欄に○印をつける作業が、児童にとって、どの程度に可能であるか、また、その結果は、他の調査法の結果に比べて、どの程度に信頼できるものであるか、ということが懸念された。(もっとも、他の調査法の結果に比べての信頼度がわかって、絶対

確実に信頼しうるものであるということにはならない。)

そこで「§8 事前の調査について」の項で述べたように、東京都区内の小学校で、昭和 32 年 9 月に、事前の調査をおこない、200 語について、内省法によって調査をするとともに、うち、8 語については、意味・短文などを書かせ、また、12 語については、選択枝法によって調査し、それらの結果を内省法による調査の結果と比べてみた。

内省法による調査の結果は、すでにみたとおりであるが、現われた各語の理解度について検討してみると、まず、全体としてみれば、われわれの主観とほぼ一致しているということができよう。すなわち、ほぼ予想どおりの結果であるといえよう。

詳しくいうと、同音異義語についてみれば、語の意味によって——これを、問題用紙に提出された調査語についていえば、() 内に書き添えられている漢字や用例によって、——ほぼ、正常と認められる理解度を示しているものといえよう。〔36ページの第 8 表を参照。〕

たとえば、人称代名詞の「あなた」は 90 % 台、方向代名詞の「あなた」は 60 % 台であり、病気の「がん」は 70 % 台、願いごとの「がん」は 40 % 台を示しており、まず妥当な線であるといえよう。

次に、「かんじょう」という同音の 3 語についてみると、「感情」は 80 % 台、「感状」は 70 % 台、「勘定」は 40 % 台であり、ここに使われている感・情・状・勘・定の 5 字の漢字のうち、「勘」

だけが、いわゆる教育漢字ではない。かつ、児童の用語としては、「勘定」よりも、「計算」とか「数える」とかのほうが普通であろう。

次に「しゅうがく」という2語についてみると、「修学」は90%台、「就学」は20%台である。「修」も「就」もともに教育漢字であるが、「修学」のほうは、「修学旅行」という語の一部をなしており、「就学」に比べて、児童に、はるかに親しみ深い語（に関係のある語）であるといえよう。

次に、語の構成とか、意味とかの上で、似よりや関連があると思われる語を比べてみると、たとえば、「自尊」は30%台であり、「自尊心」も同じく30%台である。この二つの語は、どちらがやさしいとか、むずかしいとかいうものでもなく、また、「心」の有無によって「自尊」の意味がわかりやすかったり、わかりにくかったりするとも考えられないから、もしも、この2語の理解度に大きな差があれば問題である。

また、「じゃぐち」は80%台、「じゃ腹」は20%台を示している。これは、用例としては、それぞれ「水道のじゃぐち」「写真機のじゃ腹」とあるが、じゃ腹付きの写真機は近ごろ少なく、都会の第6学年の児童にとって、どちらが親しみの多いものかを考えれば、理解度にこの程度の差が生じることはむしろ当然ではあるまいか。

次に、「近国」の理解度は70%台、「近郷」は20%台を示している。一般社会における用語としては、「近国」よりも「近郷」

のほうが使用度・分布度が高いと思われるが、漢字についてみると、「近」も「国」も、低学年から中学年にかけて教科書面に提出されているが、「郷」は教育漢字ではない点を考えれば、この理解度の差はむしろ当然ではあるまいか。もっとも、さきに述べた事前の調査における「いつくしむ」とか「無音(ブイン)」などとかの語については、信頼しがたい点もなくはないが、これはこのような一般的でない語について、しかも、用例も添えずに提出した結果であるとみることができよう。すなわち、適切な用例を添えることによって、もう少し正しい結果を期待することができると思われる。そこで、たまたまこのような結果が現われたからといって、内省法による調査の結果全体が信頼できないものとみなすには及ばない。

以上のことによって、児童は、内省によって、その語を理解しているかどうか、また、その程度をみずから判断して、記入する作業に対して、じゅうぶんな判断力・能力をそなえており、かつ、実際にのぞんでは、1語1語について、添えてある漢字や用例などを手がかりとして、まじめに考え、まじめに判断し、正直に記入しているものとみなすことができる。

次に、選択枝法による調査の結果と、内省法による調査の結果を比較した場合に、すでにみたとおり、いくぶん誤差が生じていることは、やむを得ないことであり、また、ある程度の幅を認めなければならないにしても、少なくとも内省法による結果と、選択枝法による結果とは、それほど重大な差狂わせは生じていない

ことがわかった。

ただし、意味・短文を書かせたものにおいては、「よく知っている。」「だいたいわかる。」の欄に印をつけながら、まったく誤って理解している者や、正しくは理解していない者も、語によっては多少気になる程度にあることが、わかったが、これは、被調査者自身は、正しく理解しているものと信じて、それを正直に該当欄に記入しているものと認めるべきであろう。また、ためらいがちな感情から、あるいは、不注意に、もしくは、故意に、みずからの判断とは違った段階へ印を記入する場合も絶対にないとはいえない。

この2点は、内省法による調査の、いわば欠点ともいうべき点であるが、この欠点は多人数を対象として調査をすることによって、特定の語を除いては、全体の集計の結果には、それほど重大な影響を及ぼすものではないことがわかる。

なお、内省法による調査の信頼度については、「国立国語研究所年報」に次のような記述がある。

1 「国語学力標準設定に関する調査研究」

これは、学年を小学校の低学年、高学年、中学校、高等学校の4群に分け、各群ごとに200語余りの語いを提出し、理解の度合いによって、○▽△×の符号を、みずからの内省によってつけさせたものである。

○▽△×はどれだけ信頼されるか。

a. ○の総計は66508で、○をつけてはいるが実際の答が誤ってい

たのは 6837, すなわち, 10.3% だけはあてにならないことになる。

b. 低学年ではそれが 1.7% とか 1.8% であるが, だんだんと学年が進むとその比率が増す。すなわち低学年の方が信頼してよい。低学年ほど正直であるということになる。

c. 全然知らないとして×印をつけながら正答の出たものがある。それは, 小学校 1 年～6 年で 0.3% であって, この印はかなり信頼されるということになる。中間の∨と△の印の中の正答率については小学校 1 年～6 年で 31.5% と 17.7% である。このようにして○^(ママ)∨×の段階づけはでたらめでないということが分る。

〔昭和25年度・国立国語研究所年報 2, 85～86ページ〕

2 「義務教育終了者に対する語彙調査の試み」

(以下は準備調査(500語)の結果である。)

信頼度

整理の結果, この調査は, 次の点に問題のあることが分った。

(1) 知っているのに, △×をつける場合

この理由として, (a)文字の読み誤りのため (b)漢字が読めないため (c)単語の切り方が不完全なため (d)単語だけ出されるため (e)誤解のため (f)その他の不注意のため が考えられる。

(2) 知らないのに, ○∨をつける場合

この理由として, (a)誤解のため (b)不注意のため (c)その他の心理的原因のため, があげられる。

(1)の場合も(2)の場合も, この種の内省法による調査では, 多少とも, つきまとうことはやむをえないと思われる。もし被調査者が少数で

あるならば、これらの誤りは、相当大きく結果にひびいてくるわけであるが、被調査者にある程度の数確保出来れば、これらの間違いは最小限に食い止めることが出来ると信ぜられる。たとえば、17名が17名とも同じ誤りをおかすことは、ほとんどありえないことと思われるから、絶対的にやさしい語であるならば、多少の間違いがあろうとも、理解度のパーセンテージは上位に位するであろうし、絶対的にむずかしい語であるならば、同じく下位に位するであろう。特に、動揺する語は、知っているか、知らないかが、あいまいな中間の語の場合であるから、17名が17名とも知っている理解度100%の語、同じく17名とも知らない0%の語になると、相当に高い信頼度を示していると思われた。

〔昭和25年度・国立国語研究所年報 2, 99ページ〕

以上のようなわけで、内省法による調査の結果は、かなりの程度に信頼してよいものであるという結論に達したのである。

§ 10 調査語の選定

調査語とは、この調査において、児童・生徒に対し、知っているかどうか、知っているにしても、その程度はどれほどであるかを聞くために提出する一つ一つの語、もしくは、それらの語の集まりをいう。

調査語の選定の作業は、この調査のなかで、最も重要な、かなめとなる作業である。それだけに協議会においても、きわめて慎重な態度でこれにのぞいたのである。

学習上の利用を目的とした、あるいは、児童・生徒を対象とし

た語い調査の場合、最も普通におこなわれる方法は、現行の国語教科書を資料として用い、そのなかに使われている語を拾い集め、分布度と使用度とを考え合わせて調査語を決定していくのであるが、これについては、このような調査の目的の一つは、どういう語を教科書に用いるべきかを決定しようというのであるから、すでにできあがっている教科書を資料として用いるのは、方法が逆であるという説もある。しかし、国語教科書の著作者・編修者である人たちは、その道の研究者であり、実践家であるのが普通であるから、教科書の著作・編修にあたって、用字・用語については、それぞれ深い研究と考察に基づいて処理されていることと思われるので、教科書面に提出されている語いは、調査語としての適格性を多分にもっているものと考えてよいと思われる。また、調査の結果、それらの大部分の語の理解度が、ある程度以上の水準を示しているか、あるいは、予想どおりの理解度を示していれば、主観的なものが、客観的に証明されたことになるから、この方法が根本的にまちがっているというわけにはいかない。

次に考えられる方法は、国語辞典などの見出し語を調査語として利用する方法である。この場合、資料とする辞典をどれにするかは重要な問題となってくる。単に収録語数が大きいものを採るというわけにはいかない。一般に収録語数が多いという辞典は、日常普通に使われる生きたことばを多く含んでいるのではなくて、いわゆる古語・死語・俗語や、百科項目を多く含んでいるものを

さしているのである。そして、このような語は、この調査のための調査語としてはふさわしくないものが多い。すなわち、一般的にいて、従来の国語辞典はむずかしい語を調べるものという立場から、収録語いの取捨がおこなわれているのが普通であり、日常使われる語・平凡な語はあまり収録されていないのである。けれども、近ごろ新しく編修・出版されたものは、この点がかなり改められたようである。

以上、教科書を資料とするにしても、辞典を資料とするにしても、それらの資料に収録されていない語で、しかも、日常よく使われる重要な語——しかも、学習上取り扱うのがふさわしいと認められる語——が、多く残されていはいかないかということが問題となってくる。

これについては、教科書や辞典をも含めて、新聞・雑誌などのあらゆる記事、各種の読み物・放送・広告・会話など、広い範囲にわたる多くの資料を用い、たんねんに語を拾い集めていく必要があるが、この作業には、きわめて長い年月と、多くの人手と、大きな経費を必要とするので、現在のところでは、まず望みうすである。

そこで、このたびの調査における調査語の選定は、次のような手順で作業を進めていった。

● 第1次選定

昭和25年に国立国語研究所がおこなった「義務教育終了者に対する語彙調査の試み」〔これについて、詳しくは、「昭和25年度

国立国語研究所年報 2」の95ページ～107ページを参照のこと。]の結果を利用した。

この「試み」では、資料として竹原常太氏の「スタンダード和英辞典」に収載されているすべての見出し語（約4万語）を調査語として用い、中学校を卒業して高等学校に入学した生徒15名に対し、内省法により、4段階に分けて理解度を記入させている。

上のような調査において、被調査者が指示にしたがい、記入した符号によって、第1段階、および、第2段階を合わせて80%以上の理解度を示した語〔すなわち、15名中、12名以上が「よく知っていていつも使っていると思」った語、もしくは、「聞け^(い)読め^(ら)」ば意味が分ると思」った語〕を抜き出していった。

この結果は約25,000語となった。

なお、和英辞典には、一般的にいて、従来の国語辞典よりも日常語がより多く採録されているといわれている。「試み」において資料として用いられた竹原氏の和英辞典は、竹原氏が特にこの点に意を用いて編修したものである。しかし、これとても完全無欠のものとはいえないであろう。これについて、国語研究所の年報にも、「……現代日本語の生きた語彙^(い)を一応網羅^(ら)しているかどうかということは、和英辞典の性質として一応現代日本語の生きた語を採録してあるものと見て用いただけであって、この吟味は今後に残された問題である。」とある。

● 第2次選定

第1次選定の結果得られた約25,000語の1語1語について、下記の基準に照らして、取捨選択した。これは、この調査には、かなりの時間を要すると思われるので、できるだけむだを省き、必要最小限度の語について調査をしなければならないので、あまりにもやさしすぎる語、むずかしすぎる語、また、特殊な語や学習上取り扱うまでもない語などを省こうとしたのである。

調査の際に調査語から省く語の基準（第2次選定）

ただし、これは一応のめやすであって、個々の語については、別の基準からも検討を加えて取捨したので、実際の問題には、以下の条項に該当する語でも、調査語として提出したものもある。

A類：ごく平凡な語で、知っているかどうかを調べるまでもないと思われる語

- (1) 学齢前の幼児、低学年の児童でも、すでに知っていることがわかりきっているような語。

（例）おかあさん、水、パン、赤い、歩く

- (2) 擬声語・擬態語

（例）かんかん、きょろきょろ

- (3) ごく簡単な複合語

（例）みどり色、話し続ける、突き落とす

注：これは、複合語をかたちづくっている成分語が、それぞれにやさしい語であり、かつ、複合語としての意味が、単にそれぞれの成分語の意味をつないだもので、複合語として新

しい意味を生じていないものである。したがって、複合語として新しい意味をもっているような語、たとえば、「突き切る」「突き止める」などにはこの条項を適用しない。

(4) 数詞の一部

(例) 一本, 二度, 百年, 三千回, 四つ, 5m, 6l, 7割

注: これは(3)の特殊な場合と考えてもよい。これも助数詞の部分が、やさしいかむずかしいかによって取捨選択した。したがって、たとえば、「一兩日」とか「一泊」とかは調査語とした。また、「一」が添っていても、数の概念がうすい(または、ない)と認められる「一応」「一散」などには、この条項を適用しない。

B類: 特殊な用語

(1) 専門語・学術用語

(例) 鋸^{きよし}歯状, 頭状花序, 無機化学, 亜音速

注: ただし、「支点」「軟体動物」「公倍数」などのように、小学校でも、国語以外の他教科で、学習する必要があると思われる語の一部には、この条項を適用しない。

(2) 古典語・文語

(例) 社^{しゃそう}叢, 青道心, はべる, みまかる, 片敷く, なめげ, 助く, 呈す, 喜ばし

注: ただし、「すこぶる」「からくも」などのように、口語でも使われるような語の一部については、この条項を適用しない。

- (3) 当用漢字表に含まれている漢字では書き表わすことができず、かなで書いては意味がとりにくく、しかも、日常生活ではあまり使われないような語。

(例) ^{おうじょう}凹状, ^{ていかん}諦観, ^{かぎゅう}蝸牛, ^{へいゆう}弊邑, ^{ひょうびよう}縹 眇, ^{けいさい}荆妻, ^{へい}聘する,
^{へいぜん}炳然

- (4) 当用漢字表に含まれている漢字で書き表わすことができても、日常生活ではあまり使われないような語。

(例) 患家, 偽言, 奇効, 私鑄, 詩賦, 帰休

- (5) 辞書には見出し語として掲げられていても、それだけで使われる場合は少なく、主として連語・句などとして使われるような語。

(例) 水魚(の交わり), 月下(氷人), 明窓(^{じょうき}浄几), ^{こう}肯
^{けい}綮 (にあたる), 青雲 (の志)

〔注：(2), (3), (4), (5)は互いに関連し、重複するものが多い。〕

- (6) 方言

(例) ややこ, あかん, めっける, わりかた

- (7) 限られた社会で使われることば。

(例) 出花, ショバ屋

- (8) はやりことば・俗なことば

(例) 斜陽族, ニコヨン, アッパッパ, あじる

C類：語のなりたちや活用形からみて。

- (1) 複合語・接頭語・接尾語を伴った語の一部。

(例) 摘みためる, かがやきわたる, うちすぎる, 非協

力者、被保険者、不履行、半自動式

注：このような語をすべて省くというわけではない。はっきりとした基準はたてにくい[※]が、複合したことがはっきりしている語、接頭語・接尾語がついていることがはっきりしているような語で、日常語と認めにくいようなものを省いた。したがって、「打ち沈む」とか「非売品」とかにはこの条項を適用しない。

- (2) 「お」「ご」「み」などのついた敬語・ていねい語。（ただし、「おかず」「御覧」などのように慣用が固定しているものはこのかぎりではない。）

また、動詞に「れる」「られる」「せる」「させる」などのついた語、および、可能動詞。

（例） お休み、御旅行、み国、行かれる、閉じられる、
書かせる、受けさせる、書ける、歩ける

- (3) 動詞・形容詞から派生したとみられる語の一部

（例） あつかましさ、あつかましげ、ねむたさ、ねむた
げ、ねむたがる

注：これも取捨に際して、はっきりした基準はたてにくい[※]が、要するに調査語の数をなるべく少なくする必要上、この条項を設けたもので、個々の語については他の条件も考え合わせて取捨を決定した。

- (4) 動詞・形容詞などの終止形以外の活用形

（例）：行けば、立て、丸く

- (5) 名詞、その他の品詞に「する」がついた語、普通に漢字 2

字以上で書き表わされる漢語に「する」がついた語。(したがって、「愛する」「信ずる」「信じる」などを除く。) および、外来語(外国語)に「する」がついた語。

(例) お供する, 美しくする, がっかりする, 安心する, 正比例する, パンクする, リードする

注:たとえば,「愛」という名詞形で提出するか,「愛する」という動詞形で提出するかが,問題となる。また,「信ずる」か「信じる」かについても問題であるが,これらについては,画一的にせず,あるものは名詞形だけで,あるものは動詞形だけで,また,あるものは両方の形で提出した。「ずる」「じる」のついた形の語についても同様に処理した。

(6) ほとんどの助詞・助動詞・感動詞, および代名詞・副詞・接続詞の大部分。

(例) (省略)

D類: 固有名詞, 物品などの名まえ

(1) 地名・人名など

(例): 東京, ロンドン, 聖徳太子, リンカーン

(2) 地名・人名などを伴った複合語

(例) アメリカ人, 日本語, モンロー主義, 阪神工業地帯

(3) 動物・植物・鉱物などの名まえ

(例) くま, さくら, かこう岩

(4) 薬品・元素・化合物などの名まえ

(例) ヨードチンキ, 水素, りゅう酸銅

- (5) 機械・器具, 組織・制度, 飲食物・料理などの名まえの大部分。

(例) 月琴, ミーリング盤, 行政監察委員会, 文部省設置法, ソーダ水, 普茶料理, リキュール酒

E類: その他

- (1) いわゆる時局語 (過去においてはよく使われたが, 現在ではほとんど使われなくなった語, および, 近ごろ新しく使われだしたような語。)

(例) 共栄圏, 護送船団, 衣料, 人工衛星, ミサイル, オートメーション

- (2) 学習語として採り上げるのがふさわしくない語。

(例) 恋愛, 愛欲, 食い逃げ, その他下品なことばや, 性に関することば。

上記の基準を, 第1次の選定によって, 採録した25,000語の1語1語について, 総合的に適用して取捨選択した結果, 第2次選定によって得た語は約12,000語となった。

●第3次選定

第2次選定によって得た約12,000語と, 次に列挙する資料とを照合し, 第2次選定の際に用いた基準を適用しつつ, 調査語としてふさわしいと思われる語を2,000語余り採録した。

- 1 明解国語辞典改訂版 (三省堂発行)
- 2 例解国語辞典 (中教出版株式会社発行)

3 婦人雑誌の用語（国立国語研究所）

4 総合雑誌の用語（国立国語研究所）

このようにして、けっきょく、昭和32年度の調査における調査語の総数は、14,241語となったのである。

もっとも、この14,241語という数は、問題用紙の印刷の際、30語が誤植となり、集計・整理に際して省いたので、集計・整理した語数は14,211語である。〔詳しくは、本書の「第3部」を参照のこと。〕

もともと、この調査は、どういう語が学習語としてふさわしいのか、理解度の面から、その基準を作ろうとするのであるから、提出する調査語はなるべく多く、すべてをもうらしていることが望ましいわけである。といっても、今年度の調査対象は小学校第6学年であるから、ごく常識的にいって、学齢前の児童でも知っていることがわかりきっているようなやさしいことばや、その反対にきわめてむずかしい語、あるいは普通の辞書・語彙集などに見出し語としてのっていない動詞・形容詞などの終止形以外の活用形や、体言・用言に助動詞がついた形の語などは省くとしても、前述の「調査の際に調査語から省く語の基準（第2次選定）」によって省いた語のなかには、調査語としてふさわしいと思われる語もかなり含まれているわけである。

しかし、一方において、問題の作成、印刷の経費、用紙の配布、児童の負担、実施の時間、集計・整理に要する時間などの面からいえば、調査語数がふえればふえるほど、ますます大きな

り、困難となってくる。そこで、どうしても、できるだけ語数を少なくする必要があり、そのために、やむを得ず、上記のような基準を設けて、さしつかえのないかぎり省くことにしたのである。実際問題として、動植物名とか、固有名詞を伴った複合語、その他の商品名などについては、そのすべてをもうらすことは、もちろん不可能であるにしても、ある程度提出しておくことの必要はじゅうぶんに認められるのであるが、（もっとも、このような語を全く提出しなかったのではなく、ごくわずかではあるが提出してある。）それをどの範囲まで広げるかが問題となるし、このような語は、どの程度知っているのかということの判断がむずかしい。そして、学習上における指導の点からいえば、比較的に問題がないといえるので、あえて省いたのである。

また、漢字は2字以上を組み合わせ、多くの熟語を作ることができる。そこで、これも非常に多くの数に上がることが予想されるので、次のようにして、かなりの語を省くことにした。

たとえば、「以」についていえば、「以遠」「以往」「以外」「以前」……などのほかに、「以南」「以北」とも熟し、これと同等のものとして、「以西」「以東」というのもあるが、「以南」と「以北」を提出して、「以西」「以東」は省いてある。（しかし、すべて、東、西、南、北のつく語のうち、二つだけを提出したわけではない。）また、「類」についていえば、「衣類」「人類」「分類」などを提出し、「虫類」「獸類」などを省き、「親族」を提出し、「親類」を省いてある。

次に、信じる・信ずる、転じる・転ずるなどの「……じる」「……ずる」の問題については、ある語については、その両方を、ある語については、どちらか一方だけを提出してあるが、これは、どちらを標準語と認めるとか、どちらが正しいとかいう意味ではない。

「取調」と「取り調べる」のように、名詞形と動詞形の語についても、特に基準をたてず、適宜一方を省略した。また、調査語を名詞形で提出し、かっこ内の用例に動詞形として示したものも多い。

それから、同じ意味で（同じ漢字で書かれている）、ふたとおりの発音がある場合、すなわち、たとえば、「じょごん（助言）」と「じょげん（助言）」などについては、どちらか、優勢と認められているほうの形で提出したが、どちらとも定めにくい場合は、両方の形で提出してある。この場合も、提出してないほうの語が誤りだとか、不要だとかいうわけではない。

以上のことについて、また、調査語の配列のしかた、漢字の使い方などについて、詳しくは、第4部の、「児童・生徒の語い力の調査についての協議会における議事の要約」の「Ⅲ 問題用紙における調査語、および、用例等の表記について」の項を参照されたい。

なお、語い調査を実施するにあたっては、どういう単位を一つの語と認めるかということが、重要な問題となる。しかし、これはなかなかむずかしい問題で、まだ、定説がないようである。国

立国語研究所でおこなった「婦人雑誌の用語」および「総合雑誌の用語」についての語い調査においては、それぞれに「 α 単位」および「 β 単位」と名づける独自の基準を作って処理している。

このたびの調査にあたっては、この点について、それほど厳密に考えず、おおむね辞書にのせられている見出し語をそのままの形で調査語として提出したが、なかには、必要に応じ、いわゆる子見出しの語に相当するような複合語の形で、あるいは、接頭語・接尾語をつけた形で、提出したものもある。

§ 11 調査の年次計画

この調査は、昭和32年度に準備調査をおこない、以後、昭和33年度から、昭和35年度に至るまで、継続して実施する予定である。

(1) 昭和32年度

準備調査を実施した。この準備調査では、これまでにおこなわれた各種の調査、および、種々の資料に基づき、一定の条件・範囲内で、小学校の第6学年で、取り扱うのがふさわしいと認められる語を、かなり大幅に余裕をとって、14,241語選び出し、（調査語の選び出し方については、前述のとおりである。）その語について、関東地方・東北地方の小学校の第6学年の児童について調査を実施し、これによって、第6学年の児童にとって、むずかしすぎることは、やさしすぎることはの実態をつかみ、ふさわしいと認められることばを抜き

出した。

(2) 昭和33年度（予定）

以上の準備調査の結果に基づき、その理解度が著しく高かった語、および、著しく低かった語は、小学校の第6学年にとって、それぞれやさしすぎることば——すなわち、ほとんどだれでもよく知っていることば——および、むずかしすぎることば——すなわち、たいていの者がわからないことば——として省き、また、準備調査の際に、削除もれ、補充もれとなったことばを、それぞれ、削除、および、補充することによって、調査語数は、おおむね1万語前後となる見込みであり、これについて、小学校の第6学年に対して調査を実施する予定である。

(3) 昭和34年度（予定）

前年度の調査の結果に基づき、理解度の低い語を削除し、準備調査で理解度の高かった語、および、準備調査には含まれていないが、小学校の中学年の児童にふさわしいと思われる語を補充し、小学校の第4学年の児童に対して調査を実施する予定である。この場合の調査語数は現在の見込みでは、おおむね5,000語前後である。

(4) 昭和35年度（予定）

中学校第3学年の生徒について調査を実施する予定である。この調査においては、準備調査、ならびに、昭和33年度の調査において理解度が高かった語を削除し、準備調査にお

いて理解度が低かったために、昭和33年度の調査において削除された語のうちから、種々の条件を考慮して適当と思われる語を追加し、また、社会生活との関連を考慮して、その他の資料から、中学校で取り扱うのがふさわしいと認められる語を補充して、調査語を選定するが、この場合の語数は現在のところでは予定しがたい。

以上の4か年にわたる継続調査の結果を総合して、義務教育の期間における一貫した学習語の語い体系の基準を設定する基礎的資料を得ようとするものである。

§ 12 調査地点の決定

このような調査をおこなうにあたっては、全国各地方にわたって、まんべんなく、しかも、できるだけ多くの地域で実施すればよいのかもしれないが、これはむだでもあり、また、実施することはほとんど不可能である。普通、この種の調査には統計的处理がつきものであり、調査対象を、いわゆる抽出理論などによって抽出するのであるが、このたびの調査では、いろいろの制約があって、実施地域の決定に際して、そこまでできなかった。

そこで、地域の決定、学校、および、学級の選定については、すべてこれまでにこなわれたいろいろの調査の結果を利用することとし、児童については、ごく特別な者を例外として、一応全員ということにした。

まず、地域については、できるだけ限られた地域で、しかも、

その地域で実施した結果は、ほぼ全国の各地域にわたって実施した結果と同様なことになることが予想されるような地域でおこなうことをめやすとして選ぶことにした。

これについては、さる昭和23年8月に、全国的規模でおこなわれた「日本人の読み書き能力調査」の報告書に、次のような記述がある。

つぎの表で見るように、地域別の平均点および標準偏差は、読み書き能力に地域的な差のあることを明らかにしている。つまり、東北および九州とそれ以外の地域のとあいだに有意な差のあること、東北と九州とのあいだにも有意差があること、さらに、東北と全国とのあいだにも有意差があることが明らかである。

地 域	sample さんの数	平均点 1)	標準偏差
全 国	16,820	78.3	24.3
北 海 道	756	80.2	21.4
東 北	1,996	71.1	27.5
関 東	5,027	79.6	23.2
関 西	4,158	79.2	23.7
中・四国	2,315	80.6	22.9
九 州	2,568	76.4	26.4

1) 平均点は、
総得点を 100
点満点になお
して示したも
のである。

また、つぎの表
に示すように、90

点(満点)のうち80点(100点満点として88.9点)以上の得点者の割合(%)は東北以外では47.5~54.3%であるのに東北では36.8%である。sampleさん16,814人から random に sample した1,000枚ぬきについて調べた結論についても、全国で80点以上の得点者の割合は52.4%である。

以上によっても、東北とほかの地域とのあいだに有意差があるこ

とが明らかである。なお、満点率でも、東北とほかの地域とのあいだには有意差がある（ただし、北海道は sample さんが少ないために疑問である）。

「日本人の読み書き能力」341ページ：§6 結果の記述

§622 文化的要因 §622.0 地域から引用。

なお、「1,000枚ぬき」とは、16,814人のうちから、1,000人をサンプルとしてひきぬいたものをいう。全国のサンプルさんの数は表と説明とで、違っているが、これについては、同書の216ページ、§430 Sampling の項を参照のこと。

以上によって、この調査においては、読み書き能力の上で、地域の間には有意差があることが明らかにされた東北地方、および、九州地方と、これに対するものとして、他の2地方をとることにしたが、他の2地方については、地理的条件を考慮して、関東地方、および、中国地方をとった。（「日本人の読み書き能力調査」では中国地方・四国地方をひとまとめにしてあるが、この調査では四国地方を省いた。）そして、以上の4地方のうち、昭和32年度は、まず、東北地方と関東地方とで実施することにした。なお、その地方のうち、何県で実施するかということも問題になるが、これについては、この2地方に属するすべての都県、すなわち、東北地方では6県において、関東地方では1都6県において実施することにした。

このようにして、地域を決定したのであるが、次に地点の選定である。

これについては、語い力というものは、生活環境によってかな

りの差を生ずるものであるし、また、前記の「日本人の読み書き能力調査」の報告には、どのような条件からみても、市部と郡部との間には、能力にかなり著しい差のあることが明らかにされているし、また昭和31年9月に実施された「全国学力調査」—— 国語・数学 —— の報告書においても、

「大・中都市」に属する各地域は、いずれもよい成績を示しているが、なかでも「住宅地域」の学力の特に高いことが目立っている。

「大・中都市以外の市町村」のなかでは、「市街地域」の学力が最高に位置し、「鉱業地域」がこれに次いでいる、これに対して、「山村地域」は、特に学力の低い点で注目される。このような傾向は、小学校・中学校・全日制高等学校・定時制高等学校のいずれにも共通的にあらわれており、いわゆる都会の学力は高く、いなかへ行くほど悪くなるということを裏書きしている。〔「全国学力調査報告書 国語・数学 昭和31年度」253ページ〕

とあるように、市部と郡部とでは、学力に差のあることが明らかにされている。

もっとも、このことについて、同書では、以上に続けて、次のように述べている。

以上のべたような学力と地域類型との関係は、地域類型別にみた学力の実態を示すものであって、地域類型そのものが直接学力に影響を与える要因であることを示すものではない。学校規模の場合と同様に、直接学力に影響を与える諸条件が、地域類型の背後にあって、それが学力を向上させたり、低下させたりするように働き、そ

の結果として学力と地域類型との間に上述の傾向をもたらしたのである。

なお、いままでのべた学力と地域類型との関係は、学力と学校規模との関係とともに、全般的な傾向として理解すべきものであって、第52表〔表を省略する。〕を詳細にみるならば、多くの例外のあることに気が付くであろう。すなわち、「住宅地域」の成績がよいといっても、それは全体としてであり、また、平均点としてであって、「住宅地域」のなかにも、比較的成績のよくない学校が少からずあることは^(のが)見逃せない。同様に「山村地域」の成績は概して悪いが、そのなかにも、比較的成績のよい学校がかなり見受けられる。

そこで、この調査でも、市部と郡部との両方において、しかも、その間にかたよりがないように実施する必要を認めた。

なお、学力調査では、まず、「大・中都市」と「それ以外の市町村」に分け、その都市および市町村を、さらにそれぞれ、住宅・工業・商業・その他、および、市街・農業・山村・漁業・鉱業の各地区に分けてあるが、この調査では、調査の対象校の数が少ない（61校）ので、それほど細かく分類しなかった。

すなわち、東京都の区部、および、仙台市の旧市内を「大都市」とし、それ以外の、東京都を除く人口「25万～5万」の諸都市を「中・小都市」とし、これは、該当する諸都市の中からくじびきで20都市を決めた。町村については、「農・山・漁村」として一括し、上記のくじびきで決定した20都市に隣接する郡部にある町村

とし、郡名だけを当方で指定し、具体的な町村（にある学校）は当該各教育委員会に選定を依頼した。

以上のようにして決定した具体的な調査地点は次のとおりである。

都 県	都 市	郡 部	都 県	都 市	郡 部
青 森	弘 前	南 津 軽	茨 城	北 茨 城	久 慈
	八 戸	三 戸	栃 木	足 利	足 利
岩 手	釜 石	上 閉 伊		佐 野	下 都 賀
	花 巻	和 賀	群 馬	前 橋	勢 多
宮 城	仙 台			高 崎	群 馬
	古 川	遠 田	埼 玉	川 口	北 足 立
秋 田	秋 田	河 辺		熊 谷	大 里
	能 代	山 本	千 葉	船 橋	千葉 東葛飾
山 形	山 形	東 村 山			
	米 沢	東 置 賜	東 京	23 区 内	
福 島	勿 来	石 城			
茨 城	下 館	真 壁	神奈川	鎌 倉	足 柄 上

§ 13 調査校の選定

調査校の選定については、次のようにした。

前項でふれたように、「全国学力調査報告書 国語・数学 昭和31年度」には、都市と農・山・漁村との学力の関係を明らかにするとともに、学校規模と学力との関係を明らかにしている。す

なわち、

この表〔注：表は省略する。〕によれば、おおよその傾向として、学校規模の小さい方では、学校平均点の点数階級は低い方に学校の分布が多く集まり、学校規模が大きくなるにつれて、点数階級の高い方に学校の分布が移って行くことがわかる。これは、小学校と中学校とに、同じようにあらわれている。この傾向は、各規模における平均点第11図〔省略する。〕に、一層明瞭^(りよう)にあらわれている。すなわち、各規模における学校の分布を平均点によって代表させるならば、学校規模の拡大にともなって、学力が向上する傾向を、ひじょうにはっきりとつかむことができる。しかも、この学力の上昇する傾向には、小・中学校とも、ほとんど例外がみとめられないようである。

〔中略〕

このような学力と学校規模との関係を、相関係数によって示せば、小学校では、 $+0.33$ 、中学校では、 $+0.51$ となっている。この数字をどう解釈するかには問題があるが、学力と学校規模との間には、ある程度の相関関係があるということが出来る。そして、小学校と中学校とでは、中学校の方が、関係の度合の強いことがわかる。

以上のべたところは、数字にあらわれた結果を解説したものであって、これをそのまま受け取ることが出来るかどうかは、なお、十分検討してみる必要があるが、特にここで留意しなければならないのは、次の二点である。

(1) 学校規模が大きくなると平均点が高いという関係は、大体の傾

向としていえることであって、両者の関係が完全に一致していることではない。すなわち、一つは、相関係数が $+0.33$, $+0.51$ というような数字で、 $+1$ とはなっていないことによって、そのことを理解することができる。(相関係数 $+1$ のとき、両者が完全に一致したことを意味する)。もう一つには、第51表 a, b〔表を省略する。〕に明らかなように、学校規模の小さいところにも、点数の高い学校があり、また学校規模の大きいところにも、点数の低い学校があることによって、そのことを理解することができる。要するに、学校規模が大きくなれば、学力が向上するというのは、全般的な傾向であって、学校を個別にみるならば、この例外となる学校が相当あるといえる。

- (2) 学校規模が大きくなると学力が向上するという関係は、現象としてあらわれた結果であって、学力を向上させた原因のすべてが学校規模であるということを意味してはいない。「まえがき」の項でものべたように、学力に影響を与える条件は、学校規模以外にもあるはずであり、学校規模別の分類のなかに、他の条件がまじっていることが考えられる。したがって、相関係数 $+0.33$, $+0.51$ は、純粹の学校規模だけがもたらしたものではなく、他の条件による影響も加わっていることを看過してはならない。したがって、学校規模別に分類した結果は、学校規模が大きくなるにしたがって学力が向上しているということはいえても、学力を向上させるためには、学校規模を大きくすればよいとはただちにいえないのである。〔報告書 244～248ページ参照。〕

とあるところによって、ごくおおざっぱではあるが、在籍児童数

が700名～800名程度の学校が、だいたい全国平均の成績を示すことが多く、児童数がこれより少ない学校は全国平均より低く、多い学校は高いということを前提として、この調査では、やはり統計的処理による標本抽出は省略し、学校規模の大小によって選ぶことにした。

また、学校数であるが、これは、次に「調査の手びき」で詳しく述べてあるように、調査に際しては、14,241語の問題ひとそろいを1学級に対して割り当て、その学級の児童全員で分担しておこなうので、まず、所要の学級数〔つまり、これは同じ1語について、何名に対して調査するかということになる。〕から決定していった。この学級数の決定については、集計・整理の面からも考えて、大都市、中・小都市、農・山・漁村のそれぞれについて50学級、計150学級〔つまり、同じ1語を150名について調査することになる。〕とした。

以上の方針によって、具体的な学校の選定は、文部省から次のとおり所要の条件等を示して、各都県教育委員会に依頼した。

(1) 東京都教育委員会に対するもの。

(a) 東京都23区内にある小学校で、なるべく住宅地区と商工業地区とにわたるように選んでください。

(b) 普通の公立小学校で、この調査に積極的に協力してもらえるような学校であることを希望します。

(c) 学校数等は次のとおりです。

第 6 学年の在籍児童数が 200 } ……… 5 校 (計 20 学級)
名前後で, 4 学級ある学校。

第 6 学年の在籍児童数が 150 } ……… 4 校 (計 12 学級)
名前後で, 3 学級ある学校。

第 6 学年の在籍児童数が 100 } ……… 4 校 (計 8 学級)
名前後で, 2 学級ある学校。

(2) 宮城県教育委員会に対するもの。

(a) 下記の都市・郡部にあり, その都市・郡部の特性を反映して
いるような学校を選んでください。

(b) 普通の公立小学校で, この調査に積極的に協力してもらえる
ような学校であることを希望します。

(c) 学校数等は次のとおりです。

・仙台市 (旧市内) にある学校で,

第 6 学年の在籍児童数が 200 } ……… 1 校 (4 学級)
名前後で, 4 学級ある学校。

第 6 学年の在籍児童数が 150 } ……… 2 校 (計 6 学級)
名前後で, 3 学級ある学校。

・古川市にある学校で,

第 6 学年の在籍児童数が 150 } ……… 1 校 (3 学級)
名前後で, 3 学級ある学校。

・遠田郡にある学校で,

第 6 学年の在籍児童数が 150 } ……… 1 校 (3 学級)
名前後で, 3 学級ある学校。

または,

第 6 学年の在籍児童数が 100 } ……… 計 2 校 (計 3 学級)
名前後で 2 学級ある学校, お
よび, 在籍児童数が 50 名前後
で, 1 学級の学校を各 1 校。

(3) 東京都, および, 宮城県以外の関東・東北地方の各県教育委員
会に対するもの。

(a) 下記の都市・郡部にあり、その都市・郡部の特性を反映しているような小学校を選んでください。

(b) 普通の公立小学校で、この調査に積極的に協力してもらえるような学校であることを希望します。

(c) 学校数等は次のとおりです。

・ ㉠ 市にある学校で、

第 6 学年の在籍児童数が 150 名前後で、3 学級ある学校。} …… 1 校 (3 学級)

・ ㉡ 市にある学校で、

第 6 学年の在籍児童数が 100 名前後で、2 学級ある学校。} …… 1 校 (2 学級)

・ ㉢ 郡にある学校で、

第 6 学年の在籍児童数が 150 名前後で、3 学級ある学校。} …… 1 校 (3 学級)

または、

第 6 学年の在籍児童数が 100 名前後で 2 学級ある学校、および、在籍児童数が 50 名前後で、1 学級の学校を各 1 校。} …… 計 2 校 (計 3 学級)

・ ㉣ 郡にある学校で、

第 6 学年の在籍児童数が 100 名前後で、2 学級ある学校。} …… 1 校 (2 学級)

または、

第 6 学年の在籍児童数が 50 名前後で、1 学級の学校 } …… 2 校 (計 2 学級)

注：以上の ㉠、㉡、㉢、㉣ の部分へは、それぞれに具体的地名を記入した。地名については、91 ページの表を参照のこと。

以上を一覧表にまとめれば、次のようになる。

調 査 地 点	学 級 数	計
大 都 市	東 京 都 (区 部) 40学級	50学級
	仙 台 市 (旧市内) 10学級	
中 ・ 小 都 市 (人口5万～25万の20都市)	10 都 市 30学級	50学級
	10 都 市 20学級	
郡 部 (原則として上記の中・ 小都市に隣接する地区)	10 郡 部 30学級	50学級
	10 郡 部 20学級	
計		150学級

§ 14 調査を実施した学校(名簿)

前項に掲げた選定の条件にしたがって、各都県の教育委員会から、次の61校が調査校として選定・推薦され、これらの学校で調査を実施した。

所 在 地	学 校 名	実施学級数
青森県弘前市	第三大成小学校	3
八戸市	小中野第二小学校	2
南津軽郡平賀町	新屋小学校	2
南津軽郡尾上町	猿賀小学校	1
三戸郡田子町	田子小学校	2
岩手県釜石市	釜石小学校	3
花巻市	笹間第一小学校	2

上閉伊郡大槌町	大 槌 小 学 校	3
和賀郡和賀町	横 . 川 目 小 学 校	2
宮城県仙台市	北 六 番 丁 小 学 校	4
仙台市	東 二 番 丁 小 学 校	3
仙台市	国 見 小 学 校	3
古川市	古 川 小 学 校	3
遠田郡田尻町	沼 部 小 学 校	2
遠田郡南郷町	練 牛 小 学 校	1
秋田県能代市	淳 城 第 二 小 学 校	3
秋田市	川 尻 小 学 校	2
山本郡八竜村	浜 口 小 学 校	2
山本郡八森町	観 海 小 学 校	1
河辺郡雄和村	川 添 小 学 校	2
山形県米沢市	北 部 小 学 校	3
山形市	山 形 第 八 小 学 校	2
東置賜郡赤湯町	赤 湯 小 学 校	3
東村山郡天童町	蔵 増 小 学 校	2
福島県勿来市	勿 来 第 三 小 学 校	2
石城郡小川町	小 川 小 学 校	2
茨城県下館市	大 田 小 学 校	2
下館市	伊 讃 小 学 校	1
北茨城市大津町	大 津 小 学 校	2
真壁郡真壁町	真 壁 小 学 校	3
久慈郡大子町	大 子 小 学 校	2

栃木県足利市	千 歳 小 学 校	3
佐野市	犬 伏 小 学 校	2
足利郡御厨町	御 厨 小 学 校	3
下都賀郡岩舟村	岩 舟 小 学 校	2
群馬県前橋市	元 総 社 小 学 校	3
高崎市	佐 野 小 学 校	2
勢多郡粕川村	粕 川 小 学 校	3
群馬郡群南村	滝 川 小 学 校	2
埼玉県川口市	青 木 北 小 学 校	3
熊谷市	南 小 学 校	2
北足立郡吹上町	吹 上 小 学 校	3
大里郡豊里村	豊 里 西 小 学 校	2
千葉県船橋市	西 海 神 小 学 校	3
東葛飾郡流山町	新 川 小 学 校	2
千葉郡八千代町	阿 蘇 小 学 校	1
東京都江戸川区	西 小 岩 小 学 校	4
練馬区	開 進 第 三 小 学 校	4
中央区	月 島 第 一 小 学 校	4
大田区	久 原 小 学 校	4
北区	王 子 第 一 小 学 校	4
千代田区	番 町 小 学 校	3
世田谷区	多 聞 小 学 校	3
新宿区	津 久 戸 小 学 校	3
台東区	金 龍 小 学 校	3

荒川区	真 土 小 学 校	2
港区	芝 浦 小 学 校	2
杉並区	杉 並 第 十 小 学 校	2
目黒区	原 町 小 学 校	2
神奈川県鎌倉市	稲 村 ケ 崎 小 学 校	2
足柄上郡開成町	開 成 小 学 校	2
	計	61校 150学級

§ 15 調査の実施

次に示すひな型(104ページ参照。)のような問題用紙 (B 4 判) を用い、各学級ごとに、教室でいっせい調査によって実施した。〔実施の具体的な方法、その他の注意事項などについては、「調査の手びき」(106ページ以下)を参照のこと。〕

なお、この「調査の手びき」は、各調査者にあらかじめ配布しておき、かつ、調査実施の打ち合わせ会において、本省から出向いた者が、これに基づいてさらに詳しい説明をおこない、どの学級においても、できるだけ等しい方法で調査が実施されるようにした。

打ち合わせ会の会場と開催日時、および、参加校は次のとおりである。

〔弘前会場〕

場 所：弘前市立第三大成小学校

日 時：昭和33年 1 月 20 日

参加校：第三大成小学校，猿賀小学校 } 青森県
新屋小学校 }

〔八戸会場〕

場 所：八戸市立小中野第二小学校

日 時：昭和33年1月18日

参加校：小中野第二小学校，田子小学校 } 青森県

〔釜石会場〕

場 所：釜石市立釜石小学校

日時：昭和33年1月20日

参加校：釜石小学校，大槌小学校 } 岩手県

〔花巻会場〕

場 所：花巻市立笹間第一小学校

日 時：昭和33年1月18日

参加校：笹間第一小学校，横川目小学校 } 岩手県

〔秋田会場〕

場 所：秋田市立川尻小学校

日 時：昭和33年1月18日

参加校：川尻小学校，川添小学校 } 秋田県

〔能代会場〕

場 所：能代市立淳城第二小学校

日 時：昭和33年1月20日

参加校：淳城第二小学校，浜口小学校 } 秋田県
観海小学校 }

〔仙台会場〕

場 所：仙台市立北六番丁小学校

日 時：昭和33年1月20日

参加校：北六番丁小学校，古川小学校
東二番丁小学校，沼部小学校
国見小学校，練牛小学校

宮城県

〔山形会場〕

場 所：山形市立山形第八小学校

日 時：昭和33年1月18日

参加校：山形第八小学校，蔵増小学校} 山形県

〔米沢会場〕

場 所：米沢市立北部小学校

日 時：昭和33年1月17日

参加校：北部小学校，赤湯小学校} 山形県

〔勿来会場〕

場 所：勿来市立勿来第三小学校

日 時：昭和33年1月18日

参加校：勿来第三小学校，小川小学校} 福島県

〔水戸会場〕

場 所：茨城県立水戸第二高等学校

日 時：昭和33年1月18日

参加校：大田小学校，真壁小学校
伊讃小学校，大子小学校
大津小学校

茨城県

〔佐野会場〕

場 所：佐野市立犬伏小学校

日 時：昭和33年1月21日

参加校：犬伏小学校, 御厨小学校 } 栃木県
千歳小学校, 岩舟小学校 }

〔前橋会場〕

場 所：前橋市立元総社小学校

日 時：昭和33年1月20日

参加校：元総社小学校, 粕川小学校 } 群馬県
佐野小学校, 滝川小学校 }

〔東京会場〕

場 所：文部省第1会議室

日 時：昭和33年1月13日

参加校：青木北小学校, 吹上小学校 } 埼玉県
熊谷南小学校, 豊里西小学校 }

西海神小学校, 阿蘇小学校 } 千葉県
新川小学校 }

稲村ヶ崎小学校, 開成小学校 } 神奈川県

西小岩小学校, 津久戸小学校 }
開進第三小学校, 金龍小学校 }
月島第一小学校, 真土小学校 } 東京都
久原小学校, 芝浦小学校 }
王子第一小学校, 杉並第十小学校 }
番町小学校, 原町小学校 }
多聞小学校, }

問 題 用 紙 [ひ な 型]

学校名

		1	2	3	4
6251	しっそ (質素)				
6252	しっと (——の心)				
6253	しっふう (疾風)				
6254	じつりょく (実力)				
6255	しでん (市電にのる)				
6256	しとやか (——に歩く)				
6257	じなり (地鳴り)				
6258	じにん (天才だと自任する)				
6259	じはく (自白する)				
6260	じひ (慈悲の心)				
6261	じふ (自負)				
6262	じぶん (時分)				
6263	しぼう (志望の学校)				
6264	じまく (字幕)				
6265	しみでる (紙の上に——)				
6266	しめす (示す)				
6267	しも (下のほうから……)				
6268	しもべ (——として働く)				
6269	しゃかん (舎監)				
6270	しゃくねつ (しゃく熱の太陽)				
6271	しゃし (斜視)				
6272	しゃせん (斜線をひく)				
6273	シャッター				
6274	しゃもじ (——で飯をよそう)				
6275	しゅい (首位をしめる)				

		1	2	3	4
6276	じゅうあつ（重圧）				
6277	しゅうかん（週刊の雑誌）				
6278	しゅうぎょう（修業）				
6279	しゅうげん（祝言）				
6280	しゅうし（収支がつぐなう）				
6281	じゅうじゅう（重々おわび申し上げます）				
6282	しゅうしん（執心）				
6283	じゅうせい（銃声）				
6284	じゅうたい（縦隊）				
6285	じゅうでん（充電）				
6286	じゅうにんなみ（十人並み）				
6287	しゅうへき（習癖）				
6288	じゅんれい（巡礼）				
6289	しゅうよう（修養をつむ）				
6290	しゅうれん（修練をつむ）				
6291	じゅきょう（儒教）				
6292	しゅくじつ（祝日）				
6293	じゅくたつ（熟達する）				
6294	しゅくぼう（宿望をとげる）				
6295	しゅこう（手工）				
6296	しゅじゅつ（手術）				
6297	しゅせい（守勢）				
6298	しゅちゅう（手中）				
6299	しゅつげん（出現）				
6300	しゅっしょく（出色のできばえ）				

調 査 の 手 び き

(児童・生徒の語い力の調査の方法)

この調査は昭和33年1月下旬、すなわち、1月21日～1月31日に完了するように実施すること。

冬季休業などのために実施できない場合には、その直前・直後に実施されたい。

〔I〕 調査の実施方法など。

1 この調査の問題用紙は1そろいが285枚からなり、総語数は14,241語で各1枚に50語ずつ（ただし最後の1枚は41語。）収めてある。

2 各1枚は左半分に25語、右半分に25語で計50語である。

3 各枚ごとに収めてあることばは全部別々のことばである。

注意1 問題用紙には次の図に示すように左側の下部と、右側の上部とに枚数を示す数字（1～285）が入れてある。到着したら、まず全部がそろっているかどうか、お手数ながら念のため調べてください。

注意2 次に左側上部に、「学校名」としるした欄があります。1枚ごとにゴム印でけっこうですから、学校名を押印（記入）して下さい。

4 問題用紙の形式は、次のひな型のようになっている。

児童がそのことばの理解の程度によって○印をつける欄

各児童に記入させる

用紙の枚数を示す数字

学校名 (ここへゴム印を押す)

名まえ
組

1

調査語の番号

		1	2	3	4
1	かな (漢字・用例)				
2					
3					
24					
25					

1

用紙の枚数を示す数字

		1	2	3	4
26					
27					
28					
49					
50					

集計・整理のとき、小計の数字を記入する欄 (児童は記入しない)

5 各1学級では、この問題用紙1そろい (285枚) を実施するわけであるが、最終回を除いて、各回とも各児童に均等に配分する。

6 用紙の配り方は次のようにする。

- (1) 各学級ごとに用紙の第1枚、第2枚、第3枚……の順に、各児童に1枚ずつ配る。(第1枚・第2枚というふうに、連続したものを、同一児童に配らないようにする。)
- (2) 学級の全員に1枚ずつ配り終えたら、その次の用紙は、

また最初のようにして各児童に1枚ずつ配る。(たとえば、50名の学級ならば、第1枚を配られた児童Aは、次に第51枚を、その次には第101枚、以下順次、第151枚、第201枚、第251枚の計6枚が、調査の全回を通じて配られることになる。)

- (3) 以上のようにして、1そろい(285枚)を全員に配布するのであるが、1回の調査で1そろい全部を実施することは時間の点からいっても、児童の負担の点からいっても、むりだと思われるので、適宜、数回にわけて実施するようにする。
- (4) 1回に実施すべき枚数は必ずしも一定する必要はなく、実情に応じ1回に2枚～3枚(100語～150語)とする。
- (5) 1回に実施しようとする枚数だけは、はじめに配っておいてさしつかえないが、次回(次の日)に実施するのは、それぞれの当日に配るようにする。〔1そろい(285枚)全部をあらかじめ各児童に分配しておき、実施のたびに記入させて、適当な枚数を提出させるというやり方をしないようにする。〕
- (6) 以上の方法によって、1そろいを分配すると、学級の児童数によっては、最終回には、各児童の受け持つ枚数は必ずしも同一とはならない場合があるが、これはさしつかえない。この場合にも最初にきめた順序に従って、用紙を配り、特定の児童を除くというようなことをしないようにす

る。（たとえば、児童数が57名の学級では、各児童が5枚ずつ均等に受け持つことになるが、50名の学級では、35名は6枚ずつで、残りの15名は5枚ずつ受け持つことになり、38名の学級では、半数の19名は8枚ずつで残りの19名は7枚ずつ受け持つことになる。）

- 7 調査に要する時間は、1枚（50語）あたり、10分～15分程度をめやすとするが、必ずしも拘束される必要はなく、記入し終えた児童は各自次の用紙へ移ってさしつかえない。また、短時間のうちに1回分の受持枚数を全部記入し終わった児童に対しては、脱落や誤記、および、組・氏名などの記入もれなどがないかを点検させたのち、教室外へ出すとか、自習させるなど適当な処置をしてさしつかえない。
- 8 1回に実施する枚数は、常に学級の全員に対して同一枚数を実施すべきで、早く終わった児童に対してだけ、その時間内に追加して実施してはならない。（最終回の際に、1部の児童に対して多くの枚数を実施する場合は、終了後追加配布せず、始める前に配っておく。）
- 9 実施当日に欠席した児童はとばして順次に配布する。数回に分けて実施する場合、1回ごとに欠席者が違う場合や、調査人数が異なる場合もありうるが、それでもさしつかえない。実施当日の出席者全員を対象として順次に均等に配布する。

注意：調査実施の日時・回数、その他については、毎回、添

付の報告書に所要事項を記入する。なお、調査完了後、
直ちに文部省調査局国語課あてに返送する。

- 10 刷りの関係上、その他で読めないことば・文字があった場合には、なるべく用紙を配布するまえに、一応点検して訂正していただきたい。それでもなおあった場合には、（手を上げて）質問してさしつかえないが、そのことばの意味を説明するような答えをしないように注意し、なるべく板書して示すようにする。
- 11 記入もれがないか、また、同じことばについて、二つの欄に○印をつけたようなことはないかなどを各自に調べさせる。
- 12 1 回分の実施が全部終わったら、回収し、問題用紙の枚数を示す数字の順序に重ねて整理し、9の注意のように報告書に記入しておく。できるだけその都度、○印の脱落や二重記入がないかを点検し、発見したら、その用紙を受け持った児童にたずねて訂正する。なお、集計も毎回の分はその都度しておくことが望ましい。
- 13 1 そろい（285 枚）全部を完了したら、「集計・整理の手びき」（別紙）に従って集計・整理する。

〔Ⅱ〕 児童に与える注意（問題用紙を配布する前に。）

- 1 これから簡単なテストをします。まず、やり方を説明しますから、先生の言うことをよく聞いていてください。
- 2 このテストは、やり方は簡単ですが、分量が多いので数回に分けてやります。やり方はいつでも同じです。1 回ごとに

やり方を説明していると時間がむだになりますから、きょうの説明をよく覚えていて、いつでもそのとおりにやってください。

(第1回に欠席した児童については、出席したときによく説明する。)

- 3 わからないところは、手をあげて質問してください。
- 4 このテストはみなさんが、あることばを知っているかどうか、知っているとしても、どの程度に知っているかということ調べるものです。つまり、いろいろのことばの中には、(1)よく知っていることば、(2)だいたいわかることば、(3)ぼんやりわかることば、(4)知らないことば などがあるわけですが、そういうことをたくさんのことばについて一つ一つ調べるのです。
- 5 このテストは学校の成績や国語の成績とは全く関係がありませんから、楽な気持ちでやってください。みなさんひとりひとりの成績も学校の成績も出さないことになっていますから安心してやってください。
- 6 ただし正直にやってください。たとえば、1語も知らない、わからないという人があっても、少しもかまいませんから、正直に答えてください。知っていることばに知らない印をつけたり、わからないことばによくわかるという印をつけたのでは、せっかくのテストが何も役にたたないことになります。
- 7 このテストの中に出てくることばの中には、みなさんがふ

だんよく使っていて、よく知っているはずだと思われることばもはいつていれば、またその反対に、むずかしくてわからな
いだろうと思われることばもはいつています。そのほか、あ
る人は知っているかもしれないが、ある人は知らないかもし
れないというようなことばもはいつています。

8 問題用紙は次のようになっています。

(図、および、ここに示した語例を板書しながら説明する。)

		1	2	3	4
1	アイスクリーム	○			
2	いぶくろ (胃袋)		○		
3	がたがた (——いう音)	○			
4	じょうぶつ (成仏)			○	
5	ちょう (○○町)		○		
6	みかんせい (…は未完成だ)			○	
7	まちくたびれる (待ちくたび れる)		○		
⋮	⋮				
24	やりこめる		○		
25	りんう (うっとうしいりん雨)				○

「この部分には何も書
く必要はありません。」
と説明する

注意1 右側の 1, 2, 3, 4 の数字の下の欄の ○印 は、最初は書き入れずにおき、説明しながら書き入れるようにする。

注意2 語例は必ずここに示した語例による。

9 (図について、以下の説明をする。)

ここにかいたようになっていきます。いちばん左側に縦に、1, 2, 3, ……と並んでいる数字は、ことばの番号を示すものです。その次にことばがたくさんに並んでいます。ここには略して書きましたが、1枚の問題の紙の左半分に25のことば、右半分に同じように25のことばがあり、合計すると、1枚に50のことばが書いてあります。ことばの出し方は、まず、ことばをひらがなで、(外国からきたことばはかたかなで、)〔以上のように言いながら、板書した語例をさし示す。〕出してあります。

その次に、()の中に、そのことばを〔2, 4の語例を示しながら、〕書き表わす漢字が書いてあるのもあり、また、〔7, 25の語例を示しながら〕漢字とかなで書いてあるのもあり、あるいは、〔3の語例を示しながら、〕「(——いう音)」というふうに、そのことばを使った短い文、つまり用例を示したのもあります。この、「——」は「がたがた」ということばの代わりで、つまり「がたがたいう音」として考え、そういうふうに使われた場合の「がたがた」ということばを知っているかどうかを書くわけです。また、中には〔24の語例を示しながら

ら、〕「やりこめる」というふうに、漢字も用例も書いてないのもありますが、これは、ひらがなで書いただけでわかると思われることばです。それから、〔5,6の語例を示しながら〕このように「……」や「〇〇」をつけた用例もありますが、この「……」や「〇〇」には適当なことばや物・所などの名まえを入れてみればよいのです。たとえば、「あの絵は未完成だ。」とか、「有楽町」〔これは、学校付近の実際の町名を使うとよい。〕というようにです。

こういうふうになっていますから、まず、かなで書いたことばを読み、次に（ ）の中の漢字や用例を読んで、そのことばのわけをよく考えてください。そしてそのことばを、(1)よく知っている、(2)だいたいわかる、(3)ぼんやりわかる、(4)知らない などによって、ことばの右側に並んでいる四つの四角な欄の中に○印をつけるのです。

10 では、○印のつけ方を説明します。

ことばが並んでいる右のほうに、上に、1,2,3,4とあってその下に小さい四角な欄が四つずつ並んでいます。

11 一つのことばを読んで、めいめい自分でそのことばを、(1)よく知っているとか、(2)だいたいわかるとか、(3)ぼんやりわかるとか、(4)知らないとかを考えて、それぞれ1,2,3,4の下の四角な欄の中に○印をつけるのです。

〔ここで、さきの図に示した語例について、説明しながら、1,2,3,4の各欄に、実際に○印を書き入れてみせる。〕

12 どういうことばだったら、「1」へ ○ を書き入れるのか、
 どんなことばだったら、「4」へ ○ を書き入れるのかという
 ことについてこれから説明します。

注意：以下は、毎回のテストに必要であるから、小黒板、ま
 たは、大きな紙に書いておき、その都度必ず掲出する。

1	2	3	4
よく 知っている ことば	だいたい わかる ことば	ぼんやり わかる ことば	知らない ことば

なお、以下のようによく説明する。

よく知っ
ているこ
とば

とは、

- ・自分でよく知っていて、その意味がはっきり
と説明できると思うことば。
- ・ふだん自分で使っていることば。
- ・自分ではあまり使わないが、その意味がわか
っていて、使おうと思えば使えることば。

など、

だいたい
わかるこ
とば

とは、

- ・そのことばを知ってはいるが、はっきりと、
その意味を説明することは、できないと思う
ことば。
- ・話を聞いたり、文を読んだりして、そのこと
ばが出てきたとき、話全体・文全体の意味は
わかるが、そのことばだけの意味は、はっき
りと説明できないと思うことば。

など、

ぼんやり
わかるこ
とば

とは、

- ・何となくわかるような気はするが、もちろん意味を説明することはできないし、自分でそのことばを使うこともできないと思うことば。
- ・聞いたり、読んだりしたことはあると思うが、ぼんやりとしか、その意味はわからないことば。

など、

知らない
ことば

とは、

- ・ぜんぜん知らないことば。

など、

- ・聞いたことも読んだこともないと思うことば。

です。

以上を読み上げながら、さきに示した1～7, 24, 25の語例にあてはめて説明する。(なお、もっと、かみくだいて説明してさしつかえない。) なお、ここで、わからない点はないかと質問し、疑問があったら説明しておく。

13 こんなふうにして、みなさんがめいめい自分で思ったとおり、1, 2, 3, 4のそれぞれの欄に○印をつけていくのです。

14 ○印をつけ忘れたり、同じことばに二つ○印をつけたりしないようによく注意してください。

15 ○印をつけまちがえたときは、消しゴムで消さずに、○印の上に×を書き、別の欄へ○印を書くようにしてください。

[さきの図について、実際に×を書き入れて示す。] ○印は、こい鉛筆で、はっきりと書き入れてください。

ここで、もう1度、質問はないかをたずねる。

質問がなければ、用紙を配布する。さきに述べたように、1回に実施する枚数は、2枚～3枚をめやすとするが、今ここでは、

しかりに3枚を配ったとする。3枚とも裏向きに配る。 」

16 では、これから紙を配ります。きょうは、ひとりに3枚ずつやってもらうことにします。はじめに、みなさんに1枚ずつ配り、全部に配り終わってから、2枚めを配り、それから3枚めを配るというふうにします。紙は全部裏向きに配りますから、「始め。」というまでは、表を見ないようにしてください。
[全員に3枚ずついきわたったことを確かめてから。]

17 では、始めてもらいますが、「始め。」と言ったら、紙を3枚とも表に向け、まず、上のほうに組・名まえと書いてある欄に、この組の名と、みなさんの名まえを、3枚とも書き入れてください。

18 わからない所があったら、途中でもよいから手を上げて質問してかまいません。

19 時間は、何分とはきめませんが、だいたい~~~~分（このときは、3枚で、30分～45分の程度を適当に言う。）ぐらいあります。

20 3枚ある紙を全部やってください。どの紙から始めてもかまいませんが、必ず3枚とも全部書き入れてください。あまり長い時間一つのことばについて考えていないで、わからなければ、3か4へ○印をつけて次へ移ってください。

21 全部書き入れた人は○印をつけ忘れていないか、二つの欄へ○印をつけはしなかったか、よく調べてください。

22 では、始めます。「始め。」

机間を巡視し、質問があったら答え、やり方を正しく理解しているかどうかを見、必要に応じ、適宜、指導する。

第2回以後のテストも、だいたい同じであるが、詳しい説明は適宜、省略してさしつかえない。しかし、さきに、〔Ⅱ〕の12の注意で示した理解の程度をしるした小黒板、または、紙は、毎回必ず掲出する。

〔Ⅲ〕 調査が完了してから。

- 1 用紙が1から285まで、きちんとそろっているかどうかを点検する。また、児童の記入した○印に、脱落や誤記がないかをあらためて点検し、発見した場合はその用紙を受け持った児童に問いただして訂正する。
- 2 「集計・整理の手びき」(別紙)に従って集計・整理する。
- 3 問題用紙は一括して集計・整理用紙とともに返送する。

児童・生徒の語い力の調査実施報告書

報告書は各学級ごとに記入してください。
返送は、報告書をまとめて、調査終了後直
ちにお願いします。

学校長 氏名印_____

学校所在地_____

学 校 名_____

学 級 名_____ 学級の児童数_____

調査主担当者氏名_____

調 査 担 当 者 氏 名_____

実施年月日 昭和33年 1 月 日～ 月 日

実 施 回 数 _____ 回

実施の細目

第 回	月／日	枚 数 (1 名 あたり)	児童数	欠席者 数	備 考
第1回	/				
第2回	/				
第3回	/				
第4回	/				
第5回	/				

§ 16 調査の実施回数と1回あたりの枚数

各学級で実施した回数・枚数を、「実施報告書」によって、学級の児童数を基準として、まとめてみると、次のようになる。

児童数(欠席者を除く。)	回数	1回あたりの枚数	学級数
39名以下	3回	2枚 ~ 3枚	10学級
	3回	3枚	4学級
	2回	3枚 ~ 4枚	1学級
	3回	1枚 ~ 4枚	1学級
16学級			
40名 ~ 45名	3回	2枚	9学級
	2回	3枚	9学級
	3回	2枚 ~ 3枚	8学級
	4回	1枚 ~ 2枚	2学級
	3回	1枚 ~ 3枚	1学級
	3回	1枚 ~ 4枚	1学級
30学級			
46名 ~ 50名	3回	2枚	29学級
	2回	3枚	9学級
	3回	1枚 ~ 3枚	6学級
	3回	1枚 ~ 2枚	6学級
	4回	1枚 ~ 2枚	2学級
	3回	2枚 ~ 3枚	1学級
	2回	2枚 ~ 3枚	1学級
54学級			
51名 ~ 55名	2回	3枚	17学級
	3回	1枚 ~ 2枚	10学級
	3回	2枚	8学級
	2回	2枚 ~ 3枚	4学級
	3回	1枚 ~ 3枚	3学級
42学級			
56名以上	3回	1枚 ~ 2枚	2学級
不明(報告もれ)			6学級
合 計			150学級(61校)

児童数は、欠席者を除いた数、すなわち、実際に調査を受けた人数によって区分したが、第1回と第2回とで人数が違ったり、毎回違ったりしている学級もある。このような場合は、おおむね、第1回の人数区分、あるいは、回数の多いほうの人数区分に入れた。

回数については、実施方法を誤って、最終回に学級の一部の児童に対して1枚ずつ実施した学級もあるが、これは、前回にまとめて実施すべきであるので、(「調査の手びき」〔I〕, 6, (6)〔本書の108ページ〕参照。)報告よりも1回少なくしてある。

1回あたりの枚数は、最終回には、学級の一部の児童は、1枚多いのが普通であるが、この表には、その多くなった分は含めてない。なお、1枚～2枚とあるのは、たとえば、第1回には、1枚、第2回には、2枚実施したことを示すものである。

§ 17 集計・整理

各学校ごとの集計・整理は各学校の調査担当者がおこない、大都市、中・小都市、農・山・漁村別の、また、全体の集計・整理は文部省でおこなった。

集計・整理にあたっては、次に示すような「集計・整理用紙」(ひな型)を用い、「集計・整理の手びき」に従って実施した。

集計・整理用紙〔ひな型〕

学校名

〔6200〕																			
	1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4
1 実践					26 醜 悪					51 質 素					76 重 庄				
2 質 的					27 週 間					52 し っ と					77 週 刊				
3 実 父					28 宗 教					53 疾 風					78 修 業				
4 実 用					29 充 血					54 実 力					79 祝 言				
5 支 点					30 銃 殺					55 市 電					80 収 支				
6 しとめる					31 収 集					56 しとやか					81 重 々				
7 地ならし					32 住 職					57 地 鳴 り					82 執 心				
8 辞 任					33 修 正					58 自 任					83 銃 声				
9 支 配					34 渋 滞					59 自 白					84 縦 隊				
10 私 費					35 重 点					60 慈 悲					85 充 電				
11 市 部					36 重 任					61 自 負					86 十人並み				
12 渋 る					37 じゅうぶん					62 時 分					87 習 癖				
13 司 法					38 巡 覧					63 志 望					88 巡 礼				
14 し ま う					39 収 容					64 字 幕					89 修 養				
15 しみったれ					40 秀 麗					65 しみでる					90 修 練				
16 しめしあわせる					41 主 義					66 示 す					91 儒 教				
17 霜					42 熟 視					67 下(しも)					92 祝 日				
18 しもふくれ					43 祝 する					68 し も べ					93 熟 達				
19 し+がれ声					44 宿 弊					69 舎 監					94 宿 望				
20 尺 度					45 趣 向					70 シャく熟					95 手 工				
21 射 殺					46 主 従					71 斜 視					96 手 術				
22 謝 絶					47 じ ゅ ず					72 斜 線					97 守 勢				
23 借 金					48 手 段					73 シャッター					98 手 中				
24 斜 面					49 出 血					74 シャもじ					99 出 現				
25 主					50 出 場					75 首 位					(6300) 出 色				

125

126

32

〔6300〕																								
1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4	
1 実 測					26 周 囲					51 失 態					76 獣 医									
2 湿 度					27 習 慣					52 しっとり					77 週 期									
3 実 物					28 就 業					53 実 母					78 従 業 員									
4 失 礼					29 銃 剣					54 実 例					79 就 航									
5 自 転					30 終 始					55 次 点					80 重 視									
6 しどろもどろ					31 収 縮					56 品(しな)					81 従 順									
7 指 南					32 終 身					57 至 難					82 就 寝									
8 自 認					33 重 税					58 土農工商					83 重 責									
9 し ば し					34 重 大					59 しばしば					84 住 宅									
10 自 費					35 しゅうと					60 自 筆					85 修 道 院									
11 慈 父					36 執念深い					61 渋 皮					86 宗 派									
12 紙 幣					37 周 辺					62 死 別					87 従 ぼ く									
13 死 亡					38 順 路					63 脂 肪					88 就 眠									
14 島 国					39 重 要					64 島 流 し					89 従 来									
15 市 民					40 守 衛					65 事 務					90 主 演									
16 湿 す					41 宿					66 締め出す					91 塾									
17 霜枯れる					42 宿 舎					67 下 肥					92 縮 写									
18 指 紋					43 熟 知					68 試 問					93 宿 直									
19 邪 教					44 宿 命					69 謝 金					94 熟 慮									
20 釈 放					45 取 材					70 借 家					95 種 子									
21 謝 辞					46 首 相					71 社 寺					96 主 将									
22 車 窓					47 酒 精					72 車 体					97 手 跡									
23 社 殿					48 主 張					73 しやにむに					98 出 演									
24 社 用					49 出 庫					74 車 力					99 術 語									
25 主 因					50 出 身					75 樹 陰					(6400) 出 世									

127

128

集計・整理の手びき

○集計・整理用紙は次のようになっています。（これは、用紙の左半分を示しています。右半分も同様です。）

この部分は集計・整理に直接の関係
はありませんので、最後に説明して
あります。

校名をゴム印で押してくだ
さい。お手数でも1校ごと
に全部押してください。

↓ C
↑

学校名 _____

{					1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4			
1					26					51					76					
2					27					52					77					
3					28					53					78					
4					29					54					79					
A																				
24					49					74					99					
25					50					75					100					

↑ B

1

2

①

問題用紙の左
半分のことば

問題用紙の右
半分のことば

問題用紙の枚
数を示す数字

集計・整理用紙の
枚数を示す数字

A, B については、後述します。

以上のように、集計・整理用紙の1枚は問題用紙の4枚に相当します。

Aに記入すべき事項

問題用紙の各語の 1, 2, 3, 4 の各欄に児童が記入した ○ 印に該当する箇所に、その学校で実施した全学級を通じて合計した ○ 印の数を、算用数字で記入してください。（ただし「0」は記入しないでください。）

参考 1 各語ごとに、1, 2, 3, 4 の各欄のうち、少なくともどれかの 1 欄には、数字が記入されるはずである。もし、空欄となった場合は、問題用紙において、○印のつけ落としがあるものと見られる。

参考 2 1, 2, 3, 4 の各欄の数を、それぞれ横に合計して得る数は、常にその学校において実施した学級数と一致するはずである。もし、過不足があった場合は、問題用紙において、○印のつけ落とし、もしくは、二重記入があるものと考えられる。

Bに記入すべき事項

Aの部分に記入した 1, 2, 3, 4 の各欄の数を、それぞれ縦に合計した数を記入してください。（この場合は、「0」も記入してください。）

B の部分に記入した数を横に合計すると、

1 学級実施した学校では、	25	} となります。
2 学級 "	50	
3 学級 "	75	
4 学級 "	100	

注意 1 この B の部分は欄の面積がせまいので、記入した字

数を誤読することがあるといけませんから、必ず、次のように記入してください。

100		0		56		13	
	0		0		21		10

注意 2 記入に際しては、すべて、ペンとインクでお願いいたします。誤記の訂正は、はっきりとわかるようにしてください。

○以上の、A、Bの各部分の、各欄への記入が全部終わったら、集計・整理用紙の最後のページにある表（理解度別の語数の表）の各欄へ所要事項を記入してください。

この表は、14,241語を通じて1,2,3,4の各欄へ児童が記入した○印の総計を記入するのです。

また、表紙へも所要事項（学校名・主担当者氏名等）の記入を忘れないようにお願いします。

○必要事項の記入が完了したら、全部をまとめて、紙の左側をひもでとじ、下記あてに御返送ください。（なお、問題用紙も、その際いっしょに御返送ください。）

東京都（中央局区内）霞が関3-4

文部省調査局 国語課

C の部分の説明

集計・整理用紙のことばにも、ことばの左肩に調査語の番号がつけてあります。この番号は1から100まで（つまり、集計・整理用紙の第1枚の左半分だけ。）は、実際にその番号がつけて

あります。101 から14,241まで（つまり，第1枚の右半分から最後まで。）は，図の C の部分に，たとえば，[100]，[200]……[1300]……[13400] などと示し，それぞれのことばの左肩には，1～99までが記入してあります。ですから，たとえば

[1300]	1	2	3	4
1				
2				
3				
4 甲				

とあれば，「甲」という調査語の番号は，「1304」であることを示しています。（なお，この「1304」という番号は，問題用紙の，「甲」という調査語の番号と合致しています。）

もっとも，101 以上でも，200 番および 200 番以上で，100 の倍数の番号は，たとえば，(1400) というように，（ ）内に，それぞれ実際の番号が書き入れてあります。

第 2 部

調 査 語 (問 題)

問題用紙の形式はひな型で示したとおりである。ここでは理解度によって児童が○印を記入すべき欄などを省略した。欄外上部にゴシックで示した数字は実際の問題用紙のページ数を示すものである。

問題用紙における調査語の配列について

この調査の問題用紙は、さきに、「調査の手びき」においても説明してあるとおり、1そろいが285枚からなり、1枚に50語ずつ収めてある。(調査語の総数は14,241語、したがって最後の1枚は41語。)

問題用紙における調査語の配列は、50音順に並べるのが最も普通であろうが、そうすると、たとえば、いどう(移動)、いどう(異動)、いどう(異同)、とか、いる(炒る)、いる(射る)、いる(鋳る)、いる(入る)、とか、かん(寒)、かん(感)、かん(勘)、かん(管)、かん(棺)などのように、同音異義語がいくつも続く場合があって、児童にとっては単調に流れるし、また、ことに、意味の似たような同音のことばや、反対にどういう漢字を書くかによって意味がまるで違ってしまいうような同音のことばが並んでいる場合に、その語に相当する漢字、ないしは用例によって、それぞれの意味を厳密に区別したうえで、その語の理解度を児童が自ら判断することは、かえって迷わせる結果になると思われる場合もある。

そこで、このようなことを避けるために、全体について、ことばを500語単位ごとに、一定の順序にしたがって、並べ変え、これを問題用紙10枚に収めるようにした。もっとも、14,241語のうち、「アイロン」(調査語番号14047)から「論文」に至る105語はあとから補充した語である。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 アース(ラジオの——) | 26 あっこう(悪口) |
| 2 あいきょうしん(愛郷心) | 27 あつらえる(洋服を——) |
| 3 あいしゅう(哀愁をおびる) | 28 あてはまる |
| 4 あいたいする(相對する) | 29 あねったい(亜熱帶) |
| 5 あいにく(——の雨) | 30 あぶらこい |
| 6 あいやど(相宿) | 31 あまぐ(雨具) |
| 7 あおぐ(うちわで——) | 32 あまちゃ(甘茶) |
| 8 あおみ(青みをおびる) | 33 あまのがわ(天の川) |
| 9 あかご(赤子) | 34 あまんずる(甘んずる) |
| 10 あがなう(罪を——) | 35 あみめ(編目) |
| 11 あかんたい(亜寒帶) | 36 あやとり(あや取り) |
| 12 あきらめる | 37 あらあらしい(荒々しい) |
| 13 あくぎょう(悪行) | 38 あらかた(——なくなった) |
| 14 アクセサリー | 39 あらそう(争う) |
| 15 あくへき(悪癖) | 40 あらぬり(あら塗り) |
| 16 あくる(——朝) | 41 ありあまる(有り余る) |
| 17 あげしお(上げ潮) | 42 ありたい(そう——ものだ) |
| 18 あけはらう(しょうじを——) | 43 あれくるう(荒れ狂う) |
| 19 あさおき(朝起き) | 44 あわい(淡い色) |
| 20 あざむく(欺く) | 45 あわれむ |
| 21 あじけない(——世の中) | 46 あんさつ(暗殺) |
| 22 あずかる(預る) | 47 あんぜん(安全) |
| 23 あぜん(——とする) | 48 あんび(安否) |
| 24 あだな(あだ名) | 49 い(意をつくさない) |
| 25 あっか(悪貨) | 50 いいかえる(言い換える) |

51	アーチ (緑色の——)	76	あっさり (——している)
52	あいきょう (——のある顔)	77	あつりょく (圧力)
53	あいしょう (相性がわるい)	78	あてはめる
54	あいだがら (友だちの間がら)	79	あのよ (あの世)
55	アイヌ (——人)	80	あぶらみ (あぶら身)
56	あいよう (愛用)	81	あまくだる (天下る)
57	あおぐ (空を仰ぐ)	82	アマチュア
58	あおむく (仰向く)	83	あまのじゃく
59	あかさびる (赤さびる)	84	あみ (網)
60	あかぬけ (——した図案)	85	あめあがり (雨上がり)
61	あきあき (——する)	86	あやぶむ
62	あきる (飽きる)	87	あらい (荒い)
63	あくごう (悪業)	88	あらかべ (あら壁)
64	アクセント	89	あらた (新たに研究する)
65	あくま (悪魔)	90	あらもの (荒物)
66	あくれい (悪例をのこす)	91	ありあり (——と見える)
67	あげぞこ (上げ底)	92	ありたけ (——もってくる)
68	あけぼの	93	あれこれ (——考える)
69	あさぐろい (浅黒い)	94	あわせかがみ (合わせ鏡)
70	あざやか (——な色)	95	あん (案)
71	あしてまとい (足手まといになる)	96	あんざん (安産)
72	あずけもの (預け物)	97	あんそく (安息)
73	あそばす (ごらん——)	98	あんま (——にもんでもらう)
74	あたり (この——)	99	い (異なことをきくものだ)
75	あつかい (扱い)	100	いいがかり (言いがかりをつける)

101 あい (——色)	126 あっしゅく (圧縮)
102 あいくるしい (愛くるしい)	127 あて (当がない)
103 あいしょう (愛称)	128 あでやか
104 あいだぐい (間食い)	129 アパート
105 あいのこ (合の子)	130 あぶりだし (あぶり出し)
106 あいよく (愛欲)	131 あまくち (甘口)
107 あおくさい (——におい)	132 あまつさえ (……し, —— ……となる)
108 あおむけ (仰向け)	133 あまみ (甘味)
109 あかし (身の——をたてる)	134 あみあげぐつ (編上げぐつ)
110 あかはじ (赤恥)	135 あめもよう (雨模様)
111 あきす (——ねらい)	136 あやふや (——に答える)
112 あきれる	137 あらいがみ (洗い髪)
113 あくじ (悪事)	138 あらくれおとこ (荒くれ男)
114 あくそう (悪僧)	139 あらだつ (荒立つ)
115 あくまで (——も)	140 あらゆる
116 あくろ (悪路になやむ)	141 ありあわせ (有合せ)
117 あけすけ (——に言う)	142 ありのまま (——を書く)
118 あげもの (揚げ物)	143 あれしょう (荒れ性)
119 あざける	144 あわせめ (合わせ目)
120 あさやけ (朝焼け)	145 あん (——入りまんじゅう)
121 あしどり (足取りをしらべる)	146 あんじ (暗示)
122 あずける (預ける)	147 あんち (安置)
123 あだ (——を討つ)	148 あんみん (安眠)
124 あたり (当り)	149 いあわせる (居合わせる)
125 あつかう (扱う)	150 いいかげん (——なやりかた)

151 あい (愛)	176 あっする (圧する)
152 あいけん (愛犬)	177 あてがう
153 あいしょう (愛唱の歌)	178 あどけない (——顔)
154 あいちゃく (愛着を感じる)	179 あばく (かくしていることを——)
155 あいのて (合の手を入れる)	180 あぶる (火であぶる)
156 あいらしい (愛らしい)	181 あまぐも (雨雲)
157 あおざめる (青ざめる)	182 あまったるい (甘ったるい)
158 あおむし (青虫)	183 あまもり (雨漏り)
159 あかし (神だなに——をあげる)	184 あみあわせる (編み合わせる)
160 あかはだか (赤裸)	185 あや (文の——)
161 あきたりない	186 あやまち (——をおかす)
162 あきんど	187 あらいこ (洗い粉)
163 あくしつ (悪質)	188 あらさがし (あら捜しをする)
164 あくたい (悪態をつく)	189 あらだてる (荒立てる)
165 あくむ (悪夢)	190 あられもない (——おこない)
166 あけ (——のかね)	191 ありか (——がわからない)
167 あけたて (戸の——)	192 ありふれた (——品物)
168 あげる (候補者を——)	193 あれち (荒れ地)
169 あさせ (浅瀬)	194 あわせる (合わせる)
170 あさゆう (朝夕)	195 あんえい (暗影)
171 あしなみ (足なみそろえて)	196 あんしつ (暗室)
172 アスファルト (アスハルト)	197 あんちゃく (安着)
173 あたい (値)	198 あんもく (暗黙のうちに……)
174 あたりさわ (——がない)	199 いあん (慰安)
175 あつかましい	200 いいがたい (言い難い)

201 あいかぎ (合かぎ)	226 あっせい (压制)
202 あいご (動物の愛護)	227 あてこすり (——を言う)
203 あいじょう (愛情をもつ)	228 アトリエ
204 あいちょう (哀調をおびる)	229 あばた
205 あいぶ (——する)	230 あふれる (水が——)
206 あいわ (哀話)	231 あまぐもり (雨曇り)
207 あおすじ (青筋をたてる)	232 あまったれる (甘ったれる)
208 あおもの (青物)	233 あまやかす (甘やかす)
209 あかじ (赤字)	234 あみがさ (編みがさ)
210 あかぼう (赤帽)	235 あやうい (危い)
211 あきっぱい	236 あやまって (——落した)
212 あく (悪にそまる)	237 あらいざらい (——もってくる)
213 あくしゅ (握手)	238 あらし (ひどい——)
214 あくてんこう (悪天候)	239 あらたまる (改まる)
215 あくめい (悪名)	240 あらわす (本を著わす)
216 あけ (——にそまる)	241 ありかた (小学生のあり方)
217 あけっぱなし	242 ある (——日)
218 あけわたす (明け渡す)	243 あれっき (——しかないのか)
219 あさづけ (だいこんの浅づけ)	244 あわただしい
220 あさる (にわとりがえさを——)	245 あんか (安価)
221 あしならし (足慣らし)	246 あんじゅう (安住の地)
222 あぜ (田の——道に行く)	247 あんてい (安定)
223 あだうち (あだ討ち)	248 あんや (暗夜)
224 あたりちらす	249 いい (易々として)
225 あっき (悪鬼)	250 いいかねる (言いかねる)

251	あいかわらず (相変らず)	276	あっとう (圧倒)
252	あいこう (愛好する)	277	あてこむ (当て込む)
253	あいしょか (愛書家)	278	あなうめ (穴埋め)
254	あいついで (相次いで)	279	あばらぼね (あばら骨)
255	あいふく (合服)	280	あほう (——になる)
256	あえぐ (あつさに——)	281	あまぐり (甘ぐり)
257	あおぞら (青空)	282	あまつづき (雨続き)
258	あおる	283	あまやどり (雨宿り)
259	あかじみる (シャツが——)	284	あみだす (編み出す)
260	あがめる (祖先を——)	285	あやしい (怪しい)
261	あきなう (商う)	286	あやまり (誤りを正す)
262	あく (——をぬく)	287	あらいたてる (悪事を洗い立てる)
263	あくしゅう (悪習にそまる)	288	あらし (学校——)
264	あくどい (——やりかた)	289	あらためる (改める)
265	あくやく (悪役)	290	あらわす (姿を——)
266	あげあし (——をとる)	291	ありがたい
267	あげて (全校を——)	292	あるいは (甲——乙)
268	あけわたる (明け渡る)	293	あれの (荒れ野)
269	あさって (——来てください)	294	あわてふためく
270	あざわらう (あざ笑う)	295	あんがい (案外)
271	あしもと (足下)	296	あんしゅつ (案出する)
272	あせばむ (汗ばむ)	297	あんどん (——の火)
273	あたえる (与える)	298	あんらく (安楽にくらす)
274	あたりどし (当り年)	299	いいあい (言合い)
275	あつくるしい (暑苦しい)	300	いいき (いい気になる)

301	あいがん (哀願する)	326	あっぱく (圧迫)
302	あいこく (愛国)	327	あてじ (あて字)
303	あいず (合図をする)	328	アナウンサー
304	あいづち (——をうつ)	329	あばらや (あばら家)
305	あいぼう (相棒)	330	あま (あわびを取る——)
306	あえて (——おこなう)	331	あまごい (雨ごい)
307	あおた (青田)	332	あまでら (尼寺)
308	あかがね (——のうつわ)	333	あまり (余りがない)
309	あかす (夜を明かす)	334	あみだな (網だな)
310	あからがお (あから顔)	335	あやしげ (怪しげなこと)
311	あきめく (秋めく)	336	あやまる (答を誤る)
312	あくい (悪意)	337	あらいはり (洗い張り)
313	あくしゅう (悪臭がただよう)	338	あらしごと (荒仕事)
314	あくとく (悪徳)	339	あらっばい (荒っばい)
315	あくゆう (悪友)	340	あらわれ (努力の——だ)
316	あけがた (明け方)	341	ありがたがる
317	あげなべ (揚げなべ)	342	あるじ (宿の——)
318	アコーディオン	343	あれはてる (荒れ果てる)
319	あざな	344	あわや (——と思う間もなく)
320	あしがかり (……を足がかりとして……)	345	あんき (暗記)
321	あしよわ (足弱)	346	あんしょう (暗礁にのりあげる)
322	あせみずく (汗みずくになる)	347	あんない (案内)
323	あたかも (——……のようだ)	348	あんるい (暗涙にむせぶ)
324	あたりまえ	349	いいあてる (言い当てる)
325	あっけ (——にとられる)	350	いいきる (言いきる)

351 あいき (愛機)	376 あっぱれ
352 あいことば (合いことば)	377 あてつける (兄に——)
353 あいする (愛する)	378 あながち (——に悪いとはいえない)
354 あいて (相手)	379 あびせる (浴びせる)
355 あいま (合間)	380 あま (寺の尼)
356 あえない (——最期をとげる)	381 あまざらし (雨ざらし)
357 あおてんじょう (青天井)	382 あまど (雨戸)
358 あかぎっふ (赤切符)	383 ……あまり (五日——)
359 あかす (手品のたねを——)	384 あみのめ (網の目)
360 あからさま (——に言う)	385 あやしむ (怪しむ)
361 あきめくら	386 あゆみあう (歩み合う)
362 あくうん (悪運)	387 あらいもの (洗い物)
363 あくせい (悪政)	388 あらす (荒す)
364 あくにん (悪人)	389 あらて (新手)
365 あくよう (悪用)	390 あらわれる (現われる)
366 あげく (——のはてに)	391 ありがち (有りがちのこと)
367 あけはなし (あけ放し)	392 アルト (——で歌う)
368 あこがれ (——のまと)	393 あれまわる (荒れ回る)
369 あさなぎ (朝なぎ)	394 あわゆき (淡雪)
370 あしかけ (足掛け8年)	395 アンコール
371 あしらう (適当に——)	396 あんしん (安心)
372 あぜみち (あぜ道)	397 あんのん (安穩にくらす)
373 あたたかい (暖かい)	398 い (胃が痛む)
374 あちこち	399 いいあやまり (言い誤り)
375 あっけい (悪計)	400 いいぐさ (言いぐさ)

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 401 あいぎ (合着のシャツ) | 426 あつまり (集まり) |
| 402 あいさつ (別れの——) | 427 あてっこ (——する) |
| 403 あいせき (哀惜の念) | 428 あなぐら (穴蔵) |
| 404 あいどく (愛読する) | 429 あぶく (——が出る) |
| 405 あいまい (——なことば) | 430 あまあし (雨足) |
| 406 あおうなばら (青海原) | 431 あます (余す) |
| 407 あおな (青菜) | 432 あまとう (甘党) |
| 408 あかぎれ | 433 あまり (——よくない) |
| 409 あかちゃける (赤茶ける) | 434 あみばり (編針) |
| 410 あからめる (赤らめる) | 435 あやす (あかんぼうを——) |
| 411 あきや (あき家) | 436 あゆみよる (歩み寄る) |
| 412 あくえき (悪疫の流行) | 437 あらうみ (荒海) |
| 413 あくせい (悪声) | 438 あらず (さに——) |
| 414 あくひつ (悪筆) | 439 あらなみ (荒波) |
| 415 あくらつ (——な手段) | 440 ありあう (有合う物でまにあ
わせる) |
| 416 あけくれ (明け暮れ) | 441 ありがね (有り金) |
| 417 あけはなつ (窓をあけ放つ) | 442 アルバム |
| 418 あこがれる (ふるさとに——) | 443 あれもよう (荒れ模様) |
| 419 あさはか (——な考え) | 444 あわれ (哀れ) |
| 420 あしからず | 445 あんごう (暗号) |
| 421 あじわう (味わう) | 446 あんじる (案じる) |
| 422 あせる (勝ちを——) | 447 あんばい (——よく) |
| 423 あたたまる (暖まる) | 448 い (医は仁術) |
| 424 あちら | 449 いいあらわす (言い表わす) |
| 425 あつげしょう (厚化粧) | 450 いいけす (言い消す) |

451	あいきゃく (相客)	476	あつらえむき
452	あいじ (愛児)	477	あてな (あて名)
453	あいそ (——のいい人)	478	あなどる (相手を——)
454	あいなかばする (相半ばする)	479	あぶなげ
455	あいみたがい (相身互い)	480	あまおおい (雨おおい)
456	あおかび (青かび)	481	あまた (——の困難)
457	あおにさい (青二才)	482	あまねく (——知れわたる)
458	あがく (いっしょうけんめい に——)	483	あまる (余る)
459	あかつき (暁)	484	あみぼう (編棒)
460	あかるむ (明るむ)	485	あやつる
461	あきらか (明らか)	486	あゆむ (歩む)
462	あくえん (悪縁)	487	あらかじめ (——用意する)
463	あくせい (悪性)	488	あらすじ (荒筋を話す)
464	あくひょう (悪評)	489	あらなわ (荒なわ)
465	あくりょく (握力)	490	ありあけ (——の月)
466	あげさげ (上げ下げ)	491	ありさま (有様)
467	あけはなれる (夜が明け放れ る)	492	アルファベット
468	あざ (字)	493	あれる (荒れる)
469	あさましい (——心)	494	あわれっぽい (哀れっぽい)
470	あしくせ (足癖)	495	あんこく (暗黒)
471	あす (——来てください)	496	あんせい (安静)
472	あせる (色が——)	497	アンパイヤ
473	あたためる (暖める)	498	い (威あってたけからず)
474	あっか (悪化)	499	いいかえす (言い返す)
475	あっけない (——話)	500	いいこめる (言いこめる)

501 いいしぶる (言い洩る)	526 いちもくさん (一目散ににげる)
502 いいつたえる (言い伝える)	527 いちりゅう (一流の人物)
503 いいのこす (言い残す)	528 いっかつ (一かつのもとに…)
504 いいまぎらす (言い紛らす)	529 いっこう (雨は——にやまない)
505 いえじ (家路)	530 いっしゅ (一種の天才)
506 いがい (意外に思う)	531 いっせん (一戦をまじえる)
507 いかにも (——つかれたように)	532 いっちょう (一朝事があるとき)
508 いぎ (意義のあるしごと)	533 いっとう (一頭の馬)
509 いきごむ (意気込む)	534 いっほう (一報してください)
510 いきのびる (生き延びる)	535 いどう (移動する)
511 いくじ (育児)	536 いどむ (戦いを——)
512 いけどり (生けどり)	537 いななく (馬が——)
513 いこう (10月以降)	538 いのち (命)
514 いざよい (——の月)	539 いぶかしい (——態度)
515 いしき (意識がなくなる)	540 いまいましい (——気持)
516 いしょ (遺書)	541 いみん (移民)
517 いしん (威信にかかわる)	542 いやしい (卑しい)
518 いせつ (異説をたてる)	543 いらい (以来)
519 いぞん (異存がない)	544 いりまじる (入り交じる)
520 いただく (賞状を——)	545 いるい (衣類)
521 いためつける (痛めつける)	546 いわや (岩屋)
522 いちえん (関東一円で)	547 いんきょ (隠居)
523 いちじょう (一場のあいさつ)	548 いんしょう (印章をおす)
524 いちどう (一堂に会する)	549 いんとく (物資を隠匿する)
525 いちぶ (町の一部)	550 いんりつ (韻律にとむ)

551 いいすぎる (言い過ぎる)	576 いちもつ (胸に一物)
552 いいつのる (言い募る)	577 いちりょうじつ (一兩日まっ てください)
553 いいはなつ (言い放つ)	578 いっかん (一貫して行う)
554 いいまわし (言回し)	579 いっこく (一刻をあらそう)
555 いえで (家出をする)	580 いっしゅ (歌を一首よむ)
556 いがい (以外)	581 いっそ (——のこと)
557 いかばかり (——苦しかった ろう)	582 いっちょくせん (一直線)
558 いぎ (威儀を正す)	583 いっぱ (一派をたてる)
559 いきさつ (前後の——を話す)	584 いつわる (事実を偽る)
560 いきはじ (生き恥)	585 いどう (人事の異動)
561 いくじ (——がない)	586 いとも (——たやすく)
562 いけにえ	587 いなむ (——ことができない)
563 いこう (移項)	588 いのちごい (命ごい)
564 いざり	589 いぶかる (しきりに——様子 だ)
565 いじきたない (意地きたない)	590 いまがた (今方出ていった)
566 いしょ (医書は高い)	591 いむ (忌む)
567 いじん (偉人)	592 いやしくも
568 いせん (緯線)	593 いらだつ (気持が——)
569 いだい (偉大な人物)	594 いりみだれる (入り乱れる)
570 いたたまらない (——気持)	595 いれい (異例のでき事)
571 いためる (足を痛める)	596 いわゆる (これが——〇〇で す)
572 いちおう (一応やってみる)	597 いんぎょう (印形をおす)
573 いちじょう (一条のけむり)	598 いんしょう (印象がふかい)
574 いちどき (一時にできない)	599 いんにく (印肉をつける)
575 いちぶしじゅう (一部始終を 語る)	600 いんりょう (飲料)

601	いいすてる (言い捨てる)	626	いちもん (平家の一門)
602	いいとおす (言い通す)	627	いちりん (花が一輪)
603	いいはる (言い張る)	628	いっき (一気にやりとげる)
604	いいもらす (言い漏らす)	629	いっさい (——わからない)
605	いえもと (おどりの家元)	630	いっしゅう (運動場を一周する)
606	いかいよう (胃かいよう)	631	いっそう (——研究を重ねて……)
607	いかほど (——さしあげましょうか)	632	いっつい (一對の置物)
608	いきうつし (生写し)	633	いっぱく (東京で一泊する)
609	いきちがい (行違いになる)	634	いでたち (ものものしい——)
610	いきぼとけ (生き仏)	635	いどう (甲と乙の異同を考える)
611	いくぜい (育成)	636	いな (さんせいかな否か)
612	いけばな (生け花)	637	いなや (……するや——)
613	いこう (威光)	638	いのる (神に祈る)
614	いさりび (遠くにいさり火が見える)	639	いふく (衣服を着る)
615	いじける	640	いまさら (今さらのように)
616	いしょう (おどりの衣裳)	641	いもの (鋳物)
617	いじん (異人さん)	642	いやしむ (卑しむ)
618	いぜん (以前)	643	いらだてる (心を——)
619	いたいたしい (痛々しい様子)	644	いりよう (入り用はありませんか)
620	いたって (——元気だ)	645	いれぢえ (入れ知恵)
621	いたる (東京に至る)	646	いわれ (その——をきく)
622	いちがい (一概に言えない)	647	いんきょく (陰極と陽極)
623	いちじるしい (著しい)	648	いんしょく (飲食)
624	いちどく (一読の価値がある)	649	いんねん (因縁がふかい)
625	いちぶん (男の一分をたてる)	650	いんりょく (地球の引力)

651 いいそびれる(言いそびれる)	676 いちもん(一文の値打もない)
652 いいなずけ	677 いちるい(一壘)
653 いいひらき(言い開き)	678 いっきょ(一挙に行う)
654 いいよる(言い寄る)	679 いっさい(一再ならず)
655 いえる(病気がいえる)	680 いっしゅん(一瞬の間)
656 いかがわしい	681 いっそく(げた一足)
657 いかめしい(——顔つき)	682 いっつう(一通のてがみ)
658 いきうめ(生埋め)	683 いっぱん(一般に知られている)
659 いきづかい(息づかい)	684 いてつく(——ような寒さ)
660 いきまく(息まく)	685 いときりば(糸切り歯)
661 いくた(幾多)	686 いな(異なことをうけたまわる)
662 いける(花を——)	687 いなん(以南)
663 いこく(異国)	688 いはつ(遺髪をもってかえる)
664 いさん(遺産を分ける)	689 いぶす(松葉を——)
665 いしつぶつ(遺失物)	690 いましがた(今し方出て行った)
666 いじょう(異常な寒さ)	691 いもん(慰問)
667 いずこ(——も同じようだ)	692 いやす(のどのかわきを——)
668 いそ(——づたい)	693 いらぬ(——お世話)
669 いたがこい(板囲い)	694 いりょう(衣料)
670 いたで(痛手をこうむる)	695 いろあい(色合い)
671 いたるところ(——たいへんな人出だ)	696 いわんや(おとなでもむりだ——こどもには……)
672 いちぐう(運動場の一ぐうにある)	697 いんぎん(——なあいさつ)
673 いちじん(一陣の風)	698 いんする(足跡を印する)
674 いちなん(一難去ってまた一難)	699 インフルエンザ
675 いちまつもよう(市松模様)	700 いんれい(引例)

701 いいちがえる (言い違える)	726 いちやく (一躍有名になる)
702 いいならわし (言いならわし)	727 いちれい (一例をあげる)
703 いいふくめる (言い含める)	728 いくしむ
704 いいわけ (言い訳)	729 いっさく (一策を案ずる)
705 いえん (はままつ以遠)	730 いっしょう (一笑に付する)
706 いかく (威嚇射撃)	731 いつぞや (——お目にかかったとき……)
707 いかり (船のいかり)	732 いっづける (居続ける)
708 いきおい (——そうならざるをえない)	733 いっぴつ (一筆書いてもらう)
709 いきづまる (息詰るような…)	734 いでゆ (いで湯の町)
710 いきむ (さかんに——)	735 いとぐち (解決の——)
711 いくたび (幾たび)	736 いない (以内)
712 いける (球根を——)	737 いにしえ
713 いごこち (——がよい)	738 いばる (威張る)
714 いし (意志・意思)	739 いぶつ (古代の遺物)
715 いじめる (弱い子を——)	740 いましめる (悪事をいましめる)
716 いじょう (以上)	741 いやおう (——なしに)
717 いずみ (泉)	742 いやに (——早いね)
718 いそうろう (居そうろう)	743 いり (会場は半分の入り)
719 いたく (委託)	744 いりょう (医療)
720 いたばさみ (板ばさみになる)	745 いろう (慰労する)
721 いたれりつくせり (——のもてなし)	746 いん (印をおす)
722 いちげき (一撃をあたえる)	747 いんけん (引見する)
723 いちず (一ずに思いこむ)	748 いんせい (陰性と陽性)
724 いちにん (委員に一任する)	749 インフレ (インフレーション)
725 いちみ (どろぼうの一味)	750 いんれき (陰暦と陽暦)

751	いいつかる (言いつかる)	776	いちゅう (意中をさぐる)
752	いいならわす (言い習わす)	777	いちろ (一路日本へ)
753	いいふせる (言い伏せる)	778	いっけい (一系)
754	いいわたし (言い渡し)	779	いっさくさくじつ (一昨昨日)
755	いおう (明治以往)	780	いっしん (一心になる)
756	いがく (医学)	781	いったい (——どうしたことか)
757	いかる (怒る)	782	いって (一手に引き受ける)
758	いきがい (生きがい)	783	いっぷいっぷ (一夫一婦の制度)
759	いきづまる (道が行き詰まる)	784	いてん (移転する)
760	いきやすめ (息休め)	785	いとけない (——こども)
761	いくたり (全部で——ですか)	786	いなかびる
762	いけん (意見)	787	いにゅう (移入する)
763	いこつ (遺骨)	788	いはん (きそくに違反する)
764	いし (亡父の遺志)	789	いぶる (まきが——)
765	いしゅ (異種)	790	いまだ (——わからない)
766	いしょく (衣食)	791	いやき (——がさす)
767	いずれ (——そのうちに)	792	いやみ (——を言う)
768	いぞく (遺族)	793	いりえ (海の入江)
769	いだく (大きな志を——)	794	いりょく (威力)
770	いたぶき (板ぶきの屋根)	795	いろどる
771	いたわしい	796	いん (韻をふんだ文)
772	いちご (19歳を一期として)	797	いんご (隠語)
773	いちぜん (一ぜんの飯)	798	いんそつ (先生の引率で…)
774	いちにんまえ (一人まえ)	799	いんぶん (韻文と散文)
775	いちみゃく (一脈通じるものがある)	800	ういういしい (——感じ)

801	いいつくす (言い尽す)	826	いちよう (一様)
802	いいなり (言いなりになる)	827	いつ (一に帰する)
803	いいふらす (言いふらす)	828	いっけつ (衆議が一決する)
804	いいん (委員)	829	いっさくじつ (一昨日)
805	いおんびん (い音便)	830	いっしんじょう (一身上)
806	いかけ (鑄掛け)	831	いったい (あたり一帯)
807	いかん (理由の——を問わず)	832	いってい (一定のはやさ)
808	いきかえる (生き返る)	833	いっぷく (ちょっと一服する)
809	いきながらえる (生き長らえる)	834	いでん (遺伝の研究)
810	いぎょう (偉業をなしとげる)	835	いとしご (いとし子)
811	いくどうおん (異口同音に言う)	836	いながら (居ながらにして…)
812	いげん (威厳のある人)	837	いにん (しごとを委任する)
813	いさぎよい	838	いびつ (——なはこ)
814	いし (医師)	839	いへん (異変がおこる)
815	いしゅう (異臭がただよう)	840	いまや (今や)
816	いしょく (移植)	841	いやく (違約)
817	いすわる (居すわる)	842	いよいよ (——きょうは……)
818	いそくさい (いそ臭い)	843	いりくむ (入り組む)
819	いたけだか (——になって…)	844	いる (火にかけて——)
820	いたましい (痛ましいすがた)	845	いろめく (色めく)
821	いたわる (小さい子を——)	846	いんが (因果とあきらめる)
822	いちごん (一言のもとにことわる)	847	いんさつ (印刷)
823	いちぞく (一族の者)	848	いんたい (引退する)
824	いちねん (母の一念で……)	849	いんぼう (陰謀をたくらむ)
825	いちめい (それは一名……という)	850	ういご (うい子が生れる)

851	いいつくろう (言い繕う)	876	いちょう (胃腸)
852	いいぬけ (言抜け)	877	いっか (一家をあげて)
853	いいふるす (言い古す)	878	いっけん (一見おかしく見える)
854	いいん (医院)	879	いっさつ (一札入れる)
855	いか (医科)	880	いっしん (一新する)
856	いかす (生かす)	881	いったん (——帰ってから…)
857	いき (意気)	882	いってき (一滴もない)
858	いきがけ (行きがけにたちよる)	883	いっぷく (一幅の絵)
859	いきなり (——飛び出した)	884	いと (意図)
860	いきりたつ (人々が——)	885	いとなむ (営む)
861	いくにち (幾日)	886	いながれる (居流れる)
862	いご (10時以後)	887	いぬじに (犬死)
863	いざこざ (——が起る)	888	いひょう (意表に出る)
864	いじ (遺児)	889	いぼ (——ができる)
865	いじゅう (ブラジルに移住する)	890	いまわしい (——思い出)
866	いじらしい (——気持)	891	いやく (意識と直訳)
867	いせい (威勢がよい)	892	いよう (異様なにおい)
868	いそこなう (射そこなう)	893	いりこむ (入り込む)
869	いたしかた (何とも——がない)	894	いる (やを射る)
870	いたみいる (痛み入る)	895	いろり (囲炉裏)
871	いち (市がたつ)	896	いんが (陰画と陽画)
872	いちざ (一座の人々)	897	いんし (印紙をはる)
873	いちぞん (わたくしの一存では……)	898	いんちょう (院長)
874	いちば (市場)	899	いんよう (飲用に適する)
875	いちめい (一命をおとす)	900	ういじん (うい陣のほまれ)

901	いいつけ（親の言付をきく）	926	いちらん（一覧する）
902	いいね（言い値）	927	いっかく（町の一角に）
903	いいぶん（言い分）	928	いっこ（一戸をかまえる）
904	いうなり（言うなり）	929	いっさん（一散ににげる）
905	いか（以下）	930	いっすい（一睡もしない）
906	いかだ（——流し）	931	いっち（意見が一致する）
907	いき（完成の域に近づく）	932	いってつ（一徹な老人）
908	いきぎれ（息切れ）	933	いっぺん（一片のあいさつ）
909	いきぬき（息抜き）	934	いど（緯度が高い地方）
910	いきわかれ（生き別れ）	935	いとのこ（糸のこ）
911	いくん（遺訓）	936	いなさく（稲作）
912	いご（囲碁）	937	いねむり（居眠り）
913	いささか（——つかれた）	938	いひん（遺品のせいら）
914	いじ（維持する）	939	いほく（以北）
915	いしゅつ（製品を移出する）	940	いみ（意味）
916	いじる（それを——な）	941	いやく（医薬）
917	いせい（異性の友だち）	942	いよく（意欲）
918	いそしむ（勉強に——）	943	いりひ（入り日）
919	いたす（拝見——）	944	いる（かまを鑄る）
920	いたむ（痛む）	945	いろん（異論をとなえる）
921	いち（位置がかわる）	946	いんかん（印鑑をもってきて ください）
922	いちじ（一時まにあわせる）	947	いんしゅ（飲酒）
923	いちだいじ（一大事）	948	いんでんき（陰電気と陽電気）
924	いちはやく（——できあがる）	949	いんよう（文を引用する）
925	いちめん（あたり一面）	950	ウイスキー

951	いいつける (言いつける)	976	いちりつ (一律にはいかない)
952	いいのがれ (言いのがれ)	977	いっかげつ (一か月)
953	いいまかす (言い負かす)	978	いっこう (先生の一行)
954	いえき (胃液)	979	いっしき (道具一式をかりる)
955	いがい (遺がい)	980	いっせいに (——手をあげる)
956	いかに (——すべきか)	981	いっちゃん (洋服一着)
957	いぎ (異議をのべる)	982	いってん (様子が一転する)
958	いきぐるしい (息苦しい)	983	いっぺん (形勢が一変する)
959	いきのこる (生き残る)	984	いとう (からだを——)
960	いくさ (——に行く)	985	いとま (その——がない)
961	いけがき (生けがき)	986	いなずま (——が光る)
962	いこう (意向)	987	いのこる (居残る)
963	いさめる (友だちを——)	988	いふう (威風どうどうと……)
964	いじ (意地をとおす)	989	いま (居間)
965	いじゅつ (医術)	990	いみことば (忌ことばをさける)
966	いしん (維新)	991	いやけ (——がさす)
967	いせき (遺跡)	992	いらい (依頼する)
968	いぞん (依存する)	993	いりびたる (入り浸る)
969	いただき (山の頂)	994	いる (太陽が西の空に入る)
970	いたむ (品物が——)	995	いわば (——彼のとがらだ)
971	いちい (一位をしめる)	996	いんき (陰気なへや)
972	いちじ (一次の試験)	997	いんしゅう (因習にとらわれる)
973	いちどう (一同の者)	998	いんどう (引導を渡す)
974	いちばんのり (一番乗りをする)	999	いんよう (陰陽)
975	いちめん (その一面よい点もある)	1000	ういまご (うい孫)

1001 うえ (飢えに苦しむ)	1026 えきざい (液剤)
1002 うき (雨季)	1027 えくぼ (かわいい——)
1003 うけつける (受け付ける)	1028 えたり (——かしこしとばかり)
1004 うさんくさい (——男)	1029 えとく (作り方を会得する)
1005 うすうす (——感づく)	1030 えもいわれぬ (——気持)
1006 うたい (謡をうたう)	1031 えん (円の中心)
1007 うちあわせ (打合せ)	1032 えんかつ (円滑にはかどる)
1008 うちくだく (打ち砕く)	1033 えんぐみ (縁組をする)
1009 うちすてる (打ち捨てる)	1034 えんじ (園児)
1010 うちょうてん (——になる)	1035 えんじん (円陣をつくる)
1011 うってかわる (打って変わる)	1036 えんたく (円卓をかこんで…)
1012 うでずく (腕ずくでとりかえす)	1037 えんてん (炎天の中をあるく)
1013 うなばら (海原)	1038 えんぶん (塩分)
1014 うぶゆ (うぶ湯)	1039 お (尾と頭)
1015 うもう (羽毛)	1040 おいて (東京に——開かれた)
1016 うらはずかしい (——年ごろ)	1041 おういつ (活気が——している)
1017 うりさばく (売りさばく)	1042 おうごん (黄金)
1018 うれくち (売れ口をさがす)	1043 おうせん (応戦する)
1019 うわさ (——をする)	1044 おうへい (——な態度)
1020 うわまわる (予想を上回る)	1045 おえない (手に——)
1021 うんだめし (運だめし)	1046 おおがら (大柄)
1022 え (かさの柄)	1047 おおせ (仰せ)
1023 えいけつ (一代の英傑)	1048 オートジャイロ
1024 えいたん (詠嘆する)	1049 おおもと (——の問題)
1025 えいり (営利事業)	1050 おがくず

1051	うえこみ (植込)	1076	えきしゃ (易者)
1052	うき (浮きがゆれる)	1077	えぐる
1053	うけとめる (受け止める)	1078	えつ (悦に入る)
1054	うじ (氏)	1079	エナメル (——をぬる)
1055	うずく (きずが——)	1080	えもの (——をさがす)
1056	うたい (歌い手)	1081	えん (盛大な宴)
1057	うちいり (討入り)	1082	えんがわ (縁側)
1058	うちくび (打ち首)	1083	えんぐん (援軍が来ない)
1059	うちつづく (打ち続く雨)	1084	えんじゃ (縁者のあつまり)
1060	うちわ (内輪の者だけで……)	1085	エンジン (自動車の——)
1061	うってでる (打って出る)	1086	えんだん (演壇に立つ)
1062	うでだめし (腕だめしをする)	1087	えんでん (塩田)
1063	うぬぼれる	1088	えんぼう (遠望)
1064	うまる (砂で埋まる)	1089	おい (おじ——の関係)
1065	うもれる (地中に——)	1090	おいで (——を待つ)
1066	うらはら (言うこととすることが——だ)	1091	おうえん (応援をたのむ)
1067	うりたて (品物の売立)	1092	おうし (じこで横死する)
1068	うれゆき (売れ行き)	1093	おうたい (客の応対)
1069	うわしき (上敷)	1094	おうべい (欧米)
1070	うわめ (上目づかい)	1095	おえる (終える)
1071	うんちん (運賃が高い)	1096	おおくらしょう (大蔵省)
1072	え (にわとりに——をやる)	1097	おおぜき (大関)
1073	えいじ (英字)	1098	おおにゅうどう (大入道)
1074	えいだん (英断をくだす)	1099	おおや (大家)
1075	えいわ (英和辞典)	1100	おかす (犯す)

1101	うえる (飢える)	1126	エキストラ
1102	うきよ (浮世)	1127	えこひいき
1103	うけとり (受取)	1128	えっきょう (越境する)
1104	うしお (——がさしてくる)	1129	エネルギー
1105	うずくまる	1130	エラー (——をする)
1106	うたがう (疑う)	1131	えんいん (延引する)
1107	うちうち (内々の相談)	1132	えんかん (鉛管)
1108	うちけし (打消のことば)	1133	えんけい (遠景がぼける)
1109	うちつれる (打ち連れる)	1134	えんしゅう (演習)
1110	うちわ (内輪にみつもる)	1135	えんしんりょく (遠心力)
1111	うっとうしい (——空)	1136	えんだん (縁談がまとまる)
1112	うてん (雨天)	1137	えんとう (円筒)
1113	うねる (波が——)	1138	えんぼう (遠方からくる)
1114	うまれかわり (生まれ変わり)	1139	おい (老いをわすれて……)
1115	うやうやしい (——態度)	1140	おいはぎ (追いはぎが出る)
1116	うらぶれる	1141	おうおう (往々にして……)
1117	うりょう (雨量が多い)	1142	おうじ (王子さま)
1118	うれる (りんごの実が赤く——)	1143	おうたい (横隊の行進)
1119	うわすべり (上すべりの知識)	1144	おうぼ (応募する)
1120	うわやく (上役の言いつけ)	1145	おおあたり (大当り)
1121	うんてん (自動車の運転)	1146	おおげさ (——な話)
1122	えいい (鋭意努力する)	1147	おおだてもの (大立者)
1123	えいしゃ (スライドの映写)	1148	おおはば (大幅)
1124	えいてん (課長に栄転する)	1149	おおやけ (公の費用)
1125	えがお (——で答える)	1150	おかす (侵す)

1151 うかがう (伺う)	1176 えきする (益する)
1152 うけあう (請け合う)	1177 えごころ (絵心)
1153 うけとる (受け取る)	1178 エックスせん (X線)
1154 うしなう (失う)	1179 えびちゃいろ (えび茶色)
1155 うずたかい (——ごみの山)	1180 えりごのみ (えり好み)
1156 うたがわしい (疑わしい)	1181 えんえい (遠泳)
1157 うちうみ (内海)	1182 えんがん (沿岸)
1158 うちけす (言ったことを打ち消す)	1183 えんげい (園芸が好きだ)
1159 うちとける (気持が打ち解ける)	1184 えんしゅうりつ (円周率)
1160 うちわけ (内訳)	1185 えんすいけい (円すい形)
1161 うつぶせる (地にうつ伏せる)	1186 えんちゃく (汽車が延着する)
1162 うとい (事情に——)	1187 えんどう (沿道の家)
1163 うのみ (——にする)	1188 えんまく (煙幕をはる)
1164 うまれつき (生まれつき)	1189 おいおい (病気が——よくなる)
1165 うやまう (敬う)	1190 おいはらう (追い払う)
1166 うらむ (恨む)	1191 おうか (桜花がさきみだれる)
1167 うるうどし (うるう年)	1192 おうじゃ (王者のほこり)
1168 うろ (木の——)	1193 おうだん (道路の横断)
1169 うわずみ (上澄みの水)	1194 おうぼう (横暴な態度)
1170 うん (運がわるい)	1195 おおい (——をかぶせる)
1171 うんどう (運動)	1196 オーケストラ
1172 えいえん (永遠の平和)	1197 おおづな (大綱)
1173 えいじゅう (いなか) に永住する	1198 おおひろま (大広間)
1174 えいびん (鋭敏な感覚)	1199 おおよう (——な人がら)
1175 えがく (風景画を描く)	1200 おかす (危険を——)

1201	うかがう (機会を——)	1226	えきたい (液体)
1202	うけいれる (受け入れる)	1227	えし (絵師)
1203	うけみ (受身)	1228	えつねん (越年)
1204	うしろぐらい (——おこない)	1229	えふで (絵筆)
1205	うずまる (雪で——)	1230	えりぬく (えり抜く)
1206	うたたね (うたた寝)	1231	えんえん (炎々ともえる)
1207	うちかさなる (打ち重なる)	1232	えんき (会を延期する)
1208	うちこむ (心を打ち込む)	1233	えんげい (演芸を見る)
1209	うちべんけい (内弁慶)	1234	えんじゅく (円熟したわざ)
1210	うちわたし (内渡しのおかね)	1235	えんずる (演ずる)
1211	うっぶん (——をはらす)	1236	えんちゅう (円柱が立ちならぶ)
1212	うとんじる (他人の意見を——)	1237	えんどおい (縁遠い)
1213	うば (——にだかれた子)	1238	えんまん (円満な解決)
1214	うまれながら (生まれながらの才能)	1239	おいかげ (追い風)
1215	うやむや (——になる)	1240	おいまくる (追いまくる)
1216	うらめしい (恨めしい)	1241	おうか (欧化)
1217	うるおう (雨で畑が潤う)	1242	おうしゅう (たくみな応酬)
1218	うろおぼえ (うろ覚え)	1243	おうちゃく (横着な人)
1219	うわっぱり (上っ張りを着る)	1244	おうめんきょう (おう面鏡)
1220	うんえい (会社の運営)	1245	おおいに (大いに)
1221	うんぬん (……について——する)	1246	おおごしょ (大御所)
1222	えいかく (鋭角)	1247	おおっぴら (大っぴらなやり方)
1223	えいずる (目に映ずる)	1248	おおまか (——な計算)
1224	えいへい (衛兵がたっている)	1249	おおよそ (——10日間)
1225	えがたい (得難い品物)	1250	おかどちがい (お門違い)

1251	うかされる (熱に:—)	1276	えきちゅう (益虫)
1252	うけうり (受売り)	1277	えじき (—になる)
1253	うける (受ける)	1278	えつらん (図書の閲覧)
1254	うしろだて (人の—になる)	1279	エプロン (—をかける)
1255	うずめる (土の中に—)	1280	えりわける (えり分ける)
1256	うだる (—のような暑さ)	1281	えんかい (宴会がはじまる)
1257	うちかつ (打ち勝つ)	1282	えんぎ (縁起をかつぐ)
1258	うちしおれる	1283	えんげき (演劇を見る)
1259	うちまく (内幕)	1284	えんしゅつ (演出がうまい)
1260	うつうつ (—と日を送る)	1285	えんぜつ (演説)
1261	うつむく (うつ向く)	1286	えんちょう (時間を延長する)
1262	うながす (促す)	1287	えんとつ (煙突)
1263	うばう (奪う)	1288	えんむすび (縁結び)
1264	うむ (傷口が—)	1289	おいこむ (老い込む)
1265	うらがなしい (うら悲しい気持)	1290	おいやる (追いやる)
1266	うらやましい	1291	おうかん (王冠)
1267	うるおす (土地を潤す)	1292	おうじる (応じる)
1268	うろこ	1293	おうちょう (王朝の文学)
1269	うわて (彼のほうが上手だ)	1294	おうよう (科学の応用)
1270	うんが (運河をほる)	1295	おおいり (大入り)
1271	うんぱん (荷物の運搬)	1296	おおざっぱ (—な説明)
1272	えいかん (栄冠を勝ち得る)	1297	おおづめ (大詰にくる)
1273	えいせい (月は地球の衛星だ)	1298	おおまた (大またで歩く)
1274	えいみん (永眠する)	1299	おおらか (—な気持)
1275	えき (液)	1300	おかん (悪寒がする)

1301 うかつ (——なことに)	1326 えきでんきょうそう (駅伝競走)
1302 うけおい (請負)	1327 えしゃく (かるく会釈する)
1303 うげん(右げんに島が見える)	1328 えて (何一つ得てがない)
1304 うしろまえ (シャツを——に着る)	1329 えぼし (——をかぶる)
1305 うずもれる	1330 える (得る)
1306 うたれる (心を打たれる)	1331 えんかいこうろ (沿海航路)
1307 うちがわ (内側)	1332 えんぎ (演技がうまい)
1308 うちしずむ(気持が打ち沈む)	1333 えんこ(縁故をたよって……)
1309 うちみ (打身)	1334 えんじょ (援助する)
1310 うっすら	1335 えんそう (演奏する)
1311 うつり (色の——がよい)	1336 えんちょう (園長)
1312 うなされる (ゆめで——)	1337 えんにち (縁日)
1313 うぶ (——な人)	1338 えんゆうかい (園遊会)
1314 うむ(出席の有無をしらべる)	1339 おいさき (老い先)
1315 うらがれる (うら枯れる)	1340 おいる (老いる)
1316 うらやむ	1341 おうきゅう (応急の手当)
1317 うるし (漆)	1342 おうしん (往診)
1318 うろたえる	1343 おうとう (すぐに応答する)
1319 うわのそら (上の空でく)	1344 おうらい (往来)
1320 うんこう (列車の運行)	1345 おおう (顔を——)
1321 うんぴつ (正しい運筆)	1346 おおさわぎ (大騒ぎ)
1322 えいき (鋭気があふれる)	1347 おおて (大手をふって……)
1323 えいせい (衛生に注意する)	1348 おおみそか (——の晩)
1324 えいゆう (英雄)	1349 オール (——でこぐ)
1325 えき (何の益もない)	1350 おき(はるか沖のほうに……)

1351 うがつ (あなを——)	1376 えきとう (駅頭に出むかえる)
1352 うけたまわる (承る)	1377 エス・オー・エス (S・O・S)
1353 うごめかす (得意のはなを——)	1378 えて (とくいになると——失敗する)
1354 うしろめたい (——気持)	1379 えま (絵馬)
1355 うすらぐ (色が薄らぐ)	1380 エレベーター
1356 うちあう (撃ち合う)	1381 えんがい (煙害で森林がかれる)
1357 うちき (内気)	1382 えんきょり (遠距離)
1358 うちじに (討死)	1383 えんご (援護)
1359 うちみず (打ち水)	1384 えんしょう (炎症をおこす)
1360 うっする (気が——)	1385 えんたい (しはらいが延滞する)
1361 うつろ (中が——になっている)	1386 えんちょくせん (鉛直線)
1362 うなずく	1387 えんねつ (炎熱がはげしい)
1363 うぶぎ (あかんぼうの——)	1388 えんようこうかい (遠洋航海)
1364 うめあわせる (埋め合わせる)	1389 おいしげる (おい茂る)
1365 うらぎる (裏切る)	1390 おいわけ (追分)
1366 うららか (——な春)	1391 おうぎょう (——な身ぶり)
1367 うるむ (目が——)	1392 おうせい (元気——)
1368 うろつく	1393 おうねん (往年の元気はない)
1369 うわばき (上ばき)	1394 おうりょう (横領する)
1370 うんざり (——する)	1395 おおうなばら (大海原)
1371 うんめい (運命)	1396 おおじ (大路)
1372 えいきゅう (永久)	1397 おおでき (それは——だ)
1373 えいぞう (映像がぼける)	1398 おおむね (——よくできている)
1374 えいよ (栄誉をかちえる)	1399 おおわらわ (——で働く)
1375 えき (易でうらなう)	1400 おき (一つ置きに)

1401 うかれる	1426 えぎぬ (絵絹)
1402 うけつぎ (受継ぎ)	1427 エスカレーター
1403 うごめく (いもむしが——)	1428 えてかって (——な人)
1404 うじょう (羽状)	1429 えまきもの (絵巻物)
1405 うせる (元気が——)	1430 えん (ふしぎな縁で……)
1406 うちあける (打ち明ける)	1431 えんかく (本校の沿革)
1407 うちきる (打ち切る)	1432 えんきり (縁切り)
1408 うちすえる (打ちすえる)	1433 えんさき (縁先からおちる)
1409 うちやぶる (打ち破る)	1434 えんしょう (延焼する)
1410 うったえる (訴える)	1435 えんだい (演題をきめる)
1411 うつわ (器)	1436 えんづく (縁付く)
1412 うなずける (——理由)	1437 えんばん (円盤をなげる)
1413 うぶげ (うぶ毛)	1438 えんりょ (遠慮する)
1414 うめたてる (埋め立てる)	1439 おいそれと (——負けない)
1415 うらさびしい (——気持)	1440 おう (せきにんを負う)
1416 うらわかい (うら若い)	1441 おうこう (どろぼうの横行)
1417 うるわしい (麗しい)	1442 おうせつ (客の応接)
1418 うわがき (上書きを書く)	1443 おうふく (往復)
1419 うわべ (——は平気だ)	1444 おうりょくしょく (黄緑色)
1420 うんせい (運勢がよい)	1445 おおおく (大奥)
1421 うんゆ (運輸と通信)	1446 おおしい (雄々しい)
1422 えいきょう (影響を与える)	1447 おおどうぐ (大道具)
1423 えいぞく (永続のみこみ)	1448 おおめ (大目に見る)
1424 えいよう (栄養がよい)	1449 おか (丘)
1425 えきか (空気を液化する)	1450 おきあい (沖合を通る船)

1451 うがん (右岸)	1476 えきびょう (疫病がはやる)
1452 うけつけ (受付)	1477 えたい (得体が知れない)
1453 うさ (——を忘れて)	1478 えとき (絵解き)
1454 うず (——を巻く)	1479 えみ (——をたたえて……)
1455 うすれる (光が薄れる)	1480 えん (縁がわ)
1456 うちあみ (打ち網)	1481 えんかく (遠隔の地)
1457 うちけす (打ち消す)	1482 えんきん (遠近がわからない)
1458 うちすぎる (打ち過ぎる)	1483 えんし (遠視の目)
1459 うちゅう (宇宙)	1484 えんじょう (五重の塔の炎上)
1460 うって (討っ手)	1485 えんだい (遠大な計画)
1461 うてき (雨滴)	1486 えんづける (縁付ける)
1462 うなだれる (首を——)	1487 えんびふく (えんび服)
1463 うぶごえ (うぶ声)	1488 えんろ (遠路はるばる……)
1464 うめる (地に埋める)	1489 おいたち (おい立ち)
1465 うらなう (トランプで占う)	1490 おうい (王位をしりぞく)
1466 うりざねがお (うりざね顔)	1491 おうこく (王国)
1467 うれえる (憂える)	1492 おおせる (みごとにし——)
1468 うわごと (——を言う)	1493 おうぶん (欧文)
1469 うわまえ (上前をはねる)	1494 おうレンズ
1470 うんそう (荷物の運送)	1495 おおがかり (大掛かり)
1471 うんよう (資金の運用)	1496 おおじかけ (大仕掛け)
1472 えいぎょう (営業がふるわな い)	1497 おおどおり (大通り)
1473 えいたつ (栄達をはかる)	1498 おおもじ (大文字で書く)
1474 えいり (鋭利なナイフ)	1499 おか (船から——が見える)
1475 えききん (益金)	1500 おきあがりこぼし

1501 おきざり (置き去り)	1526 おろす (新しい洋服を——)
1502 おくさま (奥様)	1527 おんがん (温顔)
1503 おくりもの (贈り物)	1528 おんしつ (温室)
1504 おこり (この病気の起りは…)	1529 おんせい (音声)
1505 おさななじみ (幼なじみ)	1530 おんど (——をとる)
1506 おじ (——の家)	1531 おんみつ (穩密のうちに事を はこぶ)
1507 おしこむ (押し込む)	1532 カーブ (——をきる)
1508 おじや (——を食べる)	1533 かいいん (会員)
1509 おせっかい (——な人)	1534 かいが (絵画)
1510 おそれおののく (恐れおのの く)	1535 かいかん (会館)
1511 おだやか (穩やかな海)	1536 かいきせん (回帰線)
1512 おちぼ (落ち穂をひろう)	1537 かいけい (会計)
1513 おっつけ (——帰るでしょう)	1538 がいこう (外交)
1514 おどおど (——する)	1539 かいこん (ふかく悔恨する)
1515 おととし (——の春)	1540 がいし (外紙の報道によれば)
1516 おのおの (——の席)	1541 かいしょ (文字はかい書で…)
1517 おひらき (お開きになる)	1542 かいしょく (会食する)
1518 おぼつかない (成功は——)	1543 かいせい (改正)
1519 おめし (お召にあずかる)	1544 がいぜん (慨然として)
1520 おもて (面をあげる)	1545 かいたい (解体する)
1521 おもむき (趣き)	1546 かいちゅう (海中)
1522 おもわせぶり (思わせぶりの 様子)	1547 かいてん (回転)
1523 および (及びもつかない)	1548 がいどく (害毒)
1524 おりかえし (——お返事くだ さい)	1549 かいひょう (開票)
1525 おりよく (——空がはれた)	1550 かいへん (海辺)

1551 おきて (——に従う)	1576 おろそか (——にする)
1552 おくじょう (屋上)	1577 おんぎ (恩義)
1553 おくる (贈る)	1578 おんしつ (音質がよい)
1554 おごり (——をきわめる)	1579 おんせつ (音節)
1555 おさなり (お座なりな話)	1580 おんとう (温湯)
1556 おしい (惜しい)	1581 おんりょう (音量)
1557 おしつけがましい (——態度)	1582 かい (ろ と ——)
1558 おしゃべり (——をする)	1583 かいいん (改印)
1559 おそう (襲う)	1584 がいか (外貨)
1560 おそれる (恐れる)	1585 かいかん (怪漢)
1561 おち (準備に落ちはないか)	1586 かいきしょく (皆既食)
1562 おちむしゃ (落武者)	1587 かいけつ (解決)
1563 おって (追手がくる)	1588 かいこうしょく (灰黄色)
1564 おどかす	1589 かいさい (開催)
1565 おとなげない (——おこない)	1590 がいじしんぶん (外字新聞)
1566 おのずから (——わかってく る)	1591 かいじょ (解除)
1567 おびる (使命を——)	1592 かいしょく (解職)
1568 おぼれる (水に——)	1593 かいせい (改姓)
1569 おもいがけない (思いがけな い事がおこる)	1594 かいそう (海草)
1570 おもてぎた (事件を——にす る)	1595 かいだい (改題)
1571 おもむく	1596 かいちゅう (懷中)
1572 おもんずる (重んずる)	1597 がいでん (外電)
1573 およぶ (及ぶ)	1598 かいとる (買い取る)
1574 おりかえす (折り返す)	1599 かいひょう (解氷)
1575 オリンピック	1600 かいほう (窓を開放する)

1601 おぎない (補い)	1626 おわせる (傷を負わせる)
1602 オクターブ	1627 おんきゅう (恩給)
1603 おくれげ (おくれ毛)	1628 おんじゅん (温順)
1604 おこる (産業が——)	1629 おんせん (温泉)
1605 おさまり (納まりがつかない)	1630 おんどく (音読と黙読)
1606 おしいただく	1631 おんよく (温浴)
1607 おしつまる (押し詰まる)	1632 かい (せっかくやった——がない)
1608 おしやる (押しやる)	1633 かいいんしき (開院式)
1609 おそまき (——ながらやりはじめる)	1634 かいかい (開会)
1610 おそろしい (恐ろしい)	1635 かいかん (快感)
1611 おち (せいぜいそんなところが落ちさ)	1636 かいきゅう (階級)
1612 おちめ (落ち目になる)	1637 かいけん (会見)
1613 おって(——お知らせします)	1638 かいこく (開国)
1614 おどける (おどけた顔つき)	1639 がいさい (外債)
1615 おとめ (純情な——)	1640 がいして (概して)
1616 おののく (こわさに——)	1641 かいしょう (解消)
1617 おびる (赤みを——)	1642 かいしん (改心)
1618 おぼろ (月が——に見える)	1643 かいせい (快晴)
1619 おもいきる (思い切る)	1644 かいそう (回送)
1620 おもてだつ (表立つ)	1645 かいたく (開拓)
1621 おもむろに (——見る)	1646 がいちゅう (害虫)
1622 おもんばかる (細かい点まで——)	1647 かいとう (回答)
1623 およぼす (及ぼす)	1648 かいな (たくましい——)
1624 おりかさなる (折り重なる)	1649 がいひょう (概評)
1625 おる (たんものを織る)	1650 かいほう (解放)

1651 おぎなう(たりない点を補う)	1676 おん(恩をうける)
1652 おくない(屋内)	1677 おんきょう(音響)
1653 おける(東京に——大会)	1678 おんしょう(温床)
1654 おごる(——平家は久しからず)	1679 おんそく(音速)
1655 おさまる(納まる)	1680 おんどく(音読と訓読)
1656 おしうり(押売り)	1681 おんわ(温和)
1657 おしとおす(押し通す)	1682 かい(下位)
1658 おしゃれ(——をする)	1683 かいうける(買い受ける)
1659 おそらく(——来るだろう)	1684 かいがい(海外)
1660 おそろしがる(恐しがる)	1685 かいがん(海岸)
1661 おちいる(陥る)	1686 かいきょう(船で海峡を通る)
1662 おちゆく(落ち行く先)	1687 がいけん(外見)
1663 おっと(夫)	1688 かいこく(海国)
1664 おとさた(何の——もない)	1689 かいさく(改作)
1665 おどりこ(踊り子)	1690 かいしめる(買い占める)
1666 おのれ(まず——を反省せよ)	1691 かいしょう(改称)
1667 おぶさる(せなかに——)	1692 かいしん(会心の作)
1668 おまけに(——雨だった)	1693 かいせき(会席)
1669 おもいやる(思いやる)	1694 かいそう(回想)
1670 おもな(——事件)	1695 かいだし(買出し)
1671 おももち(面持ち)	1696 かいちょう(快調)
1672 おやがかり(親がかりの生活)	1697 かいとう(怪盗)
1673 おり(——に入れられたくま)	1698 かいにゅう(介入する)
1674 おりかさねる(折り重ねる)	1699 かいひん(海浜)
1675 おる(鉛筆を折る)	1700 かいほう(病人の介抱)

1701 おきなおる (起きなおる)	1726 おん (はっきりした音)
1702 おくびょう (——な人)	1727 おんぎょく (音曲)
1703 おごそか (——な式典)	1728 おんしょう (恩賞)
1704 おさおさ (準備を——おこた らない)	1729 おんたい (温帯)
1705 おさめる (代金を納める)	1730 おんぱ (音波)
1706 おしえ (押し絵)	1731 か (可とする)
1707 おしなべて	1732 がい (害がある)
1708 おしょく (汚職事件)	1733 かいうん (海運)
1709 おそるおそる (——戸をあけ る)	1734 がいかい (外界)
1710 おそわれる (敵に襲われる)	1735 がいかん (概観)
1711 おちおち (——してはいられ ない)	1736 かいきょう (回教)
1712 おつ (乙)	1737 かいこ (解雇)
1713 おっとり (——とした人)	1738 がいこく (外国)
1714 おどし (——がきかない)	1739 かいさつ (改札)
1715 おどりこむ (踊り込む)	1740 かいしゃ (会社)
1716 おはらい (神社で——をする)	1741 かいじょう (回状をまわす)
1717 おぶつ (汚物をすてる)	1742 がいじん (外人)
1718 おまもり (お守り)	1743 かいせつ (解説)
1719 おもうつぼ (思うつぼにはま る)	1744 かいそう (会葬)
1720 おもなが (面長)	1745 かいだす (水をかい出す)
1721 おもや (——と離れ)	1746 がいちょう (害鳥)
1722 おやすい (——御用)	1747 かいとう (解答)
1723 おり (——があったら)	1748 がいねん (概念)
1724 おりかた (着物の織り方)	1749 がいぶ (外部)
1725 オルゴール	1750 かいほう (快方に向かう)

1751 おきぬけ (起きぬけ)	1776 おんあい (恩愛)
1752 おくまる (奥まったへや)	1777 おんけい (恩恵)
1753 おこたりがち(とかく——だ)	1778 おんじょう (温情)
1754 おさと (お里が知れる)	1779 おんだん (温暖)
1755 おさめる (国を治める)	1780 おんびき (音引のさくいん)
1756 おしえご (教え子)	1781 が (我がつよい)
1757 おしのける (押しのける)	1782 がい (我意をとおす)
1758 おしよせる (押し寄せる)	1783 かいえん (開演)
1759 おそるべき (恐るべき害毒)	1784 かいがいしい
1760 おそん (汚損がひどい)	1785 がいかん (外観はきれいだ)
1761 おちつく (心が落ち着く)	1786 かいぎょう (開業)
1762 おつに (乙にすます)	1787 かいこう (開校)
1763 おつや (今晚がお通夜です)	1788 がいこつ (がい骨)
1764 おとしいれる	1789 かいさん (解散)
1765 おとる (成績が劣る)	1790 かいしゃく (解釈)
1766 おびえる (ゆめに——)	1791 かいじょう (階上)
1767 オブラート	1792 かいず (海図)
1768 おみき (——をそなえる)	1793 かいせん (改選)
1769 おもおもしろい(重々しい態度)	1794 かいそう (快走)
1770 おもに (重荷)	1795 かいだめ (買いだめ)
1771 おもやつれ (——する)	1796 かいちん (意見の開陳)
1772 おやつ (——をいただく)	1797 かいどう (かい道の松並木)
1773 おりあう(ねだんが折り合う)	1798 がいはく (外泊)
1774 おりかた (紙の折り方)	1799 かいふう (開封する)
1775 おれあう (折れ合う)	1800 かいぼう(かえるを解剖する)

1801 おきみやげ (置きみやげ)	1826 おんが (温雅な感じ)
1802 おくまんちょうじゃ (億万長者)	1827 おんけつ (温血)
1803 おこたる (勉強を——)	1828 おんしょく (温色)
1804 おさない (幼いこども)	1829 おんちゅう (御中)
1805 おさめる (学問を修める)	1830 おんぴょうもじ (音表文字)
1806 おしえこむ (教え込む)	1831 が (新年の賀)
1807 おしはかる (推し量る)	1832 がいあく (害悪)
1808 おす (雄)	1833 かいおうせい (海王星)
1809 おそれ (火事の——がある)	1834 かいかく (改革)
1810 おたがいさま (お互さまです)	1835 がいかん (外患)
1811 おちつける (心を落ち着ける)	1836 がいきょう (概況)
1812 おっかける (追っかける)	1837 かいこう (開口)
1813 おでまし (お出まし)	1838 かいことば (買いことば)
1814 おとしめる (人を——)	1839 がいさん (概算)
1815 おとろえる (力が衰える)	1840 かいしゅう (河川の改修)
1816 おびきよせる (敵をおびき寄せる)	1841 かいじょう (開場)
1817 オペラ	1842 がいすう (概数)
1818 おみそれ (すっかり——しまった)	1843 かいせん (開戦)
1819 おもかげ (昔の——)	1844 かいぞう (改造)
1820 おもに (来たのは——若い人だった)	1845 かいだん (階段)
1821 おもゆ (重湯)	1846 かいつう (開通)
1822 およそ (——10分ばかり)	1847 がいとう (街燈をつける)
1823 おりいて (——お願いする)	1848 かいはつ (開発)
1824 おりから (——の雨)	1849 かいふく (病気の回復)
1825 おろか (——な考え)	1850 がいまい (外米)

1851 おきもの (置物)	1876 おんかい (音階)
1852 おくゆかしい (——人がら)	1877 おんけん (穩健な考え)
1853 おこない (良い行い)	1878 おんしらず (恩知らず)
1854 おさながお (幼な顔)	1879 おんちょう (音調)
1855 おさらい (——をする)	1880 おんびん (——に解決する)
1856 おしかける (押し掛ける)	1881 が (が と ちょう とはにて いる)
1857 おしむ (惜しむ)	1882 かいあげ (買上げ)
1858 おすい (汚水をすてる)	1883 かいおき (買置き of 品)
1859 おそれいる (恐れ入る)	1884 がいかく (都市の外郭)
1860 おだく (汚濁)	1885 かいき (会期)
1861 おちど (わたくしの——です)	1886 かいきん (皆勤)
1862 おつき (お付の人)	1887 かいこう (船を回航する)
1863 おてやわらか (お手柔らかに 願います)	1888 かいこむ (買い込む)
1864 おどす (人を——)	1889 かいさんぶつ (海産物)
1865 おどろかす (驚かす)	1890 かいしゅう (回収)
1866 おびたしい (——人数)	1891 かいじょう (会場)
1867 おぼえず (覚えず声をあげる)	1892 かいする (解する)
1868 おむつ (あかんぼうに——を あてる)	1893 かいせん (海戦)
1869 おもくるしい (重苦しい気分)	1894 かいそく (会則)
1870 おもねる (人に——)	1895 かいだん (怪談)
1871 おもわく (わたしの——では)	1896 かいつまむ
1872 およばずながら (——やって みる)	1897 がいとう (街頭であう)
1873 オリーブ	1898 かいばつ (海拔5000m)
1874 おりしも (——ふってきた雨 に……)	1899 かいぶつ (怪物)
1875 おろか (日本には——世界に もない)	1900 かいまく (開幕のベル)

1901 おく (億)	1926 おんがえし (恩返し)
1902 おくりこむ (送り込む)	1927 おんこう (温厚な人)
1903 おこなう (試験を行う)	1928 おんしん (音信)
1904 おさなご (幼な子)	1929 おんてい (音程)
1905 おし (生まれつきの——)	1930 おんびん (音便)
1906 おしげ (惜し気もなく……)	1931 ガーゼ
1907 おしめ (あかんぼうに——を あてる)	1932 かい (怪異)
1908 おずおず (——と見る)	1933 かい (階下)
1909 おそれおおい (恐れ多い)	1934 かい (快活な人)
1910 おだて (——にのる)	1935 かい (会議)
1911 おちのびる (落ち延びる)	1936 かい (りょうの解禁)
1912 おつくり (——をしてから出 かける)	1937 かい (開港)
1913 おてん (汚点をのこす)	1938 かい (飼殺し)
1914 おとずれる (訪れる)	1939 かい (開始)
1915 おどろく (驚く)	1940 かい (会衆)
1916 おひとよし (お人よし)	1941 がい (外傷)
1917 おぼしい (それと——所をさ がす)	1942 かい (人を介する)
1918 オムレツ	1943 かい (改善)
1919 おもし (重しをのせる)	1944 かい (快速)
1920 おもはゆい (——気持)	1945 かい (会談)
1921 おもわしい (思わしい品物)	1946 かい (海底)
1922 およばれ (たんじょう日の ——に行く)	1947 がい (該当する事がら)
1923 おりえり (折りえりの洋服)	1948 かい (会費)
1924 おりふし (——のながめ)	1949 がい (外聞がわるい)
1925 おろし (卸の値段)	1950 かい (まいみる (まいま見る))

1951 おくがい (屋外)	1976 おんかん (音感)
1952 おくりじょう (送り状)	1977 おんし (恩師)
1953 おこもり (——をする)	1978 おんじん (恩人)
1954 おさなごころ (幼な心)	1979 おんど (温度)
1955 おし (押しが強い)	1980 おんぷ (音符)
1956 おじけ (——をふるう)	1981 ガード (——の下)
1957 おしもんどう (押し問答)	1982 かいいぬ (飼い犬)
1958 おせじ (——がじょうずだ)	1983 かいか (開花)
1959 おそれながら (恐れながら)	1984 かいかぶる (自分の力を——)
1960 おためごかし (——を言う)	1985 がいき (外気)
1961 おちぶれる	1986 かいぐん (海軍)
1962 おつげ (ゆめのお告げ)	1987 かいごう (会合)
1963 おてんば (——な性質)	1988 かいこん (開墾)
1964 おととい (——の朝)	1989 がいし (外資)
1965 おの (——をふり上げる)	1990 がいしゅつ (外出)
1966 おびやかす (人を——)	1991 がいしょう (外相)
1967 おぼしめす (どう——)	1992 がいする (害する)
1968 おめおめ (——まけるものか)	1993 がいせん (がい旋門)
1969 おもて (表とうら)	1994 かいぞく (海賊)
1970 おもみ (重み)	1995 かいちく (改築)
1971 おもわず (思わず……した)	1996 かいてい (本の改訂)
1972 および (国語——算数)	1997 がいとう (外とうを着る)
1973 おりおり (——出会う)	1998 かいひかえる (買い控える)
1974 おりもの (織り物)	1999 かいへい (開閉)
1975 おろす (卸す)	2000 かいむ (皆無)

2001	かいめい (改名する)	2026	かこう (温度の下降)
2002	がいようやく (外用薬)	2027	かざかみ (風上)
2003	がいろ (街路に水をまく)	2028	かさね (重ねのはおり)
2004	かえりうち (返り討ち)	2029	かし (仮死の状態)
2005	かがいしゃ (加害者)	2030	かしげる (首を——)
2006	かがやかす (光を輝かす)	2031	がしつ (画室)
2007	がき (餓鬼のようになって…)	2032	かしゃく (仮借なくとりしまる)
2008	かきこむ (書き込む)	2033	かしらもじ (かしら文字)
2009	かきつける (書きつける)	2034	かすい (仮睡からさめる)
2010	かきね (庭の——)	2035	かする (いなかには嫁する)
2011	かぎり (限りがない)	2036	かせつ (仮説)
2012	かぐ (家具)	2037	かぞえうた (数え歌)
2013	がくぎょう (学業)	2038	かたいじ (片意地をはる)
2014	がくし (楽士)	2039	かたがわり (当番を肩代りする)
2015	がくじゅつ (学術)	2040	かたすかし (肩すかしをくわせる)
2016	がくせい (学制を改める)	2041	かたなし (これでは横綱も——だ)
2017	かくだいきょう (拡大鏡)	2042	かたみ (さかなの片身)
2018	がくと (学徒)	2043	かたりぐさ (いつまでも語りぐさになる)
2019	かくぶ (各部のしくみ)	2044	カタンいと (カタン糸)
2020	かくぼう (大学の角帽)	2045	かつ (大いに食べ——飲む)
2021	がくようひん (学用品)	2046	がっき (楽器)
2022	かくれもない (——事実)	2047	かっさい (はくしゅ——する)
2023	かけがえ (——のない品)	2048	かっそう (滑走する)
2024	かけつ (議案を可決する)	2049	かつどう (活動する)
2025	かけよる (駆け寄る)	2050	かつよう (活用)

2051	かいめん (おだやかな海面)	2076	かこう (河口)
2052	がいらい (外来の文化)	2077	かさく (選外佳作)
2053	かいろう (寺の回廊)	2078	かさぶた (きずぐちの——)
2054	かえりみる (顧みる)	2079	かし (華氏で32度)
2055	かかえ (——の運転手)	2080	かしこ (ここ——にある)
2056	かかりあう (かかり合う)	2081	かしつけ (貸付)
2057	かきあやまる (書き誤る)	2082	かしゅ (歌手)
2058	かぎざき (シャツに——をこ しらせる)	2083	かしわで (かしわ手を打つ)
2059	かぎつける (においを——)	2084	かすか (——な物音)
2060	かきのける (人ごみを——)	2085	かする (しごとを課する)
2061	かぎる (限る)	2086	かぜとおし (風通し)
2062	がく (額)	2087	かぞえどし (数え年)
2063	がくげい (学芸)	2088	かたいなか
2064	かくしき (格式が高い)	2089	かたき (——を討つ)
2065	かくしょ (各所)	2090	かたすみ (へやの片すみ)
2066	がくせい (学生)	2091	かたは (片刃のほうちょう)
2067	かくだん (格段の進歩)	2092	かたみち (片道)
2068	かくとう (格闘する)	2093	かたりもの (語り物)
2069	がくふ (楽譜)	2094	かち (物の価値が上がる)
2070	かくまく (角膜)	2095	かつえる (食物に——)
2071	かぐら (神社で——を見た)	2096	がっきゅう (学級)
2072	かくろん (総論と各論)	2097	がっさく (合作)
2073	かげき (歌劇)	2098	がっそう (バイオリンとピア ノの合奏)
2074	かけつける (駆けつける)	2099	かっぱつ (活発)
2075	かげる (ひが——)	2100	かつら (頭に——をかぶる)

2101	かいもく (皆目わからない)	2126	かごう (化合する)
2102	かいらく (快樂にふける)	2127	かさく (家作)
2103	がいろん (概論)	2128	かざみ (風見)
2104	かえる (ひなが——)	2129	がし (餓死する者がでた)
2105	かかえる (かばんを——)	2130	かしこい (賢い人)
2106	かがりび (かがり火)	2131	かして (貸し手)
2107	かきいれる (書き入れる)	2132	かしゅう (歌集)
2108	かきしるす (書きしるす)	2133	かじん (歌人)
2109	かきて (書き手)	2134	かすみ (——がかかる)
2110	かきみだす (気持をかき乱す)	2135	かぜあたり (風当たり)
2111	かきわける (書き分ける)	2136	かせん (河川)
2112	がく (楽のね)	2137	かぞく (家族)
2113	かくげん (格言)	2138	かたうで (片腕)
2114	がくしき (学識がある人)	2139	かたぎ (職人——)
2115	かくしょう (確証をにぎる)	2140	かたずみ (堅炭)
2116	がくせい (楽聖)	2141	かたはし (片端を持ち上げる)
2117	がくだん (楽壇の第一線に立つ)	2142	かたむく (太陽が西に傾く)
2118	かくとう (確答を得る)	2143	かたる (語る)
2119	がくふ (最高学府)	2144	……がち (欠席——)
2120	かくめい (革命)	2145	がっか (学科)
2121	かくり (病人を隔離する)	2146	がっきゅう (学究としての良心)
2122	かくん (家訓)	2147	がっさん (合算)
2123	かげき (過激なやり方はよくない)	2148	がったい (合体する)
2124	かけては (そのことに——)	2149	かっぱん (活版の印刷)
2125	かげろう (春の野に立ち上る——)	2150	かつりょく (活力)

2151 がいや (外野)	2176 がこう (画工)
2152 かいらん (本を回覧する)	2177 かざぐすり (風薬)
2153 かいわ (会話)	2178 かさむ (荷物が——)
2154 かえん (火炎につつまれる)	2179 かじ (船の——をとる)
2155 かかく (価格)	2180 かしこし (千円の貸越しがある)
2156 かかる (お金が——)	2181 かじぼう (車の——)
2157 かきいれどき (書入れ時)	2182 かじゅう (過重の責任)
2158 かきそえる (書き添える)	2183 かじん (家人にるすをたのむ)
2159 かきとめ (書留のゆうびん)	2184 かすめる (人の物を——)
2160 かきもち (かたい——)	2185 かせい (歌聖)
2161 かきわける (水をかき分ける)	2186 かぜん (……は果然……になった)
2162 かくい (各位)	2187 かそくど (加速度)
2163 かくご (覚悟)	2188 かたおや (片親)
2164 かくしげい (隠し芸)	2189 かたぎ (堅気の商人)
2165 かくしょう (内閣の各省)	2190 かたちづくる (形作る)
2166 かくせいき (拡声器)	2191 かたはだ (片はだをぬぐ)
2167 がくだん (楽団をそしきする)	2192 かたむける (右に傾ける)
2168 がくどう (学童)	2193 かたわ (——になる)
2169 がくぶ (大学の学部)	2194 かしあう (ぐうぜんに——)
2170 がくめい (こん虫の学名)	2195 がっかい (学界の意見)
2171 がくり (学理を学ぶ)	2196 かつげき (活劇)
2172 かけ (——をしてはいけない)	2197 かつじ (活字)
2173 かけきん (掛金を払う)	2198 がっち (その方針に合致する)
2174 かけぬける (駆け抜ける)	2199 がっぴ (月日)
2175 かげん (下弦の月)	2200 かて (毎日の——にも困る)

2201	かいはく (解約)	2226	がごう (画家の雅号)
2202	かいりき (快力)	2227	かざけ (少し風気です)
2203	かいん (下院)	2228	かざむき (風向き)
2204	かおく (家屋)	2229	かじ (家事がいそがしい)
2205	かがく (化学)	2230	かしこまる
2206	かかる (病気に——)	2231	かしま (貸間)
2207	かきおき (書置)	2232	かじゅえん (果樹園)
2208	かきぞめ (正月の書きぞめ)	2233	かしん (あまり過信するな)
2209	かきとめる (書き留める)	2234	かすめる (すれすれに——)
2210	かきゅう (火急の場合)	2235	かせい (加勢する)
2211	かく (格が上だ)	2236	がぜん (——大雨となった)
2212	がくい (学位をとる)	2237	ガソリン
2213	かくざい (角材)	2238	かたがき (肩書)
2214	かくしだて (隠しだてをする な)	2239	かたくな (——な態度)
2215	がくしょう (第一楽章)	2240	かたちんば (——のげた)
2216	がくせき (学籍)	2241	かたはば (肩幅が広い)
2217	かくち (各地を旅行する)	2242	かためん (レコードの片面)
2218	かくとく (優勝旗を獲得した)	2243	かたわら (母の——にいるこ ども)
2219	がくふう (学風)	2244	かちく (いぬ, ねこなどの家 畜は……)
2220	がくめん (額面の金額)	2245	かっかざん (活火山)
2221	かくりつ (制度の確立)	2246	かっこ (確固とした自信)
2222	……がけ (命——)	2247	かっしゃ (滑車)
2223	かけごえ (掛け声)	2248	かつて (いまだ——見たこと がない)
2224	かけはなれる (かけ離れる)	2249	カップ
2225	かげん (味の——をみる)	2250	かてい (家庭)

2251	かいゆう (回遊切符)	2276	かこつける (病気に——)
2252	かいりく (海陸)	2277	かざごえ (風声)
2253	かう (うさぎを飼う)	2278	かさん (利子を加算する)
2254	かおだし (顔出しをする)	2279	かじ (かたな——)
2255	かがく (科学)	2280	かしずく
2256	かかわる (命に——)	2281	かしましい
2257	かきおとす (よごれを——)	2282	かしょ (ちがっている箇所)
2258	かきだし (書出し)	2283	かす (残った——を捨てる)
2259	かきとる (書き取る)	2284	かすり (——の着物)
2260	かきゅうせい (下級生)	2285	かせい (家政)
2261	かく (各個人)	2286	かそう (下層の空気の上昇)
2262	かくいつ (画一的にする)	2287	かた (型にはめる)
2263	がくさい (楽才)	2288	かたかけ (肩掛け)
2264	かくしつ (角質)	2289	かたくるしい (堅苦しい)
2265	がくしょく (学殖がある人)	2290	かたておち (片手落ち)
2266	がくせつ (学説)	2291	カタパルト
2267	かくちょう (事業の拡張)	2292	かたよる (片寄る)
2268	かくにん (信号を確認する)	2293	かたわら (散歩の——買い物をする)
2269	がくぶち (額縁)	2294	かちこす (勝ち越す)
2270	がくもん (学問をする)	2295	がつがつ (——するのはみぐるしい)
2271	かくりつ (雨になる確率)	2296	かっこ (各戸にはたをたてる)
2272	……がけ (行き——に寄る)	2297	がっしゅく (合宿)
2273	かけこむ (駆け込む)	2298	かって (——なことをしてはいけない)
2274	かけひき (——のうまい人)	2299	かっぶく (割腹する)
2275	かこ (過去の思い出)	2300	かてい (仮定)

2301 がいゆう (外遊する)	2326 かごん (……と言っても過言ではない)
2302 がいりゃく (概略の説明)	2327 かざしも (風下)
2303 かう (つかい棒を——)	2328 かさん (家産をかたむける)
2304 かおむけ (顔向けができない)	2329 かしうり (貸売り)
2305 かかげる (掲げる)	2330 かしだおれ (貸倒れ)
2306 かき (竹で——を作る)	2331 かしまだち (横浜から——する)
2307 かきおろす (小説を書きおろす)	2332 かしょう (過少にみつもる)
2308 かきだす (砂をかき出す)	2333 ガス (——が出ない)
2309 かきながす (書き流す)	2334 かすりきず (かすり傷)
2310 かぎょう (家業にせいを出す)	2335 かせい (火星)
2311 かく (佳句)	2336 かそう (火事だと仮想して…)
2312 かくいん (客員)	2337 かた (負担が過多だ)
2313 かくさく (何事かを画策する)	2338 かたがた (御入場の方々に申しあげます)
2314 かくじつ (確実なやくそく)	2339 かたぐるま (こどもを肩車する)
2315 かくしん (確信をもつ)	2340 かたてま (片手間のしごと)
2316 がくぜん (——とする)	2341 かたほう (片方)
2317 がくちょう (大学の学長)	2342 かたらい (親子の——)
2318 かくのうこ (格納庫)	2343 かたわらいたい (——ふるまい)
2319 かくぶん (確聞することによれば)	2344 かちゅう (事件の——にまきこまれる)
2320 がくや (楽屋)	2345 がっかり (——する)
2321 かくりょう (閣僚)	2346 かっこ (各個)
2322 かけあう (掛け合う)	2347 がっしょう (合唱)
2323 かけじく (床の間に——をかける)	2348 かって (いまだ——見たことがない)
2324 かけへだてる	2349 がっぺい (合併する)
2325 かご (神の加護をいのる)	2350 かてい (河底)

2351	かいよう (海洋)	2376	かさ (——がある荷物)
2352	かいりゅう (海流)	2377	かざす (火に——)
2353	かえしぬい (返し縫い)	2378	かざん (火山)
2354	かおり (よい——がする)	2379	かじかむ (手が——)
2355	かがむ (ものかげに——)	2380	かしつ (過失をおかす)
2356	かき (下記のとおりです)	2381	かしや (貸家)
2357	かきくだす (さらさらと書き 下す)	2382	がじょう (賀状)
2358	かきたてる (炭を——)	2383	かずかず (数々の品物)
2359	かきならす (灰を——)	2384	かする (春風がほおを——)
2360	かぎょう (課業が終わる)	2385	かせい (火勢がはげしくなる)
2361	かく (義理を欠く)	2386	かそう (仮装行列)
2362	かくう (架空の人物)	2387	かだい (過大な要求)
2363	かくじ (各自の荷物)	2388	かたがた (散歩——買い物に 行く)
2364	がくしゃ (学者)	2389	かたこと (——まじりの話)
2365	かくじん (各人のつとめ)	2390	かたどおり (型どおりのあい さつ)
2366	がくそう (学窓をすだつ)	2391	かたほとり (片ほとり)
2367	かくて (——10年がたった)	2392	かたらう (友だちとなかよ く——)
2368	がくは (学派)	2393	かたわれ (悪者の——)
2369	かくべつ (格別変わったこと もない)	2394	かちょう (課長)
2370	かくやく (確約をする)	2395	かっかん (主観と客観)
2371	がくりょく (学力の調査)	2396	かっこう (スキーで滑降する)
2372	かけい (家計が苦しい)	2397	がっしょう (仏前で合掌する)
2373	かけずりまわる	2398	かってぐち (勝手口)
2374	かけめ (掛け目がたりない)	2399	かっぼう (——りょうり)
2375	かこい (囲い)	2400	かてい (小学校の課程を終え る)

2401	がいよう (話の概要)	2426	かざい (家財をまとめる)
2402	かいりょう (品種の改良)	2427	かさだかい (かさ高い荷物)
2403	かえす (ひなを——)	2428	かし (歌詞)
2404	がか (画家)	2429	かしぐ (舟が——)
2405	かがめる (腰を——)	2430	かじつ (果実をとる)
2406	かき (夏期)	2431	かしゃ (貨車)
2407	かきくもる (にわかにかき曇る)	2432	かじょうがき (箇条書き)
2408	かきたてる (書き立てる)	2433	かする (ばっきんを科する)
2409	かきならず (琴を——)	2434	かすれる (声が——)
2410	かきょく (歌曲)	2435	かぜい (課税する)
2411	かく (——のごときやりかたでは……)	2436	かそう (火葬にする)
2412	がくえん (学園)	2437	かだい (課題)
2413	がくし (学資)	2438	かたがみ (型紙)
2414	かくしゅ (各種)	2439	かたじけない
2415	かくすう (画数の多い字)	2440	かたとき (片時もはなれない)
2416	がくそく (学則)	2441	かたみ (肩身のせまい思い)
2417	かくてい (確定する)	2442	かたりあう (語り合う)
2418	かくはん (各般の事情)	2443	かだん (庭に花壇を作る)
2419	かくほ (確保する)	2444	かつ (渴をいやす)
2420	かくやす (格安の品)	2445	かっき (活気があふれる)
2421	がくれい (学齢に達する)	2446	かっこく (各国)
2422	かけうり (掛売り)	2447	かっしょく (かっ色のくつ)
2423	かげぜん (陰ぜんをすえる)	2448	がってん (合点する)
2424	かけもち (——のしごと)	2449	がっぽん (合本)
2425	かこう (囲う)	2450	かてい (研究の過程)

2451 がいよう (外洋)	2476 かさい (火災にかかる)
2452 かいろ (懷炉)	2477 がさつ (——な人)
2453 かえって (それは——よくない)	2478 かし (河岸に舟をつなぐ)
2454 かがい (課外の読み物)	2479 かしぐ (飯を——)
2455 かがやかしい (——日の光)	2480 かじつ (過日は失礼しました)
2456 かき (火気)	2481 かじや (村のかじ屋)
2457 かきけす (かき消す)	2482 かしら (——を下げる)
2458 かきつけ (書付)	2483 かすい (河水)
2459 かきぬく (書き抜く)	2484 かする (煙と化する)
2460 かぎり (勉強しない——)	2485 かせき (化石)
2461 かく (細胞の核)	2486 がぞう (画像)
2462 かくぎ (閣議)	2487 ……がたい (聞き難い)
2463 がくし (学士)	2488 かたがわ (片側)
2464 がくしゅう (学習する)	2489 かたず (——をのむ)
2465 かくする (一線を画する)	2490 かたどる (朝日を——日章旗)
2466 かくだい (拡大する)	2491 かたみ (おばあさんの形見)
2467 かくど (角度)	2492 かたりあかす (友だちと語り明かす)
2468 がくひ (学費がたりない)	2493 がだん (画壇)
2469 かくほう (確報をまつ)	2494 かつ (活を入れる)
2470 がくゆう (学友)	2495 がっき (学期)
2471 がくれき (学歴)	2496 かっこむ (飯を——)
2472 かけがい (掛買い)	2497 がっする (合する)
2473 かけだし (駆出しの記者)	2498 カット
2474 かけもの (掛け物)	2499 かつやく (大いに活躍する)
2475 かこう (加工する)	2500 がてら (散歩——買い物をする)

2501 かでん (家伝)	2526 かんこう (慣行どおりにおこなう)
2502 かなう (願いが——)	2527 かんしつ (乾湿の差)
2503 かなでる (音楽を——)	2528 かんしゅう (観衆)
2504 かねて (——からそう思っていた)	2529 かんしょく (やわらかな感触)
2505 かのこ (——まだらの着物)	2530 かんせい (閑静なすまい)
2506 かふう (家風)	2531 かんせん (病気に感染する)
2507 かへい (貨幣と紙幣)	2532 かんぞう (肝臓の病気)
2508 かまう (あまり——な)	2533 かんだん (間断なく)
2509 かがた (上方のことば)	2534 かんちょう (官庁)
2510 かみしも (——を着る)	2535 かんどう (間道に行く)
2511 カムフラージ	2536 かのう (税金の完納)
2512 かもく (科目・課目)	2537 かんび (艦尾と艦首)
2513 がよく (我欲の強い人)	2538 かんぶん (感奮)
2514 からくさもよう (から草模様)	2539 かんまん (干満がはげしい)
2515 からとう (あま党とから党)	2540 がんやく (丸薬)
2516 かりあつめる (かり集める)	2541 かんらん (観覧する)
2517 かりたてる (うさぎを——)	2542 かんれん (関連した事がら)
2518 かりゅうど (犬をつれた——)	2543 きあわせる (来合わせる)
2519 かれこれ (もう——12時だろう)	2544 きえ (仏教に帰依する)
2520 がわ (金側のうでどけい)	2545 きか (貴下)
2521 かわりめ (季節の変わり目)	2546 きかく (規格)
2522 かんおけ (棺おけにはいる)	2547 きかん (旗艦)
2523 かんかつ (管轄がちがう)	2548 きかんし (機関紙)
2524 がんきょう (——に否定する)	2549 きぎょ (起居をともにする)
2525 かんげん (甘言)	2550 きく (薬が——)

2551 かど (門を通る)	2576 がんこう (眼光がするどい)
2552 かなえる (願いを——)	2577 がんじつ (元日)
2553 かなめ (かんじん——のところ)	2578 かんしょ (寒暑の差)
2554 かねめ (金目の品物)	2579 かんしょく (官職)
2555 かひ (可否をきめる)	2580 かんせい (乾性のあぶら)
2556 がふう (画風)	2581 かんせん (いぬには汗せんがない)
2557 かべん (花卉)	2582 かんそく (観測)
2558 かまえる (構える)	2583 かんだん (歓談する)
2559 がみがみ (——言う)	2584 かんちょう (干潮と満潮)
2560 かみだな (神だな)	2585 かんとうし (間投詞)
2561 かめ (——に水をくむ)	2586 かのん (観音)
2562 かもつ (貨物)	2587 かんび (完備)
2563 かよわい	2588 がんぺき (船が岸壁につく)
2564 からくじ (——なし)	2589 かんみ (甘味)
2565 からまる (糸が——)	2590 かんゆ (肝油をのむ)
2566 かりいれ (借入れ)	2591 かんり (官吏)
2567 かりて (借り手)	2592 かんろ (甘露)
2568 かりょく (火力による発電)	2593 ぎあん (議案)
2569 かれる (水が——)	2594 きえん (奇縁)
2570 かわきり (話の皮切り)	2595 きか (気化)
2571 かん (寒の入り)	2596 きかく (企画する)
2572 かんか (感化を及ぼす)	2597 きかん (飢寒にたえる)
2573 かんがみる (時局に——)	2598 きかんじゅう (機関銃)
2574 かんきん (一室に監禁する)	2599 ききょう (帰郷する)
2575 かんげん (管弦の道)	2600 きぐ (器具)

2601 かとう (下等)	2626 かんこく (勧告する)
2602 かなきりごえ (金切り声)	2627 かんしゃ (感謝のことば)
2603 かなもの (金物)	2628 がんしょ (願書)
2604 かねる (二つの目的を兼ねる)	2629 がんしょく (顔色)
2605 かび (華美な服装)	2630 かんせい (歓声をあげる)
2606 かぶき (——を見る)	2631 かんせん (艦船)
2607 かほう (加法と減法)	2632 かんそん (寒村)
2608 がまぐち (がま口)	2633 がんたん (元たんのあいさつ)
2609 かみきる (肉をかみ切る)	2634 かんつう (トンネルが貫通する)
2610 かみつく (かみ付く)	2635 かんとく (監督)
2611 かめい (団体に加盟する)	2636 かんば (寒波)
2612 かもん (家門のほまれ)	2637 かんびょう (看病)
2613 かよわせる (通わせる)	2638 かんべつ (ひよこの鑑別)
2614 からくも (——勝った)	2639 かんめ (貫目をはかる)
2615 からみ (あまみと——)	2640 かんゆう (勧誘する)
2616 かりいれ (いねの刈入れ)	2641 かんり (管理する)
2617 かりとじ (仮とじの本)	2642 かんろく (貫ろくを示す)
2618 かる (草を刈る)	2643 きい (奇異に感ずる)
2619 かれる (声が——)	2644 きえん (気炎を上げる)
2620 かわす (ことばを——)	2645 きか (日本に帰化する)
2621 かん (異様な感を与える)	2646 きがく (器楽)
2622 がんか (眼下に見える)	2647 きかん (機関)
2623 かんき (寒気がはげしい)	2648 きき (危機をぬけ出す)
2624 がんきん (元金と利子)	2649 ききょう (帰京する)
2625 がんけん (がん健なからだ)	2650 きぐう (奇遇)

2651 かどう (歌道)	2676 かんさつ (犬の鑑札)
2652 かなぐ (金具)	2677 かんしゃ (官舎)
2653 かならず (必ず)	2678 かんしょう (感傷的な気持)
2654 かの(——有名なリンカーン)	2679 かんじる (感じる)
2655 かひつ (加筆する)	2680 かんせい (工事が完成する)
2656 かぶしき (株式)	2681 かんぜん (かん然とたち向う)
2657 かほう (家宝)	2682 かんたい (寒帯)
2658 かまくび (かま首をもたげる)	2683 かんたんけい (寒暖計)
2659 かみくだく (かみ砕く)	2684 かんづく (感づく・勘づく)
2660 かみて (上手)	2685 かんどころ (勘所がわからない)
2661 かめい (仮名をつかう)	2686 かんぱい (乾杯する)
2662 かやく (火薬)	2687 がんびょう (眼病)
2663 がら (流行の柄)	2688 かんべん (勘弁する)
2664 からくり (——をみやぶる)	2689 かんめい (感銘が深い)
2665 からみあう	2690 がんゆう (その中に含有している)
2666 かりうける (借り受ける)	2691 かんりつ (官立の学校)
2667 かりとる (草を刈り取る)	2692 かんわ (漢和辞典)
2668 かるがるしい (軽々しいふるまい)	2693 きい (貴意をうかがいたい)
2669 かれん (——な少女)	2694 きおいたつ (気負い立つ)
2670 かわす (軽く体を——)	2695 きが (飢餓におそわれる)
2671 かん (勘をはたらかせる)	2696 きがけ (来がけに寄る)
2672 がんか (眼科の医者)	2697 きかん (器官)
2673 かんき (歓喜のあまり……)	2698 ききうで (きき腕をとる)
2674 がんくび (きせるのがん首)	2699 きぎょう (企業)
2675 かんこ (歓呼の声)	2700 きぐすり (生薬)

2701 かどう (華道のてんらん会)	2726 かんさつ (くわしく観察する)
2702 かなくぎりゅう (かなくぎ流 の字)	2727 かんじゃ (患者をしんさつす る)
2703 かなり (——よくなった)	2728 かんしょう (草花を観賞する)
2704 かのう (可能)	2729 かんしん (学力の低下は寒心 にたえない)
2705 がひつ (画筆をふるう)	2730 かんせい (慣性)
2706 かふそく (過不足がない)	2731 かんぜん (完全)
2707 かほう (下方)	2732 かんたい (艦隊)
2708 かまど	2733 かんち (感知する)
2709 かみころす (かみ殺す)	2734 かんてい (刀の鑑定)
2710 かみのく (上の句)	2735 かなな (——でけずる)
2711 かめい (家名をあげる)	2736 かんぱく (関白)
2712 かゆ (——をすする)	2737 かんぶ (患部がいたむ)
2713 カラー (洋服の——)	2738 かんぼう (感冒にかかる)
2714 からげんき (から元気)	2739 かんめい (簡明な説明)
2715 からむ (つる草が——)	2740 かんよ (事業に関与する)
2716 かりかし (借り貸し)	2741 かんりょう (完了する)
2717 かりに (仮にそうだとしたも)	2742 かんわ (こんざつの緩和)
2718 かるくち (軽口をたたく)	2743 きいと (生糸)
2719 かるう (家老)	2744 きおく (記憶)
2720 かわすじ (川筋)	2745 きかい (奇怪な音)
2721 かん (水道の管)	2746 きがね (人に気がねをする)
2722 かんがい (感慨にふける)	2747 きかん (気管)
2723 かんき (室内の換気)	2748 ききかじる (聞きかじる)
2724 かんけい (関係)	2749 きぎょう (機業)
2725 がんこ (——な考え)	2750 きくずれ (着くずれする)

2751 がどう (画道)	2776 かんさん (換算する)
2752 かなぐつわ (金ぐつわをはめる)	2777 かんしゃく (——をおこす)
2753 かねあい (勉強と遊びの兼合い)	2778 かんしょう (音楽を鑑賞する)
2754 かのう (傷口が化のうする)	2779 かんしん (まるで関心がない)
2755 かびる (しっけでものが——)	2780 かんせい (燈火の管制)
2756 かぶぬし (株主)	2781 がんぜん (眼前)
2757 がほう (画法)	2782 かんだい (寛大な態度)
2758 かまびすしい	2783 かんちがい (勘違いをする)
2759 かみぎ (上座にすわる)	2784 かねでん (感電)
2760 かみはんき (上半期)	2785 かにん (勘忍する)
2761 かめい (御下命ください)	2786 かんばしい (——かおり)
2762 かよい (貯金の通い)	2787 かんぶ (会社の幹部)
2763 がらあき (——のバス)	2788 かんぽう (漢方の薬)
2764 からさわぎ (から騒ぎ)	2789 がんめん (顔面)
2765 からめて (——からせめる)	2790 かんよう (肝要な事がら)
2766 かりかた (借り方)	2791 がんりょう (顔料)
2767 かりぬい (洋服の仮縫い)	2792 ぎ (義を守る)
2768 かるはずみ (——なおこない)	2793 きいん (起因)
2769 かるう (過労)	2794 きおくれ (気おくれする)
2770 かわせ (——で金を送る)	2795 きかい (この機会に……)
2771 かん (死者を棺におさめる)	2796 きがまえ (気構え)
2772 がんかい (眼界が開ける)	2797 きかん (帰還する)
2773 かんぎく (観菊の会)	2798 ききこむ (聞き込む)
2774 かんげい (歓迎する)	2799 ぎきょうだい (義兄弟)
2775 かんご (漢語)	2800 きぐらい (気位が高い)

2801 かとき (過渡期)	2826 かんし (監視する)
2802 かなぐりすてる (かなぐり捨てる)	2827 かんしゅ (見まわりの看守)
2803 かねがね (———そう思っていた)	2828 かんじょう (勘定が合わない)
2804 カバー	2829 かんしん (感心する)
2805 かびん (しんけいが過敏だ)	2830 がんせき (岩石)
2806 かぶり (———を振る)	2831 かんそ (簡素な生活)
2807 がほう (画報)	2832 かんたかい (甲高い声)
2808 かみ (上)	2833 かんちゅう (寒中)
2809 かみざいく (紙細工)	2834 かんでんち (乾電池)
2810 かみゆい (髪結い)	2835 かんぬき (門の——)
2811 カメラ	2836 カンバス
2812 かよいちょう (通い帳)	2837 かんぷう (寒風)
2813 からいばり	2838 かんぽう (官報)
2814 からす (声を——)	2839 がんもく (たいせつな眼目)
2815 からめる	2840 かんよう (慣用する)
2816 かりぎ (借り着)	2841 かんるい (感涙にむせぶ)
2817 かりぬし (借り主)	2842 ぎ (議に付する)
2818 かれ (彼が言うには……)	2843 ぎいん (議員)
2819 かるうじて (———たどりついた)	2844 きおち (気落ちする)
2820 かわぞい (川沿い)	2845 きがい (危害をくわえる)
2821 がん (願をかける)	2846 きがる (気軽な人)
2822 かんかく (感覚)	2847 きかん (天下の奇観)
2823 かんきゅう (緩急をはかっている……)	2848 ききとどける (聞き届ける)
2824 かんげき (感激のあまり)	2849 ぎぎょく (戯曲)
2825 かんご (病人の看護)	2850 きぐろう (気苦労をする)

2851 かどだつ (話がかど立つ)	2876 かんし (漢詩)
2852 かなしい (悲しい)	2877 かんしゅ (艦首に立つ)
2853 かねずく (金ずくでかたづける)	2878 かんじょう (感情を害する)
2854 かばね (——をほうむる)	2879 かんじん (——な事がら)
2855 かびん (花びん)	2880 かんせつ (間接)
2856 かぶれる (悪に——)	2881 がんそ (元祖)
2857 かぼそい (か細いうで)	2882 かんたん (感嘆する)
2858 かみ (加味する)	2883 がんちゅう (眼中にない)
2859 かみさびる (神さびる)	2884 かんど (感度)
2860 かみよ (神代の昔から)	2885 かんぬし (神主)
2861 かめん (仮面をかぶる)	2886 かんぱん (甲板)
2862 かよう (通う)	2887 かんぷく (感服する)
2863 からかう (相手を——)	2888 がんぼう (願望)
2864 からっかぜ (冬のからっ風)	2889 かんもん (関門を通る)
2865 がらんど (——の家)	2890 かんよう (寛容な気持)
2866 かりずまい (仮住居)	2891 かんれい (寒冷な気候)
2867 かりね (仮寝)	2892 ぎ (技をきそう)
2868 ガレージ	2893 ぎいん (議院)
2869 カロリー	2894 きおもい (気重い感じ)
2870 かわら (川原)	2895 ぎかい (議会)
2871 かんい (簡易なやりかた)	2896 きかん (期間)
2872 かんかく (一定の間隔)	2897 きがん (祈願する)
2873 がんきゅう (眼球)	2898 ききめ (——がない)
2874 かんげき (観劇の会)	2899 ききん (基金を集める)
2875 かんこう (観光)	2900 ぎけい (義兄)

2901	かない (家内そろって……)	2926	かんじ (感じがよい)
2902	かなた (はるか——に見える)	2927	かんじゅ (苦しみを甘受する)
2903	かねつ (加熱する)	2928	がんじょう (——なからだ)
2904	かはん (河畔のなみ木)	2929	かんする (それに関するこ は……)
2905	かぶ (木の切り株)	2930	かんせつ (関節がいたむ)
2906	かふん (花粉)	2931	かんそう (感想)
2907	かほど (——の品はない)	2932	かんたん (簡単なしごと)
2908	かみいれ (紙入れ)	2933	かんちょう (艦長)
2909	かみしめる	2934	かんとう (巻頭)
2910	かみわざ (神わざ)	2935	かんねん (観念)
2911	がめん (画面)	2936	かんぱん (写真の乾板)
2912	かよう (——なことになる のは……)	2937	かんぶつ (乾物)
2913	からかさ (——をさす)	2938	かんぼつ (土地の陥没)
2914	からつゆ (ことしのつゆ は——だ)	2939	かんや (寒夜)
2915	かり (仮にそうきめる)	2940	がんらい (元来)
2916	かりだす (本を借り出す)	2941	かんれい (慣例によれば)
2917	かりゅう (下流)	2942	きあい (気合)
2918	かれい (華麗な宮殿)	2943	きうけ (気受けがよい)
2919	かるんずる (軽んずる)	2944	きおん (気温)
2920	かわりだね (変わり種)	2945	きがえ (着替えのシャツ)
2921	かんいっぱつ (間一髪のとこ ろ)	2946	きかん (既刊の本)
2922	かんかく (観客)	2947	ぎがん (義眼を入れる)
2923	かんきょう (感興をもよおす)	2948	ききゅう (危急をすくう)
2924	かんけつ (完結する)	2949	きぎん (飢饉)
2925	かんこう (本を刊行する)	2950	ぎげい (技芸)

2951	かない (家内は五つ下です)	2976	かんじ (会の幹事)
2952	かなだら (金だら)	2977	かんしゅう (慣習)
2953	かねつ (ストーブの過熱)	2978	かんしょく (間食)
2954	かはんすう (過半数)	2979	かんずる (感ずる)
2955	かぶ (下部)	2980	がんぜない (——こども)
2956	かぶん (過分のお礼)	2981	かんそう (空気が乾燥する)
2957	かま (——で草を刈る)	2982	かんだん (寒暖の差)
2958	かみかくし (神隠し)	2983	かんちょう (館長)
2959	かみしも (上下)	2984	かんだう (感動する)
2960	がむしゃら (——にやっ まう)	2985	がんねん (元年)
2961	かもい (しきい と ——)	2986	かんび (甘美な味)
2962	かようきょく (歌謡曲)	2987	かんぶん (漢文)
2963	からかみ (——をしめる)	2988	かんまつ (巻末)
2964	からて (——で帰る)	2989	かんやく (漢訳する)
2965	かり (狩に行く)	2990	かんらく (陥落する)
2966	かりだす (うさぎをかり出す)	2991	かんれき (還暦の祝い)
2967	がりゅう (我流のやり方)	2992	きあつ (気圧)
2968	かれこれ (——するうちに)	2993	きうつり (気移り)
2969	かわ (こちらの側にはない)	2994	ぎおん (擬音を入れる)
2970	かわりはてる (変わり果てる)	2995	きがかり (気がかり)
2971	かんえい (官営)	2996	きかん (帰艦する)
2972	かんがく (漢学)	2997	きかんし (気管支)
2973	かんきょう (環境がよい)	2998	ききゅう (気球)
2974	かんけつ (簡潔な説明)	2999	ききんぞく (貴金属)
2975	かんこう (フィルムに感光する)	3000	きげき (喜劇)

3001	ぎけつ (議決)	3026	きゃっかん (客観と主観)
3002	きこう (横浜へ寄港する)	3027	きゅういん (吸引)
3003	きごころ (気心がわからない)	3028	きゅうかん (旧刊の本)
3004	きざむ (こまかに刻む)	3029	きゅうきん (給金)
3005	ぎしき (儀式)	3030	きゅうこう (旧稿に手を入れる)
3006	きじゅうき (起重機)	3031	きゅうしき (旧式)
3007	きじょう (機上)	3032	きゅうじょう (弓状)
3008	ぎしん (疑心をいただく)	3033	きゅうすい (給水の設備)
3009	きせい (人体に寄生する)	3034	きゅうだい (及第)
3010	きぜわしい (気ぜわしい思い)	3035	きゅうどう (求道)
3011	きそく (規則)	3036	きゅうふ (給付)
3012	きたい (大いに期待する)	3037	きゅうゆう (旧友にあらう)
3013	きち (危地をぬけ出す)	3038	きゅうりょう (旧領)
3014	きちょうめん (——な人)	3039	きよう (人物を起用する)
3015	きつけ (着物の着付)	3040	きょうえい (共営の事業)
3016	きてい (規定)	3041	きょうかく (胸郭)
3017	きど (木戸をあける)	3042	きょうぎ (水上の競技)
3018	きなくさい	3043	きょうこう (凶行のあった現場)
3019	きのう (機能がとまる)	3044	きょうし (狂死する)
3020	きばらし (気晴らし)	3045	きょうしゅう (郷愁を感ずる)
3021	きふう (気風)	3046	きょうする (参考に供する)
3022	ぎへい (義兵をあげる)	3047	きょうだ (頭を強打する)
3023	きまずい (気まずい)	3048	きょうつう (共通の問題)
3024	きめ (——が細かい)	3049	きょうど (強度の近眼)
3025	きやく (規約にしたがう)	3050	きょうへん (共編)

3051 きけん (危険なしごと)	3076 ぎゃっきょう (逆境にたつ)
3052 きこう (奇行)	3077 きゅうえん (救援)
3053 ぎごちない (——動作)	3078 きゅうかん (新聞が休刊する)
3054 きし (騎士)	3079 きゅうけい (しばらく休憩する)
3055 きしつ (気質)	3080 きゅうこく (急告)
3056 きしゅく (寄宿する)	3081 きゅうじつ (休日)
3057 ぎじょう (議場)	3082 きゅうじょう (球場)
3058 きすう (奇数と偶数)	3083 きゅうする (返答に窮する)
3059 きせい (氣勢を上げる)	3084 きゅうち (窮地におちいる)
3060 きせん (基線)	3085 きゅうどう (弓道)
3061 きそく (氣息えんえんと…)	3086 きゅうぶん (旧聞)
3062 ぎたいご (擬態語)	3087 きゅうゆう (級友)
3063 きち (機知のはたらく人)	3088 きゅうりょう (給料)
3064 きちんやど (木賃宿)	3089 きょうあく (凶悪な犯人)
3065 きつけ (気付の薬)	3090 きょうえん (共演)
3066 ぎてい (議定)	3091 きょうがく (男女共学)
3067 きど (喜怒を顔にあらわす)	3092 きょうきゅう (材料の供給)
3068 きなん (危難をさける)	3093 きょうこう (強行する)
3069 ぎのう (すぐれた技能)	3094 きょうじ (凶事が続く)
3070 きばる (気張る)	3095 きょうしゅく (恐縮に思う)
3071 きふく (土地の起伏)	3096 きょうずる (かるたに興ずる)
3072 きへき (奇癖のある人)	3097 きょうたい (狂態をえんずる)
3073 きまつ (期末)	3098 きょうてい (教程)
3074 きめい (記名する)	3099 きょうとう (教頭と校長)
3075 きゃくご (客語)	3100 きょうべん (強弁する)

3101 きけん (棄権する)	3126 きゃっこう (脚光をあびる)
3102 きこう (帰航)	3127 きゅうえん (休演)
3103 きこなす (着こなす)	3128 きゅうかん (旧慣)
3104 きじ (生地)	3129 きゅうけい (弓形)
3105 きじつ (期日がせまる)	3130 きゅうこん (求婚)
3106 きじゅつ (記述する)	3131 きゅうしゅう (吸収)
3107 きじょうぶ (気丈夫)	3132 きゅうじょう (本日は休場)
3108 きすう (基数)	3133 きゅうする (手当を給する)
3109 きせい (奇声を発する)	3134 きゅうち (旧知のあいだがら)
3110 きせん (帰船)	3135 きゅうなん (救難)
3111 きぞく (貴族)	3136 きゅうへい (旧弊な人)
3112 きたえる (からだを鍛える)	3137 きゅうよ (給与)
3113 きち (空軍の基地)	3138 きゅうれい (旧例)
3114 きつえん (喫煙はあちらで...)	3139 きょうあつ (強圧をくわえる)
3115 きつけ (〇〇校気付〇〇様)	3140 きょうえん (競演)
3116 ぎてい (義弟)	3141 きょうかしょ (教科書)
3117 きとう (祈とうをささげる)	3142 ぎょうぎょうしい (仰々しい)
3118 きにいり (気に入る)	3143 きょうごう (強豪としあいする)
3119 きのり (気乗りがしない)	3144 ぎょうじ (行事がおこなわれる)
3120 きはん (規範にしたがう)	3145 ぎょうしゅく (すいじょう気の凝縮)
3121 きふさぎ (気ふさぎ)	3146 きょうせい (悪事を強制する)
3122 きぼ (大規模な工場)	3147 きょうだい (強大な国)
3123 きまま (気ままな人)	3148 きょうてい (胸底にひめる)
3124 ぎめい (偽名を使う)	3149 きょうとう (驚倒する)
3125 ぎゃくこうせん (逆光線)	3150 きょうほ (競歩)

3151 きげん (起源)	3176 ぎゃっこう (逆行する)
3152 きこう (帰港)	3177 きゅうおん (旧恩)
3153 きこり	3178 きゅうかん (急患のしんさつ)
3154 きじ (新聞の記事)	3179 きゅうけい (求刑)
3155 きしゃ (新聞の記者)	3180 きゅうこん (球根をうえる)
3156 きじゅつ (奇術)	3181 きゅうしゅう (旧習をまもる)
3157 きしょく (気色をやわらげる)	3182 きゅうしょく (求職の広告)
3158 きずく (城を築く)	3183 きゅうせい (旧姓は中村です)
3159 ぎせい (大きな犠牲をはらう)	3184 きゅうちゅう (宮中)
3160 ぎぜんしゃ (偽善者)	3185 きゅうにゅう (吸入する)
3161 ぎそく (義足をつける)	3186 きゅうほう (急報)
3162 きたく (帰宅がおくれる)	3187 きゅうよ (窮余の一策)
3163 きち (既知の事実)	3188 きゅうれき (旧暦と新暦)
3164 きっか (菊花がさく)	3189 きょうい (胸囲)
3165 きっさき (刀の切っ先)	3190 きょうおう (供応をうける)
3166 きてき (汽笛がきこえる)	3191 きょうかつ (金を——する)
3167 きどう (月の軌道)	3192 きょうく (狂句)
3168 きにゅう (記入する)	3193 きょうこく (強国)
3169 きば (おおかみの——)	3194 きょうしゃ (強者と弱者)
3170 きびしい (——寒さ)	3195 ぎょうしょ (行書とかい書)
3171 きふじん (貴婦人)	3196 ぎょうせい (行政)
3172 ぎぼ (義母)	3197 きょうたん (驚嘆すべき事がら)
3173 きみ (気味がわるい)	3198 きょうてい (協定をむすぶ)
3174 きめこむ (そうなるものと——)	3199 きょうどう (協同の精神)
3175 ぎゃくじょう (逆上する)	3200 きょうほう (凶報をつたえる)

3201 きげん (期限がせまる)	3226 きゃはん (——をつける)
3202 きごう (記号)	3227 きゅうか (休暇)
3203 きさい (記載する)	3228 きゅうき (吸気)
3204 きじ (木地)	3229 きゅうげき (急激にふえる)
3205 きしゅ (旗手)	3230 きゅうさい (救済)
3206 ぎじゅつ (技術)	3231 きゅうじゅつ (弓術)
3207 きしょく (喜色を浮かべる)	3232 きゅうしょく (休職)
3208 きずつく (傷つく)	3233 きゅうせい (急性の病気)
3209 ぎせいご (擬声語)	3234 きゅうちょ (旧著)
3210 きそ (しっかりした基礎)	3235 きゅうねん (旧年)
³ 211 きぞめ (新しい洋服の着ぞめ)	3236 きゅうぼう (窮乏におちいる)
3212 きたす (不足を——)	3237 きゅうよう (しばらく休養する)
3213 きちゃく (帰着する)	3238 きよ (社会に寄与する)
3214 きづかう (気づかう)	3239 きょうい (脅威を感じる)
3215 きっさてん (きっさ店)	3240 きょうか (狂歌)
3216 きてん (東京を起点として…)	3241 きょうかん (教官)
3217 きどう (エンジンの起動)	3242 きょうぐう (あわれな境遇)
3218 きにん (帰任する)	3243 きょうこく (峡谷)
3219 きば (騎馬の巡査)	3244 ぎょうしゃ (業者の組合)
3220 ぎひつ (偽筆)	3245 きょうじょう (教場)
3221 きぶつ (器物)	3246 ぎょうせき (業績をのこす)
3222 きぼう (希望)	3247 きょうち (境地)
3223 きみ (わが君におかれては…)	3248 きょうてき (強敵とたたかう)
3224 きめつける (あたまから——)	3249 きょうばい (競売する)
3225 きゃくしょく (小説の脚色)	3250 きょうぼう (凶暴なたち)

3251 きげん (紀元)	3276 キャンプ
3252 ぎこう (技巧をこらす)	3277 きゅうか (村の旧家)
3253 きさい (奇才に富む)	3278 きゅうきゅうしゃ (救急車)
3254 ぎし (鉄道の技師)	3279 きゅうご (救護)
3255 きしゅ (騎手)	3280 きゅうさく (旧作)
3256 きじゅん (基準)	3281 きゅうしょ (急所をつく)
3257 きしょく (寄食する)	3282 きゅうしん (球審)
3258 きする (……を期する)	3283 きゅうせいしゅ (救世主)
3259 きせいひん (既製品)	3284 きゅうてい (宮廷)
3260 きそ (起訴する)	3285 きゅうば (急場をしのぐ)
3261 ギター	3286 きゅうむ (さしあたりの急務)
3262 きたて (〇〇へ来たてのころ)	3287 きゅうよう (急用で出かけた)
3263 きちゅう (忌中ですから…)	3288 きよい (清い)
3264 きっかけ (それを——として)	3289 きょういく (教育)
3265 きっすい (生粋のえどっ子)	3290 きょうか (教化する)
3266 きてん (気転がきく人)	3291 きょうかん (共感をおぼえる)
3267 きどう (機動部隊)	3292 きょうくん (教訓)
3268 きぬけ (気抜け)	3293 きょうざい (教材)
3269 きはずかしい (気恥ずかしい)	3294 ぎょうじゃ (行者)
3270 きひん (気品)	3295 ぎょうしょう (やさいの行商)
3271 ぎぶつ (偽物)	3296 きょうそう (強壮なからだ)
3272 きほん (基本)	3297 きょうちゅう (胸中をさっする)
3273 きみじか (気短な人)	3298 きょうてき (狂的な考え方)
3274 きも (肝が太い)	3299 きょうはく (脅迫をうける)
3275 きゃくぶ (脚部)	3300 きょうほん (ピアノの教本)

3301 きこう (起工)	3326 きゅう (新と旧)
3302 きこうし (貴公子)	3327 きゅうかい (休会)
3303 きさき (王様の——)	3328 きゅうきょ (旧居)
3304 ぎし (義士)	3329 きゅうこう (休講)
3305 ぎしゅ (義手)	3330 きゅうし (休止する)
3306 きしょう (気象通報)	3331 きゅうじょ (救助する)
3307 きしん (帰心矢のごとし)	3332 きゅうしん (午後は休診)
3308 きする (失敗に帰する)	3333 きゅうせん (休戦の条約)
3309 きせき (奇跡的に助かった)	3334 きゅうてん (事情が急転する)
3310 きそう (奇想にとんだ人)	3335 きゅうはく (事態が急迫する)
3311 きたい (機体の故障)	3336 きゅうめい (旧名)
3312 きだて (気立がやさしい)	3337 きゅうらい (旧来の習慣)
3313 きちょう (アメリカから帰朝する)	3338 きょう (興にのる)
3314 きづかれ (気疲れ)	3339 きょういん (教員)
3315 きっちょう (吉兆)	3340 きょうか (強化する)
3316 きでん (貴殿のおいでをまつ)	3341 きょうき (狂気のように…)
3317 きとく (危篤におちいる)	3342 ぎょうけつ (すいじょう気の凝結)
3318 きぬずれ (——の音)	3343 きょうさく (凶作)
3319 きはつ (ガソリンが揮発する)	3344 きょうじゃく (強弱をためす)
3320 きびん (機敏な動作)	3345 きょうしょく (教職につく)
3321 きふるし (着古し)	3346 ぎょうそう (ものすごい形相)
3322 ぎまい (義妹)	3347 きょうちょ (共著)
3323 きみょう (奇妙なこと)	3348 きょうてん (仏教の教典)
3324 きもだま (肝玉)	3349 きょうはん (共犯)
3325 きゃくほん (脚本)	3350 きょうみ (興味)

3351 きこう (寄稿する)	3376 きゅう (——をすえる)
3352 きこうぶん (紀行文)	3377 きゅうかく (きゅう覚がする どい)
3353 きさく (奇策をねる)	3378 きゅうきょう (旧教と新教)
3354 ぎし (義歯を入れる)	3379 きゅうこう (休校)
3355 きしゅう (既習のことば)	3380 きゅうじ (急使をたてる)
3356 きしょう (起床の時刻)	3381 きゅうしょう (旧称)
3357 きしん (寄進する)	3382 きゅうじん (求人の広告)
3358 ぎする (問題を議する)	3383 きゅうそく (しばらく休息す る)
3359 ぎせき (議席)	3384 きゅうでん (宮殿)
3360 きそう (たがいにわざを——)	3385 きゅうはく (窮迫した生活)
3361 きたい (気体と液体)	3386 きゅうめいぐ (救命具)
3362 きたる (——2月1日……)	3387 きゅうらく (及落がきまる)
3363 きちょう (記帳)	3388 きょう (おみくじは凶だ)
3364 きづかわしい (気づかわしい)	3389 きょうえい (競泳で勝つ)
3365 きっぽう (吉報をまつ)	3390 きょうかい (協会)
3366 ぎてん (疑点がある)	3391 きょうき (狂喜する)
3367 きとく (奇特なおこない)	3392 きょうけん (狂犬)
3368 きね (——と うす)	3393 きょうざめる (興ざめる)
3369 きばつ (奇抜な考え)	3394 きょうしゅ (凶手にたおれる)
3370 きひんせき (貴賓席)	3395 きょうしん (強震)
3371 きぶん (気分)	3396 きょうぞう (胸像)
3372 きまえ (気前がいい)	3397 きょうちょう (その点を強調 する)
3373 ぎむ (権利と義務)	3398 ぎょうてん (——する)
3374 きもん (鬼門にあたる)	3399 きょうふ (恐怖におそわれる)
3375 きゃしゃ (——なからだつき)	3400 ぎょうむ (業務)

3401 きこう (気候)	3426 ぎゆう (義勇)
3402 きこく (帰国する)	3427 きゅうがく (休学)
3403 ぎさく (偽作)	3428 きゅうきょう (窮境におちいる)
3404 ぎし (義姉)	3429 きゅうこう (休航)
3405 きしゅう (奇襲をかける)	3430 きゅうじ (給仕)
3406 きじょう (気丈な人)	3431 きゅうじょう (窮状をうたえる)
3407 きしん (鬼神も泣く)	3432 きゅうしんりょく (求心力)
3408 きせい (ひさしぶりに帰省する)	3433 きゅうそく (急速に進歩する)
3409 きせつ (季節)	3434 きゅうと (旧都)
3410 きぞう (寄贈する)	3435 きゅうはん (急坂をあがる)
3411 きたい (奇態な動物)	3436 きゅうめん (球面)
3412 きだん (奇談)	3437 きゅうりゅう (急流をわたる)
3413 きちょう (貴重な品)	3438 きょう (経を読む)
3414 きっきょう (吉凶をうらなう)	3439 きょうえい (胸泳)
3415 きづまり (気づまり)	3440 きょうかい (境界)
3416 きと (帰途につく)	3441 きょうき (凶器をもつ)
3417 きどる (気取る)	3442 きょうげん (狂言)
3418 きねん (記念)	3443 ぎょうさん (——な言い方)
3419 きばむ (黄ばむ)	3444 きょうしゅ (興味がわく)
3420 きふ (寄付)	3445 きょうじん (狂人)
3421 きぶん (奇聞)	3446 きょうそうきょく (狂想曲)
3422 きまかせ (気任かせに歩く)	3447 きょうちょう (友だちと協調する)
3423 きむずかしい (——人)	3448 きょうと (教徒)
3424 きもん (奇問を発する)	3449 きょうぶ (胸部)
3425 きやすめ (気休め)	3450 きょうめい (共鳴)

3451 きこう (気孔)	3476 きゅうあく (旧悪)
3452 きごころ (着ごころがよい)	3477 きゅうかざん (休火山)
3453 きざはし (おみやの——)	3478 きゅうぎょう (本日は休業です)
3454 ぎじ (議事)	3479 きゅうこう (旧交をあたためる)
3455 きじゅう (機銃)	3480 きゅうじ (旧時)
3456 きじょう (机上)	3481 きゅうじょう (球状)
3457 きじん (奇人)	3482 きゅうす (——に茶を入れる)
3458 きせい (既成の事実)	3483 きゅうたい (旧態)
3459 きぜつ (気絶する)	3484 きゅうどう (旧道)
3460 ぎぞう (偽造する)	3485 きゅうばん (吸盤)
3461 ぎだい (会議の議題)	3486 きゅうゆ (給油する)
3462 きち (おみくじは吉だ)	3487 きゅうりょう (丘陵)
3463 ぎちょう (会議の議長)	3488 きよう (器用な手つき)
3464 きづく (気づく)	3489 きょうえん (きょう宴を開く)
3465 きつよい (気強い)	3490 ぎょうかい (業界の人たち)
3466 きと (企図する)	3491 きょうぎ (協議する)
3467 きながし (着流しで出かける)	3492 ぎょうこ (血が凝固する)
3468 ぎねん (疑念をいただく)	3493 きょうし (教師)
3469 きばや (気早な人)	3494 きょうじゅ (教授)
3470 ぎふ (義父)	3495 ぎょうずい (行水を使う)
3471 きへい (騎兵)	3496 きょうそくぼん (教則本)
3472 きまぐれ (気まぐれ)	3497 きょうちよく (強直)
3473 きむすめ (生娘)	3498 きょうど (郷土のほこり)
3474 ぎもん (疑問)	3499 きょうへき (胸壁をきずく)
3475 きゃっか (願書を却下する)	3500 きょうもん (経文をとる)

3501 きょうゆ (学校の教諭)	3526 くう (空)
3502 きょうれつ (強烈な刺激)	3527 ぐうぜん (偶然に出会う)
3503 ぎょき (にしんの漁期)	3528 くかん (区間)
3504 きょくげん (極限までつきつめる)	3529 くさわけ (草分け時代)
3505 きょくちよく (曲直をはっきりさせる)	3530 くせげ (癬毛)
3506 きょくもく (曲目)	3531 ぐち (——をいう)
3507 きょしょ (居所)	3532 くちぞえ (口添え)
3508 ぎょぞく (魚族)	3533 くちやかましい (口やかましい)
3509 きょひ (申し出を拒否する)	3534 くっきょく (道が屈曲している)
3510 ぎょゆ (魚油)	3535 くつろぐ (ゆっくりと——)
3511 きらめく (ほしが——)	3536 くねる (まがり——)
3512 きりさげ (切り下げ)	3537 くま (——なくさがす)
3513 きりぬける (切り抜ける)	3538 くみひも (組ひも)
3514 きりよく (気力)	3539 くら (馬におく——)
3515 きわまる (感——)	3540 くらしむき (暮らし向き)
3516 ぎんかい (銀塊)	3541 くりあわせる (繰り合わせる)
3517 きんけん (近県)	3542 くりだす (繰り出す)
3518 きんさく (近作)	3543 くるおしい (狂おしい)
3519 きんじょう (近状を知らせる)	3544 くれ (暮れ)
3520 きんぞく (金属)	3545 くらダイヤ (黒ダイヤ)
3521 きんとう (均等に分ける)	3546 ぐん (群をなしておしよせる)
3522 きんべん (勤勉な人)	3547 くんし (君子)
3523 きんもつ (禁物)	3548 くんせい (にしんのくん製)
3524 く (句)	3549 ぐんぶ (軍部)
3525 くいこむ (食い込む)	3550 げ (下)

3551 きょうゆう (共有の品物)	3576 こうかん (空間)
3552 ぎょうれつ (行列をつくる)	3577 こうそう (空想)
3553 ぎょぎょう (漁業)	3578 くきょう (苦境)
3554 ぎょくぎ (玉座)	3579 くし (——にさす)
3555 きょくてん (美の極点)	3580 くせつ (10年の苦節)
3556 きょくりょく (極力努力する)	3581 くちおしい (口惜しい)
3557 きょじょう (居城)	3582 くちづたえ (口伝え)
3558 ぎょそん (漁村)	3583 くちやくそく (口約束)
3559 きょひ (許否を求める)	3584 くっし (この町で屈指の金持)
3560 きょよう (許容する)	3585 くつわ (馬の——をとる)
3561 きり (——のない仕事)	3586 くのう (苦悩)
3562 きりさげる (切り下げる)	3587 くまで (——で落ち葉をかく)
3563 きりふだ (切札)	3588 くみほす (水を——)
3564 きれあじ (切れ味)	3589 くらい (位の高い人)
3565 きわめる (学問を——)	3590 ぐらつく
3566 きんがく (金額)	3591 クリーニング
3567 きんげん (謹厳な態度)	3592 クリップ
3568 きんざん (金山)	3593 くるしまぎれ (苦しまぎれ)
3569 きんしん (近親が集まる)	3594 くれぐれも (——よろしく)
3570 きんぞく (勤続10年)	3595 くろまく (黒幕にあやつられる)
3571 きんにく (筋肉)	3596 ぐん (〇〇県〇〇郡)
3572 きんぺん (近辺)	3597 くんじ (先生の訓示)
3573 きんゆう (金融)	3598 ぐんぜい (軍勢)
3574 く (苦)	3599 ぐんぽうかいぎ (軍法会議)
3575 くいちがう (話が食い違う)	3600 けい (10年の刑)

3601 きょうよう (教養のある人)	3626 くうきょ (空虚な話)
3602 きょうわ (協和の精神)	3627 くうち (空地)
3603 きょく (曲)	3628 くぎょう (苦行)
3604 きょくしょう (極小)	3629 くじく (足を——)
3605 きょくど (極度のつかれ)	3630 くせもの (くせ者がにげた)
3606 ぎょくろ (玉露をいれる)	3631 くちぎたない (口ぎたない)
3607 ぎょじょう (漁場)	3632 くちどめ (口止め)
3608 きょたい (巨体をよこたえる)	3633 くちょう (口調)
3609 きょひ (巨費をついやす)	3634 くっしん (足の屈伸)
3610 きょらい (雲が去来する)	3635 くてん (句点)
3611 ぎり (義理)	3636 くばりもの (配り物)
3612 きりすてる (切り捨てる)	3637 くまどる
3613 きりまくる (切りまくる)	3638 ぐみん (愚民)
3614 ぎれい (儀礼)	3639 くらい (どの——)
3615 きわもの (——はすぐになくなる)	3640 くらに (倉荷)
3616 きんがみ (金紙)	3641 くりいれる (繰り入れる)
3617 きんこ (近古の時代)	3642 くりぬく (板を——)
3618 きんし (金糸)	3643 くるぶし (足の——)
3619 きんずる (入室を禁ずる)	3644 くれない (紅)
3620 きんそん (近村)	3645 ぐろん (愚論)
3621 きんねん (近年)	3646 ぐん (軍)
3622 ぎんほんい (銀本位)	3647 ぐんし (軍使)
3623 きんらい (近来)	3648 ぐんたい (軍隊)
3624 ぐ (愚なことだ)	3649 くんめい (君命)
3625 くいつくす (食い尽す)	3650 けい (ノートの——)

3651 きょうよう (共用の水道)	3676 くうぐん (空軍)
3652 きょうわこく (共和国)	3677 くうはく (空白)
3653 きょく (局)	3678 くぐりど (くぐり戸)
3654 きょくせつ (曲折)	3679 くじける (勇気が——)
3655 きょくとう (極東)	3680 くせん (苦戦)
3656 ぎょぐん (魚群)	3681 くちきり (話の口切り)
3657 きょしん (虚心)	3682 くちなおし (口直し)
3658 きょだい (巨大なからだ)	3683 くちょう (区長)
3659 ぎょふ (漁夫)	3684 くっする (からだを屈する)
3660 きよらか (清らか)	3685 くどい (話が——)
3661 きりあげる (切り上げる)	3686 ぐび (条件を具備する)
3662 きりずみ (切り炭)	3687 くみあい (組合)
3663 きりまわす (家事を——)	3688 くめん (金を工面する)
3664 きろ (帰路につく)	3689 ……ぐらい (その——)
3665 きん (菌)	3690 くらばらい (蔵払い)
3666 きんかん (近刊)	3691 くりげ (くり毛の馬)
3667 きんこう (近郊を歩く)	3692 くりのべる (繰り延べる)
3668 きんし (禁止する)	3693 くるまざ (車座)
3669 ぎんずる (詩を吟ずる)	3694 くれる (物を——)
3670 きんだい (近代)	3695 くわ (——でたがやす)
3671 きんのう (金納)	3696 ぐんい (軍医)
3672 ぎんまく (銀幕)	3697 ぐんじ (軍事)
3673 きんりょう (禁猟)	3698 ぐんとう (群島)
3674 ぐあん (愚案)	3699 ぐんゆうかっきょ (群雄割拠)
3675 くいつぶす (食いつぶす)	3700 けい (計)

3701 きょうよう(面会を強要する)	3726 くうこう(空港)
3702 きょえい(虚栄をはる)	3727 くうぶん(空文)
3703 きょく(極)	3728 くくる
3704 きょくせん(曲線)	3729 くしょう(苦笑)
3705 きょくのり(曲乗り)	3730 ぐたいてき(具体的)
3706 きょこう(式を挙行する)	3731 くちく(敵を駆逐する)
3707 きょじん(巨人)	3732 くちばしる(口走る)
3708 きょだく(許諾する)	3733 くちよごし(口よごし)
3709 きょへい(挙兵)	3734 くっせつ(光の屈折)
3710 きょり(距離をはかる)	3735 くとう(苦闘)
3711 きりうり(切り売り)	3736 くびれる
3712 きりつ(規律にしたがう)	3737 くみあう(組み合う)
3713 きりみ(さかなの切身)	3738 くもつ(供物)
3714 きろく(記録)	3739 くらいする(第1に位する)
3715 きん(禁をおかす)	3740 クラブ(——の会員)
3716 きんかん(金冠)	3741 くりこし(繰越の金)
3717 きんこう(金鉱)	3742 くりひろげる(繰り広げる)
3718 きんし(近視)	3743 くるまへん(車へんの漢字)
3719 きんせい(近世の時代)	3744 くれる(……して——)
3720 きんだか(金高)	3745 くわえる(加える)
3721 ぎんぱい(銀杯)	3746 くんいく(訓育)
3722 きんまんか(金満家)	3747 ぐんしきん(軍資金)
3723 きんりょう(斤量をごまかす)	3748 ぐんとう(軍刀)
3724 くい(——を打つ)	3749 ぐんよう(軍用の電話)
3725 くいづめる(食い詰める)	3750 げい(芸)

3751 きょうらん (狂乱の状態)	3776 くうしょ (空所)
3752 きょか (許可する)	3777 くうほう (空砲)
3753 ぎょく (漁区)	3778 くげ (——と大名)
3754 きょくだい (極大)	3779 くじょう (苦情をいう)
3755 きょくび (極美)	3780 くだく (砕く)
3756 ぎょこう (漁港)	3781 くちぐるま (口車にのる)
3757 ぎょする (馬を御する)	3782 くちはてる (朽ち果てる)
3758 きょだん (巨弾をはなつ)	3783 くちる (木が朽ちる)
3759 きょほう (巨砲)	3784 くったく (屈託のない顔)
3760 きよりゅうち (居留地)	3785 くどく (功德)
3761 きりかえる (切り替える)	3786 くぶどおり (九分どおり)
3762 きりつめる (費用を切り詰める)	3787 くみあわせる (組み合わせる)
3763 きりむすぶ	3788 くもん (苦もんする)
3764 ぎろん (議論)	3789 グライダー
3765 きんいつ (均一)	3790 グラフ (——であらわす)
3766 きんかんしょく (金環食)	3791 くりこす (繰り越す)
3767 きんごう (近郷)	3792 くりまわす (繰り回す)
3768 きんじ (近似する)	3793 くるまる (ふとんに——)
3769 きんせい (金星がかがやく)	3794 くろう (苦勞)
3770 きんだん (禁断をやぶる)	3795 くわずぎらい (食わずぎらい)
3771 ぎんぱく (銀ぱくをはる)	3796 ぐんか (軍歌)
3772 ぎんみ (よく吟味する)	3797 くんしゅ (君主)
3773 きんりょく (金力)	3798 くんどく (訓読)
3774 くいあらず (食い荒らす)	3799 ぐんようけん (軍用犬)
3775 くいどうらく (食い道楽)	3800 けいあい (敬愛する人)

3801 きょうり (郷里)	3826 ぐうすう (偶数と奇数)
3802 ぎょかい (魚介をあきなう)	3827 くうろ (空路アメリカへ)
3803 ぎょぐ (漁具)	3828 くけい (く形と正方形)
3804 きょくたん (極端なこと)	3829 くしん (苦心)
3805 きょくびき (しゃみせんの曲 びき)	3830 くだける (碎ける)
3806 きょしき (挙式)	3831 くちことば (口ことば)
3807 きょせい (虚勢をはる)	3832 くちはばったい (——言い方)
3808 きょてん (拠点)	3833 くつう (苦痛)
3809 きよまる (清まる)	3834 くってかかる (目上の人 に——)
3810 ぎょるい (魚類)	3835 くどくどしい (——説明)
3811 きりかぶ (切り株)	3836 くぶん (区分する)
3812 きりど (切り戸)	3837 くみかえる (組み替える)
3813 きりめ (切り目)	3838 くやくしょ (区役所)
3814 きわ (がけの——を歩く)	3839 くらいどり (位取り)
3815 きんえん (禁煙)	3840 くらべもの (——にならない)
3816 きんきゅう (緊急を要する)	3841 くりごと (老人の繰り言)
3817 きんこつ (筋骨たくましい人)	3842 くりょ (苦慮)
3818 きんしがん (近視眼)	3843 ぐるみ (はこ——買う)
3819 きんせい (禁制)	3844 くろうと (——としろうと)
3820 きんちゃく (——をふところ へしまう)	3845 くわせもの (かれは——だ)
3821 きんぱつ (金髪)	3846 くんかい (訓戒をたれる)
3822 きんみつ (緊密な関係)	3847 ぐんしゅう (群衆)
3823 きんりん (近隣の人々)	3848 ぐんば (軍馬)
3824 くいあらためる (悔い改める)	3849 くんれい (訓令)
3825 くいとめる (食い止める)	3850 けいい (敬意をはらう)

3851 きょうりょう (狭量な人)	3876 ぐうする (客として遇する)
3852 きょがく (巨額の費用)	3877 くえき (苦役)
3853 きょくがい (局外)	3878 くげん (苦言)
3854 きょくち (美の極致)	3879 くすぶる (まきが——)
3855 きょくほく (極北の空)	3880 くだす (命令を下す)
3856 きょしつ (居室)	3881 くちごもる (口ごもる)
3857 きょぜつ (拒絶する)	3882 くちび (口火)
3858 きょとう (政界の巨頭)	3883 くつがえす (根本から——)
3859 きょまん (巨万の富)	3884 くとうてん (句とう点)
3860 きらい (機雷)	3885 くにがら (国がら)
3861 きりきざむ (切り刻む)	3886 くべつ (区別)
3862 きりどおし (切通し)	3887 くみたて (エンジンの組立)
3863 きりもり (家事の——)	3888 くやみ (お——に行く)
3864 ぎわく (疑惑をまねく)	3889 くらいまけ (位負け)
3865 きんか (近火)	3890 くらます (ゆくえを——)
3866 きんきょう (近況を知らせる)	3891 くりこむ (繰り込む)
3867 きんこんしき (金婚式)	3892 くる (糸を繰る)
3868 きんじつ (近日)	3893 くるむ (紙で——)
3869 ぎんせかい (銀世界)	3894 くろじ (家計が黒字になる)
3870 きんちゃく (近着の本)	3895 くわだてる (企てる)
3871 ぎんばん (銀盤)	3896 ぐんがくたい (軍楽隊)
3872 きんむ (勤務)	3897 ぐんしゅく (軍縮)
3873 きんるい (菌類)	3898 ぐんばつ (軍閥)
3874 くいあわせ (食い合わせ)	3899 くんれん (いぬを訓練する)
3875 くいのばす (食い延ばす)	3900 けいい (事件の経緯)

3901 きょうりょく (強力)	3926 くうせき (空席)
3902 ぎょかく (漁獲高が多い)	3927 くかく (区画)
3903 きょくげい (曲芸)	3928 ぐけん (愚見によれば……)
3904 きょくち (極地)	3929 くすべる (紙を——)
3905 きょくめん (局面が一変する)	3930 くたびれる
3906 ぎょしゃ (馬車の御者)	3931 くちさがない (口さがない)
3907 きょせん (巨船にのる)	3932 くちぶり (口ぶり)
3908 きょどう (あやしい挙動)	3933 くつがえる (計画が——)
3909 ぎょみん (漁民)	3934 くどく (口説く)
3910 きらく (気楽な旅)	3935 くにことば (国ことば)
3911 きりこうじょう (切り口上)	3936 くぼち (くぼ地)
3912 きりとりせん (切取線)	3937 くみたて (——の水)
3913 きりゅう (気流)	3938 くやむ (悔やむ)
3914 きわだつ (きわだって美しい)	3939 くらく (苦楽を共にする)
3915 ぎんが (銀河)	3940 くらむ (目が——)
3916 きんきょり (近距離)	3941 くりさげる (繰り下げる)
3917 ぎんこんしき (銀婚式)	3942 くる (あなを——)
3918 きんしゃ (金しゃの着物)	3943 くるめる (それをくるめて…)
3919 きんせつ (近接する)	3944 くろしお (黒潮)
3920 きんちょう (緊張する)	3945 くわわる (加わる)
3921 きんぴん (金品)	3946 くんこう (勲功)
3922 きんめっき (金めっき)	3947 ぐんしょうこっか (群小国家)
3923 きんれい (禁令をおかす)	3948 ぐんび (軍備)
3924 くいいる (食い入る)	3949 くんわ (訓話)
3925 くいはぐれる (食いはぐれる)	3950 けいえい (牧場の経営)

3951 きょうりょく (協力する)	3976 くうぜん (空前の盛況)
3952 きょがん (巨岩)	3977 くがく (苦学)
3953 きょくげん (極言すれば)	3978 ぐこう (愚考によれば)
3954 きょくちょう (局長)	3979 くすむ (くすんだ色)
3955 きょくめん (曲面)	3980 くだらない (——ことをする)
3956 きょじゅう (居住)	3981 くちずさむ (口ずさむ)
3957 ぎょせん (漁船)	3982 くちまかせ (口任かせ)
3958 ぎょにく (魚肉)	3983 くっきょう (——な若者)
3959 きよめる (清める)	3984 くっぶく (屈服)
3960 きらびやか (——なかざり)	3985 くねつ (苦熱)
3961 きりこむ (切り込む)	3986 くぼむ (地面が——)
3962 きりぬき (切り抜き)	3987 くみつく (人に組みつく)
3963 きりょう (——がよい)	3988 くよう (供養)
3964 きわどい	3989 くらし (暮らし)
3965 きんかい (近海)	3990 くりあげる (繰り上げる)
3966 きんきん (近々)	3991 クリスチャン
3967 きんざい (近在)	3992 くるう (狂う)
3968 きんしゅ (禁酒する)	3993 くるわせる (狂わせる)
3969 きんせん (金銭)	3994 くろずむ (色が黒ずむ)
3970 きんちょう (謹聴を願います)	3995 くん (漢字の音と訓)
3971 きんぶん (金粉)	3996 ぐんこう (軍港)
3972 きんもじ (金文字)	3997 ぐんじん (軍人)
3973 きんろう (勤労)	3998 ぐんぶ (郡部と都市)
3974 くいき (区域)	3999 け (火の気)
3975 くいる (悔いる)	4000 けいえい (警衛の警官)

4001	けいえん (敬遠する)	4026	けむくじゃら (毛むくじゃら)
4002	けいきんぞく (軽金属)	4027	けん (例の件を解決する)
4003	げいごう (迎合)	4028	げんいん (減員)
4004	けいし (軽視する)	4029	けんかい (見解のちがい)
4005	けいしょう (敬称をつける)	4030	げんがく (予算の減額)
4006	けいせき (形跡)	4031	げんきょう (現況を知らせる)
4007	けいてき (警笛をならす)	4032	けんげん (権限)
4008	げいのう (芸能番組)	4033	げんこう (原稿を書く)
4009	けいべん (軽便な方法)	4034	けんざん (驗算)
4010	げいゆ (鯨油)	4035	けんしき (見識のある人)
4011	けいれき (経歴)	4036	けんしゅつ (検出)
4012	げかい (下界)	4037	げんじょう (現場に行ってみる)
4013	げきしょく (劇職にたえる)	4038	げんずる (減ずる)
4014	げきど (激怒する)	4039	けんぜん (健全な精神)
4015	げきれい (激励)	4040	げんそく (原則をたてる)
4016	けしかける	4041	けんちょ (顕著な事実)
4017	げじょ (下女)	4042	けんどう (剣道がうまい)
4018	けたはずれ	4043	げんぱい (減配)
4019	けっかん (欠陥)	4044	けんぶん (見聞をひろめる)
4020	げっけん (撃剣)	4045	けんむ (兼務)
4021	げっしゃ (月謝をはらう)	4046	げんや (原野)
4022	けっせき (欠席)	4047	げんろう (元老)
4023	けってい (決定)	4048	こいん (雇員)
4024	けつぼう (欠乏にたえる)	4049	こうい (高位)
4025	けなす (作品を――)	4050	こうえい (公営)

4051	けいか (経過の報告)	4076	けむたい (——煙)
4052	けいく (警句)	4077	けん (天下の險)
4053	けいこうぎょう (軽工業)	4078	けんえい (県営)
4054	けいじ (掲示を読む)	4079	けんかい (県会)
4055	けいしょう (継承)	4080	けんがん (検眼をする)
4056	けいそう (軽装で出かける)	4081	げんぎょういん (現業員)
4057	けいてん (経典)	4082	けんご (堅固な陣地)
4058	けいば (競馬)	4083	けんこく (建国)
4059	けいほう (警報を発する)	4084	げんさん (減産)
4060	けいよう (形容がむずかしい)	4085	けんじつ (堅実な精神)
4061	けいれん (足が——する)	4086	けんじゅつ (剣術)
4062	けがす (名誉を——)	4087	げんしょく (原色)
4063	げきしん (激震)	4088	げんせ (現世)
4064	げきどう (激動する)	4089	げんせん (源泉)
4065	げきれつ (激烈)	4090	けんそん (しきりに——する)
4066	けしからぬ (——話)	4091	げんちょ (原著)
4067	けしん (化身)	4092	げんとう (嚴冬)
4068	けち (——なことをする)	4093	げんばつ (嚴罰にしょする)
4069	けっかん (血管)	4094	げんぶん (原文のまま)
4070	けっこう (決行する)	4095	けんめい (賢明なやりかた)
4071	げっしゅう (月収)	4096	けんやく (儉約)
4072	けっせん (決戦)	4097	げんろん (言論の自由)
4073	けってん (欠点)	4098	こう (香)
4074	げっぼう (月報)	4099	こうい (行為)
4075	けなみ (毛並み)	4100	こうえい (光榮に存じます)

4101 けいかい(げんじゅうな警戒)	4126 けむる(まきが——)
4102 けいぐ(敬具)	4127 けん(〇〇県)
4103 けいごうきん(軽合金)	4128 げんえい(幻影におびえる)
4104 けいじ(刑事)	4129 けんがい(県外)
4105 けいじょう(形状)	4130 げんかん(厳寒のきせつ)
4106 けいぞく(継続する)	4131 けんきん(献金)
4107 けいど(経度と緯度)	4132 げんこ(——をかためる)
4108 けいはく(軽薄な態度)	4133 げんこく(原告と被告)
4109 けいほう(刑法)	4134 げんさんち(原産地)
4110 けいようし(形容詞)	4135 げんじつ(現実)
4111 けいろ(経路をしめす)	4136 げんしゅつ(現出)
4112 けがらわしい	4137 げんしょく(現職の巡査)
4113 げきする(心が激する)	4138 けんせい(権勢をふるう)
4114 げきどく(劇毒にあたる)	4139 げんせん(厳選)
4115 げきろう(激浪)	4140 げんそん(現存の人)
4116 けしき(おそれる気色もなく……)	4141 けんちょう(県庁)
4117 げすい(下水)	4142 げんどう(言動に気をつける)
4118 けちらす(敵を——)	4143 げんぱん(写真の原板)
4119 げっかん(月刊)	4144 けんべん(検便)
4120 けっこうな(——おかし)	4145 けんめい(懸命に努力する)
4121 けっしょう(ゆきの結晶)	4146 げんゆ(原油)
4122 けっせん(決選投票)	4147 こ(弧をえがく)
4123 けっとう(血統)	4148 こう(手の甲)
4124 けつまずく	4149 ごうい(合意)
4125 げなん(下男)	4150 こうえい(テニスの後衛)

4151	けいかい (軽快なヨット)	4176	けもの (獣と鳥)
4152	けいけいに (軽々に考えるな)	4177	けん (剣をとる)
4153	けいこうとう (けい光燈)	4178	げんえき (現役の選手)
4154	けいしき (形式)	4179	げんかい (一定の限界)
4155	けいじょう (刑場におくられる)	4180	けんぎ (県議)
4156	けいそつ (軽率なおこない)	4181	げんきん (現金)
4157	けいど (軽度のひんけつ)	4182	げんご (言語)
4158	けいばつ (重い刑罰)	4183	げんこん (現今)
4159	けいぼうだん (警防団)	4184	けんし (剣士)
4160	けいよう (国旗の掲揚)	4185	けんじゃ (賢者)
4161	けいろ (毛色)	4186	げんしょ (原書を読む)
4162	けがれ (——をきよめる)	4187	げんしょく (減食する)
4163	げきせん (激戦)	4188	けんせい (憲政)
4164	げきとつ (激突する)	4189	げんぜん (厳然として)
4165	げきろん (激論)	4190	けんだい (見台)
4166	けしずみ (消炭)	4191	けんてい (検定)
4167	げせん (下船)	4192	げんどうりょく (原動力)
4168	けつあつ (血圧)	4193	けんび (ちえと勇気を兼備する)
4169	けっき (血気さかんな人)	4194	けんぽう (憲法)
4170	げっこう (月光)	4195	げんめい (厳命をくだす)
4171	けっしょう (決勝でかつ)	4196	げんゆう (現有の勢力)
4172	けつぜん (決然として立つ)	4197	ご (碁をうつ)
4173	けっとう (決闘)	4198	こう (別の項できめる)
4174	けつまつ (結末をつける)	4199	こういっつい (好一對)
4175	けば (——をたてる)	4200	こうえき (公益をまもる)

4201	けいかく (計画)	4226	けやぶる
4202	けいけん (経験をつむ)	4227	げん (弦をひきしぼる)
4203	けいこく (けい谷をさかのぼる)	4228	けんえつ (検閲をうける)
4204	けいしゃ (ゆるやかな傾斜)	4229	げんかい (国境を厳戒する)
4205	けいじょう (計上する)	4230	けんきゃく (健脚をほこる)
4206	けいたい (携帯する)	4231	げんきん (厳禁する)
4207	けいとう (系統)	4232	げんご (原語)
4208	けいひ (経費がかかる)	4233	けんざい (健在)
4209	けいみょう (輕妙)	4234	けんし (絹糸)
4210	けいらん (鶏卵)	4235	げんしゅ (きそくを厳守する)
4211	ケース	4236	けんしょう (肩章をつける)
4212	けがわ (毛皮)	4237	けんしん (献身)
4213	げきぞう (人口が激増する)	4238	げんせい (世界の現勢)
4214	げきひょう (劇評)	4239	げんそ (元素)
4215	げげん (——な顔つき)	4240	げんたい (食よくが減退する)
4216	けしとめる (消し止める)	4241	げんてい (限定する)
4217	げそく (下足)	4242	げんに (現にこの目で見た)
4218	けつい (決意)	4243	げんぴ (厳秘にしておく)
4219	けっきする (決起する)	4244	げんぽう (減法と加法)
4220	けつごう (結合する)	4245	げんめい (言明する)
4221	けっしょく (血色がよい)	4246	けんよう (晴雨兼用のかさ)
4222	けっそう (血相をかえる)	4247	ご (語の意味)
4223	けつにく (血肉)	4248	こう (功を急ぐ)
4224	げつめい (月明)	4249	こういん (工員)
4225	けはい (気配)	4250	こうえき (交易)

4251 けいかん (警官)	4276 げらく (下落する)
4252 けいげん (税金の軽減)	4277 けんあく (陰悪な状態)
4253 けいこく (警告を発する)	4278 けんおんき (検温器)
4254 げいじゅつ (芸術)	4279 げんがい (言外の意味)
4255 けいず (系図)	4280 けんきゅう (研究する)
4256 けいたい (形態)	4281 けんぐ (賢愚の差)
4257 けいとう (しごとに傾倒する)	4282 けんこう (健康)
4258 けいび (軽微な損害)	4283 げんざい (現在)
4259 けいむしょ (刑務所)	4284 けんじ (検事)
4260 けいり (経理)	4285 けんじゅう (けん銃をつきつける)
4261 ゲートル	4286 けんしょう (児童憲章)
4262 げきか (小説を劇化する)	4287 けんしん (検診)
4263 げきたい (撃退する)	4288 げんせい (厳正なさいばん)
4264 げきへん (激変する)	4289 けんぞう (船の建造)
4265 げこ (下戸)	4290 げんだい (現代)
4266 けじめ (公私の——)	4291 げんてん (減点する)
4267 けた (——が違う)	4292 げんに (厳にいましめる)
4268 けついん (欠員)	4293 げんぴん (現品)
4269 けつぎ (決議)	4294 げんぽん (原本)
4270 けっさく (傑作)	4295 げんめん (原綿のゆにゅう)
4271 げっしょく (月食)	4296 けんり (権利とぎむ)
4272 けっそく (結束)	4297 ご (その後いかがですか)
4273 けっぱく (潔白)	4298 ごう (次の号につづく)
4274 けつるい (血涙をしぼる)	4299 こういん (光陰をおしむ)
4275 けばけばしい	4300 こうえん (講演)

4301 けいき (景気)	4326 げり (下痢)
4302 けいこ (おどりの——)	4327 げんあん (原案をみとめる)
4303 けいさい (雑誌に掲載する)	4328 けんか (県下の学校)
4304 けいしょう (警鐘をならす)	4329 けんかく (剣客)
4305 けいすう (計数)	4330 げんきゅう (減給される)
4306 けいだい (神社の境内)	4331 げんけい (原形をとどめる)
4307 げいとう (芸当)	4332 けんこう (昼夜兼行で行く)
4308 けいび (警備する)	4333 げんさく (原作)
4309 げいめい (芸名)	4334 けんじ (健児)
4310 けいりゃく (計略にかかる)	4335 げんしゅう (減収)
4311 ゲーム	4336 けんじょう (献上する)
4312 げきげん (数が激減する)	4337 けんじん (堅陣をやぶる)
4313 げきだん (劇団)	4338 げんぜい (減税する)
4314 げきむ (激務にたえる)	4339 げんそう (幻想になやむ)
4315 げざい (下剤)	4340 げんだいかなづかい (現代かなづかい)
4316 げしゃ (下車)	4341 げんど (限度をこえる)
4317 けだかい (気高い)	4342 けんによう (検尿)
4318 けつえん (血縁)	4343 けんぷ (絹布)
4319 けっきゅう (血球)	4344 けんま (表面を研磨する)
4320 けっさん (決算)	4345 げんめん (税金の減免)
4321 けっしん (決心)	4346 げんり (原理)
4322 けつぞく (血族)	4347 こあたり (小当り)
4323 けっぴょう (結氷)	4348 こうあつ (高圧)
4324 けつれつ (会議が決裂する)	4349 ごういん (強引なやりかた)
4325 けびょう (仮病をつかう)	4350 こうえん (後援をうける)

4351 けいき (刑期をおえる)	4376 げれつ (下劣なおこない)
4352 けいご (敬語)	4377 けんい (権威)
4353 けいざい (経済)	4378 げんか (原価で売る)
4354 けいしょう (軽症)	4379 けんがく (見学)
4355 けいする (敬する)	4380 けんぎゅうせい (けん牛星)
4356 けいちょう (傾聴する)	4381 げんけい (原型)
4357 けいにく (鶏肉)	4382 けんごう (剣豪)
4358 けいふく (敬服する)	4383 けんさつ (御賢察ください)
4359 けいやく (契約する)	4384 げんし (原始時代)
4360 けいりゅう (きれいなけい流)	4385 げんじゅう (厳重な警戒)
4361 けおされる (気おされる)	4386 げんしょう (自然の現象)
4362 げきさっか (劇作家)	4387 けんじん (賢人)
4363 げきちん (撃沈)	4388 げんせき (原籍)
4364 げきやく (劇薬)	4389 げんぞう (写真の現像)
4365 げざん (下山)	4390 けんち (その見地から見て…)
4366 げしゅく (下宿)	4391 けんとう (見当をつける)
4367 けたたましい	4392 けんにな (兼任)
4368 けつえき (血液)	4393 けんぶつ (見物)
4369 げっきゅう (月給)	4394 げんまい (玄米)
4370 げっさん (月産200台)	4395 げんもう (原毛)
4371 けっする (決する)	4396 けんりつ (県立)
4372 けっそん (欠損)	4397 こい (故意)
4373 げっぴょう (月評)	4398 こうあん (考案)
4374 けつろ (血路をひらく)	4399 こうう (すこしも降雨がない)
4375 げひん (下品なことば)	4400 こうえん (公演)

4401 けいき (計器がこわれる)	4426 けわい (そんな——はない)
4402 けいこう (けい光を発する)	4427 けんいん (検印をおす)
4403 けいさん (計算)	4428 げんか (言下に答える)
4404 けいしょう (軽傷)	4429 げんかく (厳格なしつけ)
4405 けいせい (形勢)	4430 けんきょ (はんにんの検挙)
4406 けいちょう (軽重)	4431 げんけい (厳刑にしょする)
4407 げいにく (鯨肉)	4432 げんこう (言行をつつしむ)
4408 けいぶつ (景物)	4433 けんさつ (検察の任にあたる)
4409 けいゆ (東京を経由して行く)	4434 げんし (とうしゃばんの原紙)
4410 けいりょう (計量)	4435 げんじゅうしょ (現住所)
4411 けおりもの (毛織物)	4436 げんしょう (減少する)
4412 げきしょう (激賞する)	4437 げんすい (川が減水する)
4413 げきつい (撃墜する)	4438 けんせつ (ダムの建設)
4414 けぎらい (——する)	4439 げんぞう (幻像が見える)
4415 げし (夏至)	4440 げんち (現地に行く)
4416 げしゅにん (下手人)	4441 けんとう (よく検討する)
4417 けたちがい (けた違い)	4442 けんのう (献納)
4418 けっか (結果)	4443 げんぶつ (現物)
4419 けっきょく (結局そうなる)	4444 けんまく (おそろしい——で おこる)
4420 けっし (決死のかくご)	4445 けんもほろろ (——のあいさ つ)
4421 けっせい (結成する)	4446 げんりょう (原料)
4422 けったく (結託)	4447 こいしい (恋しい)
4423 げっぷ (月賦で買う)	4448 こうあん (公安)
4424 けつろん (結論を出す)	4449 ごうう (豪雨にみまわれる)
4425 けぶり (そんな——はない)	4450 こうおつ (学力に甲乙がない)

4451 けいききゅう (軽気球)	4476 けん (食堂兼居間)
4452 けいこう (そういう傾向がある)	4477 げんいん (原因)
4453 けいし (けい紙に書く)	4478 げんが (原画の複製)
4454 けいしょう (ほんの軽少ですが)	4479 げんかく (幻覚におびえる)
4455 けいせい (形成する)	4480 けんきょ (謙虚な態度)
4456 けいてい (兄弟)	4481 げんけい (減刑する)
4457 げいにん (芸人)	4482 げんこう (現行の制度)
4458 けいべつ (ひとを——するな)	4483 けんさつ (しゃしょうの検札)
4459 けいゆ (軽油)	4484 げんし (原子)
4460 けいれい (敬礼)	4485 げんしゅく (厳粛な気持)
4461 げか (外科)	4486 げんじょう (現状をたもつ)
4462 げきじょう (劇場)	4487 けんずる (献ずる)
4463 げきつう (激痛)	4488 げんせつ (言説)
4464 げきりゅう (激流)	4489 げんそう (現送)
4465 けしいん (消印をおす)	4490 けんちく (建築)
4466 げじゅん (下旬)	4491 けんどう (県道)
4467 けたてる (波を——)	4492 げんば (現場)
4468 けっかく (結核)	4493 けんぶん (検分する)
4469 けっきん (欠勤)	4494 げんみつ (厳密な調査)
4470 けっして (決してそんなことはない)	4495 けんもん (権門)
4471 けっせい (チフスの血清)	4496 けんりょく (権力)
4472 けつだん (決断をもとめる)	4497 こいしたう (恋い慕う)
4473 けつぶつ (傑物)	4498 こうい (好意)
4474 けなげ (——な少年)	4499 こううん (好運)
4475 けむい (——煙)	4500 こうおん (高温)

4501 ごうおん (ごう音とともにくずれた)	4526 こうぼ (一般から公募する)
4502 こうがい (郊外)	4527 こうまん (——な人)
4503 こうかん (公刊)	4528 こうめい (公明な態度)
4504 こうき (後期)	4529 こうゆ (香油)
4505 こうきゅう (硬球)	4530 ごうよく (強欲な人)
4506 こうぎょう (鉱業)	4531 こうりょ (じゅうぶんに考慮する)
4507 ごうけい (合計)	4532 こうわ (講和する)
4508 こうご (口語と文語)	4533 コーラス
4509 こうさ (道が交差する)	4534 こがら (小がらな人)
4510 こうざん (鉱山)	4535 こくひん (国賓)
4511 こうしつ (硬質ガラス)	4536 ごくいん (極印をうつ)
4512 こうしゅう (公衆)	4537 ごくさいしき (極彩色)
4513 こうじょう (品質の向上)	4538 ごくしょ (極暑)
4514 こうしん (きろくを更新する)	4539 こくせき (国籍)
4515 こうせい (恒星と遊星)	4540 こくどう (国道)
4516 こうせん (交戦)	4541 こくほう (国宝)
4517 こうぞく (皇族)	4542 こくろん (国論)
4518 ごうだつ (強奪する)	4543 こごえる (凍える)
4519 こうちょう (好調なすべり出し)	4544 こころえる (心得る)
4520 こうでい (勝敗に——する)	4545 こころもち (心持)
4521 こうど (光度)	4546 こざかしい (——口をきく)
4522 こうない (校内)	4547 こしいた (腰板)
4523 こうのう (効能がない)	4548 ごしょ (御所)
4524 こうはん (後半)	4549 こじん (個人)
4525 こうぶ (後部)	4550 こせい (個性)

4551 こうか (硬化する)	4576 こうほう (選挙公報)
4552 こうがい (口外するな)	4577 ごうまん (——な態度)
4553 こうかん (好感をもつ)	4578 こうめい (高名な音楽家)
4554 こうき (公器)	4579 こうゆう (交遊)
4555 こうきゅう (高給)	4580 こうら (かめの——)
4556 こうきょうがく (交響楽)	4581 こうりょう (荒涼とした原野)
4557 こうけいしゃ (後継者)	4582 こうわん (港湾)
4558 こうご (交互に発着する)	4583 ゴール (——へはいる)
4559 こうさ (考査)	4584 こがらし (木枯し)
4560 こうし (格子をあける)	4585 こきまぜる
4561 こうじつ (口実をもうける)	4586 こくう (虚空をつかむ)
4562 こうしゅう (講習をうける)	4587 こくさく (国策)
4563 こうじょう (厚情)	4588 こくじょう (国情)
4564 こうしんきょく (行進曲)	4589 こくそ (告訴)
4565 こうせい (後世に残る)	4590 こくなん (国難)
4566 こうぜん (公然)	4591 こくほう (国法にそむく)
4567 こうぞく (後続の車)	4592 こけい (固形)
4568 こうだん (後段はおもしろい)	4593 ここく (故国をはなれる)
4569 こうちょうかい (公聴会)	4594 こころざし (志)
4570 こうてき (好適な品物)	4595 こころもとない (なんとなく 心もとない)
4571 こうど (硬度)	4596 こさく (小作)
4572 こうない (構内)	4597 ごじつ (後日)
4573 こうのもの (香の物)	4598 ごじょ (互助の精神)
4574 こうばん (交番)	4599 こじん (古人)
4575 こうふう (校風)	4600 こぜい (小勢)

4601 こうか (工科)	4626 こうほう (後方にある)
4602 こうがい (校外)	4627 こうみゃく (鉱脈をさがす)
4603 こうかん (好漢)	4628 ごうめいがいしゃ (合名会社)
4604 こうき (香気)	4629 こうゆう (交友が多い)
4605 ごうきゅう (号泣する)	4630 こうり (——に詰める)
4606 こうきん (公金)	4631 こうりょう (香料をくわえる)
4607 こうげき (攻撃)	4632 こえ (肥をやる)
4608 ごうご (負けないと豪語する)	4633 コールタール
4609 こうざ (高座に上がる)	4634 ごかん (五感)
4610 こうし (公使)	4635 こきょう (故郷)
4611 こうしゃ (校舎)	4636 こくうん (国運)
4612 こうしゅう (口臭がひどい)	4637 こくさん (国産)
4613 こうじょう (口上をのべる)	4638 ごくじょう (極上)
4614 こうず (構図)	4639 こくそう (国葬)
4615 こうせい (公正なさいばん)	4640 こくはく (告白)
4616 ごうぜん (——とかまえる)	4641 こくぼう (国防)
4617 ごうぞく (地方の豪族)	4642 ごげん (語原)
4618 こうだん (講談をきく)	4643 ごこく (五穀がみのる)
4619 こうちん (工賃)	4644 こころざす (志す)
4620 ごうてき (号笛)	4645 こころやすい (心安い)
4621 こうとう (高等)	4646 こざっぱり (——とした身なり)
4622 こうなん (硬軟)	4647 ゴシック
4623 こうはい (荒廃する)	4648 こしょう (湖沼)
4624 こうひ (公費)	4649 ごしん (誤診)
4625 こうふく (幸福)	4650 こせき (戸籍)

4651 こうか (効果がある)	4676 こうほう (日本一の高峰)
4652 こうがい (港外)	4677 こうみょう (前途の光明)
4653 こうかん (向寒のおりから)	4678 ごうも (——反省しない)
4654 こうぎ (講義)	4679 こうゆう (公有の土地)
4655 こうきゅうび (公休日)	4680 こうり (小売り)
4656 ごうきん (合金)	4681 こうりょく (効力がない)
4657 ごうけつ (豪傑)	4682 ごえい (護衛)
4658 こうこう (航行)	4683 こがい (戸外)
4659 こうざ (講座)	4684 ごかん (五官)
4660 こうし (講師)	4685 こきよう (小器用な人)
4661 こうしゃ (前者と後者)	4686 こくえい (国営)
4662 こうじゅつ (口述を書きとる)	4687 こくし (国土)
4663 ごうじょう (強情をはる)	4688 こくしょく (黒色)
4664 こうすい (硬水となん水)	4689 ごくそう (獄窓)
4665 ごうせい (合成する)	4690 こくひ (国費)
4666 こうそう (校葬)	4691 こくみん (国民)
4667 こうそくど (高速度)	4692 ここ (個々の問題)
4668 こうだん (講壇にあがる)	4693 ごこく (護国)
4669 こうつう (交通)	4694 こころづけ (心付をやる)
4670 こうてきしゅ (好敵手)	4695 こころやすだて (心安だて)
4671 こうとう (口頭で答える)	4696 こさめ (小雨)
4672 こうなん (後難をおそれる)	4697 こじつける
4673 こうはい (後輩をみちびく)	4698 こしょう (故障)
4674 こうび (行列の後尾)	4699 ごしん (護身)
4675 こうふく (敵に降服する)	4700 こぜに (小銭)

4701 こうか (高価な品物)	4726 こうぼう (国の興亡)
4702 こうがい (構外)	4727 こうみょう (功名をたてる)
4703 こうかん (交換する)	4728 こうもく (項目を分ける)
4704 こうぎ (抗議を申しこむ)	4729 こうゆう (校友のめいよ)
4705 こうぎょ (皇居)	4730 ごうりか (合理化)
4706 こうぐ (工具)	4731 コールテン
4707 こうけつ (高潔な人格)	4732 こえる (肥える)
4708 こうこう (孝行)	4733 ごかい (誤解する)
4709 こうさい (交際)	4734 ごき (するどい語気)
4710 こうし (厚志をうける)	4735 こぎれ (小切れ)
4711 こうしゃ (公社)	4736 こくがい (国外)
4712 こうじゅつ (くわしくは後述する)	4737 こくし (国史)
4713 こうしょうにん (公証人)	4738 こくじん (黒人)
4714 こうずい (こう水で家が流れた)	4739 こくぞく (国賊)
4715 ごうせいじゅし (合成樹脂)	4740 こくび (小首をかしげる)
4716 こうそう (あくまでも抗争する)	4741 こくもつ (穀物)
4717 こうぞくりょく (航続力)	4742 こと (古語)
4718 こうち (耕地)	4743 ごこく (後刻)
4719 こうてい (皇帝)	4744 こころない (心無いしわざ)
4720 こうてつ (鋼鉄)	4745 こころよい (快い)
4721 こうどう (行動)	4746 ごさん (誤算)
4722 こうにゅう (購入する)	4747 こしゅ (あくまでも固守する)
4723 こうばい (購買)	4748 こじょう (湖上の船)
4724 こうひょう (公表する)	4749 こす (越す)
4725 こうぶつ (好物)	4750 こぜりあい

4751 ごうか (豪華なえん会)	4776 こうぼう (攻防)
4752 ごうかい (豪快な気質)	4777 こうみょう (巧妙なたくらみ)
4753 こうかん (高官)	4778 ごうもん (拷問にかける)
4754 ごうぎ (合議してきめる)	4779 ごうゆう (剛勇な人)
4755 こうきょ (公許)	4780 ごうりき (強力)
4756 こうくう (航空)	4781 ごうれい (号令をかける)
4757 こうけん (後見をする)	4782 コークス
4758 こうこう (港口)	4783 ごかく (互角の勝負)
4759 こうさい (公債)	4784 ごき (日付を誤記する)
4760 こうし (権利を行使する)	4785 こく (いねを——)
4761 こうしゃ (降車の人がすんでから……)	4786 こくぎ (日本の国技)
4762 こうじょ (控除する)	4787 こくじ (告示)
4763 こうしょく (公職)	4788 こぐすり (粉薬)
4764 こうずる (対策を講ずる)	4789 こくたい (国体)
4765 こうせき (鉱石)	4790 ごくび (極微の世界)
4766 こうそう (高層建築)	4791 こくゆう (国有)
4767 こうた (小うたをうたう)	4792 ここう (戸口)
4768 こうち (荒地)	4793 こごし (小腰をかがめる)
4769 こうてい (高低)	4794 こころにくい (心憎い)
4770 こうてん (荒天)	4795 ここん (古今)
4771 こうどう (坑道をほる)	4796 こじ (孤児)
4772 こうにん (公認)	4797 こしゅ (鼓手)
4773 こうばい (公売する)	4798 こじょう (古城)
4774 こうひょう (好評をはくする)	4799 こすい (湖水)
4775 こうふん (興奮)	4800 こせんじょう (古戦場)

4801 こうかい (公開)	4826 ごうほう (合法)
4802 ごうがい (号外)	4827 こうみん (公民)
4803 こうがん (紅顔の美少年)	4828 こうや (荒野)
4804 ごうき (豪気な性質)	4829 こうよう (公用)
4805 こうきょう (好況)	4830 こうりつ (公立)
4806 こうくうぼかん (航空母艦)	4831 こうろ (航路)
4807 こうけん (貢献する)	4832 コース(100メートルの——)
4808 こうごう (皇后)	4833 ごがく (語学の勉強)
4809 こうさく (光が交錯する)	4834 こきおろす(さんざんに——)
4810 こうじ (公示する)	4835 ごく (——上等な品)
4811 ごうしゃ (——な生活)	4836 こくげん (刻限)
4812 こうしょう (交渉する)	4837 こくじ (国字)
4813 こうしょく (紅色)	4838 こくする (木に刻する)
4814 こうせい (厚生をはかる)	4839 こくち (告知)
4815 こうせき (功績)	4840 こくびゃく (黒白)
4816 こうそう (高僧)	4841 ごくらく (極楽)
4817 こうたい (後退)	4842 ここう (弧光)
4818 こうちく (構築)	4843 ここち (すがすがしい——)
4819 こうてい (1日の行程)	4844 こころばかり (心ばかりのお 礼)
4820 こうてん (事情の好転)	4845 ごこん (語根)
4821 こうどう (公道と私道)	4846 こじ (故事)
4822 こうにん (後任の校長)	4847 ごじゅうおん (五十音)
4823 こうばいすう (公倍数)	4848 ごしょう (後生だから)
4824 こうひょう (しあいの講評)	4849 こすい (士気を鼓吹する)
4825 こうぶんしょ (公文書)	4850 ごそう (犯人の護送)

4851 こうかい (公海)	4876 こうぼく (国民の公ぼく)
4852 こうがく (工学)	4877 こうむ (校務)
4853 こうき (光輝)	4878 こうやく (公約をはたす)
4854 こうきあつ (高気圧)	4879 こうよう (効用)
4855 こうきょう (公共)	4880 こうりゅう (交流)
4856 こうぐん (行軍)	4881 こうろん (口論)
4857 ごうけん (剛健な気風)	4882 コーチ (——をうける)
4858 こうごうしい (——気持になる)	4883 こかげ (木陰で休む)
4859 こうさく (耕作)	4884 こきざみ (小刻み)
4860 こうじ (工事)	4885 ごく (語句)
4861 こうしゃく (公爵)	4886 こくごう (国号)
4862 こうしょう (——な趣味)	4887 ごくし (獄死する)
4863 こうじる (わがままが高じる)	4888 こくせい (国勢の調査)
4864 こうせい (悪から更生する)	4889 こぐち (小口の預金)
4865 こうせつ (降雪)	4890 こくひょう (酷評をくだす)
4866 こうぞう (構造)	4891 こくりつ (国立)
4867 こうだい (後代)	4892 こごう (呼号する)
4868 こうちょう (ほおが紅潮する)	4893 こごと (小言をいう)
4869 こうてい (肯定と否定)	4894 こころぼそい (心細い)
4870 こうてん (公転と自転)	4895 ごさ (誤差)
4871 ごうどう (合同する)	4896 ごじ (誤字)
4872 こうねつひ (光熱費)	4897 こじゅうおんず (五十音図)
4873 こうはく (厚薄)	4898 こしょく (古色)
4874 こうふ (法律を公布する)	4899 ごすい (午睡をとる)
4875 こうべ (正直の——に神宿る)	4900 こぞって (——賛成する)

4901 こうかい (航海)	4926 こうほうばん (広報板)
4902 ごうかく (合格)	4927 こうむ (公務)
4903 こうき (好機をのがすな)	4928 こうやく (口約ではだめだ)
4904 こうきしん (好奇心)	4929 こうよう (紅葉)
4905 こうぎょう (工業)	4930 こうりゅう (国家の興隆)
4906 こうけい (すばらしい光景)	4931 こうろん (公論)
4907 こうげん (みなのもえで公言 する)	4932 コート (——を着る)
4908 こうかがく (考古学)	4933 こがね (——色)
4909 こうさつ (考察)	4934 こぎつける (完成に——)
4910 こうじ (後事をたのむ)	4935 ごくあく (極悪)
4911 こうしゃく (講釈をきく)	4936 こくさい (国際)
4912 こうしょう (校歌を高唱する)	4937 こくしょ (国書をさし出す)
4913 こうしん (後進にゆずる)	4938 こくせい (国政)
4914 こうせい (攻勢に出る)	4939 こくてつ (国鉄)
4915 こうせん (光線)	4940 こくぶん (国文)
4916 ごうそう (豪壮なやしき)	4941 こくりょく (国力)
4917 こうだい (広大な地域)	4942 ごこう (後光がさす)
4918 こうちょう (高潮)	4943 こころあたり (心当り)
4919 こうてい (公定)	4944 こころまち (心待ち)
4920 こうでん (香典)	4945 ごさい (後妻)
4921 こうとうぶ (後頭部)	4946 こしあげ (着物の腰あげ)
4922 こうねん (光年)	4947 こじゅうと (——との仲が いい)
4923 こうばしい	4948 ごしょく (誤植)
4924 こうふ (鉦夫)	4949 こすう (戸数)
4925 こうへい (公平な態度)	4950 こたい (固体)

4951 こうかい (後悔する)	4976 こうほしゃ (候補者)
4952 こうかつしょく (黄かつ色の葉)	4977 こうむる (損害を——)
4953 こうき (高貴なくすり)	4978 こうやくすう (公約数)
4954 こうきゅう (高級)	4979 こうよう (孝養をつくす)
4955 こうぎょう (興行)	4980 ごうりゅう (川が合流する)
4956 こうげい (工芸)	4981 こうわ (講話を聞く)
4957 こうげん (高原)	4982 コード (電燈の——)
4958 こうこつ (音楽に——となる)	4983 こがね (小金をためる)
4959 こうさん (勝つ公算が少ない)	4984 こぎって (小切手)
4960 こうしき (公式)	4985 こくいん (刻印をおす)
4961 こうしゃほう (高射砲)	4986 こくさい (国債)
4962 こうじょう (工場)	4987 こくしょ (酷暑のきせつ)
4963 こうしん (武士の後身である)	4988 こくぜい (国税)
4964 こうせい (構成)	4989 こくど (国土)
4965 こうせん (公選)	4990 こくべつ (告別のえんそう会)
4966 こうそく (校則)	4991 こくるい (穀類)
4967 こうたく (光沢)	4992 こごえじに (凍え死)
4968 こうちょう (高調と低調)	4993 こころえがお (心得顔)
4969 こうてい (校庭)	4994 こころみる (試みる)
4970 こうど (高度3000メートル)	4995 こざいく (小細工)
4971 こうとく (高德の人)	4996 こじあける
4972 こうねん (後年)	4997 こしょ (古書)
4973 こうはん (公判を開く)	4998 こじれる
4974 こうふ (工夫)	4999 こずえ (木の——)
4975 こうへん (後編)	5000 こだい (古代)

5001	ごたい (五体)	5026	さいえん (再縁)
5002	ごちょう (はげしい語調)	5027	さいきょ (再挙をはかる)
5003	こっきょう (国境)	5028	さいご (父の最期に間にあう)
5004	こつぜん (——とすがたをけす)	5029	さいじ (細字を書く)
5005	こと (古都)	5030	さいしょく (菜食主義の人)
5006	ことされる (すでにことされ ていた)	5031	さいたん (採炭量がふえる)
5007	ことなる (異なる)	5032	ざいにん (罪人)
5008	こなし (身の——)	5033	ざいほう (財宝の山)
5009	このましい (好ましい)	5034	さいりょう (最良の年)
5010	こひょう (小ひょうだが力が ある)	5035	さえぎる (光を——)
5011	こぶん (子分)	5036	さかゆめ (さか夢とまさ夢)
5012	こまく (鼓膜)	5037	さきそめる (さくらが咲きそ める)
5013	こまりはてる (困り果てる)	5038	さく (策をたてる)
5014	こもごも (——話す)	5039	さくず (作図)
5015	こやみ (雨が——になる)	5040	さくりやく (策略)
5016	こらい (古来)	5041	さざめく (笑い——)
5017	ごりょう (御陵)	5042	さしき (さし木がうまくつい た)
5018	ころげる (坂の上から——)	5043	さしでがましい (差し出がま しい口をきく)
5019	こんいん (婚姻)	5044	さしも (——の彼もついに…)
5020	こんきょ (根拠)	5045	さぞ (——うれしかったろう)
5021	こんじき (金色)	5046	ざちょう (彼を座長におす)
5022	こんぜつ (根絶する)	5047	さっき (殺気がみなぎる)
5023	ゴンドラ	5048	さつじん (殺人のつみ)
5024	こんやく (婚約がととのう)	5049	さておき (じょうだんは——)
5025	サービス (——がよい)	5050	さとり (運命を悟る)

5051	こだから (子宝)	5076	さいえん (家庭の菜園)
5052	こちんまり (——とした家)	5077	さいきん (細菌)
5053	こっきん (国禁をやぶる)	5078	さいこう (再考を要する)
5054	ごったがえす (人出で——)	5079	さいじ (細事にこだわらない)
5055	ことあたらしい (事新しい)	5080	さいしょく (才色)
5056	こどく (孤独)	5081	さいたん (最短のコース)
5057	ことに (——野球がすきだ)	5082	ざいにん (在任の期間)
5058	こなす (かるく——)	5083	さいまつ (あわただしい歳末)
5059	このみ (木の実)	5084	さいりょう (裁量)
5060	こびりつく	5085	さえずる (小鳥が——)
5061	ごぶん (誤聞)	5086	さからう (流れに逆らう)
5062	こまげた (——をはく)	5087	さきばしる (先走る)
5063	こみ (大小——の値段)	5088	さく (きれを裂く)
5064	ごもっとも (——です)	5089	さくする (策する)
5065	こゆうめいし (固有名詞)	5090	さぐる (探る)
5066	こらえる (痛いのを——)	5091	ささやか (——なおくりもの)
5067	ごりょうち (御料地)	5092	さしきず (刺し傷)
5068	ごろつく (石がごろついていて歩きにくい)	5093	さしだす (差し出す)
5069	こんか (婚家)	5094	さじん (砂じんをまいて走る)
5070	こんく (困苦)	5095	ざぞう (座像)
5071	こんじゃく (今昔)	5096	ざつ (雑なつくり)
5072	こんせん (電話の混線)	5097	さつきばれ (さつき晴れ)
5073	こんとん (混とんとしたありさま)	5098	さっする (気持を察する)
5074	コンマ	5099	さては (…し, …し, —— …までする)
5075	さい (——をふる)	5100	さなえ (さ苗をとる)

5101	こだし (小出し)	5126	さいか (大臣が西下する)
5102	こつ (骨をひろう)	5127	さいきん (最近)
5103	こづくり (小作り)	5128	さいこう (再興をはかる)
5104	こつにく (骨肉の間がら)	5129	さいしき (彩色が美しい)
5105	ことう (孤島)	5130	ざいしょく (在職15年)
5106	ことごとく (——反対する)	5131	さいだん (祭壇に向かう)
5107	ごと (家——にくぼる)	5132	さいのう (すぐれた才能)
5108	こなみじん (ガラス窓が——になる)	5133	さいみつ (細密な注意)
5109	このむ (好む)	5134	さかえる (栄える)
5110	ごぶ (五分の実力)	5135	さえる (空が——)
5111	ごへい (語弊)	5136	さかりば (盛り場)
5112	こまごま (——と話す)	5137	さきみだれる (花が咲き乱れる)
5113	こみあう (汽車が込み合う)	5138	さくいん (辞典の索引)
5114	こもり (子もり)	5139	さくせい (作成)
5115	こゆるぎ (小ゆるぎもしない)	5140	さげすむ (むやみに人を——な)
5116	こらしめる	5141	ささやく (耳もとで——)
5117	こりる (一度で懲りる)	5142	さしくる (差し繰る)
5118	ころも (衣)	5143	さしでぐち (差出口をする)
5119	こんかぎり (根限り働く)	5144	さす (河口の砂州)
5120	コンクール	5145	さそく (左側を通行する)
5121	こんじょう (紺青)	5146	さつい (殺意をいただく)
5122	こんせん (混戦)	5147	さっきゅう (——に知らせる)
5123	こんなん (困難)	5148	さっそう (——としてあるく)
5124	こんよう (混用する)	5149	さてまた (——次のものは…)
5125	さい (弁当の——)	5150	さながら (——絵にかいたよう)

5151	こだち（木立）	5176	ざいか（財貨をうしなう）
5152	こっか（国家）	5177	さいくつ（採掘）
5153	こっけん（国権）	5178	ざいこう（在校の児童）
5154	こっぱみじん	5179	さいじつ（祭日）
5155	ことう（古刀）	5180	さいしん（細心の注意）
5156	ことごとしい（事々しい話し ぶり）	5181	さいち（才知がすぐれた人）
5157	ことにする（所を異にする）	5182	さいはい（——をふる）
5158	こなれる（食物が——）	5183	さいもく（細目については…）
5159	こはぜ（たびの——）	5184	ざいりょう（材料）
5160	こふう（古風）	5185	さか（茶菓のもてなし）
5161	ごへい（御幣をかつぐ）	5186	さかん（盛ん）
5162	ごましお（ごま塩）	5187	さきゅう（砂丘）
5163	こみあげる（涙が込み上げる）	5188	さくおとこ（作男）
5164	こもる（家に——）	5189	さくせん（作戦）
5165	こよい（——はさむい）	5190	さけぶ（叫ぶ）
5166	こらす（懲らす）	5191	さし（——ではかる）
5167	こる（ラジオに凝る）	5192	さしさわり（——ができて行 けない）
5168	こわい（——飯）	5193	さしでる（差し出る）
5169	こんがらかる（糸が——）	5194	さすが（——の彼にもできな い）
5170	こんけつ（混血）	5195	さた（何の——もない）
5171	こんじょう（根性がまがって いる）	5196	さつえい（写真の撮影）
5172	こんだく（混濁）	5197	さっきょく（作曲）
5173	こんにち（今日）	5198	ざっそう（雑草）
5174	こんらん（混乱する）	5199	さと（里）
5175	さい（音楽の才）	5200	さばく（——を越えて行く）

5201	ごたぶん (御多分にもれず)	5226	さいかい (話合いを再開する)
5202	こっか (国歌)	5227	さいげい (才芸)
5203	こっけん (国憲を重んずる)	5228	ざいごう (罪業のおそろしさ)
5204	こづらにくい	5229	さいしゅう (最終)
5205	こどう (心臓の鼓動)	5230	ざいせ (在世中はいろいろ...)
5206	ことごとに (事ごとに反対する)	5231	ざいちゅう (写真在中)
5207	ことによると (——雨が降る だろう)	5232	さいばい (植物の栽培)
5208	こにもつ (小荷物)	5233	さいゆ (採油の設備)
5209	こはんとし (小半時)	5234	ざいりょく (財力)
5210	ごふく (呉服屋)	5235	さがく (差額をはらう)
5211	こべつ (個別)	5236	さかん (左官とだいく)
5212	こまた (小またに歩く)	5237	さぎょう (作業)
5213	こみいる (込み入った事情)	5238	さくがら (作柄がよい)
5214	こもん (顧問)	5239	さくちょう (昨朝)
5215	こよう (小用をたす)	5240	さける (風を避ける)
5216	ごらん (御覧になる)	5241	さしあたり (——こまること は)
5217	コルク	5242	さしさわる (差しさわる)
5218	こわいろ (声色)	5243	さしつかえる
5219	こんかん (根幹)	5244	さずかる (授かる)
5220	こんげん (根元)	5245	さだまる (定まる)
5221	ごんじょう (言上する)	5246	さっか (作家)
5222	こんだて (献立)	5247	さっきん (殺菌する)
5223	こんにゅう (混入する)	5248	さっそく (——お知らせしま す)
5224	こんりゅう (神社を——する)	5249	さとい (耳が——)
5225	さい (喜びの最たるもの)	5250	さばく (よしあじを裁く)

5251	こだま	5276	さいかい (再会を期して…)
5252	こづか (小づか)	5277	さいけん (債券)
5253	こっこ (国庫へおさめる)	5278	さいこん (再婚)
5254	こて (きれに——を当てる)	5279	さいしゅう (こん虫の採集)
5255	ごとう (語頭)	5280	さいせい (再生のゴム)
5256	ことこまか (事細かに言う)	5281	さいてい (委員会の裁定)
5257	ことのほか (——よくできた)	5282	さいはつ (病気の再発)
5258	ごにん (誤認する)	5283	さいゆう (アメリカへ再遊する)
5259	こばむ (拒む)	5284	さいれい (祭礼)
5260	こぶし (——で打つ)	5285	さかだる (酒だる)
5261	こべつ (戸別)	5286	さがん (左岸)
5262	こまづかい (小間使い)	5287	さきん (砂金)
5263	こみみ (小耳にはさむ)	5288	さくがんき (削岩機で穴をあける)
5264	こやく (子役)	5289	さくとう (昨冬)
5265	ごよう (誤用)	5290	さこく (鎖国)
5266	こり (肩の——)	5291	さしいれ (食事の差入れ)
5267	ゴルフ	5292	さしず (先生の——にしたがって…)
5268	こわき (小わきにかかえる)	5293	さしひき (差引1000円の不足)
5269	こんがん (懇願する)	5294	さずける (授ける)
5270	こんごう (混合する)	5295	さだめし (定めしうれしかったろう)
5271	こんすい (——状態)	5296	ざっか (雑貨を売る)
5272	こんだん (懇談する)	5297	ざっこく (こめ・むぎ・その他の雑穀)
5273	こんねん (今年)	5298	ざっとう (会場が——する)
5274	こんれい (婚礼)	5299	ざとう (座頭)
5275	さい (差異がない)	5300	さばける (品物がよく——)

5301	ごたまぜ	5326	さいがい (災害をうける)
5302	こっかい (国会)	5327	さいけん (塔を再建する)
5303	こっこう (国交を回復する)	5328	さいさい (再々注意する)
5304	こてい (固定する)	5329	ざいじゅう (在住)
5305	ごとう (誤答と正答)	5330	ざいせい (国家の財政)
5306	ことさら (——に悪いわけではない)	5331	さいてん (おごそかな祭典)
5307	ことぶき (寿)	5332	さいばん (裁判)
5308	このかた (10年——病気にかからない)	5333	さいよう (社員の採用)
5309	コバルトいろ (コバルト色)	5334	さいろく (原文のまま採録)
5310	こぶり (もう少し小ぶりのはありませんか)	5335	さかて (酒手をはずむ)
5311	ごほう (誤報)	5336	さき (左記のとおり)
5312	こまねく (手を——)	5337	さきんずる (先んずる)
5313	こむ (電車が——)	5338	さくじつ (昨日)
5314	ごやく (誤訳)	5339	さくどう (策動)
5315	ごようきき (御用聞き)	5340	ささえる (重い物を——)
5316	こりかたまる (塩が凝り固まる)	5341	さしえ (物語のさし絵)
5317	ごれい (語例)	5342	さしずめ (——こまることは……)
5318	こわけ (小分けにして売る)	5343	さしむかい (友だちと差し向かいで)
5319	こんき (根気)	5344	さすらう (あちこちと——)
5320	こんごうりき (金剛力)	5345	さだめる (定める)
5321	こんずる (混ずる)	5346	さつがい (殺害する)
5322	こんちょう (今朝)	5347	ざっしゅ (雑種)
5323	こんばん (今般)	5348	ざっぴ (雑費)
5324	さ (5と3との差)	5349	さとがえり (里帰り)
5325	さい (その際には……)	5350	さびれる (町が寂れる)

5351	こだわる	5376	ざいかい (財界)
5352	こづかい (——銭)	5377	さいげん (再現する)
5353	こっこく (刻々)	5378	さいさん (採算がとれない)
5354	こてしらべ (小手調べ)	5379	ざいしょ (在所)
5355	こどうぐ (小道具)	5380	さいぜん (最善をつくす)
5356	ことづける (言づける)	5381	さいてん (採点がからい)
5357	ことほぐ (長寿を——)	5382	さいひつ (才筆をふるう)
5358	このたび	5383	さいらい (再来)
5359	こはん (湖畔)	5384	サイン (——してください)
5360	こぶり (小降り)	5385	さかて (刀をさか手に持つ)
5361	こぼんのう (あの人は——だ)	5386	さぎ (詐欺をはたらく)
5362	こまむすび (小間結び)	5387	さく (これはだれの作ですか)
5363	こめどころ (米所)	5388	さくしゃ (作者)
5364	こやし (肥やし)	5389	さくひん (作品)
5365	ごようはじめ (御用始め)	5390	ささくれる
5366	こりこう (小りこうな男)	5391	さしおく (差し置く)
5367	ごろ (——のよいことば)	5392	さしせまる (差し迫る)
5368	こわばる	5393	さしむき (——の用事)
5369	こんき (婚期)	5394	さする (手の甲を——)
5370	ごんごどうだん (言語道断)	5395	さたん (左端と右端)
5371	こんせい (混声)	5396	さっかく (錯覚をおこす)
5372	こんてい (根底からくつがえる)	5397	さっしょう (殺傷する)
5373	こんぼう (手にもった——)	5398	さっふうけい (殺風景)
5374	さ (左のとおり……)	5399	さとかた (里方)
5375	ざい (在に帰る)	5400	さべつ (差別をつける)

5401 こちゃく (固着する)	5426 ざいがく (在学)
5402 こっかく (骨格)	5427 ざいげん (財源がない)
5403 こつずい (骨髄)	5428 ざいさん (財産をつくる)
5404 こてん (古典)	5429 さいじょう (最上)
5405 ことかく (事欠く)	5430 さいだいこうやくすう (最大公約数)
5406 ことづて (言づてを聞く)	5431 さいど (再度の会合)
5407 ことよせる (……に——)	5432 さいぶん (細分する)
5408 このぶん(——では…だろう)	5433 ざいらい (在来の説)
5409 ごばん (碁盤)	5434 ざいん (座員)
5410 こふん (古墳)	5435 さかのぼる (川を——)
5411 こま (——にまたがる)	5436 さきおととい(——の日曜日)
5412 こまもの (小間物)	5437 さく (木の——にもたれる)
5413 こめる (弾丸を込める)	5438 さくしゅう (昨秋)
5414 こやす (肥やす)	5439 さくふう (作風)
5415 こよみ (暦)	5440 ささげる
5416 こりごり (——する)	5441 さしおさえ (差押え)
5417 ころあい(——を見はからう)	5442 さしだしにん (差出人)
5418 こん (紺のズボン)	5443 さしむける (使いを差し向ける)
5419 こんき (今期の予算)	5444 ざせき (座席)
5420 コンサート	5445 ざだんかい (座談会)
5421 こんせき (痕跡がない)	5446 さっかしょう (擦過傷をうける)
5422 こんとう (あつさのためこん倒する)	5447 ざっしょく (雑食の動物)
5423 こんぽん (根本)	5448 ざつよう (雑用)
5424 ざ (座をはずす)	5449 さとご (里子)
5425 ざい (財をたくわえる)	5450 さほう (左方へまがる)

5451 こちょう (誇張する)	5476 さいき (再起)
5452 ごっかん (極寒の地)	5477 さいけんとう (再検討)
5453 こっせつ (骨折)	5478 さいし (妻子を連れて行く)
5454 ごでん (誤伝)	5479 ざいじょう (罪状をしらべる)
5455 ことがら (その事がらについて ては……)	5480 ざいたく (在宅)
5456 ことたりる (事足りる)	5481 さいなん (災難にあう)
5457 ことわざ	5482 さいぼう (細胞)
5458 このほど (——発行された本)	5483 ざいりゅう (在留の日本人)
5459 ごび (語尾)	5484 さえ (腕の——を見せる)
5460 こぶん (古文)	5485 さかもり (酒盛り)
5461 こまいぬ (こま犬)	5486 さきおとし
5462 こまやか (——な愛情)	5487 さく (昨十五日)
5463 こも (荷物を——でくるむ)	5488 さくじょ (削除する)
5464 こゆう (固有)	5489 さくらん (精神の錯乱)
5465 こより (——でとじる)	5490 さざなみ (さざ波)
5466 こりつ (孤立)	5491 さしかかる (橋に——)
5467 ころおい (ちょうどその——)	5492 さして (——急ぐことはない)
5468 こんい (懇意)	5493 さしもの (旗さし物)
5469 こんきゅう (生活の困窮)	5494 させん (左遷される)
5470 こんざつ (混雑する)	5495 さち (海の——, 山の——)
5471 こんせき (今夕)	5496 さつき (——の空)
5472 こんどう (混同する)	5497 さっしん (校ふうの刷新)
5473 こんみょうにち (今明日)	5498 さてい (査定する)
5474 サージ (——の洋服)	5499 さとす (こんこんと——)
5475 ざいあく (罪悪)	5500 さほう (作法どおりにする)

5501 さほど (——いそがない)	5526 じくん (字訓と字音)
5502 さゆ (くすりを——で飲む)	5527 じけつ (自決する)
5503 さらし (——のはだぎ)	5528 しけんかん (試験官の注意を きく)
5504 さる (日本を去る)	5529 じこう (時効にかかる)
5505 さんか (ひどい惨禍)	5530 じさ (時差)
5506 さんかん (山間の村)	5531 じさつ (自殺)
5507 ざんこく (残酷なおこない)	5532 じじ (時事問題)
5508 さんしゅつ (産出)	5533 ししゃ (試射)
5509 さんせき (しごとが山積する)	5534 ししょ (死所)
5510 さんてい (算定する)	5535 しじょう (史上最大の事件)
5511 さんぷ (散布)	5536 じじょでん (自叙伝)
5512 さんもん (山門)	5537 じしん (自信がある)
5513 し (師の恩)	5538 しせい (私製と官製)
5514 しあん (思案にくれる)	5539 じせつ (自説を言いはる)
5515 しいる (むりに——)	5540 しそう (思想)
5516 じうん (時運におくれる)	5541 したい (死体)
5517 しおおせる (うまく——)	5542 したう (親を慕う)
5518 しかい (四海)	5543 しだし (仕出し)
5519 しかく (視覚とちょう覚)	5544 したて (仕立)
5520 しかつめらしい (——顔つき)	5545 したわしい (慕わしい)
5521 じかん (大臣と次官)	5546 しちよう (七曜)
5522 じき (もう——来る)	5547 じっか (実科)
5523 しきたり (むかしの——)	5548 じつぎょう (実業)
5524 しきゅうしき (始球式)	5549 じっけん (実権をにぎる)
5525 しきん (資金がたりない)	5550 じっし (実子)

5551	さま（見た——を話す）	5576	しけ（——になりそうだ）
5552	ざゆう（座右めい）	5577	しける（海が——）
5553	さらす（布を——）	5578	しご（私語）
5554	さるぐつわ（——をはめる）	5579	じごえ（地声）
5555	さんが（ふるさとの山河）	5580	しさい（ことの——を語る）
5556	さんきゃく（三脚をたてる）	5581	しさん（資産）
5557	さんざい（散在する）	5582	ししつ（私室）
5558	さんしゅつ（算出する）	5583	ししゃ（映画の試写）
5559	ざんせつ（残雪）	5584	しじょ（子女）
5560	サンドイッチ	5585	しじょう（紙上で発表する）
5561	ざんぶ（残部）	5586	ししょばこ（私書箱）
5562	さんや（山野）	5587	しずい（齒髓をぬく）
5563	し（氏）	5588	じせい（自制する）
5564	しあん（試案と成案）	5589	しせき（史籍をひもとく）
5565	しいれる（品物を仕入れる）	5590	しそう（死相があらわれる）
5566	しうんてん（試運転）	5591	しだい（式の次第）
5567	しおき（仕置）	5592	したうち（舌打ち）
5568	しかい（会を司会する）	5593	したしい（親しい）
5569	しかく（刺客につけねらわれる）	5594	したづみ（下積み）
5570	しがない（——暮し）	5595	じだんだ（——をふむ）
5571	しき（四季のながめ）	5596	しつ（質がよい）
5572	しきいし（敷石）	5597	しつがい（室外）
5573	しきち（校舎の敷地）	5598	じっくり（——研究する）
5574	しきょ（死去）	5599	じつげん（実現）
5575	しぎん（詩吟）	5600	じっしつ（実質）

5601	さまざま (——な事がら)	5626	しけい (紙型をとる)
5602	さよう (作用)	5627	しける (はこの中が——)
5603	さらす (太陽の光に——)	5628	しご (死語)
5604	さるちえ (さる知恵)	5629	しごく (——もっともなことだ)
5605	さんかい (散会は5時)	5630	しさい (司祭)
5606	ざんぎゃく (残虐なおこない)	5631	しさん (四散する)
5607	ざんさつ (ざん殺される)	5632	ししつ (紙質)
5608	ざんしょ (残暑みまい)	5633	じしゃ (侍者)
5609	さんそう (山荘)	5634	じしょ (名まえの自署)
5610	ざんにん (残忍なおこない)	5635	しじょう (誌上で発表します)
5611	さんぶく (山腹)	5636	ししん (指針)
5612	さんよ (参与)	5637	じすい (下宿で自炊する)
5613	し (生と死)	5638	じせい (自製の筆ばこ)
5614	じい (侍医)	5639	しせき (史跡をたずねる)
5615	じいろ (地色)	5640	しそく (子息)
5616	しえい (市営の電車)	5641	しだい (見つけ——知らせる)
5617	しおくり (親からの仕送り)	5642	したえ (下絵をかく)
5618	しかい (市会の決議)	5643	したしむ (親しむ)
5619	しがく (私学の経営)	5644	したて (下手に出る)
5620	じか (——に手渡す)	5645	しち (死地におちいる)
5621	しき (死期)	5646	しつ (となりの室)
5622	しきがわ (敷皮)	5647	しっかく (失格)
5623	しきつめる (石を敷き詰める)	5648	しっけ (湿気がひどい)
5624	じきょ (辞去する)	5649	しつこい (——病気)
5625	しく (詩句のあんき)	5650	じっしゃ (実写)

5651	さまたげる (妨げる)	5676	しけい (死刑)
5652	さよう (——なことはありません)	5677	しげる (茂る)
5653	サラダ	5678	じこ (事故)
5654	サロン (船の——)	5679	しごく (手で——)
5655	さんかい (山海のちんみ)	5680	しざい (資材をしいれる)
5656	さんぎょう (産業)	5681	じさん (持参する)
5657	さんざん (散々な目にあう)	5682	じしつ (自室)
5658	さんしょう (参照する)	5683	じじゃく (自若としている)
5659	ざんそん (残存)	5684	じしょ (地所をもっている)
5660	さんばい (参拝)	5685	しじょう (市場)
5661	さんぶつ (産物)	5686	ししん (私心)
5662	ざんよ (残余)	5687	しすう (指数)
5663	じ (送別の辞)	5688	じせい (時世がよい)
5664	じい (辞意をもらす)	5689	しせつ (施設)
5665	しいん (死因がわからない)	5690	しぞく (氏族)
5666	じえい (自衛のための……)	5691	じたい (それ自体)
5667	しおらしい (——ことを言う)	5692	したかう (従う)
5668	しがい (こん虫の死がい)	5693	したしらべ (下調べ)
5669	じかく (自覚がたりない)	5694	したてる (洋服を仕立てる)
5670	じがね (地金)	5695	じち (自治)
5671	しき (指揮する)	5696	しつい (失意のうちに……)
5672	しきぎん (敷金は三か月)	5697	じっかん (実感)
5673	しきべつ (よしあしの識別)	5698	じっけい (実兄)
5674	しぎょう (始業は9時)	5699	しっこう (刑の執行)
5675	じく (字句をなおす)	5700	じっしゃかい (実社会)

5701	さまよう (野原を——)	5726	じけいだん (自警団)
5702	さよく (左翼と右翼)	5727	しけん (私見)
5703	さらに (更に言う)	5728	じこ (自己)
5704	さわ (沢の水)	5729	じこく (時刻)
5705	さんがい (ひどい惨害)	5730	しざい (私財)
5706	ざんぎょう (残業をする)	5731	じさん (自賛する)
5707	さんさんごご (三々五々)	5732	じしつ (自失)
5708	さんすい (山水のながめ)	5733	ししゅ (詩趣)
5709	ざんだか (残高)	5734	じしょ (辞書)
5710	さんばし (港のさん橋)	5735	しじょう (私情としては…)
5711	さんぶん (散文と詩)	5736	ししん (使臣をつかわす)
5712	さんらん (散乱)	5737	しすう (紙数をかぞえる)
5713	しあい (試合)	5738	じせい (自省する)
5714	じい (次位)	5739	しせつ (私設の無線局)
5715	しいん (子音と母音)	5740	じそく (時速100km)
5716	じえい (自立自営)	5741	じたい (事態がかわる)
5717	じおん (字音と字くん)	5742	したがえる (従える)
5718	しがい (市街を走る電車)	5743	しだす (仕出す)
5719	しかざん (死火山)	5744	したなめずり (舌なめずり)
5720	しかばね	5745	しちゅう (支柱)
5721	じき (時機を見て……する)	5746	じついん (実印をおす)
5722	しきけん (識見のすぐれた人)	5747	しっき (漆器)
5723	しきもう (色盲の人)	5748	しっけい (——なことをいう)
5724	じぎょう (盛んな事業)	5749	じっこう (実行)
5725	じくぎ (マッチの軸木)	5750	じっしゅう (実習)

5751	さみだれ (——がふる)	5776	しげき (刺激)
5752	ざら (——にない品物)	5777	しげん (資源)
5753	さらに (——思い出せない)	5778	じご (事後)
5754	さわかい (茶話会)	5779	じこく (自国)
5755	ざんがい (飛行機の残がい)	5780	じざい (自在)
5756	ざんきん (残金がない)	5781	しし (志士)
5757	さんし (蚕糸)	5782	じじつ (時日)
5758	さんすい (散水する)	5783	ししゅ (あくまでも死守する)
5759	さんたん (賛嘆する)	5784	じじょ (次女)
5760	さんぱつ (散髪する)	5785	じしょう (自称)
5761	さんぼう (参謀)	5786	ししん (私信)
5762	さんらん (産卵)	5787	しずけさ (静けさ)
5763	じあい (慈愛の心)	5788	じせい (山野に自生する)
5764	しいか (詩歌のたくみな人)	5789	しせつ (使節をつかわす)
5765	シーン (みごとな——)	5790	じぞく (長く持続する)
5766	しえき (私益をはかる)	5791	じたい (辞退する)
5767	しか (市価より安い)	5792	したがつて (——こうなる)
5768	しがい (市内と市外)	5793	したずり (下刷)
5769	しかじか (——のこと)	5794	したまわる (下回る)
5770	しかも (…であり, —— …だ)	5795	しちょう (市庁)
5771	じき (時期が早い)	5796	しつう (歯痛になやむ)
5772	しきさい (色彩がうつくしい)	5797	しっき (湿気のある土地)
5773	しきゅう (至急に來てほしい)	5798	しつける (ぎょうぎを——)
5774	しきょく (新聞社の支局)	5799	じっさい (実際)
5775	しくはっく (四苦八苦する)	5800	じっしょう (実証)

5801 さむぞら (この寒空に……)	5826 しげき (史劇)
5802 さらいげつ (さらい月)	5827 しげん (至言)
5803 さりげない (——ようす)	5828 しこう (思考)
5804 さわやか (——な気分)	5829 しごせん (子午線)
5805 さんがく (産額)	5830 しさく (思索にふける)
5806 ざんげ (つみを——する)	5831 しし (——として働く)
5807 さんじ (惨事がおこる)	5832 じじつ (事実)
5808 さんする (鉄を産する)	5833 じしゅ (自首して出る)
5809 さんたん (——たるありさま)	5834 じじょ (侍女)
5810 ざんぱん (残飯)	5835 じじょう (事情)
5811 さんまい (産米)	5836 しじん (私人と公人)
5812 ざんりゅう (残留)	5837 しずまりかえる (静まり返る)
5813 じあい (自愛をいのる)	5838 じせい (辞世をのこす)
5814 しいき (市域をひろげる)	5839 しせん (死線を越える)
5815 じいん (寺院に参拝する)	5840 しそん (子孫)
5816 しえき (使役する)	5841 じたい (字体)
5817 しか (歯科の医者)	5842 じたく (自宅)
5818 じかい (次回の番組)	5843 したたか (——頭を打った)
5819 じがぞう (自画像をかく)	5844 したみ (下見をしておく)
5820 じかよう (自家用)	5845 しちょう (レコードの試聴)
5821 じき (次期)	5846 じつえき (実益がない)
5822 しきし (色紙)	5847 しつぎ (質疑)
5823 しきゅう (品物で支給する)	5848 じつげつ (日月)
5824 じきょく (重大な時局)	5849 じつざい (実在)
5825 じくぱり (字配り)	5850 じつじょう (実状)

5851 さも (——くやしそうだ)	5876 しげく (足——通う)
5852 さらいねん (さらい年)	5877 じけん (事件)
5853 さりとて (——そもいかな い)	5878 しこう (施行)
5854 さん (算を乱す)	5879 しこなす (たくみに——)
5855 さんがく (残額)	5880 じさく (自作)
5856 さんげき (惨劇がおこった)	5881 しじ (指示する)
5857 さんじ (贅辭をおくる)	5882 ししゃ (使者)
5858 さんする (やく30万を算する)	5883 ししゅう (もようを——する)
5859 さんだん (何とか算段する)	5884 ししょう (支障がおこる)
5860 さんび (贅美する)	5885 じじょう (2の自乗)
5861 さんみ (酸味)	5886 しじん (詩人)
5862 さんりん (山林)	5887 しする (参考に資する)
5863 しあがる (仕上がる)	5888 じせき (自責の念)
5864 しいく (動物の飼育)	5889 しせん (視線があう)
5865 じう (ひさしぶりの慈雨)	5890 しそんじる
5866 しえん (公演前の試演)	5891 じだい (地代をはらう)
5867 じか (時価10万円)	5892 したげいこ (下げいこ)
5868 じがい (自害する)	5893 したためる (手紙を——)
5869 じかたび (——をはく)	5894 したよみ (下読み)
5870 しかん (仕官する)	5895 じちょう (自重する)
5871 じき (磁気をおびる)	5896 じつえん (実演)
5872 じきじき (直々の話)	5897 しっきゃく (失脚)
5873 しきゅう (死球)	5898 しっけん (執権)
5874 じきょく (じしゃくの磁極)	5899 しっさく (失策)
5875 しくみ (機械の仕組)	5900 しっしょく (失職)

5901	さもしい (——考え)	5926	しげしげ (——と見る)
5902	さらえる (川底を——)	5927	じげん (時限)
5903	さりながら (——そうもい かない)	5928	じこう (よい時候となる)
5904	さん (酸)	5929	しこむ (仕込む)
5905	さんかくす (河口の三角州)	5930	しさつ (視察)
5906	さんげん (三弦のみち)	5931	しじ (その説を支持する)
5907	ざんじ (暫時まってください)	5932	ししゃ (死者)
5908	さんずる (散ずる)	5933	じじゅう (侍従)
5909	さんち (産地)	5934	ししょう (死傷)
5910	さんびか (賛美歌)	5935	ししょく (試食)
5911	さんみゃく (山脈)	5936	じしん (自身)
5912	さんれつ (参列)	5937	じする (職を辞する)
5913	しあげる (仕上げる)	5938	じせき (次席の検事)
5914	シーズン (野球の——)	5939	じせん (自選の歌集)
5915	じうた (ひなびた地歌)	5940	じそんしん (自尊心)
5916	しえん (支援を受ける)	5941	じだい (新しい時代)
5917	じが (自我)	5942	したごころ (下心)
5918	しがいせん (紫外線)	5943	したたらず (舌足らず)
5919	じがため (地固めをする)	5944	じだらく (——な生活)
5920	しかん (士官と下士官)	5945	じちょう (次長)
5921	じき (磁器ととう器)	5946	しっか (失火)
5922	しきしゃ (識者の意見をきく)	5947	しつぎょう (失業)
5923	しきゅう (四球で一るいへ)	5948	しつげん (失言)
5924	しきり (仕切をする)	5949	しつじ (執事)
5925	しくむ (うまく仕組む)	5950	じっしんほう (十進法)

5951	さやか (月が——にてる)	5976	しけつ (止血)
5952	さらさら (——そんなことはない)	5977	しけんかん (試験管をわる)
5953	さる (去る十五日)	5978	じこう (事項)
5954	さんか (参加する)	5979	しさ (示唆にとむ)
5955	さんかん (授業の参観)	5980	しさつ (刺殺)
5956	さんこう (参考にする)	5981	しじ (死児)
5957	さんしゅう (参集する)	5982	ししゃ (支社と本社)
5958	さんせいけん (参政権)	5983	ししゅつ (支出)
5959	さんちょう (山頂)	5984	ししょう (師匠)
5960	ざんぴん (残品)	5985	じしょく (辞職)
5961	さんめんきょう (三面鏡)	5986	じしん (磁針)
5962	し (市の中心)	5987	じする (権威を持する)
5963	しあさって (——の晩)	5988	じせつ (時節が来る)
5964	しいたげる	5989	じぜん (慈善をほどこす)
5965	しうち (ひどい仕打ち)	5990	じた (自他ともに……)
5966	しお (潮がさしてくる)	5991	しだいに (——夜が明ける)
5967	しかい (視界がひらける)	5992	したじ (下地)
5968	しかく (資格)	5993	したたる (水が——)
5969	じかつ (自活する)	5994	しだれる (やなぎの木が——)
5970	しがん (志願)	5995	しちょうそん (市町村)
5971	じき (自記寒暖計)	5996	じっか (実家)
5972	しきそ (色素)	5997	じっきょう (実況の放送)
5973	じきゅう (食料の自給)	5998	じっけん (実験)
5974	しきり (——に呼ぶ)	5999	じっし (実施)
5975	しぐれ (——がふる)	6000	じっすう (実数)

6001	しっする (失する)	6026	しゅう (州)
6002	しっち (失地の回復)	6027	じゅうか (銃火)
6003	じっぴ (実費をはらう)	6028	しゅうぎ (祝儀)
6004	しつむ (執務の時間)	6029	じゅうぐん (従軍)
6005	してき (指摘する)	6030	じゅうこう (銃口をむける)
6006	しどう (指導する)	6031	しゅうじつ (終日よい天気 だった)
6007	しなかず (品数がない)	6032	じゅうしょう (重傷をおう)
6008	しにばな (死に花をさかせる)	6033	じゅうしん (重心)
6009	しのばせる	6034	じゅうそう (アルプスの縦走)
6010	しはらい (支払)	6035	しゅうちゃく (執着)
6011	じひょう (時評)	6036	じゅうにし (十二支)
6012	しぶつ (死物)	6037	しゅうはつ (終発のバス)
6013	じべん (費用は自弁です)	6038	しゅうまつ (週末)
6014	しぼり (絞りのおび)	6039	じゅうめん (洗面をつくる)
6015	しみ (洋服に——がつく)	6040	しゅうりょう (しごとが終了 した)
6016	しめい (指名する)	6041	しゅかん (主観)
6017	しめやかに (——話す)	6042	じゅくこう (熟考をかさねる)
6018	しもたや (しもた屋)	6043	しゅくじょ (淑女)
6019	しゃい (謝意をあらわす)	6044	しゅくば (宿場)
6020	しゃくい (爵位)	6045	しゅけん (主権)
6021	じゃけん (——な人)	6046	じゅしゃ (儒者)
6022	じゃしん (邪心)	6047	じゅしょう (授賞)
6023	しゃちゅう (車中の話)	6048	しゅたい (主体)
6024	しゃひ (舎費)	6049	しゅつがん (出願)
6025	しゃれ (——をいう)	6050	しゅっさつ (出札)

6051	じっせい (実勢)	6076	しゅう (衆)
6052	しっち (湿地)	6077	しゅうかい (集会)
6053	じっぴ (実否をたしかめる)	6078	しゅうぎいん (衆議院)
6054	じつむ (実務にたずさわる)	6079	しゅうげき (襲撃)
6055	してつ (私鉄)	6080	じゅうこうぎょう (重工業)
6056	じどう (児童)	6081	しゅうじつ (週日)
6057	しなぎれ (品切れ)	6082	じゅうしょう (重症の病人)
6058	しにみず (死に水をとる)	6083	じゅうしん (重臣)
6059	しのぶ (物かげに——)	6084	じゅうぞく (従属する)
6060	しばる (縛る)	6085	しゅうちゅう (集中)
6061	じひょう (辞表を出す)	6086	しゅうにゅう (収入)
6062	じぶつ (事物)	6087	しゅうばん (週番)
6063	しへんけい (四辺形)	6088	じゅうまん (充滿する)
6064	しほん (資本)	6089	しゅうや (終夜)
6065	じみ (——な着物)	6090	じゅうりょう (重量)
6066	しめい (氏名を書く)	6091	しゅがん (主眼)
6067	しめる (たたみが湿る)	6092	しゅくさいじつ (祝祭日)
6068	しもて (川の下手)	6093	しゅくしょう (縮小する)
6069	しゃいん (社員)	6094	しゅくはい (祝杯をあげる)
6070	しゃくざい (借財)	6095	じゅけん (受験)
6071	しゃこ (車庫)	6096	しゅしゃ (適当に取捨する)
6072	じゃすい (邪推する)	6097	しゅしょく (主食)
6073	しゃちょう (社長)	6098	しゅだい (主題)
6074	しゃふつ (煮沸する)	6099	しゅっきん (出勤)
6075	しゃれい (謝礼をはらう)	6100	しゅっさん (出産)

6101	じっせき (実績)	6126	じゅう (銃を向ける)
6102	じっち (実地にやってみる)	6127	しゅうかく (収穫)
6103	しっぴつ (執筆)	6128	しゅうきゅう (しゅう球のしあい)
6104	しつめい (失明)	6129	しゅうけつ (集結)
6105	じてつ (磁鉄)	6130	しゅうさい (秀才)
6106	じどう (自動的に動く)	6131	じゅうじつ (充実した生活)
6107	しなさだめ (品定め)	6132	しゅうしょく (修飾することば)
6108	しにめ (死に目にあえた)	6133	しゅうせい (習性)
6109	しのぶ (ふるさとを——)	6134	しゅうたい (醜態をさらす)
6110	しはん (師範)	6135	しゅうちょう (士人のしゅう長)
6111	じびょう (持病がある)	6136	しゅうにん (就任する)
6112	しぶとい (——やつだ)	6137	じゅうはん (重版)
6113	しば (思慕の情)	6138	じゅんゆう (巡遊)
6114	しま (——の着物)	6139	じゅうやく (重役)
6115	じみ (滋味)	6140	じゅうりょく (重力)
6116	しめくくる (締めくくる)	6141	しゅき (手記)
6117	しめる ($\frac{1}{3}$ を占める)	6142	しゅくさつばん (縮刷版)
6118	じもと (地元)	6143	しゅくず (縮図)
6119	しゃおん (謝恩)	6144	しゅくはく (宿泊)
6120	しやくしょ (市役所)	6145	しゅご (主語)
6121	しゃこう (社交がじょうずだ)	6146	しゅじゅ (種々の品)
6122	しゃする (謝する)	6147	しゅじん (主人)
6123	しゃっか (借家)	6148	じゅたく (受託)
6124	シャベル	6149	しゅっきん (出金)
6125	シャンデリア	6150	しゅっし (出資)

6151	じっせつ (実説)	6176	じゆう (自由)
6152	じっちょく (実直な人)	6177	しゅうがく (就学)
6153	しっぷ (湿布)	6178	じゅうきょ (住居)
6154	しつよう (——にくいさがる)	6179	しゅうけつ (終結)
6155	してん (支店)	6180	じゅうざい (重罪)
6156	しとげる	6181	じゅうしゃ (従者)
6157	しなやか (——にまがる)	6182	しゅうしょく (やっとな就職した)
6158	しにものぐるい (死に物狂い)	6183	しゅうせい (集成)
6159	しばふ (にわの芝ふ)	6184	じゅうたい (重態におちいる)
6160	じばん (地盤)	6185	しゅうてん (バスの終点)
6161	しぶ (支部)	6186	じゅうにん (住人)
6162	しぶり (しごとの——)	6187	じゅうびょう (重病)
6163	じぼ (慈母)	6188	じゅんゆうしょうせん (準優勝戦)
6164	しまい (姉妹)	6189	しゅうゆう (周遊)
6165	しみじみ (——思う)	6190	しゅうれい (秋冷のきせつ)
6166	しめし (——がつかない)	6191	しゅき (酒気をおびる)
6167	しめん (紙面でお答えします)	6192	しゅくじ (祝辞を読む)
6168	しもはんき (下半期)	6193	じゅくすい (熟睡する)
6169	しゃがい (社外)	6194	しゅくふく (祝福をうける)
6170	じゃぐち (水道のじゃ口)	6195	しゅご (守護する)
6171	しゃざい (謝罪)	6196	じゅじゅ (授受)
6172	しゃせつ (社説)	6197	じゅしん (受信)
6173	じゃっかん (若干)	6198	じゅだく (受諾)
6174	しゃめい (社名)	6199	しゅっけ (出家)
6175	シャワー (——をあびる)	6200	しゅっしょう (出生)

6201	じっせん (実践する)	6226	しゅうあく (醜悪)
6202	しつてき (質的にすぐれた チーム)	6227	しゅうかん (交通安全週間)
6203	じっぷ (実父)	6228	しゅうきょう (宗教)
6204	じつよう (実用になる)	6229	じゅうけつ (充血)
6205	してん (支点)	6230	じゅうさつ (銃殺)
6206	しとめる (いのししを——)	6231	しゅうしゅう (切手の収集)
6207	じならし (地ならし)	6232	じゅうしょく (寺の住職)
6208	じにん (辞任する)	6233	しゅうせい (修正する)
6209	しはい (支配する)	6234	じゅうたい (しごとが渋滞す る)
6210	しひ (私費の旅)	6235	じゅうてん (重点)
6211	しぶ (市部と郡部)	6236	じゅうにん (重任をはたす)
6212	しぶる (渋る)	6237	じゅうぶん (——にいただく)
6213	しほう (司法)	6238	じゅんらん (巡覧)
6214	しまう (ひきだしへ——)	6239	しゅうよう (収容)
6215	しみったれ (——な男)	6240	しゅうれい (秀麗な富士山)
6216	しめしあわせる (示し合わせ る)	6241	しゅぎ (主義)
6217	しも (霜がおりる)	6242	じゅくし (相手を熟視する)
6218	しもぶくれ (——の顔)	6243	しゅくする (祝する)
6219	しゃがれごえ (しゃがれ声)	6244	しゅくへい (宿弊をうちやぶ る)
6220	しゃくど (尺度)	6245	しゅこう (趣向をこらす)
6221	しゃさつ (射殺)	6246	しゅじゅう (主従そろって)
6222	しゃぜつ (謝絶する)	6247	じゅず (——を手にかけて おがむ)
6223	しゃっきん (借金)	6248	しゅだん (手段)
6224	しゃめん (斜面)	6249	しゅっけつ (出血)
6225	しゅ (主)	6250	しゅつじょう (出場)

6251	しっそ (質素)	6276	じゅうあつ (重圧)
6252	しっと (——の心)	6277	しゅうかん (週刊の雑誌)
6253	しっふう (疾風)	6278	しゅうぎょう (修業)
6254	じつりょく (実力)	6279	しゅうげん (祝言)
6255	しでん (市電にのる)	6280	しゅうし (収支がつぐなう)
6256	しとやか (——に歩く)	6281	じゅうじゅう (重々おわび申 し上げます)
6257	じなり (地鳴り)	6282	しゅうしん (執心)
6258	じにん (天才だと自任する)	6283	じゅうせい (銃声)
6259	じはく (自白する)	6284	じゅうたい (縦隊)
6260	じひ (慈悲の心)	6285	じゅうでん (充電)
6261	じふ (自負)	6286	じゅうにんなみ (十人並み)
6262	じぶん (時分)	6287	しゅうへき (習癖)
6263	しばう (志望の学校)	6288	じゅんれい (巡礼)
6264	じまく (字幕)	6289	しゅうよう (修養をつむ)
6265	しみでる (紙の上に——)	6290	しゅうれん (修練をつむ)
6266	しめす (示す)	6291	じゅきょう (儒教)
6267	しも (下のほうから……)	6292	しゅくじつ (祝日)
6268	しもべ (——として働く)	6293	じゅくたつ (熟達する)
6269	しゃかん (舎監)	6294	しゅくぼう (宿望をとげる)
6270	しゃくねつ (しゃく熱の太陽)	6295	しゅこう (手工)
6271	しゃし (斜視)	6296	しゅじゅつ (手術)
6272	しゃせん (斜線をひく)	6297	しゅせい (守勢)
6273	シャッター	6298	しゅちゅう (手中)
6274	しゃもじ (——で飯をよそう)	6299	しゅつげん (出現)
6275	しゅい (首位をしめる)	6300	しゅっしょく (出色のでき ばえ)

6301	じっそく (実測)	6326	しゅうい (周囲)
6302	しつど (湿度が高い)	6327	しゅうかん (習慣)
6303	じつぶつ (実物)	6328	しゅうぎょう (就業)
6304	しつれい (失礼)	6329	じゅうけん (銃剣)
6305	じてん (自転と公転)	6330	しゅうし (終始だまっていた)
6306	しどろもどろ (——な返事)	6331	しゅうしゅく (収縮)
6307	しなん (しょうぎの指南)	6332	しゅうしん (終身会員)
6308	じにん (あやまちを自認する)	6333	じゅうぜい (重税を課する)
6309	しばし (——のわかれ)	6334	じゅうだい (重大な事がら)
6310	じひ (自費の旅)	6335	しゅうと (よめと ——)
6311	じふ (慈父のようにやさしい)	6336	しゅうねんぶかい (執念深い)
6312	しへい (紙幣と貨幣)	6337	しゅうへん (周辺)
6313	しばう (死亡する)	6338	じゅんろ (順路)
6314	しまぐに (島国)	6339	じゅうよう (重要な問題)
6315	しみん (市民)	6340	しゅえい (守衛)
6316	しめす (湿す)	6341	しゅく (宿)
6317	しもがれる (霜枯れる)	6342	しゅくしゃ (宿舎)
6318	しもん (指紋)	6343	じゅくち (熟知の人)
6319	じゃきょう (邪教)	6344	しゅくめい (宿命とあきらめる)
6320	しゃくほう (釈放する)	6345	しゅざい (記事の取材)
6321	しゃじ (謝辞をのべる)	6346	しゅしょう (首相)
6322	しゃそう (車窓のながめ)	6347	しゅせい (酒精)
6323	しゃでん (社殿)	6348	しゅちょう (主張)
6324	しゃよう (社用)	6349	しゅっこ (出庫)
6325	しゅいん (主因)	6350	しゅっしん (〇〇県出身)

6351	しったい (失態)	6376	じゅうい (獣医)
6352	しっとり (——ぬれる)	6377	しゅうき (週期)
6353	じつぼ (実母)	6378	じゅうぎょういん (従業員)
6354	じつれい (実例をあげる)	6379	しゅうこう (就航)
6355	じてん (次点)	6380	じゅうし (重視する)
6356	しな (品)	6381	じゅうじゅん (従順な態度)
6357	しなん (至難のわざ)	6382	しゅうしん (10時に就寝する)
6358	しのうこうしょう (士農工商)	6383	じゅうせき (重責をはたす)
6359	しばしば (——雨が降る)	6384	じゅうたく (住宅)
6360	じひつ (自筆のてがみ)	6385	しゅうどういん (修道院)
6361	しぶかわ (くりの渋皮)	6386	しゅうは (宗派)
6362	しべつ (親に死別する)	6387	じゅうぼく (従ぼくをつれていく)
6363	しばう (脂肪)	6388	しゅうみん (就眠)
6364	しまながし (島流し)	6389	じゅうらい (従来のしきたり)
6365	じむ (事務)	6390	しゅえん (主演)
6366	しめだす (締め出す)	6391	じゅく (塾)
6367	しもごえ (下肥)	6392	しゅくしゃ (写真の縮写)
6368	しもん (試問)	6393	しゅくちよく (宿直)
6369	しゃきん (謝金)	6394	じゅくりょ (熟慮しておこなう)
6370	しゃくや (借家に住む)	6395	しゅし (種子)
6371	しゃじ (社寺)	6396	しゅしょう (主将)
6372	しゃたい (車体がこわれる)	6397	しゅせき (手跡)
6373	しゃにむに (——つかかかる)	6398	しゅつえん (出演)
6374	しゃりき (車力)	6399	じゅつご (術語)
6375	じゅいん (樹陰)	6400	しゅっせ (出世)

6401	じったい (実体)	6426	しゅうえき (収益)
6402	しつない (室内)	6427	しゅうき (臭気)
6403	しつぼう (失望する)	6428	しゅうきょく (終極)
6404	してい (師弟の間がら)	6429	しゅうこう (修好条約)
6405	じてん (辞典)	6430	じゅうじ (従事する)
6406	しなう (つりざおが——)	6431	じゅうしょ (住所)
6407	じなん (長男と次男)	6432	しゅうじん (衆人の見ている まえて……)
6408	しのぐ (若者を——元気)	6433	しゅうせん (売買の周旋)
6409	しはつ (始発の汽車)	6434	しゅうだん (集団)
6410	じひびき (地響をたてる)	6435	しゅうとく (習得)
6411	しぶき (——がかかる)	6436	しゅうはい (ゆうびんの集配)
6412	しへん (紙片)	6437	しゅうまく (終幕)
6413	じほう (時報)	6438	じゅうみん (住民)
6414	しまり (——をして寝る)	6439	しゅうり (ラジオの修理)
6415	しむける (仕向ける)	6440	しゅかく (主客)
6416	じめつ (自滅)	6441	しゅくが (祝賀)
6417	しもざ (下座)	6442	しゅくしゃく (縮尺)
6418	しや (視野がひらける)	6443	しゅくでん (祝電)
6419	しゃく (——にさわる)	6444	じゅくれん (熟練)
6420	しゃくよう (借用する)	6445	しゅし (趣旨の説明)
6421	しゃしつ (車室)	6446	しゅしょう (殊勝な心がけ)
6422	しゃたく (社宅に住む)	6447	しゅせん (守戦)
6423	しゃば (車馬が通る)	6448	しゅっか (出火)
6424	しゃりょう (車両)	6449	しゅっこう (出港)
6425	しゅう (私有の土地)	6450	しゅっせき (出席)

6451	しったかぶり(知ったかぶり)	6476	じゅうおう(縦横)
6452	しつねん(失念する)	6477	しゅうき(秋期)
6453	しっぽ(——をふる)	6478	しゅうきん(集金)
6454	してい(子弟)	6479	しゅうごう(集合する)
6455	しとう(死闘をくりかえす)	6480	じゅうじか(十字架)
6456	しなうす(品薄)	6481	しゅうしょう(就床の時刻)
6457	しにはじ(死に恥をさらす)	6482	しゅうじん(囚人)
6458	しのぐ(その日その日を——)	6483	しゅうぜん(やねを修繕する)
6459	じはつてき(自発的に仕事をする)	6484	じゅうたん(——をしく)
6460	しびょう(死病にとりつかれる)	6485	じゅうなん(柔軟)
6461	しふく(私服の巡査)	6486	じゅうばこ(重箱)
6462	じへん(事変)	6487	しゅうまつ(終末)
6463	じほう(寺宝)	6488	しゅうめい(襲名する)
6464	しまり(全体の——をつける)	6489	しゅうりょう(課程を修了する)
6465	しめい(使命をおびる)	6490	じゅがく(儒学)
6466	しめっぽい	6491	じゅくご(熟語)
6467	しもじも(下々のことにくわしい)	6492	しゅくしょ(宿所)
6468	しゃ(社の用事)	6493	じゅくどく(熟読する)
6469	しゃく(尺がたりない)	6494	しゅくん(主君のために…)
6470	しゃげき(射撃)	6495	じゅし(樹脂)
6471	しゃじょう(車上の人になる)	6496	じゅしょう(受賞する)
6472	しゃだん(交通をしゃ断する)	6497	しゅぞく(種族)
6473	じゃばら(カメラの——)	6498	しゅっか(出荷)
6474	しゃりん(車輪)	6499	しゅっこう(出航)
6475	しゅう(雌雄)	6500	しゅっちょう(出張)

6501 しゅってい (出廷する)	6526 しょうにん (証人)
6502 しゅつぼつ (出沒する)	6527 しょうひ (消費)
6503 じゅのう (受納する)	6528 じょうへき (城壁)
6504 じゅみょう (寿命)	6529 しょうめい (照明)
6505 じゅりつ (樹立)	6530 じょうよ (剰余のお金)
6506 じゅん (純日本ふう)	6531 じょうりょくじゅ (常緑樹)
6507 じゅんきん (純金)	6532 じょがい (除外する)
6508 じゅんしん (純真)	6533 しょくあたり (食あたり)
6509 じゅんぱく (純白)	6534 しょくにん (職人)
6510 しょう (使用する)	6535 しょくりょう (食糧のゆにゅう)
6511 じょう (上)	6536 しょこ (書庫)
6512 しょうえん (莊園)	6537 しょし (初志をつらぬく)
6513 しょうがい (無事に生がい _い が終わる)	6538 しょじゅん (初旬)
6514 じょうき (常軌をいっする)	6539 しょせい (書生)
6515 しょうぎょう (商業)	6540 しょぞん (…する所存です)
6516 じょうけい (情景)	6541 しょっかく (触角)
6517 しょうこう (小康をたもつ)	6542 しょどう (書道)
6518 しょうさん (称賛する)	6543 しょほう (書法)
6519 じょうしゅ (情趣)	6544 しょめん (書面で申し入れる)
6520 じょうじょ (加減乗除の法)	6545 しょるい (書類のせいり)
6521 しょうじん (精進する)	6546 じらす (そう——な)
6522 じょうずる (乗ずる)	6547 しりぞく (退く)
6523 じょうそう (上層)	6548 しりょう (牛馬の飼料)
6524 しょうち (承知)	6549 じれる (なかなか来なくて——)
6525 ショート (電気が——する)	6550 じん (陣)

6551 しゅっとう (出頭)	6576 しょうね (性根)
6552 しゅと (首都)	6577 しょうび (賞美)
6553 しゅび (守備)	6578 じょうほ (譲歩する)
6554 しゅめい (主命)	6579 しょうめい (証明する)
6555 しゅりゅう (主流)	6580 しょうよう (商用で旅行する)
6556 じゅんい (順位)	6581 ショール
6557 じゅんけつ (純潔をたもつ)	6582 じょかん (女官)
6558 じゅんすい (純粹)	6583 しょくいん (職員)
6559 じゅんび (準備)	6584 しょくのう (職能)
6560 しょう (私用につかう)	6585 しょくりん (植林)
6561 じょう (情)	6586 じょこう (徐行する)
6562 じょうえん (上演)	6587 しょじ (所持する)
6563 しょうがい (傷害)	6588 しょしょ (諸所をまわる)
6564 じょうき (上気する)	6589 じょせい (女性)
6565 じょうきょう (上京する)	6590 しょうたい (書体)
6566 しょうけいもんじ (象形文字)	6591 しょっかく (食客)
6567 しょうごう (称号をあたえる)	6592 じょどうし (助動詞)
6568 しょうし (焼死する)	6593 しょほう (諸方を歩く)
6569 じょうじゅ (大事業の成就)	6594 しょうもう (所望の品)
6570 しょうしょう (少将)	6595 しょうろう (初老の男)
6571 じょうじん (常人)	6596 しらちゃける (白茶ける)
6572 しょうせい (小生の家)	6597 しりぞける (退ける)
6573 じょうぞう (酒の醸造)	6598 しりょく (視力がおとろえる)
6574 じょうち (常置)	6599 しれん (試練にたえる)
6575 じょうど (浄土)	6600 しんあい (親愛の情)

6601 しゅつどう (出動する)	6626 じょうねつ (情熱)
6602 しゅとう (種痘)	6627 じょうび (常備)
6603 しゅび (首尾よく……する)	6628 しょうほう (詳報)
6604 しゅもく (種目)	6629 しょうめつ (消滅)
6605 しゅりょう (狩猟のきせつ)	6630 じょうよう (くすりを常用する)
6606 じゅんえき (純益)	6631 じょうるり (浄るりをかたる)
6607 じゅんけっしょうせん (準決勝戦)	6632 しょき (書記)
6608 じゅんずる (準ずる)	6633 しょくえん (食塩)
6609 しゅんぶん (春分)	6634 しょくば (職場)
6610 しょう (子葉)	6635 しょけい (処刑する)
6611 じょうあい (情愛)	6636 じょこう (女工)
6612 しょうか (商科)	6637 じょし (女子)
6613 じょうかい (常会)	6638 しょじょ (処女)
6614 じょうきげん (上機げんで帰る)	6639 じょせい (女声)
6615 じょうきょう (状況)	6640 しょたい (所帯をもつ)
6616 しょうげき (衝撃をうける)	6641 しょっかん (触感)
6617 しょうごう (照合する)	6642 しょとく (所得がふえる)
6618 しょうし (将士)	6643 じょほう (除法)
6619 しょうしゅう (召集する)	6644 しょもつ (書物)
6620 しょうじょう (賞状)	6645 じょろん (序論と各論)
6621 じょうすい (上水)	6646 しらつゆ (白露)
6622 しょうせい (笑声)	6647 しりつ (私立の学校)
6623 しょうそく (消息)	6648 じりょく (磁力が強い)
6624 しょうちゅう (掌中)	6649 しろうと (——とくろうと)
6625 しょうとう (消燈)	6650 しんあん (新案)

6651 しゅつにゅう (出入)	6676 しょうのう (小農)
6652 しゅどう (手動)	6677 しょうひょう (商標)
6653 じゅひ (樹皮)	6678 じょうほう (情報)
6654 じゅもく (樹木)	6679 しょうめん (正面)
6655 しゅりょう (首領)	6680 じょうよう (乗用)
6656 じゅんえん (順延)	6681 しょうれい (しごとを奨励する)
6657 じゅんけん (巡検)	6682 しょき (所期の目的)
6658 じゅんせい (純正)	6683 しょくぎょう (職業)
6659 じゅんりょう (純良な品)	6684 しょくひ (食費)
6660 しょう (将)	6685 じょけい (叙景の文)
6661 しょうあく (掌握する)	6686 しょこく (ヨーロッパの諸国)
6662 しょうか (消火)	6687 じょし (女史)
6663 しょうがく (少額)	6688 じょじょ (徐々にかいふくする)
6664 しょうきゃく (正客)	6689 じょせい (研究の助成)
6665 しょうきょく (消極と積極)	6690 しょだい (初代)
6666 しょうけん (証券)	6691 しょっき (織機)
6667 じょうこう (条項にあてはめる)	6692 しょなのか (初七日)
6668 しょうじ (小事にこだわる)	6693 じょまく (序幕)
6669 しょうじゅう (小銃)	6694 じょやく (助役)
6670 しょうじょう (症状があらわれる)	6695 じらい (地雷)
6671 じょうすい (浄水)	6696 しらは (白刃)
6672 じょうせい (情勢)	6697 しりつ (市立の学校)
6673 しょうぞく (装束をつける)	6698 シルクハット
6674 しょうちょう (象徴)	6699 しろじ (白地)
6675 しょうどう (衝動)	6700 しんい (真意がわからない)

6701 しゅつば (出馬する)	6726 じょうば (乗馬)
6702 じゅどう (受動)	6727 じょうひん (上品な姿)
6703 しゅひつ (主筆)	6728 じょうほう (乗法)
6704 じゅもん (——をとる)	6729 しょうもう (体力が消耗する)
6705 じゅりょう (受領)	6730 しょうらい (現在と将来)
6706 じゅんおくり (順送り)	6731 じょうれい (条例)
6707 じゅんさつ (巡察)	6732 しょき (暑気)
6708 じゅんぜん (純然)	6733 しょくご (食後)
6709 しょ (書をならう)	6734 しょくひん (食品)
6710 しょう (衝にあたる)	6735 じょけつ (女傑といわれた人)
6711 じょうい (上位)	6736 じょごん (助言)
6712 しょうか (商家)	6737 じょし (助詞)
6713 しょうかん (商館)	6738 しょじょう (書状)
6714 しょうきゃく (書類の焼却)	6739 じょせい (助勢をする)
6715 しょうきん (賞金)	6740 じょたい (除隊する)
6716 しょうげん (証言)	6741 しょっき (食器)
6717 しょうこうぎょう (商工業)	6742 しょにち (初日)
6718 じょうしき (常識)	6743 じょまくしき (除幕式)
6719 じょうしゅう (常習)	6744 しょゆう (所有する)
6720 じょうしょう (上昇)	6745 しらかべ (白壁)
6721 しょうすう (ごく少数です)	6746 しらばっくれる
6722 じょうせい (上製)	6747 じりつ (自立してやっていく)
6723 しょうたい (正体をあらわす)	6748 しるしばんてん (印ばんてん)
6724 しょうちょう (国運の消長)	6749 シロホン
6725 じょうどう (常道)	6750 じんい (人為を加える)

6751 しゅっぱん (出版)	6776 しょうはい (勝敗)
6752 しゅとく (取得する)	6777 しょうぶ (勝負がきまる)
6753 しゅひん (主賓)	6778 じょうまえ (錠前)
6754 しゅやく (主役)	6779 しょうもん (証文を書く)
6755 しゅりょく (主力)	6780 しょうり (勝利をえる)
6756 じゅんかい (巡回)	6781 しょうろう (鐘楼)
6757 じゅんし (巡視)	6782 じょきょ (障害を除去する)
6758 しゅんだん (春暖の候)	6783 しょくじ (食事)
6759 しょ (緒につく)	6784 しょくみんち (植民地)
6760 しょう (せなかに——)	6785 しょげる (しかられて——)
6761 じょうい (上意)	6786 しょさ (おちついた所作)
6762 しょうか (消化)	6787 じょじ (女兒)
6763 しょうかん (証人として召喚する)	6788 しょしん (初診)
6764 しょうきやく (資産の償却)	6789 しょせいじ (初生児)
6765 じょうくう (上空)	6790 しょだな (書だな)
6766 じょうけん (条件)	6791 しょっけん (食券)
6767 じょうこく (最高裁へ上告する)	6792 しょばつ (処罰される)
6768 しょうしつ (けんりが消失した)	6793 しょみん (庶民)
6769 じょうじゅつ (上述のとおり)	6794 しょうよう (所用のために……)
6770 じょうじょう (上々の天気)	6795 しらき (白木)
6771 しょうすう (小数)	6796 しらふ (——の時は……)
6772 じょうせき (上席)	6797 しりぬく (知りぬく)
6773 しょうたい (招待する)	6798 しるす (ノートに——)
6774 じょうちょう (異国情調)	6799 しろみ (白身のさかな)
6775 しょうどく (消毒)	6800 じんいん (人員)

6801 しゅっぱん (船が出帆する)	6826 しょうはい (賞杯をおくる)
6802 じゅなん (受難)	6827 しょうふだ (正札)
6803 しゅふ (主婦)	6828 しょうみ (正味)
6804 じゅよ (授与)	6829 じょうもん (定紋つき)
6805 じゅれい (樹齡300年)	6830 じょうりく (上陸する)
6806 しゅんかん (瞬間)	6831 しょうろん (詳論とがい論)
6807 じゅんじ (順次)	6832 じょきょく (序曲)
6808 じゅんちょう (順調)	6833 しょくする (食する)
6809 じょ (序)	6834 しょくむ (職務にはげむ)
6810 しょう (性の知れない品)	6835 しょけん (書見をする)
6811 しょういん (証印)	6836 しょさい (書齋で勉強する)
6812 じょうか (浄化)	6837 じょしゅ (助手)
6813 じょうかん (上官)	6838 しょしん (書信)
6814 じょうきゃく (常客)	6839 しょせき (書籍)
6815 しょうぐん (将軍)	6840 しょだん (初段のうでまえ)
6816 しょうご (正午)	6841 しょっこう (職工)
6817 しょうさ (少佐)	6842 しょはん (諸般の準備)
6818 しょうしつ (焼失)	6843 しょむ (庶務)
6819 しょうじゅん (照準がくるう)	6844 しょり (ものごとの処理)
6820 しょうしょく (少食)	6845 しらける (座が白ける)
6821 しょうする (証する)	6846 しらべがわ (機械の——)
6822 しょうせつ (詳説)	6847 しりゅう (川の支流)
6823 じょうたい (状態)	6848 しるべ (——をたよって行く)
6824 しょうてき (小敵とあなどる)	6849 しろもの (たいへんなしろ物)
6825 じょうとくい (常得意)	6850 しんえい (新鋭の選手)

6851 しゅっぴ (出費)	6876 しょうはい (銀の賞はいを胸に)
6852 じゅにゅう (授乳)	6877 しょうぶん (性分)
6853 しゅへい (手兵)	6878 じょうみゃく (静脈)
6854 しゅよう (主要な人物)	6879 じょうもん (城門をひらく)
6855 しゅれん (手練のはやわざ)	6880 しょうりゃく (省略)
6856 じゅんかん (循環する)	6881 じょえん (助演)
6857 しゅんじ (瞬時)	6882 しよく (私欲をみたす)
6858 じゅんど (純度)	6883 しょくぜん (食前)
6859 じょい (女医)	6884 しょくもつ (食物)
6860 しょう (章をわける)	6885 しょけん (所見をのべる)
6861 じょういん (上院)	6886 しょざい (所在がわからない)
6862 しょうかい (紹介)	6887 しょしゅう (初秋)
6863 しょうき (正気に返る)	6888 しょしん (初心の者)
6864 じょうきゃく (乗客)	6889 じょそう (除草)
6865 しょうけい (森の小径)	6890 しょち (処置をつける)
6866 しょうこう (昇降)	6891 しょてい (所定の位置)
6867 じょうざ (上座)	6892 しょぶん (処分する)
6868 じょうしつ (上質の紙)	6893 しょめい (署名)
6869 じょうじゅん (上旬)	6894 じょりゅう (女流の作家)
6870 じょうしょく (常食とする)	6895 しらじ (白地)
6871 しょうする (賞する)	6896 しらむ (東の空が——)
6872 しょうせん (商船)	6897 じりゅう (時流にかなう)
6873 しょうだく (承諾する)	6898 しれい (指令を出す)
6874 しょうてん (昇天)	6899 しわがれる (声が——)
6875 しょうに (小児)	6900 じんえい (陣営)

6901 しゅっぴん (出品)	6926 しょうばつ (賞罰)
6902 しゅにん (主任)	6927 じょうぶん (条文)
6903 しゅべつ (種別)	6928 じょうむ (常務)
6904 じゅよう (需要が多い)	6929 しょうや (村のしょう屋)
6905 じゅわき (受話機)	6930 しょうりょう (少量)
6906 しゅんき (春季)	6931 しょか (初夏)
6907 じゅんじょう (純情)	6932 しょく (食がほそい)
6908 じゅんとう (順当)	6933 しょくだい (しょく台)
6909 しょういこむ	6934 しょくよう (食用にする)
6910 じよう (滋養)	6935 じょげん (序言)
6911 じょうえい (映画の上映)	6936 しょざいない (所在ない気持)
6912 しょうかい (商会)	6937 じょしゅう (女囚)
6913 じょうき (上記のとおり……)	6938 しょする (世に処する)
6914 じょうきゃく (上客)	6939 じょそう (女装)
6915 しょうけい (しばらく小憩する)	6940 しょちゅう (暑中みまい)
6916 しょうこう (将校と兵)	6941 しょてん (書店)
6917 しょうさい (詳細の知らせ)	6942 じょぶん (序文を書く)
6918 しょうしゃ (勝者)	6943 じょめい (除名する)
6919 しょうしょ (証書)	6944 しょうりょう (所領)
6920 しょうずる (生ずる)	6945 しらじら (夜が——と明ける)
6921 しょうする (称する)	6946 じりき (自力で走る)
6922 じょうせん (乗船)	6947 しりょ (思慮があさい)
6923 じょうたつ (上達する)	6948 じれい (辞令をもらう)
6924 しょうてん (焦点をあわせる)	6949 しわざ (だれの——だ)
6925 しょうにん (商人)	6950 しんおう (深奥)

6951 しゅっぺい (出兵)	6976 じょうはつ (蒸発)
6952 しゅのう (主脳)	6977 しょうへい (将兵)
6953 しゅみ (趣味)	6978 じょうむいん (乗務員)
6954 しゅよく (飛行機の主翼)	6979 しょうよ (賞与)
6955 しゅわん (手腕をみせる)	6980 じょうりょく (常緑の木)
6956 じゅんぎょう (巡業)	6981 しょか (書家)
6957 じゅんしょく (殉戦する)	6982 しょく (職につく)
6958 じゅんのう (気候に順応する)	6983 しょくたく (食卓)
6959 しょういん (書院)	6984 しょくよく (食欲がない)
6960 じょう (錠をおろす)	6985 じょげん (助言)
6961 しょうえん (小宴をひらく)	6986 じょさんぷ (助産婦)
6962 しょうがい (障害)	6987 じょじゅつ (叙述)
6963 じょうき (条規)	6988 じょする (10を2で除する)
6964 しょうきゅう (昇給する)	6989 しょぞく (所属する)
6965 しょうけい (勝景)	6990 しょちゅう (書中をもって申 上げます)
6966 しょうこう (焼香する)	6991 しょう (初等)
6967 じょうざい (錠剤)	6992 しょほ (英語の初歩)
6968 じょうしゃ (乗車)	6993 じょめい (助命をこう)
6969 じょうしょ (情緒)	6994 じょりょく (助力する)
6970 しょうしん (小心な男)	6995 しらじらしい (——うそ)
6971 しょうずる (生ずる)	6996 しりごみ (——をする)
6972 しょうぞう (肖像)	6997 しりょう (資料を集める)
6973 じょうたん (上端)	6998 じれったい (——話だ)
6974 しょうてんいん (小店员)	6999 じわれ (地割れ)
6975 しょうにん (承認)	7000 しんか (真価がわかる)

7001 しんか (臣下)	7026 すうりょう (数量)
7002 しんがり (——を走る)	7027 すがすがしい
7003 しんきょ (新居をかまえる)	7028 すく (透いて見える)
7004 しんげき (進撃)	7029 すぐれる (品質が——)
7005 しんこう (深更)	7030 すこぶる (——おもしろい本)
7006 しんさ (審査する)	7031 すす (えんとつの——)
7007 しんじゃ (信者)	7032 すだつ (ことりが巢立つ)
7008 しんしょく (寝食をわすれる)	7033 すていし (捨石になる)
7009 しんせい (申請する)	7034 ストップウォッチ
7010 しんぞう (新造の船)	7035 すはだ (——に着る)
7011 じんち (陣地をまもる)	7036 スポーツ
7012 しんつう (心痛のいろがみえる)	7037 すみこみ (住込みの人)
7013 じんどう (人道)	7038 すりえ (小鳥に——をやる)
7014 しんぴ (神秘をさぐる)	7039 すれる (きぬの——音)
7015 しんぺん (身辺のせわ)	7040 せい (精が出る)
7016 しんめい (身命)	7041 せいう (晴雨にかかわらず…)
7017 しんり (真理)	7042 せいか (聖歌の合唱)
7018 しんろ (進路)	7043 せいがく (声楽と器楽)
7019 すいあつ (水圧)	7044 せいきょう (近ごろにない盛況だった)
7020 すいげん (水源がかれる)	7045 せいけん (政権をにぎる) .
7021 ずいしょ (随処に見られる)	7046 せいざ (正座につく)
7022 すいたい (衰退する)	7047 せいし (正視できない)
7023 すいふ (水夫)	7048 せいじゃ (聖者)
7024 すいらい (水雷)	7049 せいしょうねん (青少年)
7025 すうこく (数刻ののち)	7050 せいする (人々を制する)

7051	しんか (進化)	7076	すえおく (そのまま——)
7052	しんかん (新館)	7077	すがたみ (姿見)
7053	しんきょう (心境がかわる)	7078	すく (かみの毛を——)
7054	しんけつ (心血をそそぐ)	7079	スケート
7055	しんこう (新興)	7080	すこやか (——にそだつ)
7056	しんさい (震災)	7081	すすける (てんじょうが——)
7057	じんしゅ (人種)	7082	すたれる (習慣が——)
7058	しんしん (心身ともに)	7083	すてうり (捨売りのねだん)
7059	しんせい (神聖な場所)	7084	すなお (——なこども)
7060	じんぞう (人造のみずうみ)	7085	すばやい (——作動)
7061	しんちく (新築の家)	7086	ずぼし (——をさされる)
7062	じんつうりき (神通力)	7087	すみとり (炭取り)
7063	じんとく (人徳のある人)	7088	ずりおちる (めがねがずり落ちる)
7064	しんぴつ (真筆)	7089	ずれる (位置が——)
7065	しんぽ (進歩)	7090	せい (天気がよくない——だ)
7066	じんめい (人名)	7091	せいうん (星雲)
7067	しんりゃく (侵略)	7092	せいか (精華をきそう)
7068	しんろう (心労)	7093	ぜいがく (税額はかわらない)
7069	すい (科学の粋を集めて……)	7094	せいぎょう (生業)
7070	すいこう (推考をかさねる)	7095	せいけん (政見の発表)
7071	すいしょう (推奨する)	7096	せいざ (静座する)
7072	すいちょく (垂直)	7097	せいし (生死がわからない)
7073	すいぶん (水分)	7098	せいじゃ (正邪をみわけする)
7074	すいり (推理)	7099	せいしょく (生色をとりもどす)
7075	すうし (数詞)	7100	せいせい (精製したさとう)

7101	じんか (人家)	7126	すえこ (末子)
7102	しんかん (森閑としている)	7127	すがる (母に——)
7103	しんく (真紅のほのお)	7128	すくう (救う)
7104	しんげつ (新月)	7129	すけだち
7105	しんこう (親交がある)	7130	すさまじい (——音)
7106	しんさつ (診察)	7131	すすぐ (せんたくものを——)
7107	しんじゅう (心中する)	7132	スタンド
7108	しんしん (興味——)	7133	ステーション
7109	じんせい (人生)	7134	すなわち
7110	しんぞく (親族が集まる)	7135	すばらしい (——けしき)
7111	じんちく (人畜に害がない)	7136	すぼまる (下へいくほど——)
7112	しんてん (文化の進展)	7137	すみやか (——な行動)
7113	じんどる (陣取る)	7138	すりかえる (にせ物と——)
7114	じんぴん (人品のよい人)	7139	すんか (寸暇をおしむ)
7115	しんぼう (信望があつい)	7140	せい (この世に生をうける)
7116	じんめい (人命)	7141	せいうん (盛運に向かう)
7117	しんりょう (病人の診療)	7142	せいか (盛夏の候)
7118	しんろう (新郎と新婦)	7143	せいかつ (生活)
7119	すいい (推移)	7144	せいぎょう (正業につく)
7120	ずいこう (随行する)	7145	せいげん (制限する)
7121	すいじょうき (水蒸気)	7146	せいざ (星座の名まえ)
7122	すいてい (推定する)	7147	せいし (静思する)
7123	すいへい (水平)	7148	せいじゃく (静寂な夜)
7124	すいりゅう (水流)	7149	せいしん (精神)
7125	ずうずうしい	7150	せいせい (清々した気分)

7151	しんかい (深海)	7176	すえずえ (末々)
7152	しんがん (心眼を開く)	7177	すき (——で畑をたがやす)
7153	しんく (辛苦をともにする)	7178	すくう (鳥が巣くう)
7154	しんけん (真剣になる)	7179	スケッチ
7155	しんこう (進行)	7180	すさむ (気持が——)
7156	しんざん (深山)	7181	すずなり (鈴なりの実)
7157	しんしゅく (伸縮が自在です)	7182	スタンプ
7158	しんしん (新進)	7183	すておく (そのままに——)
7159	しんせき (親せきの家)	7184	ずぬける
7160	じんそく (迅速な行動)	7185	スピード
7161	しんちゃく (新着の本)	7186	すぼむ (先が——)
7162	しんでん (新田をひらく)	7187	すむ (水が澄む)
7163	しんにゅう (新入の社員)	7188	すりきり (さじに——六ばい)
7164	しんぷ (新婦)	7189	すんし (ほんの寸志ですが)
7165	しんぼう (車の心棒)	7190	せい (性の区別)
7166	しんもつ (進物)	7191	せいえん (盛宴をはる)
7167	しんりょく (新緑の山みち)	7192	せいか (聖火)
7168	しんわ (神話)	7193	せいかん (しばらく静観する)
7169	ずいい (随意)	7194	せいきょく (政局の動き)
7170	すいさつ (推察する)	7195	せいご (正誤)
7171	すいしん (水深)	7196	せいさい (制裁を加える)
7172	すいてき (水滴)	7197	せいし (静止)
7173	すいへん (水辺を散歩する)	7198	せいしゅ (清酒)
7174	すいりょう (推量)	7199	せいしん (清新の気)
7175	ずうたい (大きな——)	7200	せいぜい (精々半分ぐらい)

7201 しんがい (心外)	7226 すえつける (機械を——)
7202 しんがん (心願を立てる)	7227 すき (——をみて……する)
7203 しんぐ (寝具)	7228 すくう (さじで——)
7204 しんげん (森厳な気分)	7229 すげない (——返事)
7205 じんこう (人口)	7230 すじ (筋)
7206 しんし (紳士)	7231 すすめる (買うことを勧める)
7207 しんしゅつ (海外に進出する)	7232 ずつう (頭痛がする)
7208 しんじん (信心)	7233 すてぜりふ (捨てぜりふをのこして……)
7209 じんせき (人跡まれな所)	7234 すねる (——こども)
7210 しんたい (身体の検査)	7235 ずひょう (図表)
7211 しんちゅう (外国に進駐する)	7236 スポンジ
7212 しんど (深度をはかる)	7237 ずめん (図面)
7213 しんにゅう (どろぼうが侵入した)	7238 すりよる (そばへすり寄る)
7214 しんぷく (心服する)	7239 すんぜん (ゴールの寸前)
7215 しんぼう (——する)	7240 ぜい (税をはらう)
7216 しんや (深夜)	7241 せいえん (声援をおくる)
7217 じんりょく (人力ではむりだ)	7242 せいか (成果を発表する)
7218 す (巢)	7243 せいがん (神に誓願する)
7219 ずいいち (日本では随一の……)	7244 せいきん (精勤な人)
7220 すいさん (だいたいを推算する)	7245 せいご (生後3か月)
7221 すいしんき (推進器)	7246 せいさい (精細な研究)
7222 すいでん (水田)	7247 せいし (製紙工場)
7223 すいぼう (国家の衰亡)	7248 せいしゅく (静粛にする)
7224 すいろ (水路)	7249 せいじん (聖人とあおがれる)
7225 スーツケース	7250 ぜいせい (税制をあらためる)

7251 しんがお (新顔)	7276 すえる (にわに石を——)
7252 しんき (新規)	7277 スキー
7253 しんくう (真空)	7278 すぐさま (——かけつける)
7254 しんげん (進言する)	7279 すげる (はなおを——)
7255 じんこう (人工を加える)	7280 すじがき (筋書き)
7256 じんじ (仁慈の心)	7281 すすりなく (すすり泣く)
7257 しんしょ (親書をもってくる)	7282 ブック (——のくつ)
7258 しんじん (新人)	7283 ステッキ
7259 しんせん (新鮮なやさい)	7284 ずのう (頭脳がよい)
7260 しんたい (進退)	7285 スプーン
7261 しんちょ (新著を出す)	7286 すまい (住居)
7262 しんとう (地中にしん透する)	7287 すやき (素焼のつぼ)
7263 しんにん (新任の先生)	7288 スリル (——がある)
7264 しんぶく (振幅が大きい)	7289 すんぶん (寸分ちがわない)
7265 じんぼう (人望がある)	7290 せいあつ (制圧する)
7266 しんゆう (親友)	7291 せいえん (製塩が盛んだ)
7267 じんりょく (尽力する)	7292 せいかい (正解)
7268 す (三角州)	7293 せいがん (国会に請願する)
7269 ずいいん (随員)	7294 ぜいきん (税金)
7270 すいさんぶつ (水産物)	7295 せいこう (性行がわるい)
7271 すいせい (水勢)	7296 せいざい (製材工場)
7272 すいとう (出納)	7297 せいし (製糸工場)
7273 すいみん (睡眠)	7298 せいじゅく (りんごの成熟)
7274 すうかい (数回やってみる)	7299 せいじん (りっぱに成人する)
7275 すうど (数度)	7300 せいせいどうどう (正々堂々)

7301	しながく (神学)	7326	すえる (御飯が——)
7302	しんき (心機一転する)	7327	すきうつし (地図を透き写し する)
7303	じんぐう (神宮)	7328	すくなくとも (少なくともこ れだけは……)
7304	じんけん (人権)	7329	すごい (——顔つき)
7305	しんこく (深刻な顔つき)	7330	ずしき (図式で説明する)
7306	じんじ (人事)	7331	すその (富士の——)
7307	しんじょう (真情)	7332	すっぱい (——あじ)
7308	じんしん (人心の安定)	7333	すてね (捨て値で売る)
7309	しんせん (深淺をはかる)	7334	すのこ (——をしく)
7310	しんだい (寝台でねる)	7335	すべ (どうする——もない)
7311	しんちょう (新調の洋服)	7336	すまう (住まう)
7312	しんどう (はげしい震動)	7337	すり (——に御用心)
7313	しんにん (信任される)	7338	ずるい (——考え)
7314	しんぷく (地震の震幅)	7339	すんぽう (寸法がちがう)
7315	しんみ (親身になってせわす る)	7340	せいあん (成案を得る)
7316	しんよう (信用)	7341	せいおう (西欧の国々)
7317	しんりん (森林)	7342	せいかい (盛会)
7318	す(だいこんに——がはいる)	7343	せいぎ (生気にみちあふれる)
7319	すいうん (水運の便)	7344	せいく (成句)
7320	すいし (水死)	7345	せいこう (製鋼所)
7321	すいせい (衰勢)	7346	せいさく (政策をたてる)
7322	すいなん (水難)	7347	せいじ (政治)
7323	すいめん (水面)	7348	せいしゅん (青春をたのしむ)
7324	すうがく (数学)	7349	せいず (製図)
7325	すうとう (数等まざっている)	7350	せいせん (原料を精選する)

7351 しながく (進学する)	7376 ずかい (図解)
7352 しんぎ (真偽をたしかめる)	7377 すきずき (好き好き)
7353 しんぐん (進軍)	7378 ずくめ (けっこう——)
7354 しんげんち (震源地)	7379 すごす (過す)
7355 しんこく (申告する)	7380 すじむかい (筋向かい)
7356 しんしき (神式でおこなう)	7381 すそわけ (お——いただきます)
7357 しんじょう (心情をさっする)	7382 すで (素手でかえる)
7358 しんすい (浸水する)	7383 すてみ (捨て身になる)
7359 しんぜん (親善をはかる)	7384 スパイ
7360 しんだい (身代をこしらえる)	7385 スペクトル
7361 しんちょう (深長な意味)	7386 すます (耳を——)
7362 しんどう (神童)	7387 すり (刷りがわるい)
7363 しんねん (かたい信念をもつ)	7388 ずるける (宿題を——)
7364 しんぶつ (神仏にいのる)	7389 せ (川の瀬を渡る)
7365 しんみょう (神妙)	7390 せいい (誠意をみせる)
7366 しんようじゅ (針葉樹)	7391 せいか (製菓工場)
7367 じんるい (人類)	7392 せいかく (正確な時刻)
7368 ず (図)	7393 せいき (世紀の英雄)
7369 すいおん (水温)	7394 せいけい (整形の手術)
7370 すいじ (炊事)	7395 せいこう (精巧なしかけ)
7371 すいせん (推薦)	7396 せいさく (製作の費用)
7372 ずいはん (随伴)	7397 せいしき (正式)
7373 すいもの (吸い物)	7398 せいしょ (聖書を読む)
7374 すうき (数奇な運命)	7399 せいすい (世の中の盛衰)
7375 すうはい (崇拜する人物)	7400 せいぜん (整然とした行進)

7401	じんかく (人格)	7426	すがお (素顔)
7402	しんぎ (信義を重んずる)	7427	すきみ (透き見)
7403	しんけい (神経)	7428	スクリーン
7404	じんけんひ (人件費がかかる)	7429	すごすご (——とかえる)
7405	しんこん (心魂をかたむける)	7430	すじむこう (筋向こう)
7406	しんしつ (寝室)	7431	スタイル (——がよい)
7407	じんじょう (尋常なやりかた)	7432	すでに (既に知っている)
7408	しんすいしき (進水式)	7433	すどおり (前を素通りする)
7409	じんせん (代表の人選)	7434	スパイク
7410	じんたい (人体の構造)	7435	すべて (——の人)
7411	しんちょう (慎重に考える)	7436	すまない (——ことをしました)
7412	しんどう (振動がひどい)	7437	すりあがる (刷り上がる)
7413	しんのう (親王)	7438	するどい (鋭いナイフ)
7414	じんぶつ (人物)	7439	ぜ (是か非か)
7415	しんみり (——と話す)	7440	せいいく (生育・成育)
7416	しんらい (信頼される)	7441	せいか (青果市場)
7417	しんれい (神霊)	7442	せいかく (しっかりした性格)
7418	ず (頭が高い)	7443	せいぎ (正義)
7419	すいがい (水害)	7444	せいけい (生計をたてる)
7420	すいじゃく (衰弱)	7445	せいこう (成功する)
7421	すいそく (推測する)	7446	せいさん (生産)
7422	すいび (国の衰微)	7447	せいしつ (性質)
7423	すいもん (水門を開く)	7448	せいしょ (清書する)
7424	すうこ (数個の石ころ)	7449	せいすう (整数と小数)
7425	すうばい (数倍)	7450	せいぜん (生前のことば)

7451 しんがら (新柄)	7476 すかし (透かし)
7452 しんぎ (審議する)	7477 ずぎん (——をかぶる)
7453 しんげき (新劇)	7478 すぐる (よい品をより——)
7454 じんご (人後におちない)	7479 スコップ
7455 しんこん (新婚)	7480 すじょう (素姓がわからない)
7456 しんじつ (真実)	7481 スタジオ
7457 しんしょく (波が岩を浸食する)	7482 スティーム (スチーム)
7458 しんずる (信ずる)	7483 ストック (——がない)
7459 しんそう (事件の真相)	7484 すばしこい (——うさぎ)
7460 しんだん (病気の診断)	7485 すべる (国家を統べる)
7461 しんちんたいしゃ (新陳代謝)	7486 すみか (住家)
7462 じんとう (陣頭に立つ)	7487 すりあげる (刷り上げる)
7463 しんぱん (審判をうける)	7488 すれちがう
7464 じんぶん (人文の発達)	7489 せい (姓と名)
7465 じんみん (人民)	7490 せいいっぱい (精一杯の努力)
7466 しんり (心理)	7491 せいか (生家を出る)
7467 しんれき (新暦)	7492 せいかく (製革工場)
7468 ずい (ほねの髄)	7493 せいきゅう (請求する)
7469 すいきょ (推挙する)	7494 せいけつ (清潔にする)
7470 すいじゅん (水準)	7495 せいこうほう (正攻法)
7471 すいぞっかん (水族館)	7496 せいさん (清算)
7472 ずいひつ (随筆)	7497 せいじつ (誠実な人)
7473 すいやく (水薬)	7498 せいじょう (正常な人間)
7474 すうこう (崇高な感じ)	7499 せいする (ぼうしを製する)
7475 すうり (数理)	7500 せいそう (校庭の清掃)

7501	せいそう (政争がはげしい)	7526	ぜん (漸をおってする)
7502	せいたい (政体が変わる)	7527	せんえき (戦役)
7503	せいてき (静的な写真)	7528	せんかん (戦艦)
7504	せいどく (精読する)	7529	せんきゃく (先客)
7505	せいび (エンジンの整備)	7530	ぜんけい (前景)
7506	せいぶつ (生物)	7531	せんこう (選手の——)
7507	せいほく (みやこの西北)	7532	ぜんごさく (前後策)
7508	せいやく (かたく誓約する)	7533	せんしゅ (船首)
7509	せいりゃく (政略をもちいる)	7534	せんじる (くすりを——)
7510	せいれつ (きちんと整列する)	7535	せんせい (専制)
7511	せきがいせん (赤外線)	7536	ぜんぜんじつ (前々日)
7512	せきずい (せき髄がいたむ)	7537	せんたん (流行の——)
7513	せきばく (——とした夜)	7538	ぜんてい (それを前提として)
7514	せけん (世間)	7539	せんにゅう (国内に潜入する)
7515	せせらぎ (——の音)	7540	ぜんぱん (前半)
7516	せっかち (——な人)	7541	せんぷうき (扇風機)
7517	せっけい (雪けいをくだる)	7542	せんぼうきょう (潜望鏡)
7518	せっしゃ (拙者にはわからぬ)	7543	せんゆう (戦友)
7519	ぜっせい (絶世の美人)	7544	せんりょう (染料)
7520	せつど (節度あるおこない)	7545	そいね (添い寝)
7521	せつぶん (節分)	7546	そうい (僧衣をまとう)
7522	せつやく (節約)	7547	そうおん (都会の騒音)
7523	せばめる (差を——)	7548	そうかん (雑誌の創刊)
7524	せめる (相手を責める)	7549	そうきゅう (早急な解決)
7525	セレナード	7550	そうけい (早計)

7551 せいそう (正装と略装)	7576 ぜんあく (善悪)
7552 せいだい (盛大な会)	7577 せんか (戦禍であれはてる)
7553 せいてつ (製鉄がさかんだ)	7578 せんがん (洗顔)
7554 せいとん (中を——する)	7579 せんぎょ (鮮魚)
7555 せいひょう (製氷会社)	7580 せんけつ (先決の問題)
7556 せいふん (製粉会社)	7581 せんこう (文学を専攻する)
7557 せいほん (製本)	7582 せんさい (繊細な感情)
7558 せいやく (時間の制約)	7583 せんしゅう (選集)
7559 せいりゅう (清流)	7584 せんしん (勉強に専心する)
7560 せいれん (金属の精錬)	7585 ぜんせい (全盛の時代)
7561 せきがはら (いよいよ今度が 関が原だ)	7586 ぜんそう (禅僧)
7562 せきせつ (積雪)	7587 せんたん (戦端をひらく)
7563 せきばらい (——をする)	7588 せんでん (宣伝)
7564 せこう (工事の施工)	7589 せんにん (かすみを食べるせ ん人)
7565 せそう (世相のみだれ)	7590 ぜんぱん (全般)
7566 せつがん (切願する)	7591 せんぷく (潜伏)
7567 ぜっけい (天下の絶景)	7592 せんぼつ (戦没)
7568 せっしょう (殺生なことをす るな)	7593 せんゆう (土地の占有)
7569 せっせん (円に接線をひく)	7594 せんりょう (占領)
7570 せつとう (窃盗がはいった)	7595 そう (川に沿う道)
7571 ぜっぺき (絶壁によじのぼる)	7596 そうい (話が相違する)
7572 せつりつ (設立)	7597 ぞうか (造花をつくる)
7573 ぜひ (是非を判断する)	7598 そうかん (送還)
7574 セメント	7599 そうぎょ (壮挙)
7575 ゼロ (さしひき——になる)	7600 そうげい (送迎の人たち)

7601	せいそう(盛装して出かける)	7626	せんい(木の繊維)
7602	せいたかくけい(正多角形)	7627	せんか(戦火のためにやける)
7603	せいてん(晴天)	7628	ぜんかん(前巻)
7604	ぜいにく(ぜい肉がつく)	7629	せんきょう(船橋)
7605	せいひれい(正比例)	7630	せんけつ(鮮血が流れ出る)
7606	せいぶん(成分)	7631	せんこう(先行のふたり)
7607	せいまい(精米所)	7632	ぜんじ(漸次ふえてくる)
7608	せいゆ(製油会社)	7633	ぜんしゅう(全集)
7609	せいりょう(声量がある)	7634	せんじん(先陣をあらそう)
7610	せおう(背負う)	7635	せんせき(戦跡をたずねる)
7611	せきこむ(そう——な)	7636	せんぞく(専属の歌手)
7612	せきぞう(石像)	7637	せんち(戦地)
7613	せきばん(石版)	7638	せんど(ここを先途とたたかう)
7614	せさい(世才にたける)	7639	せんねん(しごとに専念する)
7615	せぞく(世俗にながれる)	7640	せんび(戦備をととのえる)
7616	せっき(石器を使っていた時代)	7641	せんぷく(船腹)
7617	せっけっきゅう(赤血球)	7642	せんむ(会社の専務)
7618	せっしょく(節食する)	7643	せんよう(専用のつくえ)
7619	せつぞく(接続する)	7644	ぜんりょう(善良な人)
7620	せつとうご(接頭語)	7645	そう(御希望に——)
7621	せっぺん(雪片がまいおちる)	7646	そうい(創意をいかす)
7622	せつわ(説話)	7647	ぞうか(増加)
7623	ぜひ(——お願いします)	7648	そうかん(壮観なながめ)
7624	せりあう(たがいに——)	7649	そうぎょう(創業200年)
7625	せろん(世論調査)	7650	ぞうけい(——が深い)

7651 せいぞう (製造)	7676 せんい (船医)
7652 せいち (生地)	7677 せんか (かがやかしい戦果)
7653 せいど (制度をかえる)	7678 ぜんかん (全巻)
7654 せいねん (生年がわからない)	7679 せんきょう (戦況の報告)
7655 せいひん (製品)	7680 せんげん (宣言する)
7656 せいべつ (生別と死別)	7681 せんこう (せん光がひらめく)
7657 せいみつ (精密な調査)	7682 せんしつ (船室)
7658 せiyゆう (清遊をこころみる)	7683 せんしゅつ (選出)
7659 せいりょう (清涼の気)	7684 せんじん (先人)
7660 せかす (あまり——とあぶない)	7685 せんせき (戦績)
7661 せきざい (石材をはこぶ)	7686 ぜんそくりょく (全速力で走る)
7662 せきたてる (そう——な)	7687 ぜんち (きずが全治する)
7663 せきべつ (惜別の情)	7688 ぜんと (前途のきぼう)
7664 せじ (お世辞を言う)	7689 ぜんのう (前納)
7665 せたけ (——がのびる)	7690 せんび (船尾と船首)
7666 せっき (節季をしまう)	7691 ぜんぶん (前文)
7667 せつげん (雪原)	7692 せんめい (鮮明な色)
7668 せっしょく (接触する)	7693 せんらん (戦乱)
7669 ぜっそく (絶息する)	7694 せんれい (洗礼をうける)
7670 せっとく (人を説得する)	7695 そう (想を練る)
7671 せっぽう (説法)	7696 そうい (会員の総意)
7672 せと (勝敗の瀬戸)	7697 そうかい (総会)
7673 せひょう (世評を気にする)	7698 ぞうかん (増刊)
7674 ゼリー	7699 そうぎょう (早暁の出発)
7675 せわしい (——食事)	7700 そうけだつ (総毛立つ)

7701	せいそうけん(成層圏を飛ぶ)	7726	ぜんい(善意でしたこと)
7702	せいちゃ(製茶がさかんだ)	7727	せんかい(飛行機の旋回)
7703	せいとう(政党をそしきする)	7728	ぜんかん(善感)
7704	せいねん(青年)	7729	せんきょく(戦局)
7705	せいひん(清貧にあまんずる)	7730	ぜんけん(全権)
7706	せいぼ(歳暮の大売出し)	7731	せんこう(戦功)
7707	せいむ(政務がいそがしい)	7732	せんじつ(先日は失礼)
7708	せいよう(しばらく静養する)	7733	ぜんじゅつ(前述のとおり)
7709	せいりょく(勢力)	7734	ぜんしん(前進をつづける)
7710	せがむ(そう——ものではない)	7735	せんせん(戦線)
7711	せきじ(席次をきめる)	7736	センター
7712	せきとう(石塔をたてる)	7737	せんちゃ(せん茶)
7713	せきむ(責務)	7738	せんとう(先頭にたつ)
7714	せじ(世事にうとい)	7739	せんばい(たばこの専売)
7715	せちがらい(——世の中)	7740	せんび(戦費)
7716	せっきょう(説教をきく)	7741	ぜんぶん(全文)
7717	せつごう(接合する)	7742	ぜんめつ(全滅する)
7718	ぜっしょく(一日絶食する)	7743	せんりがん(千里眼)
7719	せったい(接待係)	7744	ぜんれい(前例)
7720	せつな(その——に)	7745	そう(ころもをきた僧)
7721	ぜつぼう(絶望する)	7746	そういん(僧院)
7722	せど(背戸のたけやぶ)	7747	そうかい(そう快な気持)
7723	せびろ(背広)	7748	ぞうがん(象眼)
7724	せりうり(せり売りをする)	7749	ぞうきょう(増強する)
7725	せわしない(——くらし)	7750	そうけん(壮健にくらす)

7751	せいぞろい (勢ぞろいして出かける)	7776	せんいつ (勉強を専一に)
7752	せいちゅう (成虫と幼虫)	7777	せんがい (選外)
7753	せいとう (製糖会社)	7778	せんき (戦記)
7754	せいねん (成年にたっする)	7779	ぜんきょく (全局を見とおす)
7755	せいふ (政府)	7780	ぜんげん (前言をとりけす)
7756	せいぼ (生母にわかれる)	7781	ぜんこう (善行)
7757	ぜいむしょ (税務署)	7782	せんじつめる (せんじ詰める)
7758	せいり (こん虫の生理)	7783	ぜんしょ (善処する)
7759	せいりょく (精力がある)	7784	せんす (扇子であおぐ)
7760	せき (席につく)	7785	せんせん (宣戦)
7761	せきじゅうじ (赤十字)	7786	せんたい (船体)
7762	せきどう (赤道を通る)	7787	せんちゃく (先着の順に……)
7763	せきめん (赤面する)	7788	せんとう (戦闘の開始)
7764	せしゅう (世襲の財産)	7789	せんぱい (先輩)
7765	せつ (節)	7790	ぜんび (善美をつくす)
7766	ぜっきょう (絶叫する)	7791	ぜんぺん (全編)
7767	ぜっこう (友だちと絶交する)	7792	せんめん (洗面)
7768	せっすい (節水につとめる)	7793	せんりつ (——すべき犯罪)
7769	ぜつだい (絶大な努力)	7794	せんれき (戦歴)
7770	せつない (——思い)	7795	そう (相)
7771	せつまい (節米しましょう)	7796	そういん (総員100名)
7772	せとぎわ (だいじな瀬戸ぎわ)	7797	そうがい (窓外のながめ)
7773	せまる (しめきりが迫る)	7798	そうがんきょう (双眼鏡)
7774	せりおとす (品物をせり落す)	7799	そうきん (父からの送金)
7775	せわやき	7800	そうげん (草原)

7801	せいぞん (生存)	7826	せんいん (船員)
7802	せいちょう (整調をこぐ)	7827	ぜんかい (病気の全快)
7803	せいとう (正統をつぐ)	7828	せんき (戦機がじゅくする)
7804	せいはく (こめを精白する)	7829	せんきん (千金にもかえがたい)
7805	せいぶ (県の西部)	7830	ぜんげん (漸減していく)
7806	せいほう (製法がわからない)	7831	ぜんこう (全校をあげて)
7807	せいめい (生命)	7832	せんしゃ (戦車)
7808	せいり (交通の整理)	7833	せんしょう (戦傷をうける)
7809	せいるい (声涙ともにくだる)	7834	せんすい (泉水)
7810	せき (——をきったように)	7835	ぜんせん (全線)
7811	せきじゅん (席順をきめる)	7836	せんたい (船隊)
7812	せきとめる (川を——)	7837	ぜんちょう (大雨の前兆)
7813	せきよう (夕陽)	7838	せんとう (銭湯に行く)
7814	せじょう (世情にあかるい)	7839	ぜんばい (全敗)
7815	せつ (説)	7840	せんびん (先便)
7816	せっきょく (積極と消極)	7841	ぜんぺん (前編)
7817	ぜっこう (絶好の天気)	7842	ぜんめん (全面)
7818	せつする (節する)	7843	せんりつ (静かな旋律)
7819	せつだん (切断する)	7844	せんれつ (戦列)
7820	せつに (——いのる)	7845	そう (その意気を壮とする)
7821	ぜつむ (絶無)	7846	ぞういん (増員)
7822	せとひき (瀬戸引きのなべ)	7847	そうがい (霜害をうける)
7823	せめ (責め)	7848	そうき (早期に発見する)
7824	せりだす (だんだんとせり出す)	7849	そうぐ (装具を身につける)
7825	せん (選にはいる)	7850	ぞうげん (増減なし)

7851 せいたい (生体)	7876 ぜんいん (全員)
7852 せいちょう (生長・成長)	7877 ぜんかい (前回)
7853 せいとう (製陶業)	7878 ぜんき (前期)
7854 せいばつ (山賊を征伐する)	7879 ぜんきん (前金をはらう)
7855 せいふく (制服)	7880 ぜんご (前後)
7856 せいぼう (声望が高い)	7881 せんこく (宣告)
7857 せいめい (姓名をかく)	7882 せんじゃ (選者)
7858 ぜいり (税吏)	7883 せんしょう (戦勝)
7859 せいいい (しごとに精励する)	7884 せんすい (潜水する)
7860 せき (籍をおく)	7885 ぜんせん (前線の将兵)
7861 せきしょ (関所を通る)	7886 せんだい (先代の主人)
7862 せきとり (関取)	7887 ぜんつう (鉄道の全通)
7863 せく (川を——)	7888 せんだう (案内者の先導)
7864 せじん (世人)	7889 せんぱく (船舶)
7865 ぜつえん (絶縁する)	7890 ぜんびん (前便)
7866 せっきん (しだいに接近する)	7891 せんぼう (先方の考え)
7867 ぜっさん (絶賛をはくする)	7892 せんもん (専門)
7868 せっする (接する)	7893 せんりゃく (戦略)
7869 せっち (設置)	7894 せんれん (洗練される)
7870 せっぱく (期日が切迫する)	7895 そう (あつい層)
7871 せつめい (説明)	7896 ぞうえい (神社の造営)
7872 ぜに (銭)	7897 そうがかり (総掛かりでやる)
7873 せめおとす (攻め落す)	7898 そうぎ (争議)
7874 せりふ (——をまちがえる)	7899 そうくずれ (総くずれになる)
7875 せん (先のこと)	7900 そうこ (倉庫から出す)

7901	せいたい (こん虫の生態)	7926	せんえい (船影が見える)
7902	せいつう (事情に精通する)	7927	ぜんがく (全額)
7903	せいとう (正当なおこない)	7928	ぜんき (前記のとおり)
7904	せいはん (製版)	7929	せんく (先駆)
7905	せいふく (山を征服する)	7930	せんこう (潜行)
7906	せいぼう (制服と制帽)	7931	せんこく (先刻ついたばかり)
7907	せいめい (声明を出す)	7932	ぜんしゃ (前者と後者)
7908	せいりつ (法律が成立する)	7933	ぜんしょう (全焼)
7909	せいいい (政令の公布)	7934	せんする (開会を宣する)
7910	せき (しらかわの関)	7935	ぜんぜん (全然見えない)
7911	せきじょう (会の席上で……)	7936	せんたく (選択の科目)
7912	せきにん (責任)	7937	せんて (先手をうつ)
7913	せく (あまり——と失敗する)	7938	せんだう (船頭)
7914	ゼスチャー	7939	せんばつ (選抜)
7915	せっかい (切開する)	7940	ぜんぶ (前部)
7916	せっく (ももの節句)	7941	ぜんぼう (全ぼうを明らかに する)
7917	せっし (摂氏100度)	7942	せんやく (先約がある)
7918	ぜっする (想像に絶する)	7943	ぜんりゃく (前略)
7919	ぜっちょう (山の絶頂)	7944	そ (人口密度が疎である)
7920	せっぱつまる	7945	ぞう (人間の像を写す)
7921	ぜつめい (ついに絶命した)	7946	ぞうえん (増援の部隊)
7922	せのび (背伸びをする)	7947	そうがく (奏楽に合わせて…)
7923	せめく (責苦)	7948	そうぎ (葬儀)
7924	せりょう (まずしい人を施療 する)	7949	ぞうげ (象げのさいく)
7925	ぜん (禅のきょうち)	7950	そうご (相互の連らく)

7951 せいたい (声帯)	7976 ぜんえい (テニスの前衛)
7952 せいてい (制定)	7977 せんかくしゃ (先覚者)
7953 せいどう (制動をかける)	7978 せんきやく (船客)
7954 せいひ (成否のわかれめ)	7979 ぜんけい (全景)
7955 せいぶつ (静物の写生)	7980 せんこう (潜航)
7956 せいほうけい (正方形)	7981 ぜんこく (全国)
7957 せいもん (正門からはいる)	7982 ぜんしゃく (月給の前借)
7958 ぜいりつ (税率が変わる)	7983 ぜんしょう (全勝)
7959 せいれき (西暦1958年)	7984 ぜんせ (前世からのやくそく)
7960 せき (2と3の積) /	7985 せんせんげつ (先々月)
7961 せきしょく (赤色)	7986 ぜんだて (お——をする)
7962 せきのやま (それぐらいが関 の山だ)	7987 せんてい (選定)
7963 せく (かぜをひいてしきりに ——)	7988 ぜんどう (少年を善導する)
7964 せせこましい (いかにも—— 感じ)	7989 せんぱつ (先発)
7965 せっかく (——来たのに……)	7990 せんぷう (旋風)
7966 せっけい (設計図)	7991 ぜんぽう (前方をよく見る)
7967 せつじつ (切実な願い)	7992 ぜんやく (全訳)
7968 せっせい (節制)	7993 せんりゅう (川柳)
7969 せつでん (節電しましょう)	7994 そあく (粗悪な品)
7970 せつび (設備)	7995 そうあん (創案)
7971 ぜつめつ (絶滅した生物)	7996 そうおう (身分に相応する)
7972 せばまる (差が——)	7997 そうがく (総額100円)
7973 せめて (——話だけでも)	7998 ぞうき (雑木の林)
7974 せる (たがいにねだんを——)	7999 そうけい (総計100円になる)
7975 ぜん (善は急げ)	8000 そうこう (草稿を書く)

8001	そうごう (相好をくずす)	8026	そんすう (尊崇のまと)
8002	ぞうさく (造作)	8027	ぞんめい (存命)
8003	そうしょう (総称)	8028	だいあん (代案)
8004	ぞうぜい (増税)	8029	たいおん (体温をはかる)
8005	そうぞく (相続する)	8030	たいかん (耐寒の設備)
8006	そうち (装置)	8031	たいきゃく (退却)
8007	そうとう (相当にさむい)	8032	たいけ (大家)
8008	そうば (相場)	8033	たいさ (大差がない)
8009	そうまとう (そうま燈)	8034	たいし (太子)
8010	そうりょう (送料は8円です)	8035	たいしゅう (体臭)
8011	そうろん (争論)	8036	たいしょく (大食)
8012	そぐ (おもしろみを——)	8037	たいせき (退席)
8013	そくじ (即時の返答)	8038	だいたすう (大多数の意見)
8014	そくしん (工事を促進する)	8039	たいど (態度)
8015	そくど (速度)	8040	たいにん (退任をもとめる)
8016	ぞくめい (俗名)	8041	たいひせん (待避線)
8017	そこく (祖国)	8042	たいべつ (大別する)
8018	そしな (粗品)	8043	だいもく (題目)
8019	そそのかす	8044	たいらげる (平らげる)
8020	そっけない (——態度)	8045	たいりょう (大猟)
8021	そどく (漢文の素読)	8046	たえなる (——楽の音)
8022	そばだてる (耳を——)	8047	たがえる (やくそくを——)
8023	そばく (——な人々)	8048	たがやす (耕やす)
8024	そらぞらしい (——うそを言う)	8049	たくじしょ (託児所)
8025	そんえき (損益の計算)	8050	たくわえる

8051 そうごう (意見を総合する)	8076 そんする (存する)
8052 ぞうさん (増産)	8077 そんらく (村落)
8053 ぞうしょう (蔵相)	8078 たいい (大意をとる)
8054 そうせつ (創設)	8079 たいか (退化)
8055 そうぞく (僧俗)	8080 たいかん (大観)
8056 ぞうちく (家の増築)	8081 たいきゅうりょく (耐久力)
8057 そうとう (力に相当したしごと)	8082 たいけい (体刑をうける)
8058 ぞうはい (増配)	8083 たいさい (大祭)
8059 そうむ (総務)	8084 たいじ (胎児)
8060 そうりょう (総領のむすこ)	8085 たいしゅつ (退出)
8061 そうろん (総論)	8086 たいしん (耐震家屋)
8062 ぞく (俗にいう……だ)	8087 たいせき (はこの体積)
8063 ぞくじ (俗字を書く)	8088 たいだん (対談の記事)
8064 ぞくじん (俗人)	8089 たいとう (対等のとりあつかい)
8065 そくとう (即答をもとめる)	8090 だいにん (代人を出す)
8066 そくめん (側面を見る)	8091 だいひつ (代筆の手紙)
8067 そこそこ (——に帰る)	8092 たいほ (犯人の逮捕)
8068 そしょく (粗食)	8093 タイヤ (——のパンク)
8069 そそる (興味を——)	8094 たいらん (大乱)
8070 そっこう (即効のあるくすり)	8095 たいりょく (体力)
8071 そとのり (はこの外のり)	8096 たえる (寒さに耐える)
8072 そびえる (——山)	8097 たがく (多額の金)
8073 そぼふる (——雨)	8098 たからか (声高らかに歌う)
8074 そり (——を引く犬)	8099 たくしん (宅診)
8075 そんがい (ひどい損害)	8100 たけ (身の——をはかる)

8101	そうごん (莊嚴な音楽)	8126	そんずる (損ずる)
8102	そうじ (相似した形)	8127	そんりつ (存立があやうい)
8103	そうしょく (装飾をほどこす)	8128	たいい (体位が向上する)
8104	ぞうせつ (増設)	8129	たいか (滞貨をさばく)
8105	そうそふ (そう祖父)	8130	たいがん (ひさしぶりの対顔)
8106	そうちゃく (装着)	8131	たいぎょう (大業をなしとげる)
8107	そうどう (騒動がおこる)	8132	たいけい (体系をたてる)
8108	そうはく (顔面がそう白だ)	8133	たいざい (東京に滞在する)
8109	そうめい (——な人)	8134	だいし (台紙)
8110	そうりょうじ (総領事)	8135	だいしょ (代書)
8111	そうわ (そう話をさしはさむ)	8136	たいじん (社長の退陣)
8112	ぞく (賊をつかまえる)	8137	たいせん (大戦)
8113	ぞくじ (俗事にかまける)	8138	だいたん (大胆なこども)
8114	そくする (実際に即する)	8139	たいとう (帯刀をゆるす)
8115	そくばい (即売いたします)	8140	だいのう (大脳の働き)
8116	そくりょう (土地の測量)	8141	だいひょう (代表)
8117	そこなう (きげんを——)	8142	たいほ (技術の退歩)
8118	そしる (口ぎたなく——)	8143	たいやく (ことしは大やくだ)
8119	そち (適当な措置をとる)	8144	だいいり (代理)
8120	ぞっこう (続行する)	8145	タイル
8121	そとまわり (外回り)	8146	たえる (息が絶える)
8122	そびやかす (かたを——)	8147	だがし (だ菓子)
8123	そまつ (粗末)	8148	たかん (多感な青年)
8124	そりかえる (表紙が——)	8149	たくす (のぞみを託す)
8125	ぞんがい (存外においしい)	8150	たけ (他家)

8151	そうさ (犯人の捜査)	8176	ぞんずる (存ずる)
8152	そうじて (総じてできがわるい)	8177	そんりつ (村立の学校)
8153	そうしん (送信)	8178	たいい (大尉)
8154	そうぜん (場内が騒然とする)	8179	たいか (絵の大家)
8155	そうそぼ (そう祖母)	8180	たいがん (対岸の火事)
8156	そうちょう (早朝)	8181	たいぎょう (全員の怠業)
8157	ぞうとうひん (贈答品)	8182	たいけい (隊形をととのえる)
8158	そうはつ (3分の早発)	8183	だいざい (題材をえらぶ)
8159	そうもく (草木がかれる)	8184	たいした (——人出)
8160	そうりょく (総力をあげて…)	8185	たいしょう (対象)
8161	そえがき (手紙の添書き)	8186	たいじん (対人関係)
8162	ぞくあく (俗悪な本)	8187	たいせん (対戦する)
8163	そくじつ (即日おとどけします)	8188	だいち (大地をふむ)
8164	ぞくする (属する)	8189	だいとうりょう (大統領)
8165	そくばく (束縛される)	8190	たいは (自動車の大破)
8166	そくりょく (速力がはやい)	8191	たいびょう (大病)
8167	そこに (底荷)	8192	たいぼう (待望の雨)
8168	そせい (粗製の品)	8193	たいやく (大役をひきうける)
8169	そちゃ (粗茶ですが……)	8194	だいい (内裏)
8170	そっこく (即刻おいでください)	8195	たいれつ (隊列をみだす)
8171	そとわ (——にあるく)	8196	だえんけい (だ円形)
8172	そびれる (言い——)	8197	たかだい (高台)
8173	そむく (命令に——)	8198	だきこむ (抱き込む)
8174	そりたて (——の顔)	8199	たくそう (託送)
8175	そんがん (尊顔を拝する)	8200	たげい (多芸)

8201	そうさ (きかいの操作)	8226	そんぞく (存続する)
8202	そうしゃ (走者)	8227	た (他のこと)
8203	ぞうしん (増進)	8228	たいい (王の退位)
8204	ぞうせん (造船)	8229	たいか (大火がおこる)
8205	そうたい (総体によくできる)	8230	だいかん (代官)
8206	そうちょう (総長)	8231	たいきょく (対局)
8207	そうどういん (総動員)	8232	たいけん (自分の体験)
8208	そうばん (早晩かれてしまう)	8233	たいさく (大作)
8209	ぞうもつ (臓物)	8234	たいして (——遠くない)
8210	ぞうりん (造林)	8235	たいしょう (隊商)
8211	そえもの (添え物)	8236	だんじんぶつ (大人物)
8212	ぞくえい (映画の続映)	8237	たいぞう (それを退蔵してお く)
8213	ぞくしゅう (俗習にしたがう)	8238	だいち (台地)
8214	そくせい (速成の教育)	8239	たいとく (体得する)
8215	そくはつ (束髪にゆう)	8240	たいはい (大敗)
8216	ぞくろん (俗論)	8241	たいぶ (大部の書物)
8217	そこねる (きげんを——)	8242	だいほん (台本のとおりに… …)
8218	そぜい (租税をおさめる)	8243	だいやく (代役をつとめる)
8219	ぞっかい (俗界)	8244	だいいき (大力)
8220	ぞっこく (属国)	8245	だいろっかん (第六感)
8221	そなえつける (備え付ける)	8246	たおやか (——なすがた)
8222	そふ (祖父)	8247	たかくけい (多角形)
8223	そむける (顔を——)	8248	たきだし (たき出し)
8224	そりみ (そり身になる)	8249	たくち (宅地)
8225	そんきん (損金はわずかだ)	8250	だげき (打撃)

8251	ぞうさ (——なくできる)	8276	そんだい (尊大な態度)
8252	そうじゅう (自動車の操縦)	8277	タービン (——機関車)
8253	ぞうすい (増水)	8278	だいいちにんしゃ (第一人者)
8254	そうせんきょ (総選挙)	8279	だいか (代価)
8255	そうだい (学級の総代)	8280	だいかん (大寒があける)
8256	ぞうちょう (増長する)	8281	たいきん (大金をもつ)
8257	そうとく (総督)	8282	たいげん (体言と用言)
8258	そうび (装備をととのえる)	8283	たいさく (対策をねる)
8259	ぞうよ (記念品を贈与する)	8284	たいしゃ (退社)
8260	そうれい (葬礼)	8285	たいしょう (それとこれと対照する)
8261	そえる (添える)	8286	たいすい (耐水性がある)
8262	そくおう (事態に即応する)	8287	だいそれた (大それたのぞみ)
8263	ぞくしゅう (俗臭をおびる)	8288	たいちょう (隊長)
8264	そくせき (即席のりょうり)	8289	だいどく (祝辞の代読)
8265	ぞくはつ (事故が続発する)	8290	だいばかり (台ばかり)
8266	ソケット	8291	タイプ
8267	そこはかとない (——かなしみ)	8292	たいまつ (——をともし)
8268	そせき (礎石をすえる)	8293	ダイヤル
8269	ぞっかん (続刊)	8294	たいりく (大陸)
8270	そっせん (率先しておこなう)	8295	たえいる (絶え入るように泣く)
8271	そなえる (火事に備える)	8296	たか (——をくくる)
8272	ソフト	8297	たかね (高値で売る)
8273	そめる (花が散り——)	8298	たぎる (湯が——)
8274	そりゃく (粗略にする)	8299	たくましい
8275	そんげん (尊厳な態度)	8300	たけだけしい

8301	そうさい (総裁)	8326	そんちょう (尊重する)
8302	ぞうしゅう (こめの増収をはかる)	8327	タール
8303	ぞうすい (雑炊をすする)	8328	たいいん (退院)
8304	そうそう (早々)	8329	たいかい (退会する)
8305	そうだい (壮大なけしき)	8330	たいき (大気)
8306	そうで (総出で見物に行く)	8331	だいぎん (代金をはらう)
8307	そうなん (山で——する)	8332	たいこ (太古の人類)
8308	そうふ (書るいを送付する)	8333	たいさつ (大冊の書物)
8309	そうらん (騒乱がおこる)	8334	だいじゃ (——をたいじする)
8310	そうれい (壮麗な宮殿)	8335	たいじょう (退場)
8311	そがい (進行を阻害する)	8336	だいすう (代数)
8312	ぞくぐん (賊軍をたいらげる)	8337	たいだ (怠惰な人)
8313	ぞくしゅつ (きぼう者の続出)	8338	だいちょう (台帳をしらべる)
8314	そくたつ (速達で出す)	8339	タイトル
8315	ぞくへん (続編)	8340	だいはちぐるま (大八車)
8316	そげる (板が——)	8341	たいぶつレンズ (対物レンズ)
8317	そぎつ (粗雑なつくり)	8342	だいみょう (大名)
8318	そせん (祖先をたつとぶ)	8343	たいよう (大洋にのりだす)
8319	そっき (速記)	8344	たいりつ (対立する)
8320	そっちゅう (途中でたおれる)	8345	たえがたい (耐えがたい)
8321	ソナタ (ピアノ——)	8346	たが (——がはずれる)
8322	ソプラノ	8347	たかね (——の花)
8323	そもそも (——のはじまりは)	8348	たく (宅にあります)
8324	そる (板が——)	8349	たくみ (巧み)
8325	そんざい (存在)	8350	だけつ (こうしょうの妥結)

8351	そうさい (貸し借りを相殺する)	8376	そんどう (村道)
8352	そうじゅく (早熟なこども)	8377	たい (体)
8353	そうする (音楽を奏する)	8378	たいえき (退役の将校)
8354	そうぞう (天地の創造)	8379	たいがい (——晴れるでしょう)
8355	ぞうだい (増大)	8380	たいぎ (大義にもとる)
8356	そうてい (本の装丁)	8381	たいくう (滞空)
8357	そうに (僧尼)	8382	たいこう (対抗する)
8358	そうふうき (送風機)	8383	たいさん (退散する)
8359	そうりだいじん (総理大臣)	8384	たいしゃく (貸借をはっきりする)
8360	そうれつ (壮烈なたたかい)	8385	だいしょう (代償をもとめる)
8361	そかく (組閣にとりかかる)	8386	たいする (対する)
8362	ぞくご (俗語)	8387	だいたい (代替の品)
8363	そくじょ (息女)	8388	だいちょう (大腸)
8364	そくだん (即断の必要がある)	8389	だいなし (台なしにする)
8365	そくほう (速報)	8390	たいはん (大半かたづいた)
8366	そこい (底意)	8391	だいぶぶん (大部分)
8367	そじ (たくみな措辞)	8392	だいめいし (代名詞)
8368	そそう (つい粗相をする)	8393	たいよう (大要を話す)
8369	ぞっきょく (俗曲)	8394	たいりゃく (大略を話す)
8370	そっちょく (率直に言う)	8395	たえざる (絶えざる研究)
8371	そなわる (備わる)	8396	たかい (他界)
8372	そぶり (——で知らせる)	8397	たかびしゃ (高飛車にでる)
8373	そよう (素養がある)	8398	たく (卓をたたく)
8374	それがし (——という人)	8399	たくらむ (何事かを——)
8375	ぞんじあげる (存じ上げる)	8400	たけなわ (秋——となる)

8401	そうさく (創作)	8426	ぞんぶん (存分に食べる)
8402	そうしゅん (早春)	8427	たい (隊)
8403	ぞうする (問題を蔵する)	8428	たいおう (対応の関係)
8404	そうぞう (想像があたった)	8429	たいかく (体格)
8405	そうだち (総立ちになる)	8430	たいぎ (大儀なしごと)
8406	ぞうてい (本を贈呈する)	8431	たいぐう (待遇がよい)
8407	そうねん (壮年と青年)	8432	たいこう (対校の競技)
8408	ぞうへいきょく (造幣局)	8433	だいさんにんしょう (第三人称)
8409	そうりつ (学校の創立)	8434	だいしゃりん (大車輪でやる)
8410	そうろう (早老をふせぐ)	8435	たいしょうすう (帯小数)
8411	そがん (訴願する)	8436	たいせい (しごとを大成する)
8412	そくざ (即座に答える)	8437	だいだい (代々の主人)
8413	ぞくしょう (賊将)	8438	たいてい (大帝)
8414	そくだん (速断)	8439	ダイナマイト
8415	ぞくみょう (俗名)	8440	たいひ (甲と乙との対比)
8416	そこいじ (底意地がわるい)	8441	タイプライター
8417	そしき (会を組織する)	8442	たいめん (体面をたもつ)
8418	そそぐ (注ぐ)	8443	だいよう (代用)
8419	そっきん (即金ではらう)	8444	たいりょう (大量)
8420	そっとう (卒倒する)	8445	たえず (絶えず努力する)
8421	そねむ	8446	だかい (打開)
8422	そば (祖母)	8447	たかぶる (神経が高ぶる)
8423	そらす (からだを——)	8448	たぐい (——がない)
8424	それる (話が——)	8449	だくりゅう (濁流)
8425	そんしつ (損失)	8450	たけん (他見をはばかり)

8451	そうさく (家宅の搜索)	8476	そんみん (村民)
8452	ぞうしょ (蔵書のせいり)	8477	たい (別に他意はない)
8453	そうぜい (総勢500人)	8478	だいおうじょう (大往生をと げる)
8454	そうぞうしい (騒々しい)	8479	たいがく (退学)
8455	そうだつ (選手権の争奪)	8480	だいぎし (代議士)
8456	そうでん (送電)	8481	たいぐん (大軍)
8457	そうは (500 m を走破した)	8482	たいこう (退校)
8458	そうべつ (送別の会)	8483	たいし (大使)
8459	そうりょ (寺の僧りょ)	8484	たいしゅう (大衆)
8460	そうろうぶん (そうろう文で 書く)	8485	だいじょうふ (大丈夫として のほこり)
8461	そぐ (竹の先を——)	8486	たいせい (大勢がきまる)
8462	そくし (即死する)	8487	だいだいてき (大々的におこ なう)
8463	ぞくしょう (俗称)	8488	たいてき (大敵)
8464	そくてい (測定)	8489	たいなん (大難にあう)
8465	ぞくむき (俗向きの本)	8490	タイプスト
8466	そこう (素行がおさまらない)	8491	たいぶんすう (帯分数)
8467	そしつ (いい素質にめぐまれ る)	8492	たいめん (ひさしぶりの対面)
8468	そそくさ (——と出かける)	8493	たいよく (大欲)
8469	ソックス	8494	たいりょう (大漁)
8470	そとがまえ (外構えはりっぱ だ)	8495	たえだえ (息も絶え絶えに)
8471	その (園に咲く花)	8496	たがう (やくそくに——)
8472	そぼう (粗暴な人間)	8497	たかめる (高める)
8473	そらす (目を——)	8498	だくおん (濁音)
8474	そろい (——の服)	8499	たぐる (糸を——)
8475	そんしょう (損傷をうける)	8500	たこう (多幸をいのる)

8501 たごん (他言するな)	8526 だんぜん (断然これに決める)
8502 たじつ (他日を期する)	8527 たんてい (探偵)
8503 たしょう (多少)	8528 だんねん (しかたなく断念した)
8504 たぜい (多勢)	8529 だんめん (断面)
8505 ただす (わからない点を——)	8530 ち (天と地)
8506 たち (気の弱い——)	8531 ちがいだな (とこのまと違いだな)
8507 たちぎき (立ち聞き)	8532 ちきょうだい (乳兄弟)
8508 たちば (立場)	8533 ちけむり (血煙)
8509 だちん (お——をもらう)	8534 ちじん (知人)
8510 ダッシュ	8535 ちぢみあがる (縮み上がる)
8511 だっそう (脱走)	8536 ちなみに (——井上先生は…)
8512 だつらく (脱落)	8537 ちまた (——の声)
8513 たてつけ (——のわるい家)	8538 ちゃく (5時30分着の列車)
8514 たとえる (うさぎとかめの話に——)	8539 ちゃくにん (先生の着任)
8515 たのもし (頼もしい)	8540 ちゃばなし (茶話)
8516 だぼくしょう (打撲傷)	8541 ちゅうかい (仲介はおことわり)
8517 ダム (——に水をためる)	8542 ちゅうけい (中継する)
8518 ためん (多面にわたる)	8543 ちゅうじつ (忠実な人)
8519 たらず (1 km たらずの道)	8544 ちゅうぜい (中肉中ぜいの人)
8520 たわけ (——者)	8545 ちゅうにかい (中二階のへや)
8521 たんいつ (単一)	8546 ちゅうもく (注目する)
8522 だんがん (弾丸)	8547 ちょうか (町家のむすめ)
8523 たんこう (炭鉱)	8548 ちょうさ (調査)
8524 たんしゅく (短縮する)	8549 ちょうしょう (人にちょう笑される)
8525 たんずる (嘆ずる)	8550 ちょうせき (朝夕は涼しい)

8551 たさい (多彩なもよおし)	8576 だんそう (男装)
8552 たしなむ	8577 だんてい (断定をくだす)
8553 たじょう (多情)	8578 たんぱ (短波の放送)
8554 たそがれ (——のともしび)	8579 だんやく (弾薬)
8555 たたずまい (美しい——)	8580 ち (治にいて乱を忘れず)
8556 たちあう (立ち合う)	8581 ちがいほうけん (治外法権)
8557 たちきる (紙を——)	8582 ちぎる (かたく契る)
8558 たちはだかる (前に——)	8583 ちご (お稚児さん)
8559 たつ (絶つ・断つ)	8584 ちすい (治水)
8560 だっしゅつ (脱出)	8585 チック (——とポマード)
8561 だったい (脱退)	8586 ちなむ (祭に——行列)
8562 たて (——で防ぐ)	8587 ちまなこ (血眼になってさがす)
8563 たてつぼ (建坪)	8588 ちゃくい (着衣)
8564 たどく (多読)	8589 ちゃくふく (着服してにげる)
8565 たば (大きな——)	8590 ちゃぶだい (ちゃぶ台)
8566 たま (——の休日)	8591 ちゅうがい (虫害をうける)
8567 たむける (霊前に花を——)	8592 ちゅうげん (忠言を受け入れる)
8568 たもつ (保つ)	8593 ちゅうしゃ (駐車をきんずる)
8569 たりき (他力)	8594 ちゅうせき (柱石とたのむ人)
8570 たわごと (たわ言をいう)	8595 ちゅうにく (中肉)
8571 だんいん (団員)	8596 ちゅうや (昼夜)
8572 たんき (短気な男)	8597 ちょうか (時間が超過する)
8573 だんこう (断行する)	8598 ちょうざい (調剤する)
8574 たんじゅん (単純な考え)	8599 ちょうじょう (長上に対する礼)
8575 だんずる (談ずる)	8600 ちょうせつ (高さを調節する)

8601 たさつ (他殺)	8626 だんそう (地震で断層ができる)
8602 たしなめる	8627 たんでん (炭田)
8603 だしん (打診)	8628 たんぱく (淡白な味)
8604 たた (世間には多々あること)	8629 だんゆう (女優と男優)
8605 たたずむ (庭に——)	8630 ちあん (治安)
8606 たちいた (裁ち板)	8631 ちかう (神に誓う)
8607. たちきる (にげ道を——)	8632 ちく (地区)
8608 たちまさる (兄よりも——)	8633 ちこく (遅刻)
8609 たつ (たんものを裁つ)	8634 ちすじ (血筋)
8610 たつじん (達人)	8635 ちつじょ (秩序ただしく……)
8611 たって (——ほしがる)	8636 ちのう (知能のすぐれた人)
8612 たてうり (建売りの家)	8637 ちまよう (血迷う)
8613 たてまえ (建前をする)	8638 ちゃくがん (着眼がすぐれている)
8614 たどたどしい	8639 ちゃくもく (それに着目する)
8615 だは (打破する)	8640 ちゃみせ (茶店)
8616 たまざん (たま算がじょうずだ)	8641 ちゅうがい (中外に知らせる)
8617 ためいき (ため息)	8642 ちゅうこ (中古の時代)
8618 たやす (絶やす)	8643 ちゅうしゃく (注釈を加える)
8619 たりゅう (他流)	8644 ちゅうぜつ (研究を中絶する)
8620 たわむ (枝が——)	8645 ちゅうにゅう (水を注入する)
8621 たんおん (単音)	8646 ちゅうりつ (中立の立場)
8622 たんき (短期)	8647 ちょうかい (町会を開く)
8623 たんこうしょく (淡黄色)	8648 ちょうじゃ (長者)
8624 たんしょ (短所と長所)	8649 ちょうしょく (朝食)
8625 たんせい (端正な顔つき)	8650 ちょうせん (ちょう戦する者が ない)

8651	ださん (打算)	8676	だんそう (ピアノの演奏)
8652	だしぬく (出し抜く)	8677	たんとう (担当のかかり)
8653	たすう (多数)	8678	だんぱん (談判する)
8654	ただい (多大の効果)	8679	だんらく (段落をくぎる)
8655	ただちに (直ちに)	8680	ちい (地位)
8656	たちいる (立ち入る)	8681	ちかく (知覚)
8657	たちこめる (けむりが立ち込める)	8682	ちぐう (知遇を得る)
8658	たちまち (——売り切れる)	8683	ちし (致死)
8659	だつい (脱衣)	8684	ちせい (知性がある)
8660	だっすい (脱水)	8685	ちっそく (窒息する)
8661	たっとい (尊い)	8686	ちばしる (目が血走る)
8662	たてえり (立てえり)	8687	ちみ (地味がこえる)
8663	たてまえ (現金売りを——と する)	8688	ちゃくざ (着座)
8664	たどりつく	8689	ちゃくよう (洋服を着用する)
8665	たはた (田畑)	8690	ちゅう (宙にうかぶ)
8666	たまたま (——手紙をよこす)	8691	ちゅうがくねん (中学年)
8667	ためいけ (ため池)	8692	ちゅうこく (忠告をきく)
8668	たやすい (——問題)	8693	ちゅうしょう (ひとを中傷する)
8669	たる (信ずるに足る人物)	8694	ちゅうせん (宝くじの抽せん)
8670	たわむれ	8695	ちゅうねん (中年の人)
8671	たんか (担架ではこぶ)	8696	ちゅうりゃく (中略)
8672	たんきゅう (真理の探究)	8697	ちゅうかく (聴覚がするどい)
8673	たんこうしょく (淡紅色)	8698	ちゅうしゅ (ラジオの聴取)
8674	だんしょう (談笑しながら食 事する)	8699	ちゅうじる (長じる)
8675	たんせい (嘆声をもらす)	8700	ちゅうぞう (彫像)

8701 たじ (他事)	8726 たんそく (嘆息する)
8702 たしまえ (——をはらう)	8727 たんどく (単独の行動)
8703 たすうけつ (多数決できめる)	8728 たんぶん (短文)
8704 たたえる (おこないを——)	8729 だんらん (一家——)
8705 たたみかける (たたみかけて 聞く)	8730 ちいき (地域)
8706 たちうち (とても——できない い)	8731 ちかごろ (近ごろ)
8707 たちさる (立ち去る)	8732 ちくじ (逐次出発する)
8708 たちまわり (立ち回り)	8733 ちじ (知事)
8709 だっきゃく (脱却)	8734 ちせい (地勢がけわしい)
8710 たっする (達する)	8735 ちつづき (血続き)
8711 たつとぶ (尊ぶ)	8736 ちばなれ (乳離れ)
8712 たてかえる (金を立て替える)	8737 ちみつ (——な頭)
8713 たてまし (離れを建増しする)	8738 ちゃくじつ (着実なしごとぶ り)
8714 たどる (山道を——)	8739 ちゃじん (茶人)
8715 たばねる (まきを——)	8740 ちゅう (注をつける)
8716 たまもの (努力の——)	8741 ちゅうがら (中柄)
8717 ためこむ (金を——)	8742 ちゅうごし (中腰になって見 る)
8718 たより (——にする)	8743 ちゅうじょう (柱状グラフ)
8719 だるい (からだが——)	8744 ちゅうぞう (お金の鑄造)
8720 たわむれる	8745 ちゅうのり (宙乗り)
8721 たんか (単価)	8746 ちゅうりゅう (川の中流)
8722 だんけつ (団結)	8747 ちょうかん (長官)
8723 たんさい (淡彩の絵)	8748 ちょうじゅ (長寿をたもつ)
8724 たんしょうとう (探照燈)	8749 ちょうしん (長針)
8725 たんせい (きくを丹精する)	8750 ちょうそく (長足の進歩)

8751 たじ (多事多端)	8776 だんたい (団体)
8752 だしゃ (打者)	8777 だんどり (段取りをつける)
8753 たずさえる	8778 たんぺん (短編映画)
8754 たたえる (水を——)	8779 だんりゅう (暖流と寒流)
8755 たたみこむ (胸に——)	8780 ちいく (知育と体育)
8756 たちおうじょう (立往生)	8781 ちかしい (近い間がら)
8757 たちつくす (その間立ち尽くす)	8782 ちくせき (蓄積)
8758 たちまわる (立ち回る)	8783 ちしお (血潮)
8759 だつごく (脱獄)	8784 ちそう (地層)
8760 だっする (脱する)	8785 チップ
8761 たづな (手綱)	8786 ちひょう (地表)
8762 たてがみ (馬の——)	8787 ちみどろ (血みどろ)
8763 たてまつる (奉る)	8788 ちゃくしゅ (着手する)
8764 たなあげ (問題を——にする)	8789 ちゃだい (茶代)
8765 たび (旅に出る)	8790 ちゅう (知友を得る)
8766 だまらせる (黙らせる)	8791 ちゅうかん (中間)
8767 ためし (——に食べてみる)	8792 ちゅうざ (とちゅうで中座する)
8768 たより (——がある)	8793 ちゅうしょうてき (抽象的)
8769 たるむ (つなが——)	8794 ちゅうだん (放送が中断する)
8770 だん (暖をとる)	8795 ちゅうはん (昼飯)
8771 たんか (短歌)	8796 ちゅうりゅう (中流の家庭)
8772 たんけん (探険)	8797 ちょうけい (長兄)
8773 だんざい (断罪に服する)	8798 ちょうしゅう (聴衆)
8774 だんしょく (暖色)	8799 ちょうず (——をつかう)
8775 だんせい (男性)	8800 ちょうだい (長大)

8801	だし (祭の山車)	8826	たんたん (——たる道路)
8802	だじゃく (惰弱な心)	8827	だんなでら (だんな寺)
8803	たずさわる	8828	だんぺん (断片)
8804	たたき (——に水を流す)	8829	だんりょく (ゴムの弾力)
8805	ただよう (波に——)	8830	チーズ
8806	たちおくれる (立ちおくれる)	8831	ちかづき (あの人と近づきになる)
8807	たちづめ (立ちづめ)	8832	ちくぞう (築造する)
8808	たちむかう (立ち向かう)	8833	ちしき (知識)
8809	たっし (上からのお達し)	8834	ちそく (遅速をあらそう)
8810	たつせ (立つ瀬がない)	8835	ちてき (知的な顔つき)
8811	たっぴつ (達筆)	8836	ちびる (筆の先が——)
8812	たてきる (戸を——)	8837	ちめいしょう (致命傷)
8813	だてら (女——に)	8838	ちゃくしょく (着色)
8814	たなびく (かすみが——)	8839	ちゃたく (茶たくと茶わん)
8815	たびかさなる (事件が——)	8840	ちゆう (知勇をかねそなえる)
8816	たまらない (あつくて——)	8841	ちゅうかん (昼間)
8817	ためし (そんな——はない)	8842	ちゅうざい (駐在の巡查)
8818	たよる (母に——)	8843	ちゅうしん (円の中心)
8819	だれかれ (——の区別なく)	8844	ちゅうちょ (——なく実行する)
8820	だん (校長の談によれば.....)	8845	チューブ
8821	たんか (——をきる)	8846	ちゅうわ (中和する)
8822	だんげん (断言する)	8847	ちょうけし (帳消しにする)
8823	たんさく (探索する)	8848	ちょうしゅう (会費を徴収する)
8824	たんしん (单身)	8849	ちょうずる (長ずる)
8825	だんせい (男声の合唱)	8850	ちょうたつ (品物の調達)

8851 たしかめる (確かめる)	8876 たんち (探知する)
8852 だしゅ (船のだ手)	8877 たんに (単にそれだけではない)
8853 たずねる (先生の家を——)	8878 たんぽ (担保)
8854 たださえ (——うるさいのに)	8879 たんれん (からだを鍛練する)
8855 たたる (なまけたのが——)	8880 チェーン (じてんしゃの——)
8856 たちかえる (はじめにたちか えて考える)	8881 ちからずく (力ずくで取る)
8857 たちどころに (——なおる)	8882 ちくてん (——する)
8858 たちもどる (立ちもどる)	8883 ちじく (地軸)
8859 だつじ (脱字)	8884 ちたい (山がく地帯)
8860 たっせい (もくひょうの達成)	8885 ちてん (地点)
8861 だつぼう (脱帽)	8886 ちへいせん (地平線)
8862 たてぐ (建具)	8887 ちゃか (茶菓のもてなし)
8863 だとう (打倒する)	8888 ちゃくせき (着席)
8864 たなん (多難な時代)	8889 ちゃっこう (来年着工の予定)
8865 たへんけい (多辺形)	8890 ちゅうい (注意)
8866 たまり (力士が——にはいる)	8891 ちゅうぎ (忠義)
8867 ためす (実力を——)	8892 ちゅうし (注視のまと)
8868 だらく (墮落する)	8893 ちゅうしん (いちはやく注進 する)
8869 だれそれ (——の言うことは)	8894 ちゅうてつ (鑄鉄)
8870 だん (断をくだす)	8895 ちゅうふく (山の中復)
8871 だんかい (段階)	8896 ちょういん (条約の調印)
8872 たんご (単語)	8897 ちょうこう (講義を聴講する)
8873 たんざん (炭山)	8898 ちょうじゅう (鳥獣)
8874 たんしん (短針)	8899 ちょうせい (御注文により調 製)
8875 だんせい (ゴムの弾性)	8900 ちょうだつ (時代を超脱する)

8901	だししぶる（出し渋る）	8926	だんちがい（段違いの強さ）
8902	たしゅう（他宗）	8927	たんにな（担任の先生）
8903	だする（にゅうじゃくに墮する）	8928	だんぼう（スチームの暖房）
8904	ただし（毎日……、但し、あしたは……）	8929	だんろん（談論する）
8905	ただれる	8930	ちか（地下）
8906	たちき（立ち木）	8931	ちからぞえ（力添え）
8907	たちなおる（立ち直る）	8932	ちくでんち（蓄電池）
8908	たちもの（神仏に断ち物をする）	8933	ちしつ（地質）
8909	だっしめん（脱脂綿）	8934	ちち（遅々として）
8910	だつぜい（脱税）	8935	ちとく（知徳をみがく）
8911	たつまき（——がおこる）	8936	ちほう（地方）
8912	たてこむ（立て込む）	8937	ちゃかす（ひとの話を——）
8913	だとう（妥当な方法）	8938	ちゃくそう（着想）
8914	たにん（他人）	8939	ちゃのゆ（茶の湯）
8915	たほう（他方）	8940	ちゅうおう（中央）
8916	だまりこむ（黙りこむ）	8941	ちゅうぎん（忠勤をはげむ）
8917	ためらう	8942	ちゅうし（雨ならば中止する）
8918	だらける	8943	ちゅうすう（日本の中枢部）
8919	だれる（気分が——）	8944	ちゅうと（中途からひきかえす）
8920	だんあつ（弾圧）	8945	ちゅうへい（駐兵する）
8921	だんがい（断がいからおちる）	8946	ちょうえき（10年の懲役）
8922	たんご（端午の節句）	8947	ちょうごう（薬を調合する）
8923	だんじき（断食）	8948	ちょうしょ（長所と短所）
8924	たんすい（淡水にすむさかな）	8949	ちょうせい（音の大きさの調整）
8925	だんぜつ（断絶する）	8950	ちょうたん（長短）

8951 たじたじ (——となる)	8976 たんちょう (単調なけしき)
8952 たしゅつ (ちょっと他出しています)	8977 たんねん (丹念にさがしてみる)
8953 たせい (他姓を名のる)	8978 たんめい (短命)
8954 ただす (まちがいを正す)	8979 だんわ (談話)
3955 たち (——をふりおろす)	8980 ちかい (食料品は地階にある)
8956 たちぎえ (立ち消え)	8981 ちき (知己をたよって……)
8957 たちのく (立ちのく)	8982 ちけい (地形)
8958 たちよる (立ち寄る)	8983 ちしゃ (知者のことば)
8959 たっしゃ (——でくらす)	8984 ちぢ (千々にくだける)
8960 だっせん (脱線)	8985 ちなまぐさい (血なまぐさい事件)
8961 だつもう (脱毛)	8986 ちほうしょく (地方色がゆたかだ)
8962 たてこもる (城に——)	8987 ちゃき (茶器)
8963 たとえ (——行っても)	8988 ちゃくちゃく (着々とほかどる)
8964 たねん (多年の努力)	8989 ちゃばしら (茶柱が立つ)
8965 たぼう (多忙な日)	8990 ちゅうかい (注解をつける)
8966 たみ (民)	8991 ちゅうくう (中空)
8967 ためん (他面そういうこともある)	8992 ちゅうじき (昼食をすませてから……)
8968 だらしない (——生活)	8993 ちゅうせい (中世の歴史)
8969 たわい (——のない話)	8994 ちゅうどく (ガスに中毒する)
8970 たんい (単位)	8995 ちゅうべい (駐米大使)
8971 たんがん (嘆願する)	8996 ちょうえつ (りくつを超越する)
8972 だんこ (断固としてたたかう)	8997 ちょうこく (だいいりせきの彫刻)
8973 だんじて (断じてゆるせない)	8998 ちょうじょ (長女)
8974 だんすい (水道の断水)	8999 ちょうぜい (徴税の成績)
8975 たんせん (単線の鉄道)	9000 ちょうちょう (町長)

9001	ちょうつがい(とびらの——)	9026	つれない(——ことば)
9002	ちょうは(長波)	9027	てあて(手当)
9003	ちょうほんにん(張本人)	9028	ていおん(低温で消毒する)
9004	ちょうりょく(張力)	9029	ていきゅうび(定休日)
9005	ちよくせん(直線と曲線)	9030	ていしゃ(停車)
9006	ちよさく(本の著作)	9031	ていせい(低声で話す)
9007	ちよっかく(直角にまがる)	9032	ていでん(停電)
9008	ちりゃく(知略にすぐれた人)	9033	ていり(低利で借りる)
9009	ちんしゃく(じてんしゃを賃借する)	9034	ておくれ(手遅れ)
9010	つい(対の茶わん)	9035	でかた(先方の出方を見る)
9011	ついとつ(列車の追突)	9036	てきざい(適材を適所におく)
9012	つうきん(通勤の列車)	9037	てきせい(適性を検査する)
9013	つうたん(痛嘆すべきことだ)	9038	てきよう(法律の適用)
9014	つうれつ(痛烈な一打ち)	9039	デザート
9015	つかる(水に——)	9040	てした(手下)
9016	つきとめる(原因を——)	9041	てだい(手代)
9017	つくりつけ(作りつけの本ばこ)	9042	てつけ(手付けの金)
9018	つけまわす(人のあとを——)	9043	てっばい(統制の撤廃)
9019	つつうらうら(津々浦々に知れわたる)	9044	てなみ(手並みを見せる)
9020	つづり(ローマ字の——)	9045	でばな(みさきの出鼻をまわる)
9021	つばさ(飛行機の翼)	9046	てぶり(手ぶりもおかしく話す)
9022	つまだつ(つま立つ)	9047	てまねき(手招き)
9023	つむり(——をなでる)	9048	てもち(手持ちのお金)
9024	つらい(——しごと)	9049	でんあつ(電圧が高い)
9025	つる(ゆみの弦)	9050	てんがく(転学する)

9051	ちょうづけ (帳付けをする)	9076	つれる (連れる)
9052	ちょうば (帳場)	9077	てあらい (手洗い)
9053	ちょうみりょう (調味料)	9078	ていか (急に低下する)
9054	ちょうるい (鳥類)	9079	ていきょう (提供する)
9055	ちょくぜん (事件の直前)	9080	ていしゃじょう (停車場)
9056	ちょしゃ (本の著者)	9081	ていせつ (定説)
9057	ちょっかつ (直轄の学校)	9082	ていど (程度)
9058	ちりょう (きずの治療をする)	9083	ていりつ (低率)
9059	ちんたい (土地を賃貸する)	9084	ておち (手落ち)
9060	ついおく (追憶にふける)	9085	てがたい (手堅いやり方)
9061	ついほう (追放する)	9086	てきし (相手を敵視する)
9062	つうこく (通告する)	9087	てきせつ (適切なことば)
9063	つうち (通知)	9088	てきれい (適齢にたっする)
9064	つうろ (通路をふさぐな)	9089	てざいく (手細工の筆ばこ)
9065	つかわす (使いを——)	9090	てじゅん (手順)
9066	つぎはぎ (——だらけのシャツ)	9091	てだし (手出しをする)
9067	つくろう (シャツのやぶれを——)	9092	てっこうぎょう (鉄工業)
9068	つけめ (そこが彼の——だ)	9093	でっばる (出っ張る)
9069	つづけざま (続けざまにせきが出る)	9094	てならい (手習い)
9070	つづる (文を——)	9095	てばなす (だいじな品を手放す)
9071	つぶさに (——観察する)	9096	でほうだい (出ほうだい)
9072	つまはじき (みんなから——される)	9097	てまめ (手まめな人)
9073	……づめ (支店詰めの社員)	9098	てもちぶさた (——なようす)
9074	つらつら (——考えてみると)	9099	てんいん (店員)
9075	つる (足が——)	9100	てんかん (方向の転換)

9101	ちょうてい(あらそいの調停)	9126	つわもの
9102	ちょうはつ(長髪)	9127	てあらい(手荒いおこない)
9103	ちょうめい(長命)	9128	ていか(定価100円)
9104	ちょうろう(長老の意見)	9129	ていくう(低空)
9105	ちよくつう(直通の電車)	9130	ていじゅう(定住)
9106	ちょじゅつ(著述)	9131	ていせん(停船)
9107	ちょっきゅう(直球)	9132	でいど(でい土)
9108	ちりょく(知力と体力)	9133	ていりゅう(底流)
9109	ちんちゃく(沈着な態度)	9134	ておどり(手踊り)
9110	つか(追加する)	9135	てがら(手がらをたてる)
9111	ついやす(年月を費やす)	9136	てきしゃ(適者生存)
9112	つうじ(通じがある)	9137	てきたい(敵対する)
9113	つうちょう(通帳)	9138	てぎわ(手ぎわがよい)
9114	つうわ(通話)	9139	デザイン
9115	つぎ(くつ下に——をあてる)	9140	てすう(手数料がかかる)
9116	つきひ(月日がたつ)	9141	てだすけ(手助け)
9117	……づけ(二月五日付)	9142	てっこつ(鉄骨)
9118	つげる(告げる)	9143	てっぱん(鉄板)
9119	つけんどん(——な言い方)	9144	てなれる(手慣れる)
9120	つて(——を求める)	9145	てばやい(手早いしたく)
9121	つぶやく(だれかが——)	9146	てほどき(英語の手ほどき)
9122	つまびらか(くわしいことは——でない)	9147	てまわし(手回しよくしたくする)
9123	つめえり(詰めえりの洋服)	9148	てもと(手もとの本)
9124	つらなる(連なる)	9149	てんうん(天運とあきらめる)
9125	つるぎ(剣)	9150	てんき(それを転機として)

9151	ちょうてん (頂点)	9176	つんざく (耳を——ような音)
9152	ちょうはつ (——的な態度)	9177	てあわせ (手合せ)
9153	ちょうや (長夜)	9178	ていがく (定額の料金)
9154	ちょうわ (調和がとれる)	9179	ていけつ (条約の締結)
9155	ちくとう (直答をさける)	9180	ていしゅつ (提出)
9156	ちょしょ (著書)	9181	ていたい (手痛い損害)
9157	ちょっけい (直系の子孫)	9182	ていとう (抵当に取られる)
9158	ちんうつ (沈うつな顔つき)	9183	ていりゅうじょう (停留場)
9159	ちんちょう (珍重する)	9184	ておの (手おの)
9160	ついきゅう (利益を追求する)	9185	てがる (手軽に引き受ける)
9161	つう (彼はなかなかの通だ)	9186	てきしょ (適材を適所におく)
9162	つうしょう (通称を…という)	9187	てきちゅう (みごとに的中した)
9163	つうどく (ひととおりに通続する)	9188	てきん (手金をわたす)
9164	つか (——穴をほる)	9189	でさかり (出盛り)
9165	つきあう (友だちと——)	9190	てすうりょう (手数料)
9166	つきまとう (うるさく——)	9191	てだて (助ける——はないか)
9167	つけあがる (ますます——)	9192	てつざい (鉄材)
9168	つごう (都合がよい)	9193	てっぺき (鉄壁)
9169	つつしむ (おこないを——)	9194	てにをは (——がまちがっている)
9170	つど (その都度)	9195	ではらう (出払う)
9171	つぼ (坪あたり1万円)	9196	てま (手間)
9172	つまみぐい (摘まみ食い)	9197	てまわりひん (手回り品)
9173	つめかける (人が——)	9198	でもの (出物の洋服)
9174	つらぬく (志を——)	9199	でんえん (田園)
9175	つるべ (——で水をくむ)	9200	でんき (伝記)

9201	ちょうと（長途の旅行）	9226	てあい（手合い）
9202	ちょうふく（話が重複する）	9227	てい（——よくことわる）
9203	ちょうやく（スキーの跳躍）	9228	ていがくねん（低学年）
9204	ちよくえい（直営）	9229	ていこう（抵抗する）
9205	ちよくばい（製品の直売）	9230	ていじょう（呈上する）
9206	ちよすいち（貯水池）	9231	ていたく（邸宅）
9207	ちょっけい（円の直径）	9232	ていのう（低能）
9208	ちんか（土地の沈下）	9233	ていりょう（定量）
9209	ちんつう（鎮痛の作用）	9234	てがかり（手がかりがない）
9210	ついきゅう（あとから追及する）	9235	てきい（敵意をもつ）
9211	つううん（通運の便がよい）	9236	てきじょう（敵状をさぐる）
9212	つうじょう（通常と変わりなく……）	9237	てきど（適度の運動）
9213	つうふう（通風がよい）	9238	てくばり（手配り）
9214	つか（刀の——に手をかける）	9239	てさき（手先がきょうだ）
9215	つぎき（かきの木を——する）	9240	てずから（——……する）
9216	つきやま（庭のつき山）	9241	てだま（人を手玉にとる）
9217	つけいる（よわみに——）	9242	デッサン（——の練習）
9218	つじ（四つつじのまん中）	9243	てっぺん（鉄片）
9219	つつそで（筒そでの着物）	9244	てぬかり（手ぬかりをする）
9220	つどう（全国から——選手）	9245	でばる（出張る）
9221	つぼまる（先が——）	9246	デマ
9222	つまようじ	9247	でまわる（出回る）
9223	つめよせる（詰め寄せる）	9248	てらう（学問を——）
9224	つらねる（連ねる）	9249	てんか（点火）
9225	つれ（連れにはぐれた）	9250	てんきゅう（天球）

9251	ちょうど (家具や調度)	9276	であいがしら (出合いがしら)
9252	ちょうへん (長編小説)	9277	ていあん (提案する)
9253	ちょうり (肉を調理する)	9278	ていき (定期の貸付)
9254	ちょくご (事件の直後)	9279	ていこく (定刻に始める)
9255	ちょくほうたい (直方体)	9280	ていしょく (定食)
9256	ちょぞう (長く貯蔵する)	9281	でいたん (でい炭)
9257	ちょっこう (東京へ直行する)	9282	ていへん (三角形の底辺)
9258	ちんか (5時に鎮火した)	9283	ていれ (手入れ)
9259	ちんつう (沈痛な顔つき)	9284	てがける (手がける)
9260	ついく (対句)	9285	てきおう (力に適応したしごと)
9261	つうか (通過)	9286	てきじん (敵陣に切り込む)
9262	つうしん (通信)	9287	てきとう (適当な例)
9263	つうへい (通弊)	9288	てこ (——で動かす)
9264	つがい (ひと——の小鳥)	9289	できき (出先がわからない)
9265	つききり (——でかいほうする)	9290	てせい (手製の筆ばこ)
9266	つきる (力が尽きる)	9291	てぢか (手近な材料)
9267	つけこむ (よわみに——)	9292	てつじょうもう (鉄条網)
9268	つじつま (話の——を合わせる)	9293	てつや (徹夜で勉強する)
9269	つつぬけ (筒抜けに聞える)	9294	てぬるい (手ぬるいやり方)
9270	つとめる (勤める)	9295	てびき (学習の手びき)
9271	つぼめる (かさを——)	9296	てまえ (世間の手前)
9272	つまらない (——話)	9297	てみじか (手短に話す)
9273	つめよる (詰め寄る)	9298	てらしあわせる (照らし合わせる)
9274	つらら (——が下がる)	9299	てんか (天下)
9275	つれあい (連合い)	9300	でんきゅう (電球)

9301	ちょうない (町内)	9326	であう (出会う)
9302	ちょうぼ (帳簿)	9327	ていいん (定員は50名)
9303	ちょうりつ (町立の学校)	9328	ていぎ (ことばの定義)
9304	ちよくし (前方を直視する)	9329	ていさい (体裁ぶる)
9305	ちよくめん (ことに直面する)	9330	ていしょく (定職)
9306	ちよたん (貯炭が少ない)	9331	ていちゃく (定着する)
9307	ちょっこう (ハワイへ直航する)	9332	ていぼう (堤防をきずく)
9308	ちんがし (賃貸しのじてんしゃ)	9333	ていれい (定例)
9309	ちんでん (砂が底に沈でんする)	9334	てかげん (手加減を加える)
9310	ついげき (追撃する)	9335	てきかく (的確な判断)
9311	つうか (通貨のぼうちょう)	9336	てきず (手傷を負う)
9312	つうずる (通ずる)	9337	てきにん (適任の者)
9313	つうほう (事件の通報)	9338	てこう (手甲をつける)
9314	つかいこむ (使い込む)	9339	てさぐり (手さぐりでさがす)
9315	つききる (道を突き切る)	9340	てぜい (手勢をひきいて……)
9316	つく (米を——)	9341	てちがい (手違い)
9317	つけたり (——の話)	9342	てつづき (申込みの手續)
9318	つち (木の——で打つ)	9343	てづる (手づるを求める)
9319	つつましい (——生活)	9344	てば (出刃で切る)
9320	つながる (ひもで——)	9345	てひどい (手ひどい攻撃)
9321	つま (妻)	9346	てまえ (一つ手前の駅)
9322	つまり (——こういうわけだ)	9347	でみせ (出店)
9323	つや (——を出す)	9348	てりかえす (照り返す)
9324	つりあう (つり合う)	9349	てんが (典雅なようす)
9325	つれこむ (連れ込む)	9350	てんきょ (転居する)

9351	ちょうなん (長男)	9376	てあか (手あかをつける)
9352	ちょうほう (たいへん——だ)	9377	ていえん (庭園)
9353	ちょうりつ (ピアノの調律)	9378	ていきあつ (低気圧)
9354	ちょくしゃ (日光の直射)	9379	ていさつ (様子をてい察する)
9355	ちょくやく (直訳の文章)	9380	ていすう (定数をそろえる)
9356	ちょちく (貯蓄の増加)	9381	ていちょう (低調なしあい)
9357	ちり (地理)	9382	ていまい (弟妹)
9358	ちんきゃく (珍客)	9383	てうえ (手植えのまつ)
9359	ちんみ (山海の珍味)	9384	てかず (たいへんな手数だ)
9360	ついせき (犯人を追跡する)	9385	てきかく (適格かどうか調べる)
9361	つうかい (痛快な話)	9386	てきする (敵する)
9362	つうせつ (痛切に感じる)	9387	てきびしい (——批評)
9363	つうやく (英語の通訳)	9388	てごたえ (手ごたえがない)
9364	つかえる (主人に仕える)	9389	てざわり (手ざわりがごつごつしている)
9365	つぎこむ	9390	てぜま (手狭なへや)
9366	つぐ (東京に次ぐ大都会)	9391	てっかい (前言を撤回する)
9367	つけとどけ (——をする)	9392	てってい (命令が徹底しない)
9368	つちかう (作物を——)	9393	てどり (手取り1000円)
9369	つつみ (堤をきずく)	9394	てはじめ (手始め)
9370	つなみ (津波)	9395	デビュー
9371	つま (着物の——を取る)	9396	でまえ (出前いたします)
9372	つみ (罪)	9397	てみやげ (手みやげをもって行く)
9373	つゆ (——がたりない)	9398	てれかくし (——に笑う)
9374	つりこむ (たくみに人を——)	9399	でんか (家庭の電化)
9375	つれそう (連れ添う)	9400	てんぎょう (本屋に転業する)

9401	ちょうにく (鳥肉)	9426	てあき (手あきの人は……)
9402	ちょうぼう (山の上からの ちょう望)	9427	ていおう (帝王)
9403	ちょうりゅう (速い潮流)	9428	ていきゅう (低級)
9404	ちよくしん (光は直進する)	9429	ていし (停止)
9405	ちよくりつ (直立する)	9430	ていする (呈する)
9406	ちょっか (赤道の直下)	9431	ていちょう (丁重なもてなし)
9407	ちりぢり (散り散りににげる)	9432	ていらく (物価の低落)
9408	ちんぎん (賃銀・賃金)	9433	てうち (手打ち)
9409	ちんもく (沈黙をまもる)	9434	でかせぎ (出かせぎに行く)
9410	ついそう (追想する)	9435	てきごう (適合する)
9411	つうがく (通学)	9436	てきする (適する)
9412	つうぞく (通俗な考え)	9437	できもの (——ができる)
9413	つうよう (4月から通用)	9438	てごろ (手ごろな石)
9414	つかえる (のどが——)	9439	でし (先生と——)
9415	つきそう (病人に付き添う)	9440	てそう (手相を見る)
9416	つくす (力を尽す)	9441	てづかみ (手づかみで取る)
9417	つけね (足の——)	9442	てつどう (鉄道)
9418	つつ (竹の筒)	9443	てなぐさみ (手慰みのしごと)
9419	つづみ (鼓とふえ)	9444	てはず (——をととのえる)
9420	つね (世の常)	9445	てびろい (手広い商売)
9421	つまされる (身に——)	9446	てまとい (かえって手まとい になる)
9422	つむぐ (糸を紡ぐ)	9447	てむかう (手向かう)
9423	つよき (強気に出る)	9448	てれる (人前で——)
9424	つりだす (人をうまくつり出 す)	9449	てんかい (展開)
9425	つれだつ (連れ立つ)	9450	てんきん (先生の転勤)

9451	ちょうにん (町人)	9476	てあつい (手厚い)
9452	ちょうほうけい (長方形)	9477	ていおん (低音が出ない)
9453	ちょうりょく (聴力がにぶる)	9478	ていきゅう (庭球)
9454	ちょくせつ (直接と間接)	9479	ていじ (定時に発車する)
9455	ちょくりゅう (直流と交流)	9480	ていせい (訂正)
9456	ちょっかく (直覚的に知る)	9481	ていっぱい (これだけで手一杯だ)
9457	ちりばめる (宝石を——)	9482	ていり (定理)
9458	ちんこう (土地の沈降)	9483	テーマ
9459	ちんれつ (商品の陳列)	9484	てがた (手形で支払う)
9460	ついで (それに次いで)	9485	できごころ (でき心)
9461	つうかん (必要を痛感する)	9486	てきせい (適正なねだん)
9462	つうたつ (通達)	9487	てきよう (要点の摘要)
9463	つうれい (通例)	9488	てごわい (手ごわい相手)
9464	つかさどる	9489	てしお (手塩にかけて育てる)
9465	つきつける (刀を——)	9490	でぞめ (消防の出ぞめ)
9466	つぐなう (つみを償う)	9491	デッキ
9467	つけねらう (相手を——)	9492	てっとりばやい (手取り早い)
9468	つつ (ラジオを聞き——食べる)	9493	てなずける (鳥を手なずける)
9469	つづらおり (——のさか道)	9494	ではな (——をくじく)
9470	つのる (募る)	9495	てぶそく (手不足)
9471	つましい (——生活)	9496	てまどる (手間取る)
9472	つむじ	9497	デモクラシー
9473	つよごし (急に強腰になる)	9498	てわけ (手分けしてさがす)
9474	つりて (つり手)	9499	てんかい (転回)
9475	つれづれ (——のあまり)	9500	てんくう (天空にそびえる)

9501	てんけい (天恵のゆたかな土地)	9526	とうもく (頭目をつかまえる)
9502	てんざい (そこここに点在する)	9527	どうりょく (動力を使う)
9503	てんじょう (天井)	9528	とおえん (遠縁のむすめ)
9504	でんそう (写真の電送)	9529	とおりいっぺん (——の説明)
9505	てんとう (店頭)	9530	ときおり (時おり雨がふる)
9506	てんねん (天然の美)	9531	とく (徳の高い人)
9507	てんぶく (列車の転覆)	9532	とくしつ (特質)
9508	てんめい (天命とあきらめる)	9533	とくせい (特製)
9509	とあみ (投網をうつ)	9534	どくづく (毒づく)
9510	とう (当を得た答)	9535	とくひょう (得票の計算)
9511	とうかい (建物の倒壊)	9536	とげる (思いを遂げる)
9512	とうぎ (じゅうぶん討議する)	9537	とざす (戸を閉ざす)
9513	どうぎょう (同業の者)	9538	としゅ (徒手)
9514	とうこう (雑誌社へ投稿する)	9539	どそう (土葬)
9515	どうざん (銅山)	9540	とっか (特価で売る)
9516	どうし (動詞と名詞)	9541	とつじょ (突如あらわれた)
9517	とうしゅ (当主)	9542	とてい (徒弟)
9518	どうじる (物に動じる)	9543	とどろく (——のような大きな音)
9519	どうぜい (同勢5人)	9544	とふ (くすりを塗布する)
9520	どうぞう (銅像をたてる)	9545	とむらい (弔いを出す)
9521	どうちゅう (道中はぶじでした)	9546	ともども (——はげましあう)
9522	どうどう (母と同道する)	9547	ドライクリーニング
9523	どうにん (同人)	9548	とりあつかう (取り扱う)
9524	どうひょう (道標をたてる)	9549	とりくむ (取り組む)
9525	とうぼう (逃亡をくわだてる)	9550	とりすぎる (しっかりと——)

9551 でんげき (電撃を受ける)	9576 とうよう (人材を登用する)
9552 てんさく (文を添削する)	9577 とうるい (二るいへ盗塁)
9553 でんしょう (伝承)	9578 トーキー
9554 てんたい (天体)	9579 とか (都下の小学校)
9555 でんとう (伝統をまもる)	9580 とぎすます (ナイフを——)
9556 でんぱ (電波)	9581 とくい (特異な体質)
9557 てんぶん (天分にめぐまれる)	9582 どくしゃ (読者)
9558 てんめつ (電燈の点滅)	9583 とくせつ (特設)
9559 といあわせる (問い合わせる)	9584 とくてい (特定の人)
9560 とうあん (答案)	9585 どくみ (毒味をする)
9561 どうがく (同学の友)	9586 ところあげ (床上げのいわい)
9562 どうき (——がはげしい)	9587 とざん (登山)
9563 とうきょく (当局の発表)	9588 としょ (図書)
9564 とうごう (統合)	9589 どぞう (土蔵をたてる)
9565 とうし (確実な投資)	9590 とっかん (突貫する)
9566 どうし (友だち——で行く)	9591 とっしん (突進する)
9567 どうしゅく (同宿の人)	9592 どてら (——を着る)
9568 とうしん (投身する)	9593 どなべ (土なべでにる)
9569 どうせき (同席の人)	9594 とほ (徒歩で行く)
9570 とうぞく (盗賊のなかま)	9595 とむらう (あつく弔う)
9571 とうちょう (ラジオの盗聴)	9596 ともなう (伴う)
9572 どうどうめぐり (堂々めぐり)	9597 ドライブ
9573 とうねん (当年)	9598 とりあわせる (いろいろ——)
9574 とうひん (盗品を売る)	9599 とりけし (取消)
9575 どうほう (海外の同胞)	9600 とりだか (ひとりあたりの取高)

9601 てんけん(きかいを点検する)	9626 とうよう (東洋と西洋)
9602 てんし (天使)	9627 とうれい (答礼)
9603 てんしょく (転職)	9628 とおざかる (遠ざかる)
9604 てんたく (転宅)	9629 とが (——をゆるす)
9605 でんどう(キリスト教の伝道)	9630 ときたま (時たま出る)
9606 でんぱた (田畑)	9631 どくえん (〇〇氏の独演)
9607 でんぶん (伝聞する)	9632 とくしゅ (特殊なきかい)
9608 てんもん (天文)	9633 どくぜつ (毒舌をふるう)
9609 といかける (問いかける)	9634 とくてん (得点)
9610 とういつ (統一)	9635 とくゆう (特有の性質)
9611 どうかせん (導火線)	9636 ところ (渡航する)
9612 どうき (動機)	9637 とし (都市と農村)
9613 とうけ (当家)	9638 とじょう (大名の登城)
9614 どうこう (社会の動向)	9639 どそく (土足であがる)
9615 とうし (唐紙に字を書く)	9640 とっき (突起している)
9616 どうじ (……と同時に)	9641 とつぜん (突然やってきた)
9617 とうしょ (当所)	9642 どうとう (——のようにおしよ せる)
9618 とうしん(燈心をかきたてる)	9643 とにかく(——まってみよう)
9619 とうせつ (当節のはやり)	9644 とほう (途方にくれる)
9620 どうぞく (同族の人)	9645 とも (船の——)
9621 とうちょく (当直)	9646 ともに (共に行く)
9622 どうとく (道徳をまもる)	9647 とらえる (捕える)
9623 とうは (党派にわかれる)	9648 とりいる (社長に——)
9624 とうぶ (頭部)	9649 とりけす (取り消す)
9625 とうほん (こせきの膳本)	9650 とりたてる (代金を取り立て る)

9651 でんげん (電源をきる)	9676 どうよう (同様な事がら)
9652 てんじ (点字の本)	9677 どうろ (道路)
9653 てんずる (あかりを点ずる)	9678 とおざける (人を遠ざける)
9654 でんたつ (伝達)	9679 とかい (都会の生活)
9655 でんどう (熱の伝導)	9680 ときふせる (説き伏せる)
9656 てんばつ (天罰がくだる)	9681 どくがく (独学で勉強する)
9657 でんぶん (電文はかんたんじ)	9682 どくしゅ (敵の毒手にかかる)
9658 てんもんだい (天文台)	9683 どくせん (独占する)
9659 といき (吐息をつく)	9684 とくでん (ロンドン発特電)
9660 どういつ (同一)	9685 とくよう (徳用)
9661 とうかん (はがきを投かんする)	9686 どころ (土工)
9662 どうぎ (道義がすたれる)	9687 としかさ (年かさの者)
9663 どうけ (道化)	9688 とじょう (通学の途上)
9664 どうこう (目の——が開く)	9689 どぞく (土俗の研究)
9665 とうし (凍死する)	9690 とっきょ (特許)
9666 どうじ (三歳の童子でも知っている)	9691 とって (ひきだしの取手)
9667 とうしょ (新聞の投書)	9692 とどこおる (滞る)
9668 どうしん (童心にかえる)	9693 どのみち (——しなければならぬ)
9669 とうせん (当せん番号)	9694 どぼく (土木の工事)
9670 どうたい (導体でつなぐ)	9695 とも (たとえ……する——)
9671 とうてい (——できない)	9696 とや (にわたりの——)
9672 とうとぶ (としよりを——)	9697 トラクター
9673 どうはい (同輩のよしみ)	9698 とりえ (なんの——もない)
9674 とうぶ (県の東部)	9699 とりこむ (取り込む)
9675 どうまき (胴巻に金を入れる)	9700 とりたてる (でしを——)

9701 てんこ (点呼してしらべる)	9726 どうよう (心が動揺する)
9702 でんじ (田地)	9727 とうろう (石でつくった——)
9703 てんずる (目を転ずる)	9728 とおのく (遠のく)
9704 てんち (健康のための転地)	9729 とかく (——ありがちのことだ)
9705 でんどう (大きな殿堂)	9730 ときめく (胸が——)
9706 てんぴ (天火で焼く)	9731 どくきょ (独居)
9707 テンポ (——が早い)	9732 どくしゅうしょ (独習書)
9708 てんらく (列車から転落する)	9733 どくぜん (独善におちいる)
9709 といた (戸板にのせて行く)	9734 とくと (——考える)
9710 どういん (動員)	9735 どくりつ (独立)
9711 どうかん (まったく同感だ)	9736 どごう (人々の怒号)
9712 どうぎ (同義のことば)	9737 としご (としごの弟)
9713 とうけい (統計)	9738 どじょう (地味のゆたかな土じょう)
9714 どうこう (同好の者)	9739 どだい (土台)
9715 とうし (レントゲンの透視)	9740 とつぐ (姉が——日)
9716 とうじき (陶磁器)	9741 とってかえす (家に——)
9717 とうしょ (この学期の当初)	9742 ととのう (整う)
9718 とうずる (投ずる)	9743 とはいえ (——そこがだいじな点だ)
9719 とうせん (選挙に当選した)	9744 とぼける
9720 どうたい (動態を調べる)	9745 ともかく (それは——として)
9721 どうてき (動的な表現)	9746 とやかく (——言う)
9722 とうどり (銀行の頭取)	9747 ドラムかん
9723 とうはつ (頭髪をのばす)	9748 とりおこなう (式を執り行なう)
9724 どうふう (写真を同封する)	9749 とりさげる (願いを取り下げる)
9725 どうみゃく (動脈と静脈)	9750 とりちがえる (意味を取り違える)

9751 てんこう (天候がかわる)	9776 とうらい (時期が到来する)
9752 てんじかい (展示会)	9777 とうろく (登録する)
9753 でんしん (電信)	9778 とおのり (遠のり)
9754 でんち (電池)	9779 とがめる (心が——)
9755 でんどうき (電動機)	9780 ときめく (今を時めく)
9756 てんぴ (天日にあてる)	9781 どくご (独語する)
9757 てんぽ (店舗をかまえる)	9782 どくしょ (読書)
9758 でんりゅう (電流)	9783 どくそ (毒素による中毒)
9759 といただす (問いただす)	9784 とくとか (得々として見せびらかす)
9760 とうえい (投影)	9785 どくりょう (一時間で読了した)
9761 とうがん (童顔をほころばせる)	9786 とこずれ (ながい病気で床ずれができた)
9762 とうきゅう (一るいへ投球)	9787 としこし (年越の晩)
9763 とうけい (東経135度)	9788 としん (都心)
9764 どうこう (同行の人)	9789 とだえる (交通が——)
9765 とうし (闘志がさかんだ)	9790 ドック
9766 とうじしゃ (当事者の話によれば)	9791 とつにゅう (敵陣に突入する)
9767 とうしょう (凍傷にかかる)	9792 ととのえる (整える)
9768 どうずる (動ずるいろもない)	9793 どはずれ (度はずれの大声)
9769 とうぜん (当然のことだ)	9794 とぼしい (乏しい)
9770 とうたつ (もくひょうに到達する)	9795 ともかせぎ (共かせぎの生活)
9771 とうてん (当店の品物)	9796 どよう (夏の土用)
9772 とうなん (東南の風)	9797 とらわれる (捕われる)
9773 とうばつ (ぞくを討伐する)	9798 とりおさえる (取り押える)
9774 とうぶん (3人に等分する)	9799 とりさる (取り去る)
9775 とうみょう (燈明をあげる)	9800 とりちらす (取り散らす)

9801	でんごん (先生の伝言)	9826	どうらく (道楽をする)
9802	でんじしゃく (電磁石)	9827	とうろん (討論)
9803	てんせい (天性)	9828	とおぼえ (犬の遠ぼえ)
9804	でんちゅう (電柱)	9829	どき (怒気をふくんで言う)
9805	てんにょ (天女)	9830	どきょう (度胸をきめる)
9806	てんびき (天引きして貯金する)	9831	どくさい (独裁政治)
9807	てんぼう (山の上からの展望)	9832	とくしょく (特色をみつける)
9808	でんりょく (電力)	9833	どくそう (独創的な考え)
9809	といつめる (問い詰める)	9834	どくどくしい (毒々しい)
9810	どうおん (同音の漢字)	9835	どくりょく (独力でやる)
9811	とうき (ごみを投棄する)	9836	とこなつ (とこ夏の国)
9812	とうきゅう (等級をつける)	9837	とじこみ (——の中からさがしだす)
9813	どうけい (同型)	9838	どすう (度数をかぞえる)
9814	とうこん (当今の考え)	9839	とたん (塗炭の苦しみ)
9815	とうじ (湯治の客)	9840	とつげき (敵陣めがけて突撃する)
9816	とうじつ (会の当日)	9841	とっぱ (突破する)
9817	どうじょう (同情)	9842	とどまる
9818	とうせい (当世ふうの……)	9843	とびいし (飛び石)
9819	どうぜん (……したのも同然だ)	9844	とまどい (戸惑いする)
9820	とうたん (日本の東端)	9845	ともぐい (共食いをする)
9821	とうでん (盗電を発見する)	9846	どよめき (——がきこえる)
9822	とうに (——出ていった)	9847	トランク
9823	とうばつ (森林の盗伐)	9848	とりかわす (証文を——)
9824	とうぶん (当分のあいだ)	9849	とりしまり (取締がげんじゅうだ)
9825	とうみん (かえるの冬眠)	9850	とりつく (むずかしいしごと に——)

9851	てんさい (天災)	9876	どうらん (動乱がおこる)
9852	てんしゅ (店主)	9877	とうわく (それではわたくしが当惑します)
9853	でんせつ (伝説)	9878	とおまわし (遠回しに言う)
9854	てんちょう (天頂)	9879	どき (土器)
9855	てんにん (先生の転任)	9880	どきょう (読経の声)
9856	でんぴょう (伝票を書く)	9881	どくさつ (毒殺する)
9857	てんま (天魔にみられる)	9882	とくしん (得心する)
9858	でんれい (伝令を出す)	9883	どくそう (〇〇氏の独奏)
9859	といや (問屋と小売屋)	9884	どくとく (独特)
9860	とうか (飛行機から投下する)	9885	どくろ (——のしるしの旗)
9861	とうき (冬期の休み)	9886	とこばなれ (床離れをする)
9862	とうぎゅう (闘牛の競技)	9887	としごろ (年ごろ)
9863	とうけん (刀剣をかんていする)	9888	とせい (渡世)
9864	とうぎ (当座のこづかい)	9889	どたんば (最後の——)
9865	とうじ (答辞)	9890	とっけん (特権をもつ)
9866	どうしつ (同質)	9891	とっぱつ (突発の事件)
9867	どうじょう (同上)	9892	とどめ (——をさす)
9868	とうせい (統制する)	9893	とびぐち (とび口)
9869	とうそう (つかまるまえに逃走する)	9894	とみ (富)
9870	とうち (国を統治する)	9895	ともしび (ともし火)
9871	とうとい (——たから)	9896	どら (——が鳴って船が出る)
9872	どうにか (わたくしにも——わかる)	9897	トランス
9873	どうはん (同伴で行く)	9898	とりきめる (やくそくを——)
9874	とうへき (盗癖をなおす)	9899	とりしまる (げんじゅうに取り締まる)
9875	とうめい (透明なガラス)	9900	とりつぐ (客を取り次ぐ)

9901 てんさい (記事を転載する)	9926 どうり (道理を説明する)
9902 でんじゅ (伝授)	9927 どうわすれ (胴忘れ)
9903 でんせん (病気の伝染)	9928 とおみ (遠見がきく)
9904 でんてつ (電鉄)	9929 としあかす (説き明かす)
9905 てんにん (天人)	9930 とぎれる
9906 てんびん (天びんではかる)	9931 どくじ (独自の考え)
9907 てんまく (天幕をはる)	9932 どくしん (独身)
9908 でんれい (電鈴がなる)	9933 どくだん (独断でする)
9909 とう (友だちの家を——)	9934 とくは (アメリカへ特派する)
9910 とうか (燈火)	9935 とけあう (気持が——)
9911 とうき (陶器の置物)	9936 ところがき (所書き)
9912 どうきょ (同居)	9937 としまわり (年回りがよい)
9913 とうこう (敵に投降する)	9938 どせい (土製)
9914 どうさ (動作がはやい)	9939 とち (土地)
9915 とうじ (昼のみじかい冬至)	9940 とっさ (——に身进行かわす)
9916 どうしゃ (先生と同車で行く)	9941 とっぴ (——な考え)
9917 どうじょう (道場)	9942 とどめる
9918 どうせい (動静がわからない)	9943 とびどうぐ (飛び道具)
9919 とうそう (闘争をつづける)	9944 どみん (土民)
9920 とうち (当地のようす)	9945 ともだおれ (共倒れ)
9921 とうとう (うめ・もも・さくら等々の花)	9946 とらい (外国から渡来する)
9922 とうにゅう (資本を投入する)	9947 とりあえず (—— ……した)
9923 とうひ (当否をきめる)	9948 とりくずす (小屋を——)
9924 とうべん (答弁がじょうずだ)	9949 とりしらべ (取調をすすめる)
9925 どうめい (同盟をむすぶ)	9950 とりつくろう (なんとか——)

9951 てんさい (天才)	9976 どうりょう (同僚にあらう)
9952 てんしゅつ (転出する)	9977 とおあさ (遠浅の海)
9953 てんそう (はがきを転送する)	9978 とおりあめ (通り雨)
9954 てんてん (住所を転々と変える)	9979 ときおよぶ (説き及ぶ)
9955 でんねつ (電熱の利用)	9980 とく (りくつを説く)
9956 てんぷ (切手を添付する)	9981 とくしつ (得失を考える)
9957 てんまど (天窓をあける)	9982 どくする (毒する)
9958 どあい (度合い)	9983 とくちょう (特徴をみつける)
9959 とう (党をくむ)	9984 どくは (一晩で読破する)
9960 どうか (同化)	9985 とけつ (吐血する)
9961 とうき (物価の騰貴)	9986 ところで (——これからどこへいこうか)
9962 どうきょう (同郷の人)	9987 どしゃ (土砂がくずれる)
9963 とうこう (9時までに登校する)	9988 どせい (怒声を発する)
9964 どうさん (動産と不動産)	9989 どちゃく (土着)
9965 とうじ (その当時)	9990 とっしゅつ (突出する)
9966 とうしゃばん (謄写版)	9991 とっふう (突風が吹く)
9967 どうじょう (自動車に同乗する)	9992 とどろかす
9968 どうせい (同姓の人)	9993 とびひ (飛び火)
9969 どうそう (同窓の友だち)	9994 とむ (富む)
9970 とうちゃく (列車の到着)	9995 ともづな (——をとく)
9971 どうとう (同等の成績)	9996 ドライアイス
9972 とうにん (当人のことばでは……)	9997 とりあげる (問題を——)
9973 とうひょう (投票できめる)	9998 とりくち (すもうの取り口)
9974 とうほう (当方の言い分)	9999 とりしらべる (げんじゅうに取り調べる)
9975 とうめん (当面の問題)	10000 とりつけ (——の店で買う)

10001 とりつけ(銀行の取付さわぎ)	10026 にのまい (二の舞をする)
10002 とりはだ (鳥はだがつ)	10027 にゅうかい (入会)
10003 どりょく (努力)	10028 にゅうじ (乳児)
10004 とんち (——がはたらく)	10029 にゅうひ (入費がかかる)
10005 ないこう (病気が内攻する)	10030 にんか (認可)
10006 ないしんしょ (内申書)	10031 にんむ (任務)
10007 ないふく (内服のくすり)	10032 ぬきて (抜き手をきる)
10008 なおざり(勉強を——にする)	10033 ねいき (寝息)
10009 ながもち (長持ちする)	10034 ねごろ (値ごろな品)
10010 なぐさめる (慰める)	10035 ねたましい
10011 なざす (名ざす)	10036 ねっする (熱する)
10012 nadaraka (——なおか)	10037 ねつぼう (熱望する)
10013 なにとぞ (——おいでください)	10038 ネル (——のねまき)
10014 なまじろい (生白い)	10039 ねんぐ (——をおさめる)
10015 なや (納屋)	10040 ねんじる (念じる)
10016 なりきん (成金)	10041 ねんぱい (同じ年輩の人)
10017 なわしろ (苗代)	10042 のう (能がない)
10018 なんぎょう (難行をする)	10043 のうぐ (農具)
10019 なんしん (南進する)	10044 のうせい (農政)
10020 なんなら (何ならあげましよう)	10045 のうひん (納品)
10021 におう (——の像)	10046 ノーベルしょう(ノーベル賞)
10022 にくせい (肉声できく)	10047 のぞく (じゃまものを除く)
10023 にしきえ (にしき絵)	10048 ののしる
10024 にちぼつ (日没)	10049 のぼせる
10025 にっしゃびょう (日射病)	10050 のりこす (乗り越す)

10051 とりて (——につかまる)	10076 にひゃくとおか (二百十日の あらし)
10052 とりひき (取引)	10077 にゅうかん (入棺)
10053 とりわけ (きょうは——さむ い)	10078 にゅうじゃく (柔弱な心)
10054 どんてん (曇天)	10079 にゅうもん (入門)
10055 ないざい (問題が内在する)	10080 にんき (人気)
10056 ないせい (内省)	10081 にんめい (任命)
10057 ないぶん (内聞にすます)	10082 ぬきみ (抜き身をさげる)
10058 なおれ (名折れ)	10083 ねいろ (音色)
10059 ながもち (長持にしまう)	10084 ねさがり (値下がり)
10060 なげうつ (しごとを——)	10085 ねたむ
10061 なしくずし (——に返す)	10086 ねっせん (熱戦)
10062 なだれ	10087 ねつるい (熱涙)
10063 なにぶん (——よろしく)	10088 ねん (かんしゃの念)
10064 なまやさしい (——努力では ない)	10089 ねんげん (年限がくる)
10065 なやましい (悩ましい)	10090 ねんずる (念ずる)
10066 なりたち (成り立ち)	10091 ねんぴょう (年表でしらべる)
10067 なん (難をまぬかれる)	10092 のう (脳の病気)
10068 なんきょく (南極)	10093 のうこう (農耕)
10069 なんすい (軟水とこう水)	10094 のうぜい (納税)
10070 なんなんとする (3 時間 に——話)	10095 のうひんけつ (脳貧血)
10071 におくりにな (荷送り人)	10096 のがす (機会を——)
10072 にくはく (肉迫する)	10097 のそだち (野育ち)
10073 にじむ (血が——)	10098 のばなし (野放しにする)
10074 にちや (日夜考えにふける)	10099 のぼりれっしゃ (上り列車)
10075 にっしょうき (日章旗)	10100 のりすてる (乗り捨てる)

10101 とりどく (取りどくになる)	10126 にぶい (鈍い)
10102 とりひろげる (取り広げる)	10127 にゅうぎゅう (乳牛をかう)
10103 どれい (奴隷の解放)	10128 にゅうしゅ (入手)
10104 とんぷく (とん服をのむ)	10129 にゅうよう (それに入用な品)
10105 ないし (5年——6年)	10130 にんき (任期がおわる)
10106 ないぞう (かえるの内臓)	10131 にんよう (任用)
10107 ないほう (内報がある)	10132 ぬくめる
10108 なかいり (中入り)	10133 ねおき (寝起き)
10109 ながや (長屋)	10134 ねざす (根ざす)
10110 なげかわしい (嘆かわしい)	10135 ねつい (熱意をもつ)
10111 なしとげる (成し遂げる)	10136 ねったい (熱帯)
10112 なつかしい	10137 ねつれつ (熱烈なはくしゅ)
10113 なにほど (——お金があってもだめだ)	10138 ねんえき (粘液)
10114 なまる (ことばが——)	10139 ねんごう (年号)
10115 なやます (悩ます)	10140 ねんだい (年代)
10116 なりたつ (成り立つ)	10141 ねんぷ (年賦で買う)
10117 なんい (難易)	10142 のうえん (農園)
10118 なんくせ (難癖をつける)	10143 のうこう (濃厚なあじ)
10119 なんせん (難船する)	10144 のうそん (農村)
10120 なんぱ (難破)	10145 のうふ (農夫)
10121 におわせる	10146 のがれる
10122 にくひつ (肉筆の書)	10147 のぞましい (望ましい)
10123 にじょう (5の二乗)	10148 のび (野火)
10124 にちようひん (日用品)	10149 のみ (——を使う)
10125 にっしょく (日食)	10150 のりて (乗り手)

10151 とりとめ (——のない話)	10176 にぶる (鈍る)
10152 とりまぎれる (いそがしさ に——)	10177 にゅうきょう (入京)
10153 ドレス	10178 にゅうしょう (入賞する)
10154 どんよく (——な考え)	10179 にゅうよく (入浴)
10155 ないじ (内示をうける)	10180 にんしき (認識)
10156 ないだく (内諾をもとめる)	10181 ぬいとり (縫取り)
10157 ないみつ (内密で話す)	10182 ぬくもる
10158 なかがい (仲買)	10183 ねがいさげ (願い下げ)
10159 ながらえる (今まで長らえた いのち)	10184 ねざめ (寝ざめがわるい)
10160 なげく (嘆く)	10185 ねつえん (熱演)
10161 なじむ (人に——)	10186 ねっちゅう (熱中する)
10162 なつく (犬が——)	10187 ねばる (粘る)
10163 なぬし (名主)	10188 ねんがく (年額)
10164 なみ (並の牛肉)	10189 ねんごろ (——にもてなす)
10165 なやむ (悩む)	10190 ねんちゃく (粘着)
10166 なりはてる (成り果てる)	10191 ねんぶつ (念仏をとる)
10167 なんい (南緯50度)	10192 のうか (農科)
10168 なんこう (軟こうをぬる)	10193 のうさく (農作)
10169 ナンセンス	10194 のうたん (濃淡)
10170 なんびょう (難病)	10195 のうべん (能弁な人)
10171 にがお (似顔)	10196 のけもの (のけ者になる)
10172 にくぶと (肉太の字)	10197 のぞみ (望み)
10173 にせい (二世)	10198 のぶし (野武士)
10174 にちりん (日輪)	10199 のめる (前へ——)
10175 にっすう (日数)	10200 のりと (——をあげる)

10201 とりとめる (いのちを——)	10226 にべもない (——返事)
10202 とりみだす (取り乱す)	10227 にゅうきん (入金)
10203 とろび (とろ火でにる)	10228 にゅうせき (入籍)
10204 ないい (内意をきく)	10229 にゅうわ (柔和な顔つき)
10205 ないしゅっけつ (内出血をおこす)	10230 にんしょう (認証)
10206 ないだん (内談)	10231 ぬかずく
10207 ないめい (内命をうける)	10232 ぬし (主)
10208 なかたがい (仲たがい)	10233 ねがわしい (願わしい)
10209 ながらく (長らくごぶさたしました)	10234 ねじあげる (ねじ上げる)
10210 なけなし (——の金をはらう)	10235 ねっき (熱気)
10211 なじる (彼ばかりを——のはよくない)	10236 ネット
10212 なづける (名付ける)	10237 ねびき (値引き)
10213 なのる (名のる)	10238 ねんかん (年間)
10214 なみがしら (波がしら)	10239 ねんさん (年産10万台)
10215 ならす (馬を——)	10240 ねんちょう (年長の者)
10216 なりふり (——かまわず働く)	10241 ねんまく (粘膜)
10217 なんか (船で南下する)	10242 のうか (農家)
10218 なんこう (難航する)	10243 のうさんぶつ (農産物)
10219 なんだい (難題を出す)	10244 のうち (農地)
10220 なんもん (難問)	10245 のうほん (納本)
10221 にがて (苦手)	10246 のける (みごとにやって——)
10222 にごしらえ (荷ごしらえ)	10247 のぞむ (望む)
10223 にせる (似せる)	10248 のべ (延べ500人)
10224 にか (日課)	10249 のら (野らで働く)
10225 にっちゅう (日中)	10250 のりにげ (乗り逃げ)

10251 とりどり (色——の花)	10276 にまいじた (二枚舌を使う)
10252 とりめ (鳥目になる)	10277 にゅうこ (入庫)
10253 どわすれ (度忘れ)	10278 にゅうせん (入選)
10254 ないか (内科)	10279 にょう (尿のけんさ)
10255 ないじょ (内助の功)	10280 にんじょう (刃傷)
10256 ないつう (敵に内通する)	10281 ぬかよろこび (ぬか喜び)
10257 ないめん (内面)	10282 ぬるむ (水が——)
10258 なかだち(……の——をする)	10283 ねがん (寝棺)
10259 ながれだま (流れだまにあたる)	10284 ねじける
10260 なげやり (——なやりかた)	10285 ねっきょう (熱狂する)
10261 なす (ひそかに悪を——)	10286 ねつど (熱度)
10262 なっとく (ようやく納得した)	10287 ねびらき (値開き)
10263 なびく (けむりが——)	10288 ねんかん (年鑑)
10264 なみじ (波路)	10289 ねんし (年始のあいさつ)
10265 ならす (土地を——)	10290 ねんど (年度がかわる)
10266 なりゆき (成り行き)	10291 ねんまつ (年末の売出し)
10267 なんか (軟化する)	10292 のうがき (能書き)
10268 なんこつ (軟骨)	10293 のうじゅうけつ (脳充血)
10269 なんといどうぶつ (軟体動物)	10294 のうど (濃度)
10270 なんら (何らさしつかえない)	10295 のうみん (農民)
10271 にがにがしい (——思い出)	10296 のさばる
10272 にごん (武士に二言はない)	10297 のぞむ (海に——)
10273 にそう (尼僧)	10298 のべ (野べにさく花)
10274 につかわしい (似つかわしい)	10299 のりあい (乗合)
10275 にっちょく (日直)	10300 のれん (——をくぐる)

10301 とりなし (あの人の——で)	10326 にやく (荷役)
10302 とりもつ (なかを取り持つ)	10327 にゅうごく (入獄)
10303 どんかく (鈍角と直角)	10328 にゅうでん (入電)
10304 ないかい (内海)	10329 にょじつ (…を如実にしめす)
10305 ないじょう (内情をさぐる)	10330 にんじょう (人情)
10306 ないてい (内定)	10331 ぬかり (——なくやる)
10307 ないやく (内約)	10332 ね (値がさがる)
10308 なかつぎ (中継ぎ)	10333 ねぎらう (労を——)
10309 なきごと (泣き言)	10334 ねづよい (根強い)
10310 なこうど (結婚の——)	10335 ねつく (寝付く)
10311 なする (どろを——)	10336 ねっとう (熱湯)
10312 なでがた (なで肩)	10337 ねぶみ (値踏み)
10313 なまあたらしい (なま新しい)	10338 ねんがん (念願がかなう)
10314 なみだぐましい (涙ぐましい)	10339 ねんじ (年次の報告)
10315 ならびに (教科書——参考書)	10340 ねんとう (年頭のあいきつ)
10316 なる (新築が成る)	10341 ねんらい (年来ののぞみ)
10317 なんかい (難解)	10342 のうがく (能楽)
10318 なんじ (かんなん——を玉にす)	10343 のうしゅっけつ (脳出血)
10319 なんとん (南端)	10344 のうどうてき (能動的)
10320 に (荷を運ぶ)	10345 のうむ (濃霧)
10321 にかよう (似通う)	10346 のし (——をつける)
10322 にさん (二三のまちがいがある)	10347 のたれじに (野たれ死に)
10323 にちげん (日限がせまる)	10348 のべじんいん (延べ人員)
10324 につかん (日刊の新聞)	10349 のりうつる (乗り移る)
10325 にってい (日程)	10350 のろう (人を——)

10351 とりなす (ふたりのなかを——)	10376 ニュアンス
10352 とりもなおさず	10377 にゅうざい (乳剤)
10353 どんかん (鈍感な人)	10378 にゅうねん (入念なさいく)
10354 ないがい (内外)	10379 により (似寄りのがら)
10355 ないしょく (内職)	10380 にんち (任地へおもむく)
10356 ないない (内々の話)	10381 ぬかる (道が——)
10357 ないよう (内容)	10382 ね (かねの音)
10358 なかば (半ば)	10383 ねぎる (値切る)
10359 なぐ (草を——)	10384 ねぞう (寝相が悪い)
10360 なごやか (——な会)	10385 ねっけつ (熱血)
10361 なぞらえる	10386 ねつびょう (熱病)
10362 など(さくらやうめ——の木)	10387 ねらう (まとを——)
10363 なまかじり (——の知識)	10388 ねんき (年季・年期)
10364 なみだぐむ (涙ぐむ)	10389 ねんしょ (年初)
10365 ならわし (地方の——)	10390 ねんとう (念頭にない)
10366 なるこ (鳴子)	10391 ねんりょう (燃料)
10367 なんかん(難関をとっぱする)	10392 のうぎょう (農業)
10368 なんじ (難事)	10393 のうしょう (農相)
10369 なんてん (難点)	10394 のうにゅう (納入)
10370 にあう (似合う)	10395 のうりつ (能率があがる)
10371 にかわ (——でつける)	10396 のしあがる
10372 にじかい (二次会)	10397 ノック
10373 にちじ (会の日時)	10398 のべつ (——にしゃべる)
10374 にっきゅう (日給)	10399 のりき (乗り気)
10375 にっとう (日当をはらう)	10400 のろし (——をあげる)

10401 とりのこ (鳥の子の紙)	10426 にゅうえい (入営)
10402 とりょう (塗料をぬる)	10427 にゅうさつ (入札)
10403 どんじゅう (鈍重な人)	10428 にゅうばい (入梅)
10404 ないかく (内閣)	10429 にん (任につく)
10405 ないしん (内心どきんとした)	10430 にんち (認知する)
10406 ないねんきかん (内燃機関)	10431 ぬかるむ (道が——)
10407 ないらん (内乱)	10432 ねあがり (値上がり)
10408 ながめ (長目のズボン)	10433 ねこぜ (ねこ背)
10409 なぐ (風が——)	10434 ねそびれる (寝そびれる)
10410 なごり (——をおしむ)	10435 ねつじょう (熱情をかたむける)
10411 なだい (名代の店)	10436 ねっふう (熱風)
10412 なとり (おどりの名取り)	10437 ねりあるく (練り歩く)
10413 なまがわき (——のかさ)	10438 ねんき (年忌の法事)
10414 なみなみ (——とつぐ)	10439 ねんしょう (燃焼)
10415 なりあがる (低い身分から成り上がる)	10440 ねんない (年内に返す)
10416 なれあい (——で人をだます)	10441 ねんりん (年輪)
10417 なんぎ (難儀にあう)	10442 のうきょうげん (能狂言)
10418 なんじゃく (軟弱)	10443 のうじょう (農場)
10419 なんと (——にしまう)	10444 のうはんき (農繁期)
10420 にうごき (荷動き)	10445 のうりょう (納涼)
10421 にぎにぎしい (——ふえやたいこの音)	10446 のしかかる
10422 にしき	10447 のっとる (乗っ取る)
10423 にちじょう (日常の生活)	10448 のべる (述べる)
10424 にっさん (日参する)	10449 のりきる (乗り切る)
10425 になう (荷なう)	10450 のんき (——にくらす)

10451 とりはからう (取り計らう)	10476 にゅうか (入荷)
10452 どりょう (度量の大きい人)	10477 にゅうし (入試)
10453 とんだ (——ことをしてしまった)	10478 にゅうはくしょく (乳白色)
10454 ないきん (内勤の社員)	10479 にんい (任意)
10455 ないじん (本堂の内陣)	10480 にんぶ (人夫)
10456 ないぶ (内部)	10481 ぬきうち (抜き打ちのけんさ)
10457 なお (このほうが——美しい)	10482 ねあげ (値上げ)
10458 ながめる (けしきを——)	10483 ねこそぎ (根こそぎ)
10459 なぐさみ (慰み)	10484 ねだ (根太がぬける)
10460 なさけ (情)	10485 ねっしん (熱心)
10461 なためる	10486 ねつべん (熱弁をふるう)
10462 なにがし (山田——という人)	10487 ねる (文章を練る)
10463 なまじっか (——な知識)	10488 ねんきん (年金)
10464 なめらか	10489 ねんしょう (年少の者)
10465 なりかわる (本人になりかわってあいさつする)	10490 ねんねん (年々よくなる)
10466 なれなれしい (——態度)	10491 ねんれい (年齢)
10467 なんきゅう (軟球)	10492 のうきん (納金)
10468 なんしょ (難所にさしかかる)	10493 のうずい (脳髄)
10469 なんなく (問題を難なくとく)	10494 のうひつ (能筆)
10470 にえきらない (——返事)	10495 のうりょく (能力)
10471 にくがん (肉眼で見える)	10496 のじゅく (野宿)
10472 にじき (二食)	10497 のどか (——な春)
10473 にちにち (日々の勉強)	10498 のぼす (上す)
10474 にっさん (日産1000台)	10499 のりくむ (乗り組む)
10475 にのつぎ (二の次にする)	10500 は (新しい派をたてる)

10501 ば (場)	10526 はつはる (初春)
10502 ばいえん (ばい煙でよごれる)	10527 はばかり (——はどこですか)
10503 ばいきゃく (本を売却する)	10528 はまき (葉巻)
10504 はいご (廃語)	10529 はやく (破約)
10505 はいしょ (配所の月)	10530 はらごしらえ (腹ごしらえ)
10506 はいせき (人を排斥する)	10531 はりだす (張り出す)
10507 はいとう (配当)	10532 ばれる (悪いことが——)
10508 はいほう (敗報)	10533 はんえり (半えり)
10509 はいりょ (配慮)	10534 はんきょう (反響がある)
10510 はかく (破格のたいぐう)	10535 はんこう (反抗する)
10511 はきちがえる (はきちがえた 考え)	10536 ばんしゅう (晩秋)
10512 はくがく (博学の人)	10537 はんすう (半数)
10513 ばくしょう (爆笑がおこる)	10538 ぼんだい (番台)
10514 ばくちく (爆竹)	10539 はんにゃ (——の面)
10515 はくぶん (白文)	10540 はんべつ (判別)
10516 ばくろ (内情を——する)	10541 はんもん (はん紋のあるもよ う)
10517 バザー	10542 ひいでる (かれは音楽に——)
10518 はしたない (——ことを言う)	10543 ひがえり (日帰り)
10519 はしわたし (両者の橋渡しを する)	10544 びかん (美観をそこねる)
10520 はた (畑)	10545 ひきしめる (気持を引き締め る)
10521 はたち (来年——になる)	10546 ひきにく (ひき肉)
10522 はつおん (発音)	10547 ひくつ (卑屈な態度)
10523 ばつぐん (抜群の成績)	10548 ひごう (非業の死)
10524 はっしゃ (発射)	10549 ひさしい (久しい)
10525 ばってき (社員を抜てきする)	10550 ひじゅう (比重)

10551 ばあい (場合)	10576 はつびょう (発病)
10552 ばいえん (梅園)	10577 はばかり
10553 はいきゅう (配給)	10578 はみだす
10554 はいご (背後)	10579 はやく (は役をつとめる)
10555 はいじょ (じゃまの排除)	10580 ばらす (はこを——)
10556 はいせつ (排せつの作用)	10581 はりつめる (張り詰める)
10557 ばいばい (売買)	10582 はわたり (刃渡り)
10558 はいぼく (敗北する)	10583 はんえん (半円)
10559 はいりょう (拝領する)	10584 はんきん (半金をはらう)
10560 はかない (——いのち)	10585 はんこう (犯行をかさねる)
10561 はきゅう (波及する)	10586 はんしゅつ (会場から搬出する)
10562 はぐくむ	10587 はんする (反する)
10563 はくしょく (白色)	10588 はんだくおん (半濁音)
10564 はくちゅう (白昼)	10589 ばんにん (万人のよろこび)
10565 はくへいせん (白兵戦)	10590 はんぼいん (半母音)
10566 はげしい (激しいいきおい)	10591 はんもん (反問する)
10567 はさみうち (——にする)	10592 ひいまご (ひい孫)
10568 はしっこい	10593 ひかえる (控える)
10569 はす(紙が——にはってある)	10594 ひきあい (引き合いに出す)
10570 はた (機をおる)	10595 ひきたつ (色が——)
10571 はためく (風に——)	10596 ひきはらう (いなかを引き払う)
10572 はっか (発火)	10597 ひくめる (低める)
10573 はっけっきゅう (白血球)	10598 びこう (人を尾行する)
10574 はっしん (発信)	10599 ひざづめ (ひざ詰めで話す)
10575 はってん (発展)	10600 ひじゅつ (秘術をつくす)

10601 パーセント	10626 はっぴょう (発表)
10602 はいか (配下)	10627 はばたく
10603 はいきゅう (排球のしあい)	10628 はむかう
10604 はいごう (配合)	10629 はやし (お——がはいる)
10605 ばいしょう (賠償)	10630 パラソル
10606 はいせん (敗戦)	10631 はるか (——に海が見える)
10607 はいびょう (肺病)	10632 はん (版をかさねる)
10608 ばいまし (倍増し)	10633 はんおん (半音)
10609 ばいりん (梅林)	10634 ばんくるわせ (番狂わせ)
10610 ばかばかしい (——話)	10635 はんごう (飯ごうでたく)
10611 はきょく (破局がくる)	10636 ばんしゅん (晩春)
10612 ばくげき (爆撃)	10637 はんせい (反省をうながす)
10613 はくじん (白人)	10638 はんだん (判断をくだす)
10614 バクテリア	10639 ばんねん (晩年)
10615 はくまい (白米)	10640 はんぼう (繁忙をきわめる)
10616 はげます (励ます)	10641 はんらん (反乱がおこる)
10617 はさん (破産)	10642 ひうん (非運をなげく)
10618 パジャマ	10643 ひかく (皮革の製品)
10619 パス	10644 ひきあげる (引き上げる)
10620 はだ (膚)	10645 ひきたてる (人を引き立てる)
10621 はたもと (旗本)	10646 ひきふだ (引札をくぼる)
10622 はつが (発芽)	10647 ひげ (卑下する)
10623 はっけん (発見)	10648 びこう (鼻孔)
10624 はっする (発する)	10649 ひさびさ (久々であう)
10625 はつでん (発電)	10650 びじゅつ (美術)

10651 パーティー	10676 はっぷ (発布)
10652 ばいか (倍加する)	10677 はばむ (行くてを——)
10653 はいぎょう (廃業する)	10678 はめ (苦しい——におちいる)
10654 はいこむ	10679 はやて (——のように走る)
10655 はいじん (俳人)	10680 はりあい (張り合いがない)
10656 はいぜん (配ぜんのかかり)	10681 はるか (——におとなしい)
10657 はいひん (廃品)	10682 はん (範をたれる)
10658 はいめつ (廃滅する)	10683 ばんがい (番外)
10659 はいれつ (配列)	10684 はんけい (半径)
10660 はがみ (歯がみしてくやしが る)	10685 ばんこく (万国)
10661 はぎれ (歯切れのよいことば)	10686 はんじょう (商売が繁盛する)
10662 はくし (白紙)	10687 はんせい (半生をささげる)
10663 ばくしん (幕臣)	10688 はんてい (判定をくだす)
10664 はくねつ (しあいが白熱する)	10689 はんのう (反応)
10665 ばくまつ (幕末)	10690 ハンマー
10666 はげむ (励む)	10691 はんらん (川が——する)
10667 はじ (恥)	10692 ひえる (冷える)
10668 はしゅつ (派出)	10693 ひかく (……と比較する)
10669 はすう (は数をきりすてる)	10694 ひきあわせる (引き合わせる)
10670 はたおり (機織り)	10695 ひきつぐ (引き継ぐ)
10671 はだん (破談)	10696 ひきまど (引窓をあける)
10672 はっかく (発覚)	10697 ひげき (悲劇)
10673 はつげん (発言)	10698 びこう (備考をつけくわえる)
10674 ばっする (罰する)	10699 ひざまずく
10675 バット (——をふる)	10700 ひしょ (避暑)

10701 ばあや (婆や)	10726 はっぼう (発砲)
10702 ばいかい (媒介をする)	10727 はびこる
10703 はいぐうしゃ (配偶者)	10728 はめつ (破滅)
10704 はいざん (敗残の身)	10729 はやまる (早まる)
10705 はいすい (ポンプで排水する)	10730 はりあう (張り合う)
10706 はいそう (敗走)	10731 バルコニー
10707 ばいひん (売品)	10732 はん (藩の大名)
10708 はいめん (背面からくる)	10733 ばんがく (晩学の人)
10709 はえ (——ある優勝)	10734 はんげき (反撃をうける)
10710 はがゆい (——思い)	10735 はんざい (犯罪)
10711 はく (金の——)	10736 はんじょう (半畳をいれる)
10712 はくし (博士)	10737 はんせん (帆船)
10713 はくせい (動物のはく製)	10738 はんてん (反転)
10714 ばくは (爆破)	10739 ばんのう (万能)
10715 はくめい (薄命)	10740 はんまい (飯米)
10716 はける (水が——)	10741 ひ (比)
10717 はしがき (端書き)	10742 びおん (鼻音)
10718 ばじゅつ (馬術)	10743 ひがけ (日がけの貯金)
10719 はずす (とめがねを——)	10744 ひきいる (こどもを率いる)
10720 はだぎ (はだ着)	10745 ひきつけ (——をおこす)
10721 はちあわせ (はち合わせ)	10746 ひきまわす (引き回す)
10722 はっかん (発汗)	10747 ひけし (火消し)
10723 はっこう (発行)	10748 ひこく (被告と原告)
10724 はっせい (発生)	10749 ひざもと (親の——をはなれる)
10725 はつどう (発動)	10750 ひしょ (社長の秘書)

10751 はい (肺がよわい)	10776 はつみみ (初耳)
10752 ばいがく (倍額をはらう)	10777 はぶく (省く)
10753 はいぐん (敗軍)	10778 ばめん (場面)
10754 はいし (廃止する)	10779 はやみみ (早耳)
10755 ばいすう (倍数)	10780 ばりき (馬力)
10756 はいぞう (肺臓)	10781 はるさき (春先)
10757 はいふ (配布)	10782 はんい (範囲をきめる)
10758 はいやく (配役)	10783 ばんがさ (番がさをさす)
10759 はえぬき (はえ抜きのえどっこ)	10784 はんけつ (判決をくだす)
10760 はからう (うまく計らう)	10785 ばんさん (晩さんをとともにする)
10761 はくあい (博愛)	10786 ばんしょう (晩鐘)
10762 はくしき (博識)	10787 はんぜん (判然としない)
10763 ばくぜん (——とそう思っている)	10788 はんてん (はん点)
10764 はくはつ (白髪 of 老人)	10789 はんばい (販売)
10765 ばくやく (爆薬)	10790 ばんみん (万民)
10766 はけん (派遣する)	10791 ひ (石の碑をたてる)
10767 はしくれ (材木の——)	10792 びおんとう (微温湯)
10768 はしょる (着物を——)	10793 ひがむ (あまり——な)
10769 はずむ (まりが——)	10794 ひきうつす (引き写す)
10770 はだける (胸が——)	10795 ひきつける (自分のほうへ——)
10771 ばちがい (場違い)	10796 ひきゃく (飛脚)
10772 はっき (発揮)	10797 ひけつ (否決する)
10773 はっこう (発光)	10798 ひごろ (日ごろ)
10774 はっせい (発声)	10799 ひさん (かけらが飛散する)
10775 ばっとう (抜刀)	10800 ひじょう (非常の場合)

10801 はいいろ (灰色)	10826 はなぐもり (花曇り)
10802 はいかつりょう (肺活量)	10827 はぶり (羽ぶりがよい)
10803 はいけい (背景)	10828 はもの (——だから安い)
10804 はいしゃく (拝借する)	10829 はやる (心が——)
10805 はいする (廃する)	10830 はりきる (張り切る)
10806 はいたつ (配達)	10831 はるばる (——とやってきた)
10807 はいふき (灰吹)	10832 はんい (犯意をみとめる)
10808 ばいやく (買約)	10833 ばんがた (晩方になると……)
10809 はえる (夕日に——)	10834 はんげつ (半月)
10810 はかりごと (——をめぐらす)	10835 はんじ (判事)
10811 はくい (白衣)	10836 ばんしょう (万障をくりあわせる) .
10812 はくしゃ (白砂)	10837 はんそう (ヨットで帆走する)
10813 ばくだい (ばく大な金額)	10838 はんとう (半島)
10814 ばくはつ (爆発)	10839 はんはん (半々にいれる)
10815 はくらい (舶来)	10840 はんめい (判明)
10816 ばけん (馬券)	10841 ひ (秘中の秘)
10817 はしご	10842 ひが (彼我の勢力)
10818 はじらう (恥じらう)	10843 ひがら (日がらもよいし……)
10819 はせる (馬を——)	10844 ひきうつる (引き移る)
10820 はださむい (はだ寒い)	10845 ひきつれる (皮が——)
10821 はちゅうるい (は虫類)	10846 ひきょう (悲境にたつ)
10822 はっきゅう (薄給)	10847 ひけつ (じょうずになる——)
10823 はっこう (発酵させて酒をつくる)	10848 びさい (微細)
10824 はっそう (発送)	10849 ひさん (悲惨なさいご)
10825 はつに (初荷)	10850 びしょう (微笑する)

10851 ばいう (梅雨)	10876 はなしことば (話しことば)
10852 はいかん (神社の拝観)	10877 ばふん (馬ふん)
10853 はいけい (拝啓)	10878 はもん (波紋)
10854 はいじゅ (拝受する)	10879 はらいさげる (払い下げる)
10855 はいする (大命を拝する)	10880 はりこ (張り子のとら)
10856 はいち (配置)	10881 パルプ
10857 はいぶつ (廃物)	10882 はんいご (反意語)
10858 ばいやく (売薬)	10883 はんかん (反感をもつ)
10859 はおと (羽音)	10884 はんげん (半減する)
10860 はかる (事を図る)	10885 ばんじ (万事うまくできた)
10861 はくえん (白煙)	10886 はんしょく (ねずみの繁殖)
10862 はくしゅ (拍手)	10887 ばんそう (ピアノの伴奏)
10863 ばくだん (爆弾)	10888 はんどう (反動)
10864 はくひょう (薄氷をふむ思い)	10889 はんぴれい (反比例)
10865 はくらんかい (博覧会)	10890 ばんめし (晩飯)
10866 はごたえ (歯ごたえがある)	10891 ひあい (悲哀)
10867 はじさらし (恥さらし)	10892 びか (都市の美化)
10868 はしり (——のさんま)	10893 ひかん (避寒)
10869 ばぞく (馬賊)	10894 ひきこもる (病気で——)
10870 はたして (——そのとおりだ)	10895 ひきて (ふすまの引手)
10871 はちょう (波長)	10896 ひきょう (——なことはしない)
10872 はっきょう (発狂)	10897 ひけめ (——を感ずる)
10873 はっこつ (白骨)	10898 ひざおくり (ひざ送り)
10874 ばっそく (罰則)	10899 ひじ (秘事をあばく)
10875 はつねつ (発熱)	10900 びしょう (微小な生物)

10901 はいえい (背泳)	10926 はなむけ (——のことば)
10902 はいかん (雑誌の廃刊)	10927 はへん (破片)
10903 はいけっかく (肺結核)	10928 はもん (でしを破門する)
10904 ばいしゅう (買収する)	10929 はらう (けがれを——)
10905 はいする (じゃまを排する)	10930 はりこむ (張り込む)
10906 はいでん (拝殿)	10931 はれがましい
10907 はいぶん (配分)	10932 はんえい (反映する)
10908 ばいよう (培養)	10933 はんき (半期)
10909 はかい (破壊)	10934 ばんけん (番犬)
10910 はかる (計る, 測る, 量る)	10935 はんしゃ (反射)
10911 ばくおん (爆音)	10936 はんしん (半身)
10912 はくじょう (白状する)	10937 ばんそうこう (——をはる)
10913 はくち (白痴)	10938 はんとき (半時あまり)
10914 ばくふ (幕府)	10939 ばんぶつ (万物)
10915 はくりょく (迫力)	10940 はんめん (反面)
10916 はこび (……の運びとなる)	10941 ひあがる (干上がる)
10917 はしちか (端近)	10942 ひがい (被害をうける)
10918 はしりがき (走り書き)	10943 ひかん (悲観する)
10919 はそん (破損)	10944 ひきさる (引き去る)
10920 はたす (果す)	10945 ひきでもの (引出物)
10921 ばつ (罰をうける)	10946 ひきんぞく (非金属)
10922 バック	10947 ひける (学校は3時に——)
10923 はっさん (発散)	10948 ひざかり (日盛り)
10924 はったつ (発達)	10949 ひしひし (——と身にこたえる)
10925 はつばい (発売)	10950 ひじょうぐち (非常口からにげる)

10951 はいえん (肺炎)	10976 ははかた (母方のおじ)
10952 はいき (エンジンの排気)	10977 はま (浜)
10953 はいけん (拝見する)	10978 はや (——10年がたった)
10954 はいしゅつ (排出する)	10979 はらぐろい (腹黒い)
10955 はいする (人を配する)	10980 はりたおす (張り倒す)
10956 はいでん (配電)	10981 はれぎ (晴れ着)
10957 はいべん (排便)	10982 はんえい (社会の繁栄)
10958 ばいりつ (倍率)	10983 はんぎゃく (反逆)
10959 はがいじめ (——にする)	10984 はんご (反語)
10960 はがれる (のりが——)	10985 ばんしゃく (晩しゃくをたのしむ)
10961 はくがい (迫害)	10986 ばんじん (アフリカの蛮人)
10962 はくじょう (薄情なしうち)	10987 はんそく (反則をおかす)
10963 ばくち (——をうつ)	10988 はんどく (ようやく判読する)
10964 はくぶつかん (博物館)	10989 パンフレット
10965 はぐるま (齒車)	10990 はんも (植物の繁茂)
10966 はごろも (羽衣)	10991 ピアニスト
10967 はした	10992 ひかえ (控えをつくる)
10968 はじる (恥じる)	10993 ひがん (春の彼岸)
10969 はた (——で見ている)	10994 ひきしお (引き潮)
10970 はたち (畑地)	10995 ひきとる (引き取る)
10971 はついく (発育)	10996 びくしょう (微苦笑)
10972 はくくつ (発掘)	10997 ひけん (比肩するものがない)
10973 ばっし (末子としてうまれる)	10998 ひざし (冬の日ざし)
10974 はっちゃく (発着)	10999 ひしめく (見物人が——)
10975 はっぶん (発憤する)	11000 ひじょうしき (非常識な人)

11001 ひじょうせん(非常線をはる)	11026 ひんきゃく(賓客をまねく)
11002 ひそう(皮相のかんさつ)	11027 びんじょう(自動車に便乗する)
11003 ひだい(へんとうせんの肥大)	11028 ひんぴょうかい(品評会)
11004 ひっさん(筆算)	11029 ふあん(不安に思う)
11005 ひっせき(筆跡)	11030 ふうあつ(風圧をはかる)
11006 ひっぽう(筆法)	11031 ふうきり(映画の封切り)
11007 ひといちばい(人一倍)	11032 ふうしょ(封書を出す)
11008 びとく(美德)	11033 ふうてい(風体のよくない男)
11009 ひとづかい(人使いがあらう)	11034 ふうろう(風浪がはげしい)
11010 ひとりよがり	11035 ふか(ぜったいに不可だ)
11011 びねつ(微熱がある)	11036 ふかこうりょく(それは不可抗力だ)
11012 ひばん(非番の人)	11037 ふきつ(不吉なゆめ)
11013 ひふく(被服)	11038 ぶきよう(ぶ器用なたち)
11014 ひぼう(非望をいただく)	11039 ふぐ(不具の身)
11015 びめい(美名)	11040 ふくがん(こん虫の複眼)
11016 ひややか(冷やかな態度)	11041 ふくさんぶつ(副産物)
11017 ひょうき(表記)	11042 ふくしょ(国務大臣の副署)
11018 ひょうさつ(表札)	11043 ふくせい(名画の複製)
11019 ひょうじゅんご(標準語)	11044 ふくぶくしい(福々しい顔つき)
11020 ひょうだい(表題・標題)	11045 ふくろこうじ(袋小路)
11021 ひょうほん(標本)	11046 ふけつ(不潔な手)
11022 ひよわい(ひ弱い)	11047 ぶこう(武功をたてる)
11023 ひりつ(比率が高い)	11048 ふさく(米が不作だ)
11024 びれい(美麗なかざり)	11049 ふじ(不時のできごと)
11025 ひわ(悲話)	11050 ふしまつ(火の不始末)

11051 びしょく (美食)	11076 ひんく (貧苦にやつれる)
11052 ひぞう (秘蔵の本)	11077 ひんする (きけんに——)
11053 ひたすら (——勉強する)	11078 ひんぶ (貧富の差がはげしい)
11054 ひっし (必死になって……)	11079 ふあんない (不案内な土地)
11055 ひっせん (筆洗)	11080 ふういん (封印をする)
11056 ひつぼく (筆墨)	11081 ふうけい (うつくしい風景)
11057 ひどう (非道なしうち)	11082 ふうじる (封じる)
11058 ひとごち (人ごちがつく)	11083 ふうど (わが国の風土)
11059 ひとづて (人づてにきく)	11084 ふうん (不運な人)
11060 ひとわたり (——目を通す)	11085 ふか (付加する)
11061 ひねもす (——つくえに向かう)	11086 ふかしぎ (不可思議な事件)
11062 ひび (日々のつとめ)	11087 ぶきみ (ぶ気味な静けさ)
11063 びふく (美服)	11088 ぶぎょう (奉行)
11064 びぼう (美ぼうの人)	11089 ぶぐ (武具)
11065 ひめる (秘める)	11090 ふくぎょう (副業)
11066 ひゆ (適当な比ゆ)	11091 ふくし (社会の福祉をはかる)
11067 びょうきん (病菌)	11092 ふくしょう (副賞はとけいです)
11068 ひょうし (拍子)	11093 ふくせん (複線の鉄道)
11069 ひょうしょう (表彰する)	11094 ふくふくせん (複々線)
11070 びょうちゅう (病中)	11095 ふくろだたき (袋だたきにあらう)
11071 びょうま (病魔におかされる)	11096 ふける (読書に——)
11072 ひらいしん (避雷針)	11097 ふこく (布告をだす)
11073 ひりょう (肥料をほどこす)	11098 ふざける (教室で——)
11074 ひれつ (卑劣なおこない)	11099 ぶし (武士)
11075 ひわり (日割りで計算する)	11100 ふしまわし (節回しがむずかしい)

11101 ひじり (歌の——)	11126 ひんけつ (貧血をおこす)
11102 ひそか (——によろこぶ)	11127 ひんせい (品性を高める)
11103 ひたん (悲嘆にくれる)	11128 ひんみん (貧民)
11104 ひっし (必至の情勢だ)	11129 ふい (せっかくの労力が——になる)
11105 ひつぜん (必然の結果)	11130 ふうう (風雨にたえる)
11106 ひつめい (筆名)	11131 ふうげつ (風月にしたしむ)
11107 びとう (尾燈をつける)	11132 ふうする (暗に世の中を——)
11108 ひとつと (まるで人事のよう だ)	11133 ふうどう (風どうで実験する)
11109 ひとで (人手がたりない)	11134 ぶうん (武運つたなく……)
11110 ひなか (ひるの日中)	11135 ぶか (部下)
11111 ひのいり (日の入り)	11136 ふかで (深手をうける)
11112 びび (微々としてふるわない)	11137 ふきゅう (普及する)
11113 ひぶた (火ぶたを切る)	11138 ふぎょうせき (不行跡)
11114 ひぼん (非凡なうでまえ)	11139 ふくあん (腹案をたてる)
11115 ひもじい (——思い)	11140 ふくけん (復券)
11116 ヒューズ	11141 ふくし (副詞)
11117 びょうく (病苦)	11142 ふくしょう (副将)
11118 ひょうじ (表示)	11143 ふくせん (伏線をはる)
11119 ひょうじょう (表情)	11144 ふくへい (伏兵)
11120 ひょうてん (氷点)	11145 ふくろもの (袋物)
11121 ひょうめい (意見を表明する)	11146 ふける (心配すると早く——)
11122 ひらきなおる (ひらきなおっ てたずねる)	11147 ふこころえ (不心得をさとす)
11123 びりょく (微力をつくす)	11148 ぶさた (ご——をする)
11124 ひれふす (足もとにひれ伏す)	11149 ぶじ (無事にすむ)
11125 ひん (品がある)	11150 ふじみ (不死身のからだ)

11151 ピストン	11176 ひんこう (品行が正しい)
11152 ひぞく (卑俗なことば)	11177 ピンセット
11153 びだん (美談をきく)	11178 ひんもく (品目を書き出す)
11154 ひっしゃ (筆写)	11179 ふい (不意にあらわれる)
11155 ひつだん (筆談)	11180 ふうか (表面が風化する)
11156 ひつよう (必要)	11181 ふうこう (すばらしい風光)
11157 びどう (微動)	11182 ふうせつ (風説をたてる)
11158 ひとつみ (人込みをおしわけ る)	11183 ふうにゅう (ガスを封入する)
11159 ひととなり (かれの——は…)	11184 ふえいせい (不衛生)
11160 ひながた (ひな型)	11185 ふかい (不快な気持)
11161 ひのきぶたい (ひのき舞台)	11186 ふかぶん (不可分の関係)
11162 びびしい (美々しい)	11187 ふきゅう (不急の品物)
11163 ビフテキ	11188 ふきよせ (音曲の吹寄せ)
11164 ひまご (——が生まれる)	11189 ふくいん (復員する)
11165 ひもとく (本を——)	11190 ふくげん (復原)
11166 ひょう (——が降る)	11191 ふくじ (服地)
11167 ひょうぐや (表具屋)	11192 ふくしょう (伝言を復唱する)
11168 びょうし (病死)	11193 ふくそう (はでな服装)
11169 ひょうじょう (評定が長びく)	11194 ふくみ (含みのある話)
11170 ひょうてん (評点)	11195 ふくん (夫君)
11171 ひょうめん (表面)	11196 ふけん (府県)
11172 ひらきふう (開き封)	11197 ぶこつ (——な人)
11173 ビル (ビルディング)	11198 ぶざつ (——な文章)
11174 ひろ (深さは五——)	11199 ふしおがむ (伏し拝む)
11175 ひん (貧に苦しむ)	11200 ふしめ (伏目がちに話す)

11201 ひずめ	11226 ひんこん (貧困にたえる)
11202 ひそまる (潜まる)	11227 びんせん (便船がありしだい)
11203 ひつう (悲痛な決心)	11228 ぶ (——がわるい)
11204 ひっしゃ (筆者)	11229 ふいちょう (——してまわる)
11205 ピッチ (——をあげる)	11230 ふうが (風雅なおもむき)
11206 ひてい (否定する)	11231 ふうさ (出入口を封鎖する)
11207 ひとえに (——先生のおかげ だ)	11232 ふうせつ (風雪をおかして出 かける)
11208 ひところ (——東京に住んで いた)	11233 ふうは (風波が高い)
11209 ひとばらい (人払いする)	11234 ふえて (不得手な運動)
11210 ひなびる (ひなびたおもむき)	11235 ぶかい (部会)
11211 ひのくるま (くらしは火の車 だ)	11236 ぶかん (武官と文官)
11212 ひひょう (批評する)	11237 ふきゅう (不朽の名声)
11213 ひふん (悲憤)	11238 ぶきりょう (ぶ器量な人)
11214 ひまし (日増しに大きくなる)	11239 ふくいん (福音をとく)
11215 ひやく (飛躍する)	11240 ふくこう (復航)
11216 ひよう (費用)	11241 ふくしき (単式と複式)
11217 ひょうけつ (氷結する)	11242 ふくしょく (復職する)
11218 ひょうしき (標識)	11243 ふくつ (不屈の精神)
11219 びょうしょう (病床をみまう)	11244 ふくむ (水を含む)
11220 びょうどう (平等)	11245 ふくん (父君にお目にかかる)
11221 ひょうり (表裏)	11246 ふげん (ねんのため付言する)
11222 ひらて (平手で打つ)	11247 ブザー
11223 ひるい (比類がない)	11248 ぶさほう (ぶ作法なふるまい)
11224 ひろいぬし (拾い主)	11249 ふしくれだつ
11225 びん (——がほつれる)	11250 ぶしゅ (漢字の部首)

11251 ひする (比する)	11276 ひんし (——の重傷)
11252 ひそむ (潜む)	11277 びんせん (便せんにペンで書く)
11253 ひっき (話を筆記する)	11278 ぶ (武をねる)
11254 ひつじゅ (必需の品)	11279 フィナーレ
11255 ひっちゅう (一発で必中させる)	11280 ふうがい (風害をうける)
11256 ひでん (秘伝)	11281 ふうさい (——のあがらない人)
11257 ひとおもい (一思いに…する)	11282 ふうそく (風速30メートル)
11258 ひとざと (人里をはなれる)	11283 ふうひょう (風評がたつ)
11259 ひとまず (——安心)	11284 フェルト (——のスリッパ)
11260 ひなん (避難する)	11285 ふがいない (——人だ)
11261 ひのけ (火の気がない)	11286 ふき (付記する)
11262 びひん (備品)	11287 ふきゅう (材木が腐朽する)
11263 ひぶん (碑文)	11288 ふきん (学校の付近)
11264 ひまん (肥満する)	11289 ふくいん (道路の幅員)
11265 ひゃくしゅつ (議論が百出する)	11290 ふくごう (複合する)
11266 ひょうおんもじ (表音文字)	11291 ふくしゃ (複写する)
11267 ひょうげん (表現)	11292 ふくしょくぶつ (副食物の費用)
11268 びょうしつ (病室)	11293 ふくつう (腹痛をおこす)
11269 びょうじょう (病状)	11294 ふくめる (含める)
11270 びょうどく (病毒)	11295 ぶけ (武家)
11271 ひょうりゅう (漂流)	11296 ふこう (しんるいに不幸があった)
11272 ひらに (平におゆるしください)	11297 ふさい (夫妻)
11273 ひるがえす (翻す)	11298 ぶざま (無様なかっこう)
11274 ひろいよみ (拾い読み)	11299 ふしだら (——な人)
11275 びん (次の便で出す)	11300 ぶじゅつ (武術をねる)

11301 ひする (名を秘する)	11326 ひんし (品詞)
11302 ひそめる (身を潜める)	11327 ひんそう (貧相に見える)
11303 ひつき (火付きがよい)	11328 ぶあい (歩合)
11304 ひっしゅう (必修の科目)	11329 ふいり (不入りの日が続く)
11305 ひってき (彼に匹敵する人)	11330 ふうかく (りっぱな風格)
11306 びてん (美点)	11331 ふうさつ (封殺する)
11307 ひとかど (——の人物)	11332 ふうぞく (いなかの風俗)
11308 ひとしい (等しい)	11333 ふうぶつ (自然の風物)
11309 ひとみ (きれいな——)	11334 ぶえんりょ (無遠慮に言う)
11310 ひなん (非難)	11335 ふかいり (あまり深入りする な)
11311 ひのて (火の手があがる)	11336 ふぎ (不義のおこない)
11312 ひふ (皮膚)	11337 ふきょう (不興をこうむる)
11313 びぶん (美文)	11338 ふきん (——でふく)
11314 びみ (美味)	11339 ふぐう (不遇な一生)
11315 ひゃくぶんひ (百分比)	11340 ふくさ (——でつつむ)
11316 ひょうか (評価)	11341 ふくしゃねつ (ふくしゃ熱)
11317 ひょうげん (氷原)	11342 ふくしん (腹心の部下)
11318 びょうしゃ (風景の描写)	11343 ふくとく (福德そなわった人)
11319 ひょうする (評する)	11344 ふくやく (服薬)
11320 ひょうのう (氷のうをあてる)	11345 ふけい (父兄)
11321 ひょうろう (——がつきる)	11346 ふこう (親に不孝をする)
11322 ピラミッド	11347 ふさい (負債ができる)
11323 ひるがえる (翻る)	11348 ふさわしい (それがいちばん ——)
11324 ひろう (疲労する)	11349 ふじちゃく (不時着)
11325 ひんい (品位がさがる)	11350 ふしゅび (不首尾におわる)

11351 びせい (美声でうたう)	11376 ひんしつ (品質がよい)
11352 ひそめる (まゆを——)	11377 びんそく (敏速な動作)
11353 ひつぎ (——におさめる)	11378 ぶあいそう (——な人)
11354 ひっしょう (必勝をちかう)	11379 フィルター
11355 ひっとう (筆答)	11380 ふうき (風紀がみだれる)
11356 ひでんか (妃殿下)	11381 ふうし (風刺小説)
11357 ひとがら (人がらがよい)	11382 ふうたい (風袋とも100g)
11358 ひとしお (——身にしみる)	11383 ふうぶん (たんに風聞にすぎない)
11359 ひとみしり (人見知りをする)	11384 フォーク (ホーク)
11360 ひにく (皮肉なことをいう)	11385 ふかかい (不可解な話)
11361 ひのめ (日の目を見ない)	11386 ぶき (武器)
11362 ひぶ (日歩)	11387 ふきょう (不況な時代)
11363 ひほう (飛報)	11388 ふく (屋根をかわらで——)
11364 ひみつ (秘密)	11389 ふくえき (服役)
11365 ひゃくぶんりつ (百分率)	11390 ふくざい (いさぎよく服罪する)
11366 ひょうが (氷河)	11391 ふくしゅう (予習と復習)
11367 びょうげんきん (病原菌)	11392 ふくすう (複数と単数)
11368 ひょうしゃく (評釈)	11393 ふくどく (服毒する)
11369 ひょうする (表する)	11394 ふくよう (くすりを服用する)
11370 ひょうはく (ぬのを漂白する)	11395 ぶげい (武芸)
11371 ひょうろん (評論)	11396 ふごう (ぴったり符合する)
11372 ひらめかす	11397 ふざい (先生は不在です)
11373 ひるむ (困難に——)	11398 ふさん (不参の者は……)
11374 ビロード	11399 ふじつ (不日参上いたします)
11375 ひんかく (品格を高める)	11400 ふじゅん (気候が不順だ)

11401 びせいぶつ (微生物)	11426 ひんじゃく (貧弱に見える)
11402 ひそやか (——になく)	11427 ピント (——がぼけている)
11403 ひづけ (日付)	11428 ぶあつ (分厚な本)
11404 ひつじょう (必定のことだ)	11429 ぶいん (部員)
11405 ひっとう (筆頭に名を書く)	11430 ふうき (富貴の家)
11406 ひとあたり (人当たりがやわらかい)	11431 ふうしゃ (風車がまわる)
11407 ひとぎき (人聞きがわるい)	11432 ふうち (風致をそえる)
11408 ひとしれず (人知れず苦勞する)	11433 ふうみ (風味)
11409 ひとむかし (もう一昔になる)	11434 ぶおとこ
11410 ひにょうき (ひ尿器のびょうき)	11435 ふかく (不覚)
11411 ひばいひん (非売品)	11436 ふきそく (不規則)
11412 びふう (美風)	11437 ふきょう (キリスト教の布教)
11413 ひほう (秘法)	11438 ふく (単と複)
11414 びみょう (微妙なしかけ)	11439 ふくえん (復縁する)
11415 ひゃっかじてん (百科辞典)	11440 ふくざつ (複雑になる)
11416 ひょうかい (疑問が氷解する)	11441 ふくしゅう (敵の——をおそれる)
11417 ひょうご (標語)	11442 ふくする (命令に服する)
11418 びょうじゃく (病弱)	11443 ふくはい (腹背に敵をうける)
11419 びょうせい (病勢)	11444 ふくり (国民の福利をはかる)
11420 ひょうはく (各地を漂泊する)	11445 ふけいき (不景気になる)
11421 びよく (飛行機の尾翼)	11446 ふごう (符号をつける)
11422 ひらめく (光が——)	11447 ぶさいく (ぶ細工な本立)
11423 ひれ (さかなの——)	11448 ふし (不死のくすり)
11424 ひろっぱ (——であそぶ)	11449 ふじつ (不実なおこない)
11425 びんかつ (敏活な動作)	11450 ふじゅん (不純な心)

11451 ひそう (悲壮な決心)	11476 ひんしゅ (品種を改良する)
11452 ひだ (スカートの——)	11477 ひんぱん (交通が——だ)
11453 ひっさげる	11478 ファッション
11454 ひっせい (筆勢)	11479 ふう (西洋——の家)
11455 ひつどく (必読の本)	11480 ふうぎ (ただしい風儀)
11456 ひといきれ (人いきれであつ い)	11481 ふうしゅう (めずらしい風習)
11457 ひときわ (——高い山)	11482 ふうちょう (時代の風潮)
11458 ひとずき (人好きがする顔)	11483 ふうりゅう (風流)
11459 ひどり (日取をきめる)	11484 ふおん (不穏なことば)
11460 ひにん (否認する)	11485 ふかけつ (不可欠の条件)
11461 ひはん (批判する)	11486 ふきだまり (吹だまりの雪)
11462 びふう (微風)	11487 ふきょう (富強な国)
11463 ひほう (悲報)	11488 ふく (正と副)
11464 ひめい (悲鳴をあげる)	11489 ふくかん (副官)
11465 ひやとい (日雇)	11490 ふくさよう (副作用がない)
11466 ひょうかい (氷塊)	11491 ふくじゅう (言いつけに服従 する)
11467 ひょうこう (標高)	11492 ふくする (もとの状態に復す る)
11468 ひょうじゅん (標準)	11493 ふくぶ (腹部)
11469 ひょうそう (表装)	11494 ふくり (複利で計算する)
11470 びょうぼつ (病没)	11495 ふけいざい (時間の不経済)
11471 ひより (春の日より)	11496 ふごう (日本一の富豪)
11472 ひらや (平屋)	11497 ふさぎこむ (ふきげんに——)
11473 ひれい (比例)	11498 ふし (父子)
11474 ひはば (広幅の織物)	11499 ぶしつけ (——なおこない)
11475 びんかん (敏感な人)	11500 ふじょ (扶助を受ける)

11501 ふじょ (婦女をいたわる)	11526 ぶんざい (学生の分際で)
11502 ふしん (商売が不振だ)	11527 ふんしゅつ (噴出する)
11503 ふず (付図)	11528 ぶんせき (分析する)
11504 ふせじ (伏せ字)	11529 ぶんちん (文鎮)
11505 ふそく (付則できめる)	11530 ぶんびつ (しるを分泌する)
11506 ふたたび (再びたつ)	11531 ぶんみゃく (文脈がはっきりしない)
11507 ふちゃく (ゆうびんが不着だ)	11532 ぶんれい (文例)
11508 ふつう (列車が不通だ)	11533 へいがい (弊害をともなう)
11509 ぶっしつ (物質)	11534 べいこく (米穀)
11510 ふっとう (水が沸騰する)	11535 へいそ (平素のおこない)
11511 ふてき (不敵なやつだ)	11536 へいふく (平服でおいでください)
11512 ぶどう (武道をなろう)	11537 へいりつ (並立させる)
11513 ふなあそび (船遊び)	11538 へだたる (隔たる)
11514 ふなびん (船便)	11539 べっそう (別荘)
11515 ふび (不備)	11540 へる (……を経て行く)
11516 ふへん (不変の真理)	11541 へんかく (制度の変革)
11517 ぶめい (武名をあげる)	11542 へんけん (偏見をもつ)
11518 ふゆごもり (冬ごもり)	11543 へんしゅう (編集・編修)
11519 ふらち (——なやつ)	11544 へんずる (変ずる)
11520 ふりつけ (おどりの振付)	11545 ペンチ (——ではさむ)
11521 フルーツ	11546 へんにゅう (編入)
11522 ふれる (物に触れる)	11547 へんれい (返礼)
11523 ぶんあん (文案)	11548 ほう (法)
11524 ぶんかのひ (文化の日)	11549 ぼうえき (外国との貿易)
11525 ぶんけ (分家)	11550 ぼうか (防火の設備)

11551 ふしょう (負傷する)	11576 ぶんさつ (分冊)
11552 ふしん (家の普請)	11577 ぶんしょ (文書)
11553 ふずい (付随した事がら)	11578 ぶんせつ (文節)
11554 ふせつ (鉄道を敷設する)	11579 ぶんつう (文通)
11555 ふそく (不測のわざわい)	11580 ぶんびつ (文筆の才)
11556 ふたつへんじ (二つ返事で引き受ける)	11581 ふんむき (噴霧器)
11557 ふちゃく (石に付着する)	11582 ぶんれつ (分裂する)
11558 ぶっか (物価があがる)	11583 へいかん (閉館)
11559 ぶっしょ (仏書を読む)	11584 へいさ (閉鎖)
11560 ぶっとおし (五時間ぶっ通しで働く)	11585 へいたん (——な道)
11561 ふてき (不適なしごと)	11586 へいふく (平伏する)
11562 ふどうさん (不動産と動産)	11587 へいりょく (兵力)
11563 ぶない (部内の者)	11588 へだてる (隔てる)
11564 ぶなん (無難なやりかた)	11589 ヘッドライト
11565 ぶび (武備)	11590 ベルト
11566 ふへんてき (普遍的)	11591 べんがく (勉学)
11567 ふめつ (不滅のめいよ)	11592 べんご (弁護する)
11568 ふよう (不用になったもの)	11593 へんじょう (返上する)
11569 プラットホーム	11594 べんずる (一席弁ずる)
11570 ぶりゃく (武略)	11595 へんちょう (変調をきたす)
11571 ブルーマー	11596 へんのう (返納する)
11572 ふれる (気が——)	11597 べんれい (勉励する)
11573 ぶんい (文意)	11598 ぼう (某氏の話では……)
11574 ぶんかつ (分割する)	11599 ぼうえんきょう (望遠鏡)
11575 ぶんげい (文芸)	11600 ほうかい (崩壊)

11601 ふじょう (不浄の身)	11626 ぶんさん (分散)
11602 ふしん (不信をせめる)	11627 ぶんしょう (文相)
11603 ぶすい (無粋な人)	11628 ふんせん (奮戦する)
11604 ふせつ (符節を合わせる)	11629 ふんとう (奮闘する)
11605 ふそく (説明が不足だ)	11630 ぶんぷ (分布)
11606 ふたなぬか (二七日をすませる)	11631 ぶんめい (文名があがる)
11607 ふちゅうい (不注意)	11632 へいあん (平安)
11608 ぶつぎ (物議をかもす)	11633 へいき (兵器)
11609 ぶっしょく (品物を物色する)	11634 べいさく (米作)
11610 ぶっぴん (物品を買い入れる)	11635 へいち (平地)
11611 ふでき (不出来なものです)	11636 へいほう (100メートル平方)
11612 ふとく (婦徳)	11637 へいれつ (並列)
11613 ふなうた (船歌)	11638 べっかん (別館)
11614 ふにょい (くらしが不如意だ)	11639 へつらう (勢力のある人に——)
11615 ふひょう (不評)	11640 べん (便のけんさ)
11616 ふほう (不法なおこない)	11641 へんかん (ゆう勝旗の返還)
11617 ふもう (不毛の土地)	11642 へんこう (変更する)
11618 ぶよう (舞踊)	11643 べんしょう (弁償する)
11619 プラネタリウム	11644 べんずる (用を弁ずる)
11620 ふりょ (不慮のさいなん)	11645 へんちょう (体育を偏重する)
11621 ふるさと	11646 へんぴ (——ないなか)
11622 ふれんぞくせん (不連続線)	11647 へんろ (お遍路さん)
11623 ふんいき (気持のよいふんいきにつつまれる)	11648 ほうあん (法案)
11624 ふんき (奮起する)	11649 ほうおう (訪欧の旅)
11625 ふんげき (憤激する)	11650 ほうかい (つねづね抱懐している信念)

11651 ぶしょう (すぐれた武将)	11676 ふんし (憤死)
11652 ふしん (腐心する)	11677 ぶんじょう (土地の分譲)
11653 ぶすう (部数をふやす)	11678 ふんぜん (憤然として)
11654 ふせる (身を伏せる)	11679 ふんどう (分銅)
11655 ふぞく (付属している)	11680 ぶんぶつ (文物)
11656 ふたば (あさがおの二葉がでる)	11681 ぶんめい (文明)
11657 ふちょう (府庁)	11682 へいい (平易)
11658 ぶっきらぼう (——な話)	11683 へいきん (平均)
11659 ぶっしん (物心両面の援助)	11684 へいじ (平時)
11660 ぶつぶつこうかん (物々交換)	11685 へいてい (閉廷する)
11661 ふてぎわ (——な処置)	11686 へいぼん (平凡)
11662 ふとく (不徳のいたすところ です)	11687 へいわ (平和)
11663 ふなかた (船方)	11688 べっき (別記)
11664 ふにん (任地へ赴任する)	11689 べに (紅)
11665 ふびん (——に思う)	11690 べん (バスの便がある)
11666 ふほんい (不本意ながらひき うける)	11691 べんき (便器)
11667 ふもん (不問にする)	11692 べんごし (弁護士)
11668 ぶようじん (——な家)	11693 へんしょく (偏食はよくない)
11669 ふり (不利なたちば)	11694 へんせい (編成する)
11670 ふりょう (不良)	11695 べんつう (便通がない)
11671 ブルジョア	11696 べんぴ (便ぴになやむ)
11672 ふろう (不老のくすり)	11697 べんろん (弁論)
11673 ぶんうん (文運)	11698 ぼうあんき (棒暗記)
11674 ぶんき (線路が分岐する)	11699 ほうおん (報恩)
11675 ぶんけん (文献)	11700 ほうがい (法外なねだん)

11701 ふしょうか(不消化な食べ物)	11726 ぶんし(文士)
11702 ふじん(婦人)	11727 ふんしょく(粉食)
11703 ふする(制限を付する)	11728 ふんそう(紛争を解決する)
11704 ふせる(病気で——)	11729 ぶんどき(分度器)
11705 ふたい(付帯する事がら)	11730 ふんべつ(分別がある)
11706 ふため(きみの——になるようなことは……)	11731 ぶんめん(文面によれば)
11707 ふちょう(婦長)	11732 へいえい(兵營)
11708 ぶっけん(物件)	11733 へいげん(平原)
11709 ぶつぜん(仏前にそなえる)	11734 へいじつ(平日)
11710 ぶっぽう(仏法を信じる)	11735 へいてい(天下を平定する)
11711 ふでぶしょう(筆無精な人)	11736 へいまく(閉幕)
11712 ふとくようりょう(不得要領な返事)	11737 ベース
11713 ふなぐ(船具)	11738 べっきょ(別居)
11714 ぶにん(無人の家)	11739 ベニヤいた(ベニヤ板)
11715 ふぶき(——の晩)	11740 べん(弁をひねる)
11716 ふまえる(踏まえる)	11741 べんぎ(便宜をはかる)
11717 ぶもん(部門)	11742 へんさい(返済する)
11718 ぶらいかん(無頼漢)	11743 へんしょく(変色する)
11719 ふりあい(振合を考える)	11744 べんぜつ(弁舌をふるう)
11720 ふりょう(近来にない不漁)	11745 へんてん(変転きわまりない世の中)
11721 ふるて(古手)	11746 へんぴん(返品)
11722 ふろう(あちこちを浮浪する)	11747 ほ(歩を進める)
11723 ぶんか(文科)	11748 ほうい(法衣をまとう)
11724 ふんきゅう(紛糾をかさねる)	11749 ぼうおん(忘恩)
11725 ぶんこ(文庫)	11750 ぼうがい(妨害する)

11751 ふしょうぶしょう (不承不承 にひきうける)	11776 ぶんし (分子)
11752 ふじん (夫人)	11777 ぶんしん (分身)
11753 ふせ (お布施をあげる)	11778 ふんそう (かそう行列の——)
11754 ふせん (——をはる)	11779 ぶんどる (分捕る)
11755 ふだい (譜代の大名)	11780 ふんべん (ふん便のけんさ)
11756 ふたん (大きな負担になる)	11781 ぶんや (分野)
11757 ふちょう (符ちょうをつける)	11782 へいえき (兵役)
11758 ふっこう (戦災都市の復興)	11783 へいこう (平行する)
11759 ぶっそう (物騒な世の中)	11784 へいしゃ (兵舎)
11760 ぶつま (仏間)	11785 へいてん (閉店)
11761 ふとう (不当な要求)	11786 へいみん (平民)
11762 ふとっばら (太っ腹)	11787 へきが (壁画)
11763 ふなぞこ (船底)	11788 べっけ (別家)
11764 ふにんじょう (不人情なおこ ない)	11789 へま (——をする)
11765 ふふく (不服をとなえる)	11790 べん (弁がたつ)
11766 ふまん (不満をもつ)	11791 へんきゃく (建物の返却)
11767 ふゆう (富裕な家)	11792 へんし (変死)
11768 ぶらく (部落)	11793 へんしん (返信)
11769 ぶりがえす (病気が——)	11794 へんせん (変遷の研究)
11770 ふりょうけん (——を起すな)	11795 へんでん (返電をまつ)
11771 ふるまう (わがままに——)	11796 へんぺい (——な形)
11772 ブローカー	11797 ほあん (保安)
11773 ぶんか (文化)	11798 ほうい (敵を包囲する)
11774 ぶんきょう (文教)	11799 ぼうおん (防音)
11775 ぶんご (文語)	11800 ぼうがい (望外のよろこび)

11801 ふしょく (金属が腐食する)	11826 ふんしつ (紛失)
11802 ぶじん (武人)	11827 ぶんじん (文人)
11803 ふせい (不正なおこない)	11828 ふんぞりかえる
11804 ふぜん (不善をおこなう)	11829 ふんぬ (——のぎょうそう)
11805 ぶたい (部隊)	11830 ふんぼ (墳墓)
11806 ふだん (不断の心がけ)	11831 ぶんり (分離)
11807 ふちょう (不調につけこむ)	11832 へいおん (平穏な航海)
11808 ふつごう (不都合なことをする)	11833 へいこう (平衡をたもつ)
11809 ぶつぞう (仏像)	11834 へいじょう (平常のとおり)
11810 ぶつもん (仏門にはいる)	11835 へいねつ (平熱)
11811 ふどう (婦道にはずれる)	11836 へいめん (平面)
11812 ふとどき (不届なおこない)	11837 へさき (舟の——)
11813 ふなたび (船旅)	11838 べっこ (別個)
11814 ふのう (進行が不能になる)	11839 へらずぐち (——をたたく)
11815 ぶぶん (部分)	11840 へんあつ (変圧)
11816 ふみ (——をさしあげる)	11841 へんきょう (辺境の地)
11817 ふゆう (水面を浮遊する)	11842 へんじ (変事がおこる)
11818 プラグ	11843 へんしん (変心する)
11819 ふりかえる (振り替える)	11844 へんそう (手紙の返送)
11820 ぶりょく (武力)	11845 べんてん (弁天)
11821 ふるめかしい (古めかしい)	11846 べんべつ (よしあしを弁別する)
11822 フロート	11847 ほいく (保育)
11823 ふんがい (たいそう憤慨する)	11848 ほうい (方位をはかる)
11824 ぶんぎょう (分業)	11849 ほうか (砲火をあびる)
11825 ぶんこう (分校)	11850 ほうかご (放課後)

11851 ぶじょく (人に——される)	11876 ふんしゃ (噴射)
11852 ふしんばん (不寝番に立つ)	11877 ぶんすいれい (分水れい)
11853 ふぜい (——をそえる)	11878 ぶんたい (文体)
11854 ふぜんかん (種痘が不善感 だった)	11879 ふんにょう (ふん尿をくみと る)
11855 ふたおや (二親がそろって いる)	11880 ぶんぼ (分母)
11856 ふち (がけの上から——を のぞく)	11881 ぶんりょう (分量)
11857 ぶちょう (部長)	11882 へいか (兵火にさらされる)
11858 ぶっさん (物産)	11883 へいこう (閉校)
11859 ぶったい (物体)	11884 べいしょく (米食)
11860 ぶつよく (物欲をおさえる)	11885 へいねん (平年)
11861 ふどう (品質が不同だ)	11886 へいや (平野)
11862 ふともの (太物)	11887 ペスト
11863 ふなつきば (船着場)	11888 ベっさつ (別冊)
11864 ふはい (腐敗する)	11889 ベランダ
11865 ふぶんりつ (不文律)	11890 べんい (便意をもよおす)
11866 ふみきる (踏み切る)	11891 へんきん (返金のさいそく)
11867 ぶゆう (武勇)	11892 べんし (弁士)
11868 プラス	11893 へんじん (変人)
11869 ふりかざす	11894 へんそく (変則なやりかた)
11870 プリント	11895 へんでんしょ (変電所)
11871 ふれ (お——が出る)	11896 へんめい (変名)
11872 プログラム	11897 ボイラー
11873 ぶんかい (分解)	11898 ぼうい (暴威をふるう)
11874 ぶんきょうじょう (分教場)	11899 ほうか (法科)
11875 ぶんごう (文豪)	11900 ほうがん (包含する)

11901 ふじょし (婦女子)	11926 ぶんじゃく (文弱にながれる)
11902 ふす (地に伏す)	11927 ぶんすう (分数)
11903 ふせいしゅつ (不世出の英雄)	11928 ぶんたん (分担)
11904 ふそ (父祖の墓)	11929 ぶんぱい (分配する)
11905 ふたごころ (二心のある人)	11930 ぶんぽう (文法)
11906 ふち (不治のやまい)	11931 ぶんるい (分類)
11907 ぶちょうほう (ぶ調法)	11932 べいか (米価)
11908 ぶっし (物資がたりない)	11933 へいこう (閉口する)
11909 ふつつか (——な者)	11934 へいせい (平静)
11910 ぶつり (物理)	11935 べいはん (米飯)
11911 ふどう (不動の決意)	11936 へいよう (併用する)
11912 ふともも (太ももをだしては いけない)	11937 べそ (——をかく)
11913 ふなで (船出のきてき)	11938 べっし (答は別紙にある)
11914 ふはつ (不発におわる)	11939 へりくだる
11915 ぶぶんひん (部分品)	11940 へんか (変化)
11916 ふむき (不向きな品)	11941 へんくつ (偏屈なたち)
11917 ふゆがれ (冬枯れ)	11942 へんしゃ (辞典の編者)
11918 フラスコ	11943 ベンジン
11919 ふりこむ (金を預金に振り込 む)	11944 へんたい (編隊)
11920 ぶるい (部類)	11945 へんとう (返答)
11921 ぶれい (無礼な人)	11946 べんめい (弁明する)
11922 ふわ (不和)	11947 ぼいん (母音)
11923 ぶんがく (文学)	11948 ぼうえい (防衛)
11924 ぶんきょく (分局)	11949 ほうか (放火)
11925 ふんさい (粉碎する)	11950 ぼうかん (防寒の設備)

11951 ふしん (不審に思う)	11976 ぶんしゅく (分宿する)
11952 ふす (ねどこに——)	11977 ふんする (母親に——)
11953 ふせぐ (火事を防ぐ)	11978 ぶんだん (文壇)
11954 ぶそう (武装をとく)	11979 ふんぱつ (奮発する)
11955 ふたしか (不確かなやくそく)	11980 ふんまつ (粉末)
11956 ぶちまける	11981 ふんれい (大いに奮励する)
11957 ふちん (浮沈がはげしい)	11982 へいかい (閉会)
11958 ぶっしき (仏式でとりおこなう)	11983 へいごう (併合)
11959 ふってい (紙の払底で……)	11984 へいぜん (平然として)
11960 ふてい (天候が不定だ)	11985 へいび (兵備をととのえる)
11961 ぶとう (舞踏をする)	11986 へいらん (兵乱)
11962 ふなあし (船あしがはやい)	11987 へた (リンゴの——)
11963 ふなばた (船ばた)	11988 べっせい (別製)
11964 ふはらい (不払い)	11989 ヘリコプター
11965 ふへい (不平をいう)	11990 べんかい (弁解する)
11966 ふめい (不明)	11991 へんけい (変形)
11967 ふゆきとどき (不行届)	11992 へんしゅ (あさがおの変種)
11968 プラスチック	11993 へんする (一方に偏する)
11969 ふりしきる (降りしきる)	11994 へんたい (こん虫の変態)
11970 ふるいたつ (奮い立つ)	11995 へんどう (変動)
11971 ふれこむ (触れ込む)	11996 べんらん (便覧)
11972 ふん (犬の——)	11997 ポイント
11973 ぶんかくんしょう (文化勲章)	11998 ぼうえき (防疫の対策)
11974 ぶんぐ (文具)	11999 ほうが (邦画と洋画)
11975 ぶんさい (文才がある)	12000 ぼうかん (暴漢におそわれる)

12001 ほうき (法規にしたがう)	12026 ほろびる (滅びる)
12002 ほうげき (砲撃)	12027 ほんぎょ (本拠)
12003 ぼうこう (暴行)	12028 ほんし (本旨)
12004 ぼうし (きけんの防止)	12029 ほんじん (われわれ凡人には)
12005 ほうしょく (奉職する)	12030 ほんでん (本殿)
12006 ぼうせい (暴政)	12031 ほんぷく (本復のいわい)
12007 ほうだん (放談をつつしむ)	12032 ほんもん (本文)
12008 ほうてん (宝典)	12033 マーチ
12009 ほうねん (豊年)	12034 まえがき (前書き)
12010 ぼうふうりん (防風林)	12035 まかりでる
12011 ぼうめい (亡命する)	12036 まぐさ
12012 ほうりゅう (あゆの放流)	12037 まさか (———そうでもあるまい)
12013 ほおえむ	12038 まして (私にもできない—— 君には.....)
12014 ぼき (簿記)	12039 まず
12015 ほうくじょう (台風が北上する)	12040 またいとこ
12016 ぼくめつ (撲滅する)	12041 まちどおしい (待ち遠しい)
12017 ぼこく (母国)	12042 まつすぎ (松過ぎ)
12018 ほじ (健康の保持)	12043 まつび (末尾の番号)
12019 ポスター	12044 まとまる
12020 ぼち (墓地)	12045 まにあわせる (間に合わせる)
12021 ほっする (欲する)	12046 まぼろし (幻)
12022 ほつれ (かみの——)	12047 まるきぶね (丸木船)
12023 ほとぼしる	12048 まんざ (満座の人々)
12024 ほのめかす	12049 まんちょう (満潮になる)
12025 ほまえせん (帆前船)	12050 まんもく (満目荒涼たる原野)

12051 ほうき (けんりを放棄する)	12076 ほろぼす (滅ぼす)
12052 ほうけん (封建時代)	12077 ほんぎょう (本業)
12053 ほうこく (報国の念)	12078 ほんし (本紙)
12054 ぼうし (某氏の記事によれば)	12079 ほんせき (本籍)
12055 ほうじる (茶を——)	12080 ほんど (日本の本土)
12056 ぼうせき (紡績工場)	12081 ほんぶん (本文)
12057 ほうち (放置する)	12082 ほんやく (翻訳)
12058 ほうでん (放電)	12083 マイクロフォン
12059 ぼうねんかい (忘年会)	12084 まえだれ (前だれ)
12060 ほうふく (法服)	12085 まかりまちがう (まかりまち がえば、たいへん なことになる)
12061 ほうめん (方面)	12086 まぐち (間口)
12062 ほうりょう (豊漁)	12087 まさご (真砂)
12063 ほおずり (——をする)	12088 まじない (——をする)
12064 ほきゅう (補給)	12089 ますい (麻酔)
12065 ぼくじょう (牧場)	12090 またがし (又貸し)
12066 ほげい (捕鯨)	12091 まちばり (待針)
12067 ほごす (糸のもつれを——)	12092 まっせ (末世)
12068 ぼし (母子)	12093 まつりあげる (祭り上げる)
12069 ほそう (道路を舗装する)	12094 まとめる
12070 ほちょう (歩調)	12095 まぬかれる (免れる)
12071 ぼっする (海に没する)	12096 まま (その——で……)
12072 ほてる (顔が——)	12097 まれ (——にしか見られない)
12073 ほとぼり (——がさめる)	12098 まんさい (満載)
12074 ほねおしみ (ほね惜しみをす る)	12099 まんてん (満点をとる)
12075 ほまれ	12100 まんゆう (世界を漫遊する)

12101 ぼうきやく (忘却する)	12126 ほんあん (翻案)
12102 ほうげん (方言)	12127 ほんぎょく (本局)
12103 ほうこく (しごとの報告)	12128 ほんし (本誌)
12104 ほうしき (方式)	12129 ほんせん (本線)
12105 ほうしん (方針)	12130 ほんとう (物価の奔騰)
12106 ぼうせん (防戦につとめる)	12131 ほんぶん (本分をつくす)
12107 ほうち (報知する)	12132 ほんらい (本来)
12108 ぼうと (暴徒)	12133 まいこむ (舞い込む)
12109 ほうのう (奉納)	12134 まえぶれ (地震の前ぶれ)
12110 ほうふつ (昔のおもかげを ——とさせる)	12135 まきがみ (巻紙)
12111 ほうもつ (宝物)	12136 まくらぎ (レールのまくら木)
12112 ぼうりょく (暴力をふるう)	12137 まさしく (あれは——かれだ)
12113 ポーズ	12138 ましゅ (魔手)
12114 ほきょう (補強)	12139 マスク
12115 ほくせい (北西)	12140 またぎき (又聞き)
12116 ぼけい (母形)	12141 まちわびる (待ちわびる)
12117 ほこら (小さな——がある)	12142 まっせき (末席)
12118 ほしいまま (——にする)	12143 まつりごと (国の政をとる)
12119 ほそおもて (細面)	12144 まとも (——な話)
12120 ぼっか (牧歌)	12145 マネキン
12121 ぼっする (エジソンが没して から……)	12146 まま (間々そういうこともある)
12122 ホテル	12147 まわりあわせ (回り合わせ)
12123 ほとり (川の——)	12148 まんざら (——わるくもない)
12124 ほねみ (——をおしませ働く)	12149 まんてん (満天の星)
12125 ほめそやす	12150 まんりき (万力)

12151 ほうきゅう(ほう給をはらう)	12176 ほんい (本位)
12152 ほうげん (放言する)	12177 ほんけ (本家)
12153 ほうさく (方策をたてる)	12178 ほんじ (本字を書く)
12154 ぼうしつ (防湿)	12179 ほんそう(さかんに奔走する)
12155 ほうしん (放心の状態)	12180 ほんどう (寺の本堂)
12156 ぼうぜん (——として立ちつくす)	12181 ほんぽう (本邦)
12157 ほうちく (放逐する)	12182 ほんらん (本欄)
12158 ほうどう (現地からの報道)	12183 まいそう (埋葬する)
12159 ぼうはてい (防波堤)	12184 まえもって (——知らせる)
12160 ほうぶつせん (放物線)	12185 まきこむ (巻き込む)
12161 ほうもん (訪問)	12186 まくらことば (和歌の——)
12162 ほうれい (法令)	12187 まさつ (摩擦)
12163 ほおづえ (——をつく)	12188 まじゅつ (魔術)
12164 ぼきん (募金)	12189 マスコット
12165 ぼくそう (牧草)	12190 まだしも (——このほうがよい)
12166 ほけつ (補欠)	12191 まっき (末期)
12167 ほこらしい (誇らしい気持)	12192 まつだい (末代までのほじ)
12168 ほしゅ (捕手)	12193 まつろ (あわれな末路)
12169 ほそがき (細書き)	12194 まどり (間取り)
12170 ほっく (発句)	12195 まねく (招く)
12171 ほったてごや (掘立小屋)	12196 ままおや (まま親)
12172 ほど (身の——を知る)	12197 まわりどおい (回り遠い)
12173 ほとんど	12198 まんじょう (満場の諸君)
12174 ほねやすめ(ほね休めをする)	12199 マンドリン
12175 ほや (ランプの——)	12200 み (身)

12201 ぼうきょう (望郷の念)	12226 ほんい (本意)
12202 ぼうけん (山々を望見する)	12227 ほんげん (本源にさかのぼる)
12203 ほうさく (豊作)	12228 ほんしつ (本質)
12204 ほうしゃ (光を放射する)	12229 ほんぞん (本尊)
12205 ほうしん (砲身がやける)	12230 ほんにん (本人)
12206 ほうそう (紙で包装する)	12231 ほんまつ (本末をあやまる)
12207 ぼうちょう (傍聴する)	12232 ほんりゅう (奔流のような勢い)
12208 ぼうとう (暴投)	12233 まいちもんじ (真一文字)
12209 ほおぼる (口にいっぱい ——)	12234 まがお (真顔)
12210 ほうぶん (邦文)	12235 まきじた (巻舌でしゃべる)
12211 ほうやく (邦訳)	12236 まけおしみ (負惜しみを言う)
12212 ぼうれい (亡霊が出る)	12237 まさに (——そのとおり)
12213 ボーナス	12238 まじょ (魔女)
12214 ほきんしゃ (保菌者)	12239 マスト
12215 ほくたん (北端)	12240 またたく
12216 ぼける (頭が——)	12241 まつご (末期の水)
12217 ほこる (誇る)	12242 まったく (全く)
12218 ほしゅう (補習の授業)	12243 まつわる
12219 ほそく (補足する)	12244 まどろむ (しばらくの間——)
12220 ボックス	12245 まのあたり (——に見る)
12221 ほったん (事件の発端)	12246 ままこ (まま子)
12222 ほどあい (——を考えてする)	12247 まわりもち (会場を回り持ちにする)
12223 ほにゅうるい (ほ乳類)	12248 まんしん (満身のちから)
12224 ほばく (捕縛する)	12249 まんびき (万引がつかまった)
12225 ぼや (——を出す)	12250 みあう (見合う)

12251 ほうぎょく (宝玉)	12276 ほんえい (本営)
12252 ぼうげん (暴言をはく)	12277 ほんこう (本校)
12253 ぼうさつ (しごとに忙殺される)	12278 ほんじつ (本日は休み)
12254 ぼうじゃくぶじん (傍若無人 なふるまい)	12279 ぼんだ (凡打におわる)
12255 ほうじん (邦人)	12280 ほんね (本音をはく)
12256 ほうぞう (包蔵)	12281 ほんまる (城の本丸)
12257 ぼうちょう (体積の膨張)	12282 ほんりゅう (本流と支流)
12258 ぼうどう (暴動がおこる)	12283 マイナス
12259 ぼうはん (防犯のひょう語)	12284 まがし (間貸し)
12260 ぼうへき (防壁)	12285 まきぞえ (——をくう)
12261 ほうよう (しっかり抱擁する)	12286 まけじだましい (負けじ魂)
12262 ほうろう (放浪の旅)	12287 まさに (—— ……しようとして いる)
12263 ホーム	12288 ましょう (魔性)
12264 ほくい (北緯)	12289 まずしい (貧しい)
12265 ぼくちく (牧畜)	12290 まだら
12266 ほけん (保健に気をつける)	12291 まっこう (真向から反対する)
12267 ほころばせる (花がつぼみを ——)	12292 まっただなか (大海の——)
12268 ほじゅう (補充)	12293 まてんろう (ニューヨークの 摩天楼)
12269 ほそく (きょりを歩測する)	12294 まどわす (心を惑わす)
12270 ぼつご (父の没後)	12295 まばら
12271 ぼっとう (研究に没頭する)	12296 まみず (真水)
12272 ほどう (歩道)	12297 まん (満で12さい)
12273 ぼにゅう (母乳)	12298 まんせい (慢性の胃病)
12274 ぼひめい (墓碑銘)	12299 まんびょう (万病にきくくす り)
12275 ほよう (保養)	12300 みあやまる (見誤る)

12301 ぼうくう (防空)	12326 ほんか (本科)
12302 ほうこ (宝庫)	12327 ほんごく (本国)
12303 ほうし (奉仕する)	12328 ほんしゅう (本州)
12304 ほうしゅう (報酬をはらう)	12329 ほんたい (本体)
12305 ほうすい (放水)	12330 ほんのう (本能)
12306 ほうそく (法則)	12331 ほんみょう (本名をあかす)
12307 ほうてい (法廷)	12332 ほんりょう (本領をはっきする)
12308 ぼうどく (防毒)	12333 まいまい (毎々言っているように……)
12309 ぼうび (防備)	12334 まかせる (任かせる)
12310 ほうべん (一時の方便として…)	12335 まきば (牧場)
12311 ほうよう (人を包容する)	12336 まげもの (曲げ物)
12312 ぼうろん (暴論をはく)	12337 まざまざ (——と思いうかべる)
12313 ほおん (保温)	12338 ましょうめん (真正面)
12314 ほうおう (北欧)	12339 ますます (——元気だ)
12315 ぼくとう (木刀)	12340 まちあわせる (待ち合わせる)
12316 ほけん (保険をかける)	12341 まつぎ (末座にすわる)
12317 ほころびる (ぬいめが——)	12342 まったん (末端)
12318 ほじょ (補助)	12343 まどい (たのしい——)
12319 ほそびき (細引)	12344 まなこ (——をひらく)
12320 ほっこう (北行)	12345 まひ (神経が——する)
12321 ぼつねん (没年と生年)	12346 まめ (——に働く)
12322 ほどろ (少年の補導)	12347 まんいち (万一)
12323 ほのお (炎)	12348 まんせんしょく (満船飾)
12324 ぼひょう (墓標)	12349 まんぷく (満腹する)
12325 ほら (——を吹く)	12350 みあわす (見合わせる)

12351 ほうくん (暴君)	12376 ほんかくてき (本格的)
12352 ぼうご (防護する)	12377 ほんごし (本腰を入れて……)
12353 ほうし (法師)	12378 ほんしょう (本性)
12354 ほうしゅつ (放出)	12379 ほんたて (本立)
12355 ぼうすい (防水)	12380 ほんば (本場のみかん)
12356 ほうだい (したい——のこと をする)	12381 ほんむ (本務)
12357 ほうてい (法定)	12382 ほんろん (本論にはいる)
12358 ほうにち (訪日の旅)	12383 まいもどる
12359 ほうふ (豊富)	12384 まがたま (曲玉)
12360 ほうぼく (牛の放牧)	12385 まぎらす (気を紛らす)
12361 ほうよみ (棒読み)	12386 まご (馬をひく——)
12362 ほうわ (湿度が飽和状態になる)	12387 まさゆめ (まさ夢)
12363 ほかく (くじらの捕獲)	12388 まじりけ (——のない品)
12364 ほくがん (北岸)	12389 ますめ (——をごまかす)
12365 ぼくどう (牧童)	12390 まちうける (待ち受ける)
12366 ほご (保護)	12391 マッサージ
12367 ほさ (しごとを補佐する)	12392 マッチ (洋服がよく——する)
12368 ほしょう (保証)	12393 まとう (きものを——)
12369 ほぞん (保存する)	12394 まなじり (——を決する)
12370 ほっさ (発作がおこる)	12395 まびく (だいこんを間引く)
12371 ぼっぱつ (戦争の——)	12396 まやく (麻薬)
12372 ぼどう (先生の母堂)	12397 まんかい (うめが満開だ)
12373 ほのか (——にただよう)	12398 まんぜん (漫然とながめる)
12374 ほふる (牛を——)	12399 まんま (——とだまされた)
12375 ほりゅう (保留)	12400 みいだす (見いだす)

12401 ほうけい (方形)	12426 ほんかん (本館)
12402 ほうこう (方向)	12427 ほんさい (本妻)
12403 ほうし (きのこの孢子)	12428 ほんしょく (本職)
12404 ほうしょ (奉書)	12429 ぼんち (盆地と平野)
12405 ほうずる (報ずる)	12430 ほんばしょ (本場所)
12406 ほうだい (砲台)	12431 ほんもう (本望をとげる)
12407 ほうていしき (方程式)	12432 ま (間)
12408 ほうにょう (放尿する)	12433 まいる (参る)
12409 ぼうふうう (暴風雨)	12434 まかなう (少ない費用で——)
12410 ほうまん (豊満)	12435 まぎらわしい (紛らわしい問題)
12411 ほうらつ (放らつなおこない)	12436 まごころ (真心)
12412 ほお (——をあからめる)	12437 まさる (——ともおとらない)
12413 ほかげ (町の——が見える)	12438 まじわる (交じわる)
12414 ぼくし (牧師)	12439 まぜかえす (話を——)
12415 ほくぶ (北部)	12440 まぢか (間近)
12416 ほこう (歩行)	12441 まっしぐら (——に進む)
12417 ほさき (穂先)	12442 まっとうする (つとめを——)
12418 ぼしょく (暮色がせまる)	12443 まどう (心が惑う)
12419 ぼたい (母体)	12444 まなつ (真夏)
12420 ぼっしゅう (没収される)	12445 まぶか (目深にかぶる)
12421 ほっほう (北方)	12446 まゆ (繭)
12422 ほどこす (施す)	12447 まんき (満期)
12423 ほのぐらい	12448 まんぞく (満足)
12424 ほぼ (——かたづいた)	12449 まんまん (満々と水をたたえる)
12425 ほりょ (捕虜)	12450 ミイラ

12451 ほうげい (奉迎)	12476 ほんぎまり (本決まり)
12452 ほうこう (奉公)	12477 ほんざん (本山)
12453 ほうじ (法事をいとなむ)	12478 ほんしん (本心)
12454 ほうしょう (法相)	12479 ほんてん (本店と支店)
12455 ほうせい (砲声がきこえる)	12480 ほんぶ (本部)
12456 ほうだん (砲弾)	12481 ほんもと (本元)
12457 ほうてん (法典)	12482 まあたらしい
12458 ほうねつ (放熱)	12483 まう (舞う)
12459 ぼうふざい (防腐剤)	12484 まがり (間借り)
12460 ほうむる (葬る)	12485 まぎれる (人ごみに——)
12461 ほうりつ (法律)	12486 まこと (誠をつくす)
12462 ボーイ	12487 まじえる (交じえる)
12463 ほかん (げんじゅうに保管する)	12488 ます (増す)
12464 ぼくじゅう (墨じゅうで書く)	12489 まだい (間代をはらう)
12465 ぼくぼくせい (北々西)	12490 まちかねる (待ちかねる)
12466 ぼこう (母校)	12491 まつじつ (2月の末日)
12467 ぼさん (墓参)	12492 まつばづえ (松葉づえ)
12468 ほしん (保身のじゅつ)	12493 まどお (かみなりが間遠になる)
12469 ほだされる (人情に——)	12494 まなぶ (学ぶ)
12470 ぼっしょ (没書になる)	12495 まぶす (きなこに——)
12471 ぼつらく (平家の没落)	12496 まよう (迷う)
12472 ほどちかい (ほど近い所)	12497 まんげつ (満月)
12473 ほのぼの (——と明ける)	12498 まんだん (漫談をきく)
12474 ほぼ (ようちえんの保母)	12499 まんめん (満面のえみ)
12475 ホルモン	12500 みいり (実入りがある)

12501 みいる (絵に見入る)	12526 むじゃき (——なこども)
12502 みかぎる (見限る)	12527 むしる (毛を——)
12503 みかわす (見かわす)	12528 むせいぶつ (無生物)
12504 みくびる (相手を——)	12529 むち (無知な人)
12505 みごろ (さくらの見ごろ)	12530 むでん (無電で知らせる)
12506 みじまい (身じまい)	12531 むに (無二の親友)
12507 みずがし (水菓子)	12532 むぼう (無帽の人)
12508 みすみす (——にがした)	12533 むるい (無類の品)
12509 みそら (若い身空で……)	12534 めい (茶わんの銘)
12510 みち (未知の人)	12535 めいげつ (明月)
12511 みづくろい (身繕いをする)	12536 めいじ (明示する)
12512 みつぞう (密造)	12537 めいせい (名声をはくする)
12513 みてくれ (——がいい)	12538 めいはく (明白な事実)
12514 みなぎる	12539 めいゆう (名優)
12515 みの (——を着る)	12540 めうつり (目移りする)
12516 みはらし (見晴らし)	12541 めさき (目先)
12517 みみどおい (耳遠いことば)	12542 めした (目下)
12518 みやこ (都)	12543 メダル
12519 みょうしゅん (明春)	12544 めばえ (芽ばえ)
12520 みらい (未来)	12545 めもり (寒暖計の目盛り)
12521 みんなしゅしゅぎ (民主主義)	12546 めんくらう (いざというとき ——)
12522 むいちぶつ (無一物)	12547 めんだん (面談する)
12523 むきゅう (無給で働く)	12548 もうか (猛火につつまれる)
12524 むこうみず (向こう見ずな男)	12549 もうしこす (申し越す)
12525 むし (きそくを無視する)	12550 もうしわけ (申し訳)

12551 みうける (見受ける)	12576 むしゅう (無臭の気体)
12552 みかく (味覚)	12577 むしろ (——そのほうがいい)
12553 みがわり (身代り)	12578 むせる (けむりに——)
12554 みぐるしい (見苦しい)	12579 むち (無恥な男)
12555 みごろし (見殺しにする)	12580 むどう (無道なふるまい)
12556 みじめ (——なようす)	12581 むね (家の——)
12557 みすかす (見透かす)	12582 むほん (——をする)
12558 みずみずしい	12583 むれる (群れる)
12559 みそれる (見それる)	12584 めいあん (明暗)
12560 みじか (身近なでき事)	12585 めいげん (名言をはく)
12561 みつくろう (品物を見繕う)	12586 めいじつ (名実ともに……)
12562 みつだん (密談)	12587 めいせん (——の着物)
12563 みとがめる (見とがめる)	12588 めいびん (明敏なあたま)
12564 みなしご	12589 めいよ (名誉)
12565 みのう (未納)	12590 めがみ (女神)
12566 みひらく (見開く)	12591 めざす (ゴールを——)
12567 みみなれる (耳慣れる)	12592 めしだす (召し出す)
12568 みやづかえ (宮仕え)	12593 めちゃ (——なやりかた)
12569 みょうじょう (明星)	12594 めばやい (目ばやい)
12570 みりょう (観衆を魅了する)	12595 めやす (目安)
12571 みるしゅう (民衆)	12596 めんじょ (免除する)
12572 むえき (無益なこと)	12597 メンバー
12573 むきゅう (無休でがんばる)	12598 もうける (設ける)
12574 むごたらしい	12599 もうしこむ (申し込む)
12575 むじ (無地のカーテン)	12600 もうしわたす (申し渡す)

12601 みうち (身内)	12626 むじゅん (前後が矛盾する)
12602 みかけ (——はりっぱだ)	12627 むしん (無心)
12603 みかん (未刊の本)	12628 むせん (無銭で飲食する)
12604 みけつ (未決)	12629 むちゃ (——を言う)
12605 みこん (未婚)	12630 むとどけ (無届で休む)
12606 みじゅく (未熟な者)	12631 むね (その旨を伝える)
12607 みずから (自ら)	12632 むめい (無名の人)
12608 みする (人を魅する)	12633 むれる (御飯が蒸れる)
12609 みだし (見出し)	12634 めいあん (名案)
12610 みちしお (満ち潮)	12635 めいげん (明言をさける)
12611 みっこう (密航する)	12636 めいしゅ (盟主とあおがれる)
12612 みっちゃく (密着する)	12637 めいそう (名僧)
12613 みとめ (——を押す)	12638 めいぶつ (名物)
12614 みなす (……するものと——)	12639 めいりょう (——になる)
12615 みのうえ (身の上)	12640 めくばせ (目配せをする)
12616 みぶん (身分)	12641 めざとい (目ざとい)
12617 みみより (耳寄りな話)	12642 めしつかい (召使)
12618 みやびやか (——な態度)	12643 めっき (金——)
12619 みょうだい (名代として行く)	12644 めばり (へやを目張りする)
12620 みりょく (魅力)	12645 めりこむ
12621 みんじょう (民情)	12646 めんじょう (免状)
12622 むえん (無縁の人)	12647 めんぷ (綿布)
12623 むくいる (報いる)	12648 もうさいかん (毛細管)
12624 むこん (事実無根)	12649 もうしたてる (申し立てる)
12625 むしかえす (議論を——)	12650 もうしん (盲信する)

12651 みえ (——をはる)	12676 むしょう (無償ではらいさげる)
12652 みかける (町でよく見かける)	12677 むしんじん (無信心)
12653 みかん (未完の小説)	12678 むせん (無線電信)
12654 みけん (——のきず)	12679 むちゅう (夢中になる)
12655 みさお (操をたてる)	12680 むとんじゃく (——な人)
12656 みしる (見知る)	12681 むねん (無念のきわみ)
12657 みすぎ (身過ぎ)	12682 むら (色に——がある)
12658 みせいねん (未成年)	12683 むろ (室に入れる)
12659 みだしなみ	12684 めいい (名医)
12660 みちすう (未知数)	12685 めいこう (名工のさいく)
12661 みっこう (密行する)	12686 めいしゅ (野球の名手)
12662 みつど (人口の密度)	12687 めいそう (——にふける)
12663 みとめる (認める)	12688 めいぶん (名分をあきらかにする)
12664 みなと (港)	12689 めいる (気が——)
12665 みのがす (見のがす)	12690 めくばり (目配り)
12666 みぼうじん (未亡人)	12691 めざましい
12667 みむく (見向く)	12692 めしとる (召しとる)
12668 みやぶる (見破る)	12693 めつき (目付がわるい)
12669 みょうちょう (明朝)	12694 めぶんりょう (目分量)
12670 みれん (未練がある)	12695 メリンス
12671 みんなしん (民心)	12696 めんしょく (免職)
12672 むえんたん (無煙炭)	12697 めんぼく (面ぼく)
12673 むくち (無口な人)	12698 もうしあわせる (申し合わせる)
12674 むごん (無言のまま……)	12699 もうしつける (申し付ける)
12675 むしけ (虫気もなく育つ)	12700 もうじん (盲人)

12701 みえすく (見え透く)	12726 むじょう (無上のよろこび)
12702 みがって (身勝手な人)	12727 むす (ごはんを蒸す)
12703 ミキサー	12728 むそう (大力無双)
12704 みけん (未見の書物)	12729 むちん (無賃で乗る)
12705 みさかい (前後の見境もない)	12730 むなぎ (家のむな木) 、
12706 みす (——をあげる)	12731 むのう (無能な人)
12707 みずぎわだつ (水ぎわだった 手腕)	12732 むらがる (群がる)
12708 みせかける (見せかける)	12733 むろん (——そのほうがよい)
12709 みたす (満たす)	12734 めいか (名歌)
12710 みちひ (しおの満ち干)	12735 めいさい (明細に書く)
12711 みっこく (密告する)	12736 めいしょ (名所の見物)
12712 みっぷう (密封する)	12737 めいちゅう (命中)
12713 みどりご	12738 めいぶん (名文)
12714 みなもと (源)	12739 めいれい (命令)
12715 みのる (実る)	12740 めぐむ (恵む)
12716 みほん (見本)	12741 めざめる (目ざめる)
12717 みめ (見目うるわしい)	12742 めしもの (お召物)
12718 みやまいり (宮参り)	12743 めっきり (——さむくなった)
12719 みょうひつ (妙筆)	12744 めぼし (目星をつける)
12720 みわく (人を魅惑する)	12745 メロディー
12721 みんなせい (民政)	12746 めんする (面する)
12722 むが (無我の境地)	12747 めんみつ (綿密な研究)
12723 むくむ (足が——)	12748 もうしいで (申しいで)
12724 むざい (無罪になる)	12749 もうしのべる (申し述べる)
12725 むしけら (虫けら)	12750 もうす (申す)

12751 みおさめ (見納め)	12776 むじょう (無常の世の中)
12752 みかど	12777 むすう (無数のばいきん)
12753 みきり (見切りをつける)	12778 むそう (未来を夢想する)
12754 みごしらえ (身ごしらえ)	12779 むつまじい
12755 みさき (——の燈台)	12780 むなぐら (——をとる)
12756 みすい (未遂におわる)	12781 むひ (無比の性能)
12757 みすごす (見過す)	12782 むらくも (月にむら雲)
12758 みせしめ (——のため……)	12783 め (芽)
12759 みだす (乱す)	12784 めいが (名画)
12760 みちびく (導く)	12785 めいさく (名作)
12761 みっし (密使をたてる)	12786 めいしょう (名称)
12762 みっぺい (へやを密閉する)	12787 めいちょ (名著)
12763 みとりず (見取り図)	12788 めいぼく (名木)
12764 みならう (見習う)	12789 めいろ (迷路)
12765 みば (見場がわるい)	12790 めぐむ (草木が芽ぐむ)
12766 みまう (見舞う)	12791 めざわり (目ざわり)
12767 みめい (未明に出かける)	12792 めじり (目じり)
12768 みやる (はるかかなたを見やる)	12793 めっする (滅する)
12769 みょうみ (妙味)	12794 めぼしい (——ものだけ……)
12770 みんない (民意にとう)	12795 めんえき (免疫)
12771 みんなぞく (民族)	12796 めんせき (面積)
12772 むがい (無害)	12797 めんめん (面々)
12773 むけ (外国向け)	12798 もうしいれる (申し入れる)
12774 むさくるしい (——すまい)	12799 もうしひらき (申し開き)
12775 むじつ (無実のつみ)	12800 もうぜん (猛然とおそいかかる)

12801 みおとり (見劣り)	12826 むじょう (無情な人)
12802 みかねる (見かねる)	12827 むずかる (赤んぼうが——)
12803 みきる (見切る)	12828 むぞうさ (——にやってのける)
12804 みごと (——なうでまえ)	12829 むて (無手でたたかう)
12805 みさげる (見下げる)	12830 むなぐるしい (胸苦しい)
12806 みずいらず (親子水入らずの話)	12831 むひつ (無筆の人)
12807 みすてる (見捨てる)	12832 むらさめ (——がふる)
12808 みぜん (未然にふせぐ)	12833 めあたらしい (目新しい)
12809 みたてる (見立てる)	12834 めいかい (明快にこたえる)
12810 みちゃく (未着)	12835 めいさん (名産)
12811 みっしゅう (密集する)	12836 めいしょう (名勝の地)
12812 みつもる (見積る)	12837 めいとう (名刀)
12813 みとる (はっきりと見取る)	12838 めいむ (迷夢からさめる)
12814 みなれる (見慣れる)	12839 めいろう (明朗な少年)
12815 みばえ (見ばえがする)	12840 めぐらす
12816 みまもる (見守る)	12841 めしあがる (召し上がる)
12817 みもち (身持がわるい)	12842 めす (召す)
12818 みょうぎ (妙技)	12843 メッセージ
12819 みょうもく (名目)	12844 めまぐるしい
12820 みんか (民家)	12845 めんおりもの (綿織物)
12821 みんぼう (民法)	12846 めんせつ (面接)
12822 むがく (無学)	12847 めんるい (めん類を食べる)
12823 むげ (——にことわれない)	12848 もうしうける (申し受ける)
12824 むさつ (無札で乗車する)	12849 もうしぶん (申し分のない……)
12825 むしばむ	12850 もうちょう (盲腸)

12851 みおも (身重になる)	12876 むしょう (無性にほしがる)
12852 みがまえる (身構える)	12877 むずと (——つかむ)
12853 みきわめる (見きわめる)	12878 むたい (無体なおこない)
12854 みことのり (詔)	12879 むてき (霧笛をならす)
12855 みささぎ (陵)	12880 むなさわぎ (胸騒ぎ)
12856 みずうみ (湖)	12881 むびょう (無病でくらす)
12857 みずはけ (水はけがわるい)	12882 むらむら (——とする)
12858 みそか (月の——)	12883 めあて (目当)
12859 みたま (故人の——)	12884 めいかく (明確にこたえる)
12860 みちる (満ちる)	12885 めいし (名士)
12861 みっしょ (密書をもっていく)	12886 めいしょう (名将)
12862 みつやく (密約をむすぶ)	12887 めいとう (明答をさける)
12863 みとる (病気の父を——)	12888 めいめい (命名する)
12864 みにくい (醜いあひるの子)	12889 めいろん (名論)
12865 みはからう (見計らう)	12890 めぐりあう
12866 みまん (18さい未満)	12891 めしあげる (召し上げる)
12867 みもと (身元をしらべる)	12892 メス (——で切る)
12868 みょうけい (妙計)	12893 めった (——にない)
12869 みょうやく (妙薬)	12894 めみえ (お目見えする)
12870 みんなん (民間)	12895 めんか (綿花)
12871 みんなう (民有の土地)	12896 めんぜん (面前)
12872 むかつく (胸が——)	12897 も (池にういている——)
12873 むげん (無限)	12898 もうしおくる (申し送る)
12874 むさぼる	12899 もうじゃ (もう者のたましい)
12875 むじひ (無慈悲な人)	12900 もうでる (お宮に——)

12901 みかい (未開)	12926 むしょく (無色の水)
12902 みがら (身がらをひきとる)	12927 むずむず (——する)
12903 みくじ (——をひく)	12928 むだい (無代でさしあげる)
12904 みこみ (見込)	12929 むてき (天下無敵の男)
12905 みさだめる (見定める)	12930 むなざんよう (胸算用)
12906 みすえる (目を見すえる)	12931 むほう (無法なおこない)
12907 みずひき (水引をかける)	12932 むりょ (無慮5万の人出)
12908 みぞれ (——がふる)	12933 めい (おばさん と ——)
12909 みだりに (——はいるな)	12934 めいき (名まえを明記する)
12910 みつ (連絡を密にする)	12935 めいし (名刺を出す)
12911 みっせい (きのこが密生して いる)	12936 めいしん (迷信)
12912 みつりん (密林)	12937 めいどう (山が鳴動する)
12913 みとれる (絵に見とれる)	12938 めいもく (名目)
12914 みぬく (見抜く)	12939 めいわく (迷惑)
12915 みはなす (見放す)	12940 めぐりあわせ
12916 みみあたらしい (耳新しい)	12941 めしい (——の人)
12917 みもの (なかなかの見物だ)	12942 めす (雌)
12918 みょうごにち (明後日)	12943 めつぶし (目つぶし)
12919 みょうれい (妙齡)	12944 めめしい (——ふるまい)
12920 みんぎょう (民業)	12945 めんかい (面会)
12921 みんよう (民謡)	12946 めんそう (面相)
12922 むき (無期)	12947 も (——に服する)
12923 むごい (——やりかた)	12948 もうしかねる (申しかねる)
12924 むぎむぎ (——とすてる)	12949 もうじゅう (猛獣)
12925 むしぶろ (蒸しぶろ)	12950 もうとう (そんなことは—— 思っていない)

12951 みかえる (見返る)	12976 むしょく (無職)
12952 みがる (身軽な人)	12977 むせい (無声の映画)
12953 みくだす (見下す)	12978 むだん (無断でつかう)
12954 みこむ (見込む)	12979 むてっぽう (無鉄砲な男)
12955 みじたく (身じたく)	12980 むなしい (——努力)
12956 みずかけろん (水掛け論)	12981 むぼう (無謀な計画)
12957 みすます (見すます)	12982 むりょう (こどもは無料です)
12958 みそめる (見そめる)	12983 めい (命を受ける)
12959 みだれる (乱れる)	12984 めいく (名句)
12960 みつぎ (密議をこらす)	12985 めいし (名詞)
12961 みっせつ (密接なかんけい)	12986 めいずる (命ずる)
12962 みてい (未定)	12987 めいにち (命日)
12963 みなかみ (水上)	12988 めいもん (名門)
12964 みね (山の峰)	12989 めうえ (目上)
12965 みはらい (未払い)	12990 めぐる (池を——)
12966 みみざわり (耳ざわり)	12991 めしかかえる (召しかかえる)
12967 みゃく (脈をはかる)	12992 めたて (のこぎりの目立)
12968 みょうじ (わたしの名字は……)	12993 めつぼう (滅亡)
12969 みより (身寄り)	12994 メモ (——をとる)
12970 みんな (民権)	12995 めんきょ (免許)
12971 む (好意を無にする)	12996 メンタルテスト
12972 むきむき (向き向きによってちがう)	12997 もうい (猛威をふるう)
12973 むこう (無効になる)	12998 もうしご (申し子)
12974 むざん (——なしうち)	12999 もうじゅう (盲従する)
12975 むしゃ (武者)	13000 もうはつ (毛髪)

13001 もうひつ (毛筆)	13026 やどす (宿す)
13002 モーニング (——をきる)	13027 やぶん (夜分)
13003 もくぜん (目前)	13028 やみよ (やみ夜)
13004 もくはい (木杯)	13029 やりくり (——をする)
13005 もくろく (目録)	13030 ゆいごん (遺言)
13006 もしゃ (模写する)	13031 ゆうえんち (遊園地)
13007 もちあわせ (持合せのお金がない)	13032 ゆうげ (——のしたく)
13008 もちぬし (持主)	13033 ゆうし (雄姿)
13009 もっとも (——な話だ)	13034 ゆうじん (友人)
13010 もと (親の——をはなれる)	13035 ゆうそう (勇壮な音楽)
13011 ものおもい (もの思いにふける)	13036 ゆうび (優美)
13012 ものずき (物好きな人)	13037 ゆうよ (五十有余年)
13013 ものやわらか	13038 ゆうわく (誘惑にまけるな)
13014 もも (——のつけね)	13039 ゆきあたる (まっすぐに行きあたるとたばこ屋だ)
13015 もろとも (死なば——)	13040 ゆきはぐれる (行きはぐれる)
13016 もんじん (門人)	13041 ゆし (油脂工業)
13017 もんもう (文盲)	13042 ゆとり (——がある)
13018 やかたぶね (屋形船)	13043 ゆゆしい (——問題だ)
13019 やく (とんだ——にあう)	13044 ゆわえる (ひもを——)
13020 やくしん (めざましく躍進する)	13045 ようか (養家)
13021 やくば (役場)	13046 ようき (容器にいれる)
13022 やけい (夜景)	13047 ようけん (用件を話す)
13023 やしなう (養う)	13048 ようざい (用材)
13024 やすっぽい (安っぽい)	13049 ようしつ (洋室と和室)
13025 やたい (屋台)	13050 ようしょう (幼少のころ)

13051 もうまく (網膜)	13076 やどる (宿る)
13052 もがく (水の中で——)	13077 やぼ (——な話)
13053 もくそう (目送する)	13078 やむ (病む)
13054 もくはん (木版)	13079 やりこめる
13055 もくろむ (しごとを——)	13080 ゆいしょ (——ある家から)
13056 もしゅ (喪主)	13081 ゆうが (優雅なふるまい)
13057 もちいる (用いる)	13082 ゆうけい (夕景)
13058 もちば (持場)	13083 ゆうし (勇士)
13059 もっとも (——それなら話は別だが)	13084 ゆうすう (有数の学者)
13060 もとい (基)	13085 ゆうたい (勇退する)
13061 ものかげ (物陰にかくれる)	13086 ゆうふく (裕福な暮らし)
13062 ものすごい (——あらし)	13087 ゆうよう (有用な動物)
13063 ものわかれ (会見は——におわった)	13088 ゆえ (——あって……する)
13064 ももわれ (桃割れの少女)	13089 ゆきがかかり (これまでの——から考えて)
13065 もろはだ (——をぬぐ)	13090 ゆきわたる (日本じゅうに行き渡る)
13066 もんせき (問責する)	13091 ゆしゅつ (外国へ輸出する)
13067 やいば	13092 ゆにゅう (外国から輸入する)
13068 やがて	13093 ゆらい (地名の由来)
13069 やぐ (夜具)	13094 ゆんで (——に持つ)
13070 やくする (日本語に訳する)	13095 ようが (洋画)
13071 やくひん (薬品)	13096 ようき (陽気)
13072 やけい (夜警をつとめる)	13097 ようけん (要件をみたす)
13073 やしゅ (野趣にとんでいる)	13098 ようさん (養蚕)
13074 やすまる (休まる)	13099 ようしゃ (容赦しないぞ)
13075 やたて (矢立をとり出して……)	13100 ようじょう (洋上で正月をむかえる)

13101 もうもく (盲目)	13126 やなみ (家並み)
13102 もぎてん (模擬店)	13127 やぼう (野望をとげる)
13103 もくぞう (木像)	13128 やや (——右による)
13104 もくひょう (目標)	13129 やりて (やり手)
13105 もけい (模型)	13130 ゆいのう (結納をとりかわす)
13106 もしょう (喪章をつける)	13131 ゆうかい (こどもを——する)
13107 もちかける (持ちかける)	13132 ゆうげい (遊芸をたしなむ)
13108 もちぶん (持分)	13133 ゆうし (雄志をいдаく)
13109 もっとも (最も長い)	13134 ゆうずう (品物の融通)
13110 もどかしい	13135 ゆうだい (雄大なながめ)
13111 ものがたい (——人)	13136 ゆうべ (秋の夕べ)
13112 ものたりない	13137 ゆうらく (遊楽に出かける)
13113 もはや (——10年が過ぎた)	13138 ゆえ (こどものこと——おゆるしてください)
13114 もや (——が立ちこめる)	13139 ゆきくれる (行き暮れる)
13115 もろみ	13140 ゆくえ (——がわからない)
13116 もんちゅう (門柱)	13141 ゆずりうける (譲り受ける)
13117 やうつり (家移り)	13142 ユネスコ
13118 やかん (夜間)	13143 ゆらい (——わが国は……)
13119 やくいん (役員)	13144 よ (世)
13120 やくそう (役僧)	13145 ようかい (せっけんが水に溶解する)
13121 やくぶつ (薬物)	13146 ようぎしゃ (容疑者)
13122 やけこがし (——をつくる)	13147 ようげん (用言と体言)
13123 やしゅう (敵陣を夜襲する)	13148 ようし (容姿がうつくしい)
13124 やすらか (安らか)	13149 ようしゅ (洋酒)
13125 やちん (家賃)	13150 ようじょう (病気の養生)

13151 もうれつ (猛烈な台風)	13176 やにっこい (——作り)
13152 もくぎょ (木魚)	13177 やまい (病)
13153 もくぞう (木造)	13178 ややもすれば
13154 もくへん (木片)	13179 やりとおす
13155 もげる (人形の首が——)	13180 ゆう (優に 2 mはある)
13156 モスリン	13181 ゆうがい (有害)
13157 もちきる(そのうわさで——)	13182 ゆうけん (雄健な文章)
13158 もちまえ (持前の力)	13183 ゆうし (有志のかたは……)
13159 もっぱら (——勉強する)	13184 ゆうする (有する)
13160 もとづく (……はそれに基づく)	13185 ゆうち (外人客の誘致)
13161 ものがたり (物語)	13186 ゆうへい (ろうやに幽閉される)
13162 ものなれる (物慣れる)	13187 ゆうらん (遊覧のお客)
13163 もはん (模範)	13188 ゆえに (——これは正しい)
13164 もよおし (催し)	13189 ゆきだおれ (行きだおれ)
13165 もろもろ (——の原因)	13190 ゆくさき (行く先)
13166 もんてい (門弟)	13191 ゆせん (湯銭をはらう)
13167 やえ (八重のさくら)	13192 ゆびおり (指折りの名人)
13168 やきつけ (写真の焼付)	13193 ゆらぐ (揺らぐ)
13169 やくがく (薬学)	13194 よあかし (夜あかし)
13170 やくそう (薬草)	13195 ようかい (よう怪があらわれる)
13171 やくぶん (訳文と原文)	13196 ようきゅう (要求)
13172 やけん (野犬をつかまえる)	13197 ようご (用語)
13173 やじゅう (野獣におそわれる)	13198 ようし (養子)
13174 やすり (——でこする)	13199 ようしゅ (幼主をもりたてる)
13175 やつあたり (八つ当り)	13200 ようしょく (要職をしめる)

13201 もうろう (——としている)	13226 やにわに (——きりつける)
13202 もくげき (目撃する)	13227 やましい (——ことはない)
13203 もくそく (目測)	13228 やゆ (相手を——する)
13204 もくめ (うつくしい木目)	13229 やりとり (手紙の —— をする)
13205 モザイク	13230 ゆうあい (友愛)
13206 もぞう (模造)	13231 ゆうがく (東京に遊学する)
13207 もちぐされ (宝の——)	13232 ゆうげん (有限)
13208 もちゅう (喪中につき欠礼)	13233 ゆうじ (有事のさいは……)
13209 もつれ (糸の——)	13234 ゆうせい (優勢)
13210 もとめる (求める)	13235 ゆうちょう (——なことをいう)
13211 ものがない (もの悲しい)	13236 ゆうべん (雄弁をふるう)
13212 もののかず (——でない)	13237 ゆうり (有利な立場)
13213 もふく (喪服をきる)	13238 ゆえん (……する——である)
13214 もよおす (催す)	13239 ゆきちがい (行き違い)
13215 もん (紋のあるちょうちょう)	13240 ゆくすえ (行く末)
13216 もんと (門徒)	13241 ゆそう (かもつの輸送)
13217 やえい (野営をする)	13242 ゆびぬき (指ぬき)
13218 やきなおし (昔の話の焼直し)	13243 ゆらめく
13219 やくがら (役がら)	13244 よい (春の——)
13220 やくだつ (役だつ)	13245 ようがい (要害の地)
13221 やくぶん (分数の約分)	13246 ようぎょ (養魚)
13222 やこう (こんやの夜行でたつ)	13247 ようご (養護)
13223 やじる	13248 ようし (洋紙)
13224 やすんずる (安んずる)	13249 ようじゅつ (よう術を使う)
13225 やつぎばや (——にたずねる)	13250 ようしょく (しんじゅの養殖)

13251 もうろく (——している)	13276 やぬし (家主)
13252 もくざい (木材)	13277 やまなみ (山並み)
13253 もくたん (木炭)	13278 やらい (竹の矢来)
13254 もくもく (黙々とやっている)	13279 やりば (目の——がない)
13255 もさく (暗中を——する)	13280 ゆうい (優位にたつ)
13256 もだえる (心が——)	13281 ゆうかん (勇敢なおこない)
13257 もちこす (持ち越す)	13282 ゆうけんしゃ (有権者)
13258 もちろん (——そうだ)	13283 ゆうしき (有識)
13259 もてあそぶ	13284 ゆうせい (遊星は太陽のまわりを……)
13260 もとゆい (元結)	13285 ゆうとう (優等の成績)
13261 ものぐるわしい (もの狂わしい)	13286 ゆうぼう (有望な青年)
13262 もののふ	13287 ゆうりょう (優良な品)
13263 もほう (模倣してつくる)	13288 ゆえん (油煙でよごれる)
13264 もより (——の駅)	13289 ゆきつけ (行きつけの店)
13265 もんえい (門衛)	13290 ゆくて (行くてにあたって)
13266 もんとう (門燈をつける)	13291 ゆたか (豊か)
13267 やおら (——立ち上がる)	13292 ゆめごこち (夢ごこち)
13268 やきまし (写真の焼増)	13293 ゆりかえし (地震の揺り返し)
13269 やくご (訳語)	13294 よいっぱり
13270 やくどう (生命の躍動)	13295 ようがく (洋楽)
13271 やくみ (薬味を入れる)	13296 ようきょく (陽極と陰極)
13272 やごう (屋号)	13297 ようこう (洋行から帰る)
13273 やしろ (社)	13298 ようし (用紙)
13274 やせい (野性の鳥)	13299 ようしゅん (陽春)
13275 やっきょく (薬局)	13300 ようじん (政府の要人)

13301 もえぎいろ (もえぎ色)	13326 やはり
13302 もくさつ (黙殺する)	13327 やみあがり (病み上がり)
13303 もくてき (目的)	13328 やらい (夜来の雨)
13304 もくやく (黙約)	13329 やるせない (——気持)
13305 もじ (文字)	13330 ゆううつ (——になる)
13306 もたげる (頭を——)	13331 ゆうき (勇氣)
13307 もちこたえる	13332 ゆうこう (友好関係)
13308 もっか (目下のところでは… …)	13333 ゆうしゅう (優秀な成績)
13309 もてあます	13334 ゆうぜい (郵税はさきばらい です)
13310 もとより (それは——)	13335 ゆうどう (誘導する)
13311 ものごころ (物心がつく)	13336 ゆうまぐれ (夕まぐれ)
13312 ものまね	13337 ゆうりょう (有料と無料)
13313 もみあげ (——をそる)	13338 ゆかい (愉快的な日)
13314 もらす	13339 ゆきづまる (ものごとが行き づまる)
13315 もんか (門下の人)	13340 ゆくゆく (——はらくになる)
13316 もんどう (問答をする)	13341 ゆだん (油断をするな)
13317 やかい (夜会)	13342 ゆめじ (夢路をたどる)
13318 やぎょう (夜業)	13343 ゆるがす (大地を——)
13319 やくざい (薬剤)	13344 よいやみ (——がせまる)
13320 やくとく (役得)	13345 ようがさ (洋がさ)
13321 やくめ (役目)	13346 ようきょく (謡曲)
13322 やさがた (——の男)	13347 ようこう (陽光をあびる)
13323 やしん (野心)	13348 ようじ (幼時を思い出す)
13324 やせい (野生の植物)	13349 ようしょ (要所をまもる)
13325 やっつける	13350 ようすい (用水)

13351 もえさし (燃えさし)	13376 やはん (夜半の月)
13352 もくさん (目算)	13377 やみうち (やみ討ち)
13353 もくとう (黙とうをささげる)	13378 やられる
13354 もぐり (——の業者)	13379 やわらぐ (柔らぐ)
13355 もしか (——すると)	13380 ゆうえい (遊泳)
13356 もたせかける	13381 ゆうぐう (優遇をうける)
13357 もちこむ (持ち込む)	13382 ゆうこう (有効)
13358 もっこう (しばらく黙考する)	13383 ゆうしょう (優勝)
13359 もてなす	13384 ゆうせん (こどもを優先的に 入れる)
13360 ものいり (なにかと——だ)	13385 ゆうどく (有毒)
13361 ものごし (おだやかな——)	13386 ゆうめい (有名な人)
13362 ものもち (物持ちがよい)	13387 ゆうりょく (有力な反対)
13363 もみで (もみ手をしてたのむ)	13388 ゆかしい
13364 もり (くじらをうつ——)	13389 ゆきとどく (注意が行き届く)
13365 もんこ (門戸)	13390 ゆくりなく [も] (——出会う)
13366 もんぼつ (門閥)	13391 ゆたんぽ (湯たんぽ)
13367 やがい (野外)	13392 ゆめにも (夢にも思わない)
13368 やきん (夜勤)	13393 ゆるがせ (——にするな)
13369 やくしゃ (訳者)	13394 ようい (容易なわざ)
13370 やくどく (教科書の訳読)	13395 ようがし (洋菓子)
13371 やくよう (薬用の植物)	13396 ようぐ (用具をそろえる)
13372 やさき (出かけようとする ——に……)	13397 ようこうろ (溶鉱炉)
13373 やじん (野人)	13398 ようじ (幼児をつれていく)
13374 やせうで	13399 ようしょ (洋書と和書)
13375 やつれる	13400 ようする (急を要する)

13401 もえでる (芽が——)	13426 やばん (野蛮な国)
13402 もくし (黙視するにしのびない)	13427 やみじ (やみ路をたどる)
13403 もくどく (黙読と音読)	13428 やりきれない (——気持)
13404 もくれい (たがいに目礼する)	13429 ゆあみ (湯あみ)
13405 もしくは (A——B)	13430 ゆうえき (有益な話)
13406 もたせる (持たせる)	13431 ゆうぐん (遊軍)
13407 もちづき (もち月の夜)	13432 ゆうこく (夕刻に帰る)
13408 もっこう (木工のさいく)	13433 ゆうしょう (勇将)
13409 もてはやす	13434 ゆうぜん (——としている)
13410 ものおしみ (もの惜しみをする)	13435 ゆうのう (有能な人)
13411 ものさびしい	13436 ゆうもう (勇猛な男)
13412 ものものしい	13437 ゆうれつ (優劣がない)
13413 もみりょうじ	13438 ゆかり (なんの——もない人)
13414 もりたてる	13439 ゆきどまり (道が行きどまりになる)
13415 もんじ (文字)	13440 ゆけつ (輸血)
13416 もんぷく (紋服をきる)	13441 ゆでん (油田)
13417 やがく (夜学)	13442 ゆめゆめ (——うたがうなかれ)
13418 やく (訳をつける)	13443 ゆるぐ (大きな岩が揺るぐ)
13419 やくしょ (役所)	13444 よういく (こどもの養育)
13420 やくどし (ことしはやく年だ)	13445 ようかん (洋館)
13421 やくよけ (——のおまもり)	13446 ようくん (幼君をまもる)
13422 やじ (——をとばす)	13447 ようさい (洋裁)
13423 やすい (——御用だ)	13448 ようしき (様式)
13424 やせがまん	13449 ようじょ (幼女)
13425 やど (宿)	13450 ようするに (要するに…だ)

13451 モーター	13476 やぶさか (……するのに——でない)
13452 もくする (黙して語らない)	13477 やみつく (病みつく)
13453 もくにん (黙認する)	13478 やりくち (やり口)
13454 もくれい (黙礼をかわす)	13479 ゆいいつ (唯一の手がかり)
13455 もしや(——……ではないか)	13480 ゆうえつ (優越を感じる)
13456 もたらす (知らせを——)	13481 ゆうぐん (友軍の到着)
13457 もちなおす (持ち直す)	13482 ゆうざい (有罪と認める)
13458 もったい (——をつける)	13483 ゆうじょう (友情)
13459 モデル	13484 ゆうそう (郵送する)
13460 ものおそろしい(物恐ろしい)	13485 ゆうばえ (夕ばえがうつくしい)
13461 ものさわがしい(物騒がしい)	13486 ゆうやく (勇躍出発する)
13462 ものもらい (——ができる)	13487 ゆうわ (融和をはかる)
13463 もめん (——の織物)	13488 ゆき (着物のゆき)
13464 もろい	13489 ゆきなやむ (行き悩む)
13465 もんしょう (紋章)	13490 ゆざめ (湯ざめ)
13466 もんぶしょう (文部省)	13491 ゆどの (湯殿)
13467 やかた (大将の——)	13492 ゆもと (湯元)
13468 やく (約200人)	13493 ゆるやか (——なさか道)
13469 やくしょ (訳書)	13494 ようえき (さとうの溶液)
13470 やくにん (役人)	13495 ようがん (溶岩が流れ出る)
13471 やくわり (役割をはたす)	13496 ようけい (養鶏)
13472 やしき (屋敷)	13497 ようさい (要さいをまもる)
13473 やすうけあい(安請合をする)	13498 ようしき (洋式の家)
13474 やせぎす (——の女)	13499 ようじょ (養女)
13475 やとう (野党)	13500 ようせい (要請する)

13501 ようせい (森のよう精)	13526 りっきょう (陸橋をわたる)
13502 ようだん (社長と用談する)	13527 りったい (立体)
13503 ようはつ (洋髪 of 婦人)	13528 りふじん (理不尽なおこない)
13504 ようむ (用務をおびる)	13529 りゅういき (川の流域)
13505 ようれい (用例をそえる)	13530 りゅうせい (流星)
13506 よく (翼をひろげる)	13531 りゅうよう (他に流用する)
13507 よくめ (親の欲目)	13532 りょうか (良家)
13508 よこもじ (横文字)	13533 りょうこう (良好な状態)
13509 よせ (——で落語をきく)	13534 りょうしゅう (金を領収する)
13510 よそながら (——成功を祈る)	13535 りょうひ (良否をたしかめる)
13511 よてい (予定をたてる)	13536 りょうりつ (それとこれとは 両立しない)
13512 よびすて (名まえを呼捨てに する)	13537 りょこう (旅行)
13513 よもすがら (夜もすがら虫が なく)	13538 りん (鈴をならす)
13514 よりすぎる	13539 りんせき (臨席する)
13515 よる (城に——)	13540 るいしょ (類書がない)
13516 よわき (弱気になる)	13541 るてん (万物の流転)
13517 らいかい (来会者)	13542 れいぎ (礼儀がただし)
13518 らいにち (来日のアメリカ人)	13543 れいじょう (礼状を出す)
13519 らくたん (落胆する)	13544 れいだい (例題をとく)
13520 らたい (裸体になる)	13545 れいふじん (先生の令夫人)
13521 らんし (乱視の目)	13546 レース (——のそで口)
13522 らんぱく (卵白と卵黄)	13547 れっとう (列島)
13523 りえん (離縁する)	13548 れんじつ (連日いそがしい)
13524 りきゅう (離宮)	13549 れんどう (連動装置)
13525 りし (貯金の利子)	13550 れんめい (連名ではがきを出 す)

13551 ようせい (陽性と陰性)	13576 りっけん (立憲政体)
13552 ようち (幼稚な考え)	13577 りっとう (立冬)
13553 ようひん (洋品)	13578 りべつ (離別のかなしみ)
13554 ようもう (羊毛)	13579 りゅうかい (会が流会になる)
13555 ようろういん (養老院)	13580 りゅうせんけい (流線型)
13556 よくあつ (言論を抑圧する)	13581 りょう (量)
13557 よくりゅう (抑留される)	13582 りょうかい (了解をもとめる)
13558 よこやり (横やりを入れる)	13583 りょうこう (良港)
13559 よせい (余勢をかる)	13584 りょうじゅう (猟銃でうつ)
13560 よそめ (——にもうらやましい)	13585 りょうふう (涼風がはいる)
13561 よどむ	13586 りょうりん (車の両輪のよう だ)
13562 よびみず (呼び水)	13587 りょしゅう (旅愁をあじわう)
13563 よもや (——そんなことは…)	13588 りんか (隣家にるすをたのむ)
13564 よりそう (より添う)	13589 りんせき (隣席の客)
13565 よる (聞くとところに——と)	13590 るいしょう (類焼した)
13566 よわごし (弱腰と見ていばる)	13591 ルネサンス
13567 らいかん (来観者)	13592 れいきゅうしゃ (霊きゅう車)
13568 らいはる (来春うかがいます)	13593 れいじょう (先生の令嬢)
13569 らくちゃく (あらそいが落着 した)	13594 れいたん (冷淡な態度)
13570 らっか (落下する)	13595 れいぶん (例文)
13571 らんしゃ (乱射する)	13596 れきし (歴史)
13572 らんぱつ (乱発する)	13597 れっふう (烈風にあおられる)
13573 りかい (理解する)	13598 れんじゅう (会社の連中)
13574 りきりょう (力量をあらわす)	13599 れんにゅう (練乳)
13575 りじ (理事をつとめる)	13600 れんや (連夜のつかれ)

13601 ようせい (かngoふの養成)	13626 りっこうほ (立候補する)
13602 ようち (要地)	13627 りつどう (律動)
13603 ようふ (養父)	13628 りめん (裏面と表面)
13604 ようもく (要目)	13629 りゅうがく (アメリカへ留学する)
13605 よか (しごとの余暇に…する)	13630 りゅうだん (流弾にあたる)
13606 よくけ (欲気をだす)	13631 りょう (会社の寮)
13607 よけい (——なことをするな)	13632 りょうがえ (両替する)
13608 よざい (余罪)	13633 りょうざい (良材)
13609 よせい (余生を安楽にくらす)	13634 りょうしょう (了承しました)
13610 よそいき (よそ行きの着物)	13635 りょうぶん (領分)
13611 よなが (冬の夜長)	13636 りょかく (旅客列車)
13612 よびょう (余病)	13637 りょそう (旅装をととのえる)
13613 よもやま (——の話)	13638 りんか (青白いりん火)
13614 よりだす (より出す)	13639 りんてんき (輪転機)
13615 よるべ (寄るべのない人)	13640 るいしん (累進的にふえる)
13616 よわたり (世渡りがうまい)	13641 るふ (世間に流布する)
13617 らいきゃく (来客が多い)	13642 れいぐう (冷遇される)
13618 らいひん (来賓の祝辞)	13643 れいじょう (たいほの令状)
13619 らくど (楽土)	13644 れいち (霊地にもうでる)
13620 ラッシュアワー	13645 れいぼう (冷房がよくきく)
13621 らんせい (乱世に生まれる)	13646 れっか (烈火のようにおこる)
13622 らんびつ (乱筆をおゆるしく ださい)	13647 れんが (連歌)
13623 りがい (利害)	13648 れんしょ (連署して申し込む)
13624 りくあげ (陸揚げする)	13649 れんばい (廉売する)
13625 りじゅん (利潤があがる)	13650 れんよう (くすりを連用する)

13651 ようせき (はこの容積)	13676 りっしゅう (立秋)
13652 ようち (用地)	13677 りっぷく (立腹する)
13653 ようふう (洋ふうの家)	13678 ごりやく (神様の——)
13654 ようやく (——明るくなる)	13679 りゅうき (土地の隆起)
13655 よかん (……しそうな予感がする)	13680 りゅうち (留置する)
13656 よくげつ (翌月)	13681 りょう (犬をつれて猟に行く)
13657 よげん (予言)	13682 りょうがん (川の兩岸)
13658 よさん (予算)	13683 りょうさく (良策)
13659 よせがき (寄書きのはがき)	13684 りょうしん (両親)
13660 よそよそしい (——態度)	13685 りょうへいか (両陛下のおでまし)
13661 よなべ (——をする)	13686 りょかん (旅館にとまる)
13662 よほう (予報)	13687 りょてい (旅程をきめる)
13663 よやく (予約)	13688 りんかく (輪郭がはっきりする)
13664 よりどころ (生活の——)	13689 りんばえき (りんば液)
13665 よれる (つなが——)	13690 るいすい (それから類推すれば)
13666 よわね (弱音をはく)	13691 るろう (流浪の民)
13667 らいしゅう (つなみの来襲)	13692 れいけつどうぶつ (冷血動物)
13668 らいほう (来訪する)	13693 れいすい (冷水をかぶる)
13669 らくば (落馬する)	13694 れいてい (先生の御令弟)
13670 らん (新聞の投書欄)	13695 れいぼう (礼帽をかぶる)
13671 らんせん (乱戦)	13696 れっきょう (列強を相手にする)
13672 らんぼう (乱暴な人)	13697 れんが (——づくり)
13673 りかがく (理化学)	13698 れんしょう (三試合に連勝する)
13674 りくかいこう (陸・海・空の三軍)	13699 れんぱい (連敗する)
13675 リズム	13700 れんらく (連絡する)

13701 ようそ (要素)	13726 りっしゅん (立春)
13702 ようち (夜討ち)	13727 りっぽう (立法機関)
13703 ようぶん (養分をとる)	13728 りゃくご (略語)
13704 ようやく (話を要約する)	13729 りゅうぎ (むかしの流儀)
13705 よかん (余寒がきびしい)	13730 りゅうつう (空気の流通)
13706 よくしつ (浴室)	13731 りょう (川で漁をする)
13707 よこう (式の予行をする)	13732 りょうがん (両眼をひらく)
13708 よし (……する由もない)	13733 りょうさんにち (両三日 おま ちください)
13709 よせつける (寄せつける)	13734 りょうしん (良心)
13710 よだん (これは余談ですが)	13735 りょうほう (指圧療法)
13711 よなよな (夜な夜な)	13736 りょくいん (緑陰で休む)
13712 よぼう (予防)	13737 りょひ (旅費)
13713 よゆう (余裕がない)	13738 りんかん (林間を歩く)
13714 よりどり (より取り自由)	13739 るい (罌をまもる)
13715 よろこばしい (喜ばしい)	13740 るいする (類する)
13716 よわみ (弱味につけこむ)	13741 れい (例をあげて説明する)
13717 らいしん (来信によれば)	13742 れいげん (例言)
13718 らいめい (雷鳴がとどろく)	13743 れいせい (冷静な気持)
13719 ラグビー	13744 れいとう (冷凍のまぐろ)
13720 らん (乱がおこる)	13745 れいまい (先生の御令妹)
13721 らんだ (かねを乱打する)	13746 れつぎ (列座の人々)
13722 らんま (ざしきの欄間)	13747 れんき (名まえを連記する)
13723 りきえん (力演)	13748 れんそう (連想)
13724 りくぐん (陸軍)	13749 れんぱつ (連発のピストル)
13725 りせい (理性をうしなう)	13750 れんりつ (連立内閣)

13751 ようそう (様相をていする)	13776 りっしょう (立証する)
13752 ようちゅう (こん虫の幼虫)	13777 りっぼう (2メートル立方)
13753 ようべん (用便)	13778 りゃくじ (略字)
13754 ようよう (洋々たる希望)	13779 りゅうけい (流刑にしょする)
13755 よき (予期に反する)	13780 りゅうどうたい (流動体)
13756 よくじょう (浴場)	13781 りょう (涼をもとめる)
13757 よこぎる (横切る)	13782 りょうき (猟期がせまる)
13758 よしあし (——を見分ける)	13783 りょうじ (温泉で療治する)
13759 よせて (寄せ手)	13784 りょうたん (両端をもつ)
13760 よち (余地がない)	13785 りょうめい (井上・中村の両名は欠席です)
13761 よなれる (世慣れる)	13786 りょくか (町を緑化する)
13762 よほど (——のこと)	13787 りりく (離陸する)
13763 よよ (代々)	13788 りんぎょう (林業が盛んだ)
13764 よりぬき (——の品物)	13789 るい (他に類がない)
13765 よろず (——の物事)	13790 るいせき (累積)
13766 よわりめ (弱り目)	13791 れい (礼をする)
13767 らいしん (電報の頼信紙)	13792 れいこう (励行)
13768 らいゆう (各地からの来遊客)	13793 れいぜん (霊前にそなえる)
13769 らくよう (落葉をはく)	13794 れいねん (例年のとおり)
13770 らんおう (卵黄と卵白)	13795 れいまいり (礼参りをする)
13771 ランチ (——を食べる)	13796 れっしゃ (列車)
13772 らんみゃく (乱脈をきわめる)	13797 れんけつ (連結)
13773 りきがく (力学)	13798 れんぞく (連続)
13774 りくじょう (陸上)	13799 れんぴれい (連比例)
13775 りそう (理想が高い)	13800 ろ (炉をかこんで話をきく)

13801 ようそう (洋装と和装)	13826 りっしん (立身する)
13802 ようてん (要点)	13827 りてい (里程標)
13803 ようぼ (養母)	13828 りゃくしき (略式)
13804 ようよう (揚々として)	13829 りゅうげん (流言がみだれと ぶ)
13805 よぎ (余技)	13830 りゅうにゅう (流入する)
13806 よくする (光栄に浴する)	13831 りょう (良)
13807 よこく (予告)	13832 りょうきょく (両極)
13808 よしゅう (予習)	13833 りょうしき (良識で考える)
13809 よせん (予選)	13834 りょうち (領地)
13810 よち (地震の予知)	13835 りょうめん (ガラスの両面)
13811 よねんに(……に余念がない)	13836 りょくじゅ(緑樹の下で休む)
13812 よみがえる (草木が——)	13837 りりしい (——すがた)
13813 より (——多くの人々)	13838 りんごく (隣国へ行く)
13814 よりょく (余力)	13839 るいぎご (類義語)
13815 よろめく	13840 るいべつ (類別)
13816 よんどころない (——用事)	13841 れい (霊と肉)
13817 らいせ (来世の幸福)	13842 れいこく (冷酷な人)
13818 らくえん (楽園)	13843 れいぜん (冷然として……)
13819 らくらい (落雷による火事)	13844 れいはい (神を礼拝する)
13820 らんがく (らん学者)	13845 れいみょう (霊妙なひびき)
13821 ランチ (——に乗る)	13846 れっしょう (裂傷をうける)
13822 り (理の当然)	13847 れんごう (連合)
13823 りきさく (力作)	13848 れんたい (連帯責任)
13824 りくろ (陸路で行く)	13849 れんぽう (連邦)
13825 りそく (利息をとる)	13850 ろ (——をこぐ)

13851 ようだい (容体・容態)	13876 りっする (律する)
13852 ようと (用途がひろい)	13877 リトマスしけんし (リトマス試験紙)
13853 ようほう (用法)	13878 りやくする (略する)
13854 ようりょう (容量がすくない)	13879 りゅうこう (流行のがら)
13855 よぎない (余儀ない用事)	13880 りゅうにん (留任)
13856 よくそう (タイルばりの浴そう)	13881 りよう (利用)
13857 よこしま (——な考え)	13882 りょうきん (料金)
13858 よじょう (余剰がない)	13883 りょうしつ (良質の紙)
13859 よそう (予想)	13884 りょうど (領土)
13860 よつぎ (世継ぎ)	13885 りょうやく (良薬は口ににがし)
13861 よばわる (呼ばれる)	13886 りょくそう (うしが緑草を食べる)
13862 よめ (夜目にもはっきりと…)	13887 りりつ (年5分の利率)
13863 よりあい (寄合い)	13888 りんじ (臨時の休み)
13864 よりより (——相談する)	13889 るいけい (類型でわかる)
13865 よろん (——にうったえる)	13890 るいれい (類例)
13866 らいう (午後は雷雨があるだろう)	13891 れいがい (例外)
13867 ライター	13892 れいこん (靈魂のふめつ)
13868 らくしゅ (落首を書きつける)	13893 れいそう (礼装をつける)
13869 らくるい (おもわず落涙する)	13894 れいはい (零敗した)
13870 らんぎょう (乱行がはげしい)	13895 れいめい (令名が高い)
13871 らんとう (乱闘する)	13896 れっする (列する)
13872 り (利)	13897 れんさ (連鎖はんのう)
13873 りきし (力士の登場)	13898 れんたつ (じゅうどうに練達する)
13874 りこ (利己的な人)	13899 れんぼう (アルプスの連峰)
13875 りち (理知的な人)	13900 ろう (労をおしむ)

13901 ようだてる (用立てる)	13926 りつぜん (——とする)
13902 ようにん (容認する)	13927 りにゅう (離乳する)
13903 ようぼう (容ぼうがうつくしい)	13928 りゃくだつ (金を——する)
13904 ようりょくそ (葉緑素)	13929 りゅうこつ (船のりゅう骨を すえる)
13905 よきょう (余興)	13930 りゅうひょう (流氷にぶつか る)
13906 よくとく (欲得をはなれて…)	13931 りょういき (国の領域)
13907 よこたえる (横たえる)	13932 りょうぐん (両軍)
13908 よしんば (——そうであって も……)	13933 りょうしゃ (両者が相談する)
13909 よそおう (装う)	13934 りょうとう (両刀をぬく)
13910 よっきゅう (平和の欲求)	13935 りょうゆう (良友と悪友)
13911 よび (予備)	13936 りょくちゃ (緑茶を飲む)
13912 よめい (余命いくばくもない)	13937 りれきしょ (履歴書)
13913 よりかかる	13938 りんしつ (隣室の話し声)
13914 よる (糸を——)	13939 るいご (類語を集める)
13915 よわ (夜わに吹くあらし)	13940 ルート
13916 らいうん (雷雲が発生する)	13941 れいかん (靈感を得る)
13917 らいだん (御来談をこう)	13942 れいさい (神社の例祭)
13918 らくじょう (ついに落城した)	13943 れいぞう (肉を冷蔵する)
13919 ラシャ (——の洋服)	13944 れいひょう (冷評される)
13920 らんぐん (乱軍)	13945 れいれいしい (麗々しいみせ かけ)
13921 らんどく (小説を乱読する)	13946 れっせき (列席)
13922 リード (——する)	13947 れんさい (連載の小説)
13923 りきせつ (力説する)	13948 れんだん (ピアノの連弾)
13924 りこう (——なこども)	13949 れんま (心身を——する)
13925 りつ (率がわるい)	13950 ろうえき (労役に使われる)

13951 ようだん (要談をかわす)	13976 りつぞう (立像)
13952 ようねん (幼年のころ)	13977 りはつ (理髪店)
13953 ようぼう (つよく要望する)	13978 りゆう (理由)
13954 ようりょう (要領をえない)	13979 りゆうしゅつ (海外へ流出する)
13955 よきん (預金)	13980 りゆうぼく (流木がうちあげられる)
13956 よくぼう (欲望をおさえる)	13981 りょうえん (良縁を得る)
13957 よこたわる (横たわる)	13982 りょうけん (猟犬をつれて猟に行く)
13958 よすてびと (世捨て人)	13983 りょうしゅ (領主)
13959 よそごと	13984 りょうば (両刃のかみそり)
13960 ヨット	13985 りょうよう (療養する)
13961 よびこ (呼び子)	13986 りょけん (旅券)
13962 よも (——の山々)	13987 りろん (理論)
13963 よりごのみ (より好み)	13988 りんじゅう (臨終に間に合う)
13964 よる (よい品を——)	13989 るいじ (類似している)
13965 よわい (——まさに80)	13990 るざい (流罪)
13966 らいえん (来援をたのむ)	13991 れいき (冷気が身にしみる)
13967 らいちょう (使節の来朝)	13992 れいしょう (冷笑される)
13968 らくせん (落選)	13993 れいそく (先生の令息)
13969 らぞう (だいいせきの裸像)	13994 れいふく (礼服をきる)
13970 らんざつ (乱雑なとりあつかい)	13995 レース (ボート——)
13971 らんにゅう (場内に乱入する)	13996 れっとう (成績が劣等だ)
13972 りえき (利益)	13997 れんざん (箱根の連山)
13973 りきせん (力戦する)	13998 れんちょく (廉直な人)
13974 りさん (離散する)	13999 れんめい (連盟)
13975 りつあん (立案する)	14000 ろうか (廊下を走らないよう)

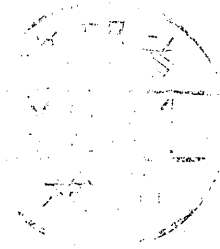
14001 ろうく (労苦をともしする)	14026 わさい (和裁と洋裁)
14002 ろうし (労資の代表)	14027 わしづかみ (——にする)
14003 ろうじょう (ろう城する)	14028 わずか (——のちがい)
14004 ろうする (耳を——音)	14029 わずらわす
14005 ろうどう (労働)	14030 わすれがち (とかく忘れがちだ)
14006 ろうばい(たいそう——する)	14031 わせい (和製の品物)
14007 ろうやぶり (ろう破り)	14032 わだい (話題)
14008 ローラー	14033 わたり (渡りをつける)
14009 ろうろう (浪々の身)	14034 わな (——をかける)
14010 ろくしょう (緑青はどくだ)	14035 わびずまい
14011 ロケーション	14036 わぼく (相手と——する)
14012 ろしゅつ (露出)	14037 わやく (英文を和訳する)
14013 ろとう (路頭にまよう)	14038 わり (割がわるい)
14014 ロマンチック (——なゆめ)	14039 わりこむ (割り込む)
14015 ろんし (論旨がてっていいしな い)	14040 わりまえ (割前を出す)
14016 わ (和)	14041 わりやす (割安な品物)
14017 わが (——日本の……)	14042 わるだくみ (——をする)
14018 わかがえり(若返りのくすり)	14043 われ (——こそは……)
14019 わかげ (若気のいたり)	14044 われもの (割れ物に注意)
14020 わかづくり (若造りにする)	14045 わんきょく (せぼねが——する)
14021 わがはい (わが輩の考えでは ……)	14046 わんりょく (腕力が強い)
14022 わかわかしい(若々しい青年)	14047 アイロン
14023 わきたつ(見物の人々が——)	14048 いかん (遺憾に思う)
14024 わく (——にはめる)	14049 おがわ (小川)
14025 わごう (和合する)	14050 かんしょう (干渉をうける)

14051 ろうごく (ろう獄につなされる)	14076 わざもの (名工がきたえた)
14052 ろうし (ろう死する)	14077 わじゅつ (話術がたくみだ)
14053 ろうすい (漏水する)	14078 わずらう
14054 ろうぜき (——をはたらく)	14079 わする (たがいに和する)
14055 ろうどく (物語りを朗読する)	14080 わすれっぽい (忘れっぽい人)
14056 ろうひ (時間を浪費するな)	14081 わせん (和船と汽船)
14057 ローカル	14082 わたくしする (学校のことを私する)
14058 ろうりょく (労力)	14083 わたりあう (たがいに渡り合う)
14059 ろえい (露營する)	14084 わななく (さむさに——)
14060 ろくでなし (——の人)	14085 わふく (和服)
14061 ろこつ (——な言い方)	14086 わほん (和本)
14062 ろっこつ (ろっ骨がおれる)	14087 わよう (和洋せっちゅう)
14063 ろへん (炉辺にあつまる)	14088 わりあい (割合)
14064 ろん (いろいろの論がある)	14089 わりだか (割高な品)
14065 ろんずる (論ずる)	14090 わりまし (割増のお金)
14066 わえい (和英辞典)	14091 わるぎ (悪気)
14067 わかい (年が若い)	14092 ワルツ
14068 わかぎみ (若君のおとも)	14093 われがち (——にとる)
14069 わかちがき (ローマ字文のわかち書き)	14094 われわれ (——のなかま)
14070 わかて (若手の社員)	14095 わんにゅう (海が陸地に湾入する)
14071 わがものがお (わがものの顔にふるまう)	14096 あつい (やまいが——)
14072 わかん (和漢の学)	14097 いざ (——というときに……)
14073 わきまえる (れいぎを——)	14098 おっしゃる (先生の——こと)
14074 わくせい (惑星は太陽のまわりを……)	14099 かど (過度の勉強)
14075 わこうど (——のつどい)	14100 かんばん (商店の看板)

14101 ろうさく (労作)	14126 わざわい (災)
14102 ろうし (天下の浪士)	14127 わしょ (和書と洋書)
14103 ろうする (労する)	14128 わずらわしい (——しごと)
14104 ろうでん (漏電による火事)	14129 わすれがたみ (忘れ形身)
14105 ろうにん (天下の浪人)	14130 わせ (—— と おくて)
14106 ろうほう (合格の朗報)	14131 わそう (和装と洋装)
14107 ろうがん (老眼)	14132 わたしもり (渡しもり)
14108 ろうろう (朗々と読む)	14133 ワット (100Wの電球)
14109 ろくおん (録音テープ)	14134 わびしい (——気持)
14110 ろくな (——ことを言わない)	14135 わぶん (和文と英文)
14111 ろじ (路地を通る)	14136 わめく (大声で——)
14112 ろてん (露天掘り)	14137 わらべ
14113 ろぼう (路傍に立つ)	14138 わりあて (割当)
14114 ろんぎ (論議)	14139 わりだす (割り出す)
14115 ろんり (論理)	14140 わりもどし
14116 わか (和歌)	14141 わるさ (——をする)
14117 わかい (和解する)	14142 わるびれる
14118 わがくに (わが国)	14143 われしらず (われ知らずいね むりをする)
14119 わかつ (四つに——)	14144 わん (湾の入口)
14120 わかば (若葉がもえる)	14145 わんりゅう (湾流)
14121 わかやぐ (若やぐ)	14146 いえども (男と——なくこと もある)
14122 わき (——へよる)	14147 いぜん (——としてかわらな い)
14123 わぎり (だいこんを輪切りに する)	14148 かおつき (顔つき)
14124 わけへだて (——をする)	14149 かんさい (関西)
14125 わざ(めいめい——をきそう)	14150 きげん (——をそこねる)

14151 きこう (機構)	14176 さゆう (左右)
14152 ぎゃく (逆)	14177 しこうひん (し好品)
14153 きょうこう (恐慌をきたす)	14178 しぜん (自然)
14154 きんこう (均衡がとれる)	14179 しっばい (失敗する)
14155 くずれる (山が——)	14180 じぬし (地主)
14156 くちえ (口絵)	14181 しまつ (始末)
14157 クラス	14182 しゅうしゅう (拾収がつかない)
14158 けいき (これを契機として…)	14183 しゅうち (周知の事実)
14159 けいもう (人々を啓もうする)	14184 しゅさい (学校の主催)
14160 げきか (……が激化する)	14185 しょうこ (証拠を見せる)
14161 けんぎ (けん疑をかける)	14186 じょうだん (冗談を言う)
14162 こうそう (構想をねる)	14187 じょうやく (条約をむすぶ)
14163 こうそく (自由を拘束する)	14188 しんこう (神を信仰する)
14164 こうばい (急な——)	14189 すいこう (任務の遂行)
14165 こうはん (広範なはんい)	14190 すうひゃく (数百)
14166 こうよう (士気を高揚する)	14191 ぜいたく (——なくらし)
14167 こくふく (こんなんを克服する)	14192 せつぼう (切望する)
14168 こす (水を——)	14193 そうだん (相談)
14169 コスト (——が高い)	14194 そし (それを阻止する)
14170 こつ (——をおぼえればなんでもない)	14195 そしょう (訴訟にかつ)
14171 ごと (かわ——食べる)	14196 たいけつ (対決)
14172 さいわい (幸)	14197 たいせい (体制をととのえる)
14173 さそう (友だちを誘う)	14198 たいふう (台風)
14174 さっき (——の話は……)	14199 たいへい (太平の世の中)
14175 ざっし (雑誌)	14200 たましい (魂)

14201 たんてき(端的に言えば……)	14226 ぼしゅう (募集する)
14202 チャンス (——をにがす)	14227 まるで
14203 ちゅうもん (注文をとる)	14228 みとおす (見通す)
14204 ちょうだい(賞状を——する)	14229 めいじん (名人)
14205 ちんじょう (……について陳情をする)	14230 めんどう(——なことになる)
14206 ついで (——にやってください)	14231 もたれる (かべに——)
14207 ついに (——できあがる)	14232 やくそく (約束をはたす)
14208 つもり (その——です)	14233 やっかい (——なしごと)
14209 ていとく (提督)	14234 やぶれる(たたかいに敗れる)
14210 てきはつ (不正の摘発)	14235 やみ(——の中では見えない)
14211 どうちょう (その意見に同調する)	14236 ゆうし (融資をする)
14212 なぜ(——そうするのですか)	14237 ユーモア
14213 なぞ (——をかける)	14238 よそく (予測できない)
14214 なるべく(——きてください)	14239 よとう (与党と野党)
14215 なるほど (——そうだ)	14240 りくつ (理屈をいう)
14216 はあく (要点の——)	14241 ろんぶん (論文を書く)
14217 はず (その——です)	
14218 はなやか (——な服そう)	
14219 はんにん (犯人がつかまる)	
14220 ひさしぶり (——であう)	
14221 ひょうばん (評判がよい)	
14222 へいねんさく (平年作)	
14223 ぼうけん (冒険をする)	
14224 ぼうだい(ぼう大なけいかく)	
14225 ほぐれる	



国語シリーズ41

児童生徒の語い力の調査
準備調査（昭和32年度）
〔第1分冊〕

ME J 4144

昭和35年2月15日初版

昭和35年5月15日再版

著作権所有

文 部 省

東京都中央区入船町3～3

発 行 者

明治図書出版株式会社

代表者 藤 原 政 雄

東京都千代田区神田猿樂町2～13

印 刷 者

松沢印刷株式会社

代表者 松 沢 友 春

東京都中央区入船町3～3

発 行 所

明治図書出版株式会社

電話 東京 (551) 8266～8

振替口座東京 151318

定 価 231 円